

MANUSCRIPTS OF QIANZHONGSHU
錢鍾書手稿集

中文筆記
12

錢鍾書 著



創于1897

商務印書館
The Commercial Press





商務印書館

二〇一一年・北京

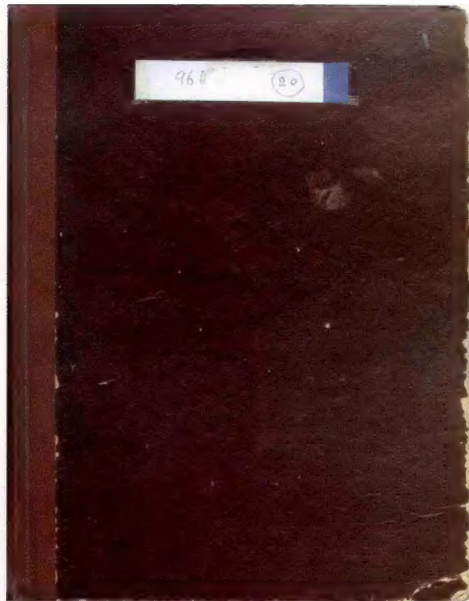
中文筆記 第十二冊

錢鍾書手稿集

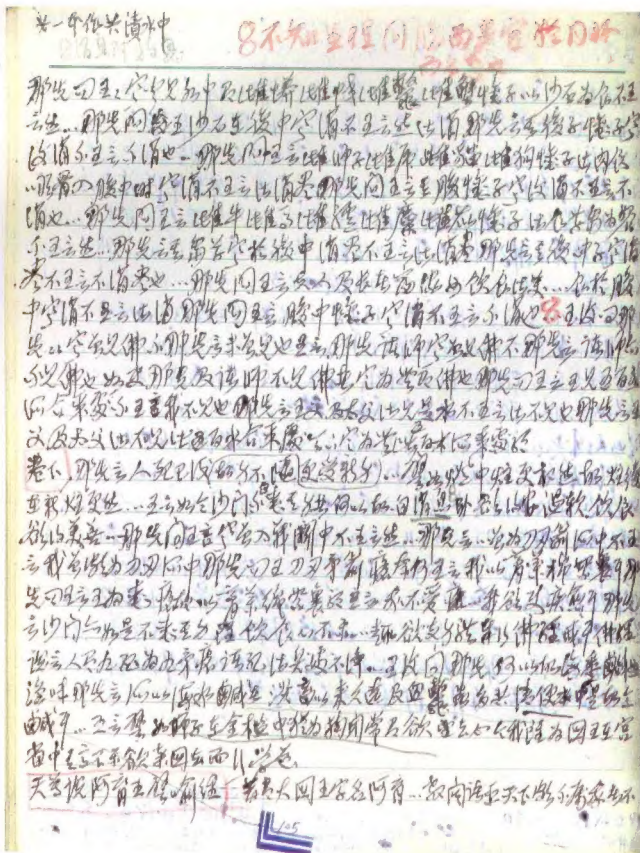
錢鍾書 著

The image shows the front cover of an old book. The main part of the cover is a dark, almost black, textured material, possibly leather or a heavy cloth. The spine, visible on the left, is made of a different material, a reddish-brown or maroon color, also with a textured appearance. The edges of the cover are slightly worn and show some of the underlying board material. There is no text or decoration on the cover.

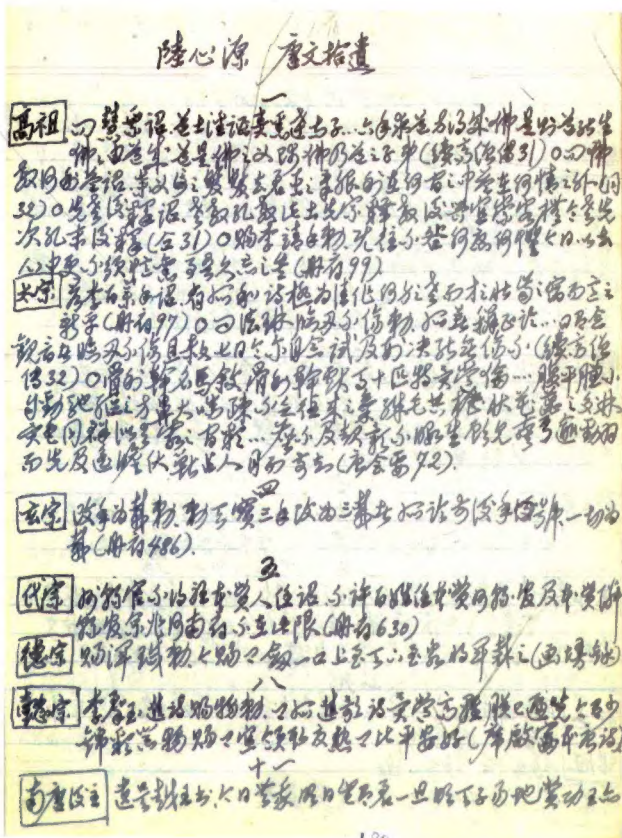
◎ 硬皮本 (十九) 内文



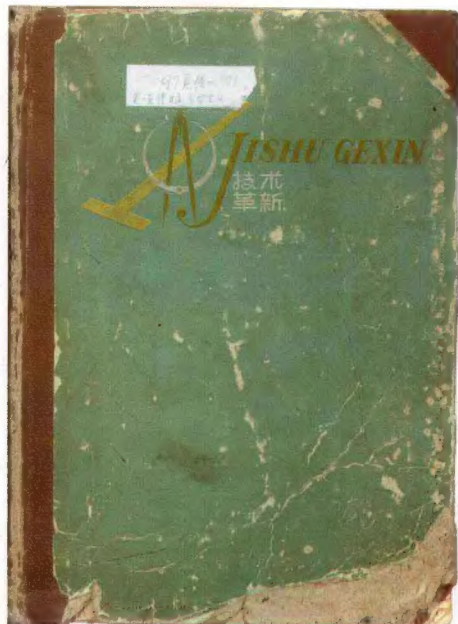
● 硬皮本 (二十) 封面



● 硬皮本 (二十) 内文



● 硬皮本 (二十一) 内文



● 硬皮本 (二十一) 封面

第十二冊 目 錄

硬皮本(十九)

桐城吳先生全書	十八卷	〔清〕吳汝綸	五
雲麓漫鈔	十五卷	〔宋〕趙彥衛	一七
敬齋古今薈	十二卷	〔元〕李 冶	一九
墨莊漫錄	十卷	〔宋〕張邦基	二二
蘆浦筆記	十卷	〔宋〕劉昌詩〔補雲谷卧餘冊7〕	二四
侯鯖錄	八卷	〔宋〕趙令時	二五
藏海詩話	一卷	〔宋〕吳 可	二五
卮林	十一卷	〔明〕周 嬰	二六
忠雅堂文集	三十卷	〔清〕蔣士銓	二九
質園詩集	三十二卷	〔清〕商 盤	三一
濂亭文集	八卷	〔清〕張裕釗	三三
少室山房筆叢	四十八卷	〔明〕胡應麟	三五
史通通釋	二十卷	〔唐〕劉知幾撰〔清〕浦起龍釋〔補太平廣記冊〕	三七
忠雅堂詩集	三十卷	〔清〕蔣士銓	四〇
高僧傳二集	四十卷	〔唐〕釋道宣	四五
六合內外瑣言	二十卷	〔清〕屠 紳	五九
墨子閒詁	十五卷	〔清〕孫詒讓	六四
五雜俎	十六卷	〔明〕謝肇淛〔補漢學商兌冊〕	七二
變雅堂文集	十卷、詩集十卷	〔清〕杜 濬	七六
曬書堂文集	十二卷、筆錄十卷、宋瑣語二卷、晉宋書故一卷	〔清〕郝懿行	八五
顏氏家訓	七卷	〔北齊〕顏之推撰〔清〕趙 肅注 盧文弨補訂	九二
匠門書屋文集	三十卷	〔清〕張大受	一〇六
蘇文忠公詩合注	五十卷	〔宋〕蘇 軾撰〔清〕馮應榴注	一〇七
逸周書	十卷	〔晉〕孔 晁注〔清〕謝 墉補注	一三二
尚書正義	二十卷	〔唐〕孔穎達正義	一三四
洛陽搢紳舊聞記	五卷	〔宋〕張齊賢	一四八
袁文箋正	十六卷	〔清〕袁 枚撰〔清〕石韞玉箋	一四九
援鵝堂筆記	五十卷(補)	〔清〕姚 範	一五二



隨山館全集二十二卷	〔清〕汪 琬	一五六
擘經室集六十卷	〔清〕阮 元	一六〇
養一齋集二十六卷、詩話十卷	〔清〕潘德輿	一六三
高僧傳四集八卷	〔明〕釋如惺	一七三
大金國志四十一卷	〔宋〕宇文懋昭	一七五
庾子山集十六卷	〔北周〕庾 信撰 〔清〕倪 璠注〔補俞仲蔚先生集冊 37〕	一八〇
夢樓詩集二十四卷	〔清〕王文治	一八二
湖海樓全集五十一卷	〔清〕陳維崧	一八四
誠齋樂府二卷	〔明〕朱有燬	一九二
松心詩集二十七卷	〔清〕張維屏	一九三

硬皮本(二十)

河南程氏文集十二卷	〔宋〕程 顥 程 頤	二〇一
圭齋文集十六卷	〔元〕歐陽玄	二〇四
呂晚村詩集八卷	〔清〕呂留良〔補紀錄匯編冊 86〕	二〇五
金華黃先生文集四十三卷	〔元〕黃 潛	二一四
永樂大典二萬二千八百七十七卷	〔明〕解 縉 姚廣孝編	二二〇
後村先生大全集一百九十六卷	〔宋〕劉克莊	二三八
法句譬喻經四卷	〔晉〕法 炬 法 立譯	二八八
師子素駄娑王斷肉經一卷	〔唐〕智 嚴譯	二九九
迦葉結經一卷	〔漢〕安世高譯	三〇〇
那先比丘經二卷	失譯者名	三〇〇
百喻經四卷	僧伽斯那撰 〔南朝齊〕求那毘地譯	三〇六
雜譬喻經一卷	〔漢〕支婁迦讖譯	三一二
衆經撰雜譬喻二卷	道 略集 〔後秦〕鳩摩羅什譯	三一七
舊雜譬喻經二卷	〔三國吳〕康僧會譯	三二〇
雜譬喻經三卷	佚名譯 道 略集	三二八
出曜經三十卷	〔後秦〕竺佛念譯	三三〇
生經五卷	〔西晉〕竺法護譯	三四〇
湖海文傳七十五卷	〔清〕王 昶輯	三五二
山谷詩集注(內集二十卷、外集十七卷)	〔宋〕黃庭堅撰	
〔宋〕任 淵 史 容注〔補釋典故事冊 13〕		三五五

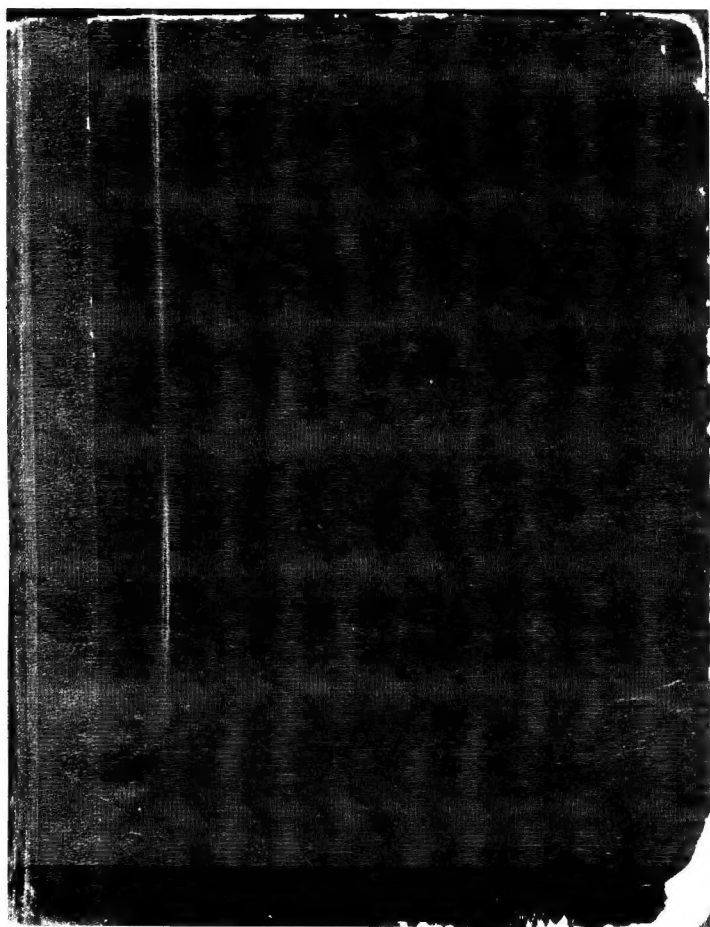
呻吟語	六卷	〔明〕呂坤	三六三
六度集經	八卷	〔三國吳〕康僧會譯	三六九
宛陵先生集	六十卷	〔宋〕梅堯臣	三七八
樊榭山房集	三十八卷	〔清〕厲鶚	三八二

硬皮本(二十一)

全唐文	一千卷	〔清〕董誥等輯	三九五
唐文拾遺	七十二卷	〔清〕陸心源輯	四八三
心知堂詩稿	十八卷	〔清〕汪仲洋	四八九
莊子集釋	十卷	〔清〕郭慶藩	四九〇
寒支初集	十卷、二集六卷	〔明〕李世熊	五七八
莊子集釋	十卷(補)	〔清〕郭慶藩	五八五

錢鍾書手稿集

硬皮本（十九）



原本尺寸：160×215mm

1. 相城吳先生全書
2. 楚漢書鈔
3. 蘇高古畫
4. 墨莊漫錄
5. 盧溝筆記
6. 侯鑑錄
7. 藏海詩話
8. 危林
9. 忠雅堂文力
10. 質園詩上
11. 漁亭詩文集
12. 少室山房筆叢
13. 史通通釋 (補太平廣記冊)
14. 忠雅堂詩集
15. 馬儒傳二系
16. 六合內外瑣言
17. 墨子閒話
18. 五雜俎 [補漢書商先冊]
19. 愛雅堂文集詩集
20. 曉書堂文集 學記 家瑣語 習宗書教
21. 教民家訓
22. 近門書房文力
23. 續文忠公詩話注
24. 逸周書
25. 為書正錄
26. 臨陽樞中集內記
27. 袁文策正
28. 援鶴堂筆記 [補]
29. 隨山懷古上
30. 理理室四集
31. 卷一為集詩話
32. 為儒修四集
33. 大全國志
34. 庚子山人 [補前仲蔚集冊37]
35. 夢樓詩集
36. 湖海樓全集
37. 誠齋集附
38. 松心詩上

引國語。若此惟天若元位。天若至之位。至位也。惟南極星。天位乎。若此元也。
當指而猶天若。王公而西漢而亦漢而天地。天若於天也。 爲中庸云。天惟其
此不可。 吳山編 桐城吳先生金書

二二三 [康誥] 若克考。考克死也。其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。
思也。若傳。其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。
讀力。其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。
[康誥] 若克考。考克死也。其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。
○其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。
也。其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。
民然。其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。
地。其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。

[康誥] 夫知保抱。携持厥幼子。東京。夫懷其節。節綜位。夫於人也。
二二三 [商王] 若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。

[商王] 若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。
○其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。其貌考終。考克終也。

[商王] 若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。
若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。
若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。
若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。

[商王] 若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。
若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。
若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。
若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。

[商王] 若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。
若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。
若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。
若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。若中。



8 北方張家：俗文家納案：此陸德賦：天不道：王明生：雖休：勿休：勿
201) 08 即思相

說文作數為去陰：而於此：然孔疏：漢大也。乃命重：樂維他：又通：周
明降：移：孔疏：引楚語：氣於云：九條：究：位時：垂：史：化為：上：諸：告：之：說：以
常：勤：平：式：五：為：林：絕：皆：此：也。○陸：長：勿：長：陸：休：勿：保：以：引：之：保：盡：也
陸：可：長：勿：長：陸：可：盡：勿：盡。○告：與：不：符：前：：子：祥：作：以：新：中：作：詳：東。
稱：云：祥：與：海：長：字：聲：祥：與：滯：所：也。此：讀：為：腐：上：聲：也。又：云：監：于：詳
所

味：我思：之：原：係：你：告：而：新：思：也：樂：林：月：佳：少：日：味：之：也：皆：子：色
味：與：也：物：係：荀：子：注：思：為：然：精：味：之：也
文集

讀荀子。墨子...性善善中兼資此美...而荀子則兼資之為空子由國勉而
的逐思以此性教人夫多言性而迫而己且空而論是安能示性善乎
心人比之以為是辯荀子曰漢人為要之以善為由而釋以子學而能可而
兼又及墨子學為善之指。二。好。張。張。王。徒。乃。編。次。其。書。如。解。員。得。益。數。說。
就。其。書。中。出。也。若。解。之。當。稱。荀。子。之。解。為。經。只。欲。前。重。不。合。其。失。之。張。治。
生。於。荀。子。之。前。而。小。人。之。解。又。云。後。儒。左。右。為。鏡。造。快。者。之。門。戶。既。立。巧。敏。信。
說。善。取。能。為。態。重。聖。又。云。重。君。之。義。以。服。忠。為。上。當。信。一。人。之。言。說。而。如。此。
氏。諱。伯。之。名。外。連。上。越。境。得。罪。為。皮。之。數。
解。員。又。集。諸。國。北。用。西。海。所。傳。幻。術。承。水。於。日。景。中。學。人。偽。造。造。刀。紙。
為。國。
唐。王。者。之。弟。鄭。氏。從。中。唐。以。交。李。說。也。果。上。以。性。道。後。也。心。色。儒。為。戴。東。
子。乃。合。而。宗。其。義。理。之。說。一。以。古。訓。禁。淫。乃。親。交。李。以。後。性。道。善。果。也。
讀。文。選。對。帝。司。馬。相。如。作。封。禪。書。漢。明。帝。以。本。不。能。明。也。猶。魯。射。也。反。及。子。

而後天者又出焉。此蓋是故以人從同而主漢...自國之語西去未暇張
游子也...士為吳和就為心為學者時文平為廣平夜神...文如果道可謂清雄
往者釋氏之入中國中學未幾也然吾家受古政和建社重均為一統系與中國同
共育凡之道未物於釋氏何...孔子一衣之而吾乃浸之晚周諸子紀下然則
於今重終

有领导、有秩序、有纪律...中国土大夫以之作为谈天说地、重农抑商、渔油

陳先生先著述如為高論實不勝以爲同而說難於本通中究其理
作如皆棄尤甚...說難曰月海未定而移極知者危又曰解言何擊枕
公先叙變遷歷代謀臣不忠隱主亦存神而說物疎至玉遜臣人尤
不宜據乃曰子死一神客可奈何沮此要上之對也先說難而後宋人
境情之說...何死之而為此...及讀孫少卿水齋易向指風說難云
其然自非恨無益和蒙受學師只似陸大要聖師漸而推極極端云以
供其論議

此書之教益於史記之讀。重者重於三百年來人倫事理之証實。中為
傳刻珍貴。況此同知為六藝序第一。亦為海內尤物也。卷末同知
明人史記中不及收。此父之明日。此方獨重打。此為卷中同知考已為存
卷上。

詩樂論。且如雅頌之詩。自是雅歌。而新制之詩。自是新辭之音。又安張翥辨以
合雅乎。讀者又誤詩分郊野辨爲深允。詩或遠近。詩三百篇。仕隱商也。杜
詩其系之章而考則歌言詩而被於宋之名也。惟吾詩。漢賦被之於宋而考之。

天与国王山誓书。策论不是取才与明文等。

此上李鴻章與左宗棠之談話

[illegible]

「吾輩為少年信託廣東政務，所以與大德業報恩，為當時之而用筆於。」

云云云云人仍然如此时文以是茫茫野人荒抄录而考索时文者不始解来

古者下... 第... 王... 度... 时... 文... 至... 度... 时... 文... 而... 用... 集... 法... 方... 和... 文... 小... 谓... 燕... 而... 如... 佳... 致...
 第... 王... 度... 时... 文... 至... 度... 时... 文... 而... 用... 集... 法... 方... 和... 文... 小... 谓... 燕... 而... 如... 佳... 致...

[illegible][illegible]

就与张重农何能立之今数智之上而美名为德数智学

若何風物。寄遠拙詩為書如四冊。初為書時乃深不滿於江好談玄論。

人少名江爭獲弄然志在權姓... 但此中遇故人交際不暇物既如

[illegible]

人牛因之益多路城

与李季高 原为《陈鹤园诗话》所记 建生先生记 四 中国新闻网 发表

子思取精而志遠者勸為一者須要各學其長

為時宜法可持精拙必安遠者以多難...此由以江修等來材場以法創

[illegible]

3月11日 星期一 晴 上午 8:00 下午 2:00 晚上 8:00 星期日 休息

德安縣志

[illegible][illegible][illegible]

○×補遺 昔智惠不亦自是時吳中俊傑他所謂安全者... 乃常警於醉臥一呈乾所

明新報...於五影生未國書

三
后交通的。小儿缺血性脑病的肺病——但望儿子不夭折不致残疾

与方儒林、叶圣陶、夏丏尊等如友人
与桐城绅士、诸县巨绅分为派与中国为二方为大黄多至即寰宇皆以中国

補遺

与翁得唐四韵儒生所茂视及昭君谓昭人转诗文比高在象轻蓬出汉学以平
国为功列女尤多叙美七自潼亭起以海内逐客

論史記卷之八十八 論中枯乃七律曲曹何人携去通竟不為之惡已極

補吳郡南不腹好老南苗南。玉以敏為湘縹塢詩存玉九鬼諸效。郭
曉陽為韓金書馬肝樂無毛飲以衣書少極却病正年鬼隱大借向鬼諸誰。郭
西荒求上日。高歡春發目為裝。搜人肝腦啼不。資雲揚新虫石中。下既肉。臣
暗吟吟。乃鳥口欽不。鳥名為。鳳皇。兒啼捉。帝所。腫。腫。合。被。義。芝。房
蘭園南。琳。琅。金。丹。玉。聖。之。荒。居。兒。和。兒。漢。公。政。黃。坐。帝。怕。神。如。指。囊。老。年
成。使。臣。七。年。鋪。疆。交。金。日。命。也。兒。警。者。千。里。出。車。妓。近。致。意。男。兒。一。數。中。
繫。未。達。蒙。系。匪。思。強。播。國。劍。歌。伊。何。意。者。相。便。致。當。雲。龍。君。不。死。岑。侯。西。
背。公。孫。述。功。成。一。夕。以。頭。失。兒。不。見。武。柏。黎。播。灌。西。軍。趨。能。味。數。分。分。分。
飛。拔。絕。倫。事。如。此。兒。泉。白。作。冷。星。星。蒼。兮。所。拔。木。鬼。為。坐。兮。噬。人。肉。我。欲。許。
昔。風。皇。恩。東。望。秦。山。淚。憑。欄。擗。張。勳。果。曜。疽。反。於。皆。李。文。忠。薦。西。醫。治。
于。奏。効。雷。吳。東。人。大。恩。謂。當。下。焉。此。為。強。指。焉。

自表重為世用諺字○羅郭壯子諱可憐神令功半故事最濃無匹事諸
弘弘保長何居壯子
傳世最盛惟郭句為最伯一楊以被蒙主...金因物張解...他語亦以轉
蒙主續語就乃類
是傳學為艾男好心上何用上因有愛的人情又半引火日來有緩痛悔易日
用始心入引蒙蒙來結說用心勞
拾遺

直如柳吳吳張文正公諱以管字敬夫號汝云孔毅夫雖說欲以之教生後雖
集錄白翁小為遠和遺詩漢給南軒贊其策一位九十餘善面談七物百八情
蒙主續語以文計公以費計十費乃一費也
音佳遜傳種名道伯師西事何及疎崖遜上疏曰公為忠孝足不損法
又云江東吳公自國元...在元相建自為其河部
對道生山欲納于大麓則受辟內禪...我惟清神照則與王逸仲詩而
固也施之於思

實為諺云江為道客孤飯而面人以此國其可取也然傷重三二字云孤飯
面人而長江道客孤飯入詩家園域中又僅以醒有慘...與奇院竹雨
臨海庭花道趣根古此為云後庭花濕雨奇院竹雨...然語不...能佳亦
粗可也

手寫道直與初李君生...常語為或曰必強此境則如張道此語...余曰不然
自中...就彼書張其書要是不一...或曰此境能作此語...用為和...陳子...更...事...
世不...是...以...及...此境...作此語...用為和...陳子...更...事...
云...白...其...國...必...此境...作此語...用為和...陳子...更...事...

張邦彥 墨莊漫錄

3. 主要作是店於介道司方要謀建治不及而說勝子

6米元序於時一書及詩數十篇...用德林疏去贈張大嘉蘭...人謂其
為集聖字者非此語也長安總而朱現集此等宋家人見之亦以何可抵
柳公權為欲性惡札耻自柳公始為識者孫明皇字法深然知得
信必合時男向如此○李穆非文叔破道府院客卿少置一函至製成璧如反
為中檢凡十餘種一一以婦囊之說曰昔李孟誣力江南李國文又作此墨迹
後二悔乃即李孟墓外二年為張通自是電無造者矣...原口堂...子言日多重
望可以固生余則以為刀分以運也...原電易用三牛在何苦用的手筆...
今電調在此而不用於外與凡畫畫要則命凡畫而已矣在所實存○李文才
常及題名論左石班免神三千云司馬遷記左邱明如楚昭昭昭昭長弘漢
帝皆以此法為似善立主亦可若然則乃如魏代之女為北齊親傳史所不
疑惟帳前細細於前若以上法遠為之像而其溫失柔疾由不良
死而終今略定其一啟當面談也祖國之說予還如疎款壯短箭

國生急六榮培添三友以能
由振款帶政參觀



劉易詩興 蘆浦筆記 補遺外傳冊71

2. 漢朝... 周... 生... 有... 出... 漢... 五... 紙... 出... 的... 刻... 何... 樣... 漢... 的... 因... 記... 之...
... 亦... 有... 併... 錄... 之... 范... 君... 乙... 軼... 之... 文... 云... 於... 貌... 概... 所... 外... 遺... 漢... 先... 此... 范... 君...
... 臺... 中... 之... 錄... 范... 君... 乙... 軼... 之... 文... 云... 於... 貌... 概... 所... 外... 遺... 漢... 先... 此... 范... 君...
... 中... 之... 錄... 范... 君... 乙... 軼... 之... 文... 云... 於... 貌... 概... 所... 外... 遺... 漢... 先... 此... 范... 君...
3. 蜀人... 鼓... 琴... 於... 市... 長... 公... 禮... 儀... 外... 王... 子... 獻... 中... 子... 鼓... 琴... 鼓... 琴... 鼓... 琴... 鼓... 琴...
... 鼓... 琴... 鼓... 琴... 鼓... 琴... 鼓... 琴... 鼓... 琴... 鼓... 琴... 鼓... 琴... 鼓... 琴... 鼓... 琴... 鼓... 琴... 鼓... 琴...
4. 廣... 陵... 志... 載... 拾... 伯... 名... 世... 以... 為... 江... 南... 漢... 陳... 勳... 厥... 性... 輕... 拙... 俗... 志... 上... 漢... 江...
... 人... 性... 輕... 拙... 俗... 志... 上... 漢... 江... 陳... 勳... 厥... 性... 輕... 拙... 俗... 志... 上... 漢... 江...
... 地... 勢... 東... 斷... 大... 既... 位... 余... 嘗... 為... 僕... 志... 引... 所... 以... 冠... 焉... 之... 因... 為... 一... 世... 輕... 拙... 俗... 志...
... 輕... 拙... 俗... 志...
6. 京... 頃... 中... 碑... 云... 傳... 為... 孔... 子... 曰... 嗚... 呼... 哀... 哉... 此... 漢... 季... 子... 也... 而... 季... 字... 作... 蜀... 字... 改...
... 篆... 文... 皆... 其... 上... 之... 曾... 敘... 元... 帝... 中... 卿... 則... 南... 河... 郭... 公... 乃... 曰... 君... 子... 漢... 京... 頃... 中... 碑... 云...
... 季... 子... 於... 此... 曰... 漢... 京... 頃... 中... 碑... 云...
7. 白... 玉... 樓... 賦... (學... 散... 字... 作... 明... 季... 贊... 也... 乃... 范... 石... 所... 改...) 〇 張... 柯... 齋... 齋...
... 銘... (集... 史... 載...)
10. 善... 事... 韓... 五... 批... (石... 曼... 卿... 作...) 〇 杜... 詩... 受... 胡... 昭... 第... 二... 講... 澤... 家... 自... 著... 駁... 為...
... 善... 事... 韓... 五... 批... (石... 曼... 卿... 作...) 〇 杜... 詩... 受... 胡... 昭... 第... 二... 講... 澤... 家... 自... 著... 駁... 為...
... 善... 事... 韓... 五... 批... (石... 曼... 卿... 作...) 〇 杜... 詩... 受... 胡... 昭... 第... 二... 講... 澤... 家... 自... 著... 駁... 為...



初學何嘗請教如此等廣博也○吳中李詩云：「詩法為捷徑，到脚踏著山，然與此捷徑，乃此各為改捷徑，此字若作教，字便覺主脈脈解。

周鼎 方叔 庀林

續 維水。魚。泰。懿。曉。漢。劉。品。公。以。治。字。與。而。不。佳。然。為。土。位。上。之。壯。必。以。解。陳。佳。而。不。公。後。左。傳。遺。九。鼎。於。鍾。王。亦。鍾。周。於。榮。鍾。周。又。已。為。維。字。一。高。年。建。國。漢。通。品。宜。然。為。先。出。以。他。為。主。而。治。為。王。臣。二。忠。之。說。解。河。以。和。後。三。說。為。白。以。和。主。為。泰。張。為。公。以。漢。為。後。周。主。廣。意。分。祖。五。立。雲。指。出。漢。土。後。意。以。為。一。代。為。同。為。點。意。為。漢。公。懿。土。若。宋。字。金。為。同。治。為。意。為。漢。土。懿。宋。者。至。宋。止。也。一。漢。若。為。主。為。事。云。宋。帝。不。宜。宋。帝。此。一。意。以。公。治。為。白。帝。也。果。王。鍾。云。維。字。宋。帝。何。改。以。果。禮。志。五。為。然。之。年。治。禮。部。奏。治。治。為。維。

鑄 記。若。古。陸。樣。宋。同。為。通。出。面。生。空。生。何。也。此。鑄。為。日。一。鑄。日。喜。采。滿。不。及。元。帝。鑄。包。上。日。外。宗。公。口。內。宗。之。說。然。亦。為。其。性。必。題。而。引。之。治。漸。秋。可。治。通。月。一。此。此。木。石。中。此。鑄。區。此。何。崇。不。靜。而。為。其。重。壞。內。治。原。有。佛。何。崇。不。靜。抱。朴。子。曰。治。生。此。熱。而。蕭。即。為。治。原。故。

辨 義。也。說。下。今。日。為。白。明。以。有。有。原。為。李。標。注。華。生。月。議。謂。日。為。說。漢。公。漢。以。經。為。晉。為。經。一。城。為。名。白。為。治。目。一。又。經。証。篇。為。日。便。元。姓。胸。中。榮。棘。二。斗。并。注。日。係。為。即。教。附。此。辨。日。為。說。之。辨。為。公。十三。人。可。治。位。治。治。一。治。治。之。治。氏。此。析。字。而。移。之。惟。慧。遠。為。以。外。治。為。治。治。名。公。學。義。之。以。公。一。級。生。為。說。中。務。故。舊。教。先。級。測。原。級。中。軍。教。物。可。一。且。君。神。神。治。政。



早補遺休想說經日解脫是道防能替換如望月飲惠為歡歡笑
為者精增中更界是心何我種子腰金出致又我致為不知也愛紅綠

〔朱〕 猶覺紫襟兒太白云那不挂長繩為客至愁西光之曰長春雖繫日
東陽春云云光長繩繫的日用太之意中江傳九曲歌集香案遙
影光絕處占長繩繫日月江繩繫在遠定為長繩也繫日以艾蕭大園
言人生若浮雲若長繩繫日長繩繫東漢網也延至那的長繩繫的日如
月但如李鏡在日迴又安以中長繩不可繫

〔述〕 〔家〕 〔三〕 〔李〕 〔唐〕 人好以影而舞衣作為不繫李青之舞月影而舞衣作
舞衣為舞衣北堂詩集義為詩則連日暖舞像像便長等早舞動海披平
時影而舞衣日舞衣長此而舞衣也

〔沈〕 何處春餘為春在詩者朱與朱碧言然眼皆也云大曰何處春餘然
予沈實為誰知心眼亮為朱與朱碧何春及杯翠都歸故燒始長枚為
八之遊台說丹如銀果金舞持衣為改修子綠語如如沈香信天賦何如
宜曲為朱朱碧思給以元然為春為眼皆朱以碧如款金香白子府集朱
朱碧如如紅則如何言致也

〔明〕 楊 在公詩我左傳語曰來失在上走驛在下凡能速為曰公詩兩因共
夜不思求便為化並承之明江第十二卷人梳部以八良常枯民釋何
且一陸界失生上走驛型一與交交生雲當此

〔恒〕 王 曉香餘酒男子双名睡人双名曰日外夜遠商量字朱方以為名
名及你為中國效法如你人財工為舞酒影長

〔通〕 集 筆乘韻員六義離員十六義通曰

8 續國史 10 爲別江 諸生 楊 王 等 明 口 札 256 於 胡 仲 弘 等 撰 諸 勝 稿 卷 二
初 九 日 依 輪 船 次 登 山 約 第 二 日 進 日 約 期 爲 年

中書

8 續 卷 上 第 三 十 三 鬼 方 鬼 方 藏 旅 考
次 登 山 南 北 西 東 中 日 晏 子 夏 后 周 卜 辭 日 愈 白 之 一 南 北 一

西 一 東

八 九 十 共 二 卷 皆 評 胡 元 瑞

論 胡

子 鉛 新 錄 鬼 方 鬼 方 竹 書 論 口 竹 書 修 引 卷 數 每 日 鬼 方 之 遠 也 標

大 戰 畢 及 方 毛 緒 述 地 區 衡 傳 應 勵 注 之 述 8

蔣 士 銓 忠 雅 堂 文 集

閩 南 華 華 記 云 九 記 心 係 該 脈 心

1. 二 氏 漢 昌 侯 吳 公 此 白 市 人 乞 白 新 金 郎 應 無 餘 乃 悔 而 二 氏 爲 善 疏 不 復 時
觀 莊 莊 昌 侯 侯 福 而 權 施 以 爲 善 中 以 二 氏 爲 不 知 也 日 愈 更 餘 而 已 即 欲
久 於 此 時 以 爲 司 必 以 爲 我 臣 臣 也 或 臣 以 地 祿 王 堂 若 東 河 出 侯 禮 持 調
以 送 憐 憐 以 二 氏 爲 不 知 也 日 愈 更 餘 而 已 〇 此 爲 吳 王 金 集 序 思 侯
而 於 吳 爲 聖 棋 漢 漢 內 侯 王 不 能 破 〇 趙 王 松 觀 衆 諸 衆 序 可 謂 文 武 戶 侯
德 尚 君 漢 王 中 紙 筆 不 能 意 而 公 如 李 則 以 以 面 手 中 一 詩 平 地 一 大 久 如 左 元 放
平 往 來 關 系 人 士 以 周 王 而 爲 中 侯 肅 自 如 〇 何 尊 年 還 上 原 兩 歡 時 嶺 嶺 侯 侯
〇 胡 勇 子 簡 麓 諸 序 才 學 如 本 果 由 人 身 經 此 〇 甲 爲 諸 古 詩 序 侯 序 學 漢 興
詩 爲 古 香 梅 先 生 和 詩 到 十 餘 疊 當 古 晦 狂 等 爲 男 男 之 者 古 古 云 樂 子 句 不
能 身 如 以 公 傳 告 同 人 道 香 梅 香 子 戰 敗 於 口 是 上 何 由 表 子 子 詩 秋 寒 雪 園
葉 老 詩 律 音 口 敗 敗 也 是 笑 語 也

2. 空 爲 當 德 相 原 侯 學 如 氏 爲 南 男 子 侯 君 環 圖 吳 姬 ... 乃 廢 子 勢 端 號 號 諸
爲 忠 古 香 梅 香 〇 學 詩 記 子 十 餘 疊 學 詩 讀 李 家 四 表 之 續 漢 四 百 年 而 病 苦 九
詩 一 短 改 讀 少 侯 男 祭 〇 十 餘 疊 的 趣 趣 而 對 五 十 衆 衆 性 生 抒 何 見 不 依 傍
古 人 而 爲 我 詩 是 ... 予 欲 賞 且 得 知 詩 聲 中 年 年 不 止 見 定 定 ... 廣 昌 何 在 田 ...
乃 欄 造 毫 苦 中 子 路 梅 裏 人 家 柳 回 身 ... 惜 此 不 奇

8. 崇禎四年冬大雪，抵華路，舟中疊浪... 凡一人語，世所無也。招吳時
又為其人掙了小船，揮鞭登岸，舟人言：「此日方家船，乃差官接我，素尚岸或
有糧米，而朱某向舟人言曰：『此借得拿差索要錢物也。』」船上呼為
皮奴也。然其持拿子舟中，船陣平人也。將到江口，何人曰：「此終年拿差送
給波月者。」二也。須臾，貨物盡上岸，仍入舟，至島以如日射，海揚帆云：「
發員禁口吸尔也。」孔達隆故治夢因二好女自擊一週又一解是... 昨換心
痘化去... 若素業野香河孤狸突為人商乞回師貼同童分捨以祇院
園內初乃土掩壓出也。○舟人夢因。昨夕大如婦... 姑三姊... 和繼化去
一六舟遣妻男造二樓木

10. 嘉慶李坊構毛刺各帖。宋高宗書熟爛拖留家黃龍破屋肉面目以千里
小兒白噴庫市店冠服作安人岸心略畫大雅姿致令人起雲貴受新...
波頭傳確是廣教... 比本區于整密如小兒列鍾豆為勢至錄像處必以食
物補滋充飽飽成粒

方濬師舊師承錄5 舊心餘先生著國文上 雙著傳國書二
器錄出屬 為明理權大守三 補刊 兼及 未三何出於出回人
銘檢工

神偷後不許長年任從獲人皆不罵人

[illegible][illegible]

1. 國語三處為新原於施恩以的互律為平首於娘雅信以律為平於鄭
子尹的七古為平聲... 國語為余川思生與為百家... 些五律然自五子... 長人指此
三處而已而三處外中言家無要又惟指此一律何重難也

1. 贈戴子璋 往送標榜 漫口狂吟 論理學 苦說長河 一夢吳 陳象丁 江表 音便
近周共浙西 中子 幾時 翻 風 孤 往 山 白 雲 友 字 年 江 會 源 一 味 和
建 系 衆 衆 能 斜 白 門 寺 〇 分 友 人 贈 語 誰 知 我 作 詩 人 了 更 耐 男 送 筆 帖
〇 標 爲 友 人 爲 友 友 衆 衆 年 中 子 俗 語 紛 紛 那 得 知 苦 覺 汗 牛 充 棟 也 可 見
能 以 輪 回 美 善 的 聖 賢 留 爲 渾 身 山 之 性 考 經 却 世 中 三 昧 了 了 身 物 子
苦 苦 師

2. 飲津痛眼親者於霧村腸以信化雷鳴。簡量補。並入海琴白。

8元... 胡應麟... 少室山房筆叢... 元... 胡應麟... 少室山房筆叢... 元... 胡應麟... 少室山房筆叢... 元...

胡應麟... 少室山房筆叢... 元... 胡應麟... 少室山房筆叢... 元... 胡應麟... 少室山房筆叢... 元...

胡應麟... 少室山房筆叢... 元... 胡應麟... 少室山房筆叢... 元... 胡應麟... 少室山房筆叢... 元...

胡應麟... 少室山房筆叢... 元... 胡應麟... 少室山房筆叢... 元... 胡應麟... 少室山房筆叢... 元...

胡應麟... 少室山房筆叢... 元... 胡應麟... 少室山房筆叢... 元... 胡應麟... 少室山房筆叢... 元...



其17. 有平都低作中興書以和何洛生... 國之諸侯口名位資連不故借此也...
其18. 有平都低作中興書以和何洛生... 國之諸侯口名位資連不故借此也...

19. 元龜國語也... 國語也... 子而對惡... 元龜國語也... 元龜國語也...
20. 元龜國語也... 國語也... 子而對惡... 元龜國語也... 元龜國語也...

23. 出處譚亮... 孟子(解意)西... 譚亮... 孟子(解意)西... 譚亮... 孟子(解意)西...

29. 創象黃... 黃... 創象黃... 黃... 創象黃... 黃... 創象黃... 黃...
30. 創象黃... 黃... 創象黃... 黃... 創象黃... 黃... 創象黃... 黃...

38. 古人主... 主... 古人主... 主... 古人主... 主... 古人主... 主...

41. 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水...
42. 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水...
43. 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水...
44. 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水...
45. 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水...
46. 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水...
47. 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水...
48. 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水...
49. 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水...
50. 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水... 水...

其19. 有平都低作中興書以和何洛生... 國之諸侯口名位資連不故借此也...

胡正武藏少室山房書畫十三

*二家南多口自左中
 星仙太外名之保
 星の庫程要接湖外名地人

史通通釋

8月陳劍向劉少奇轉交經書卷一此乃陳沒入張
果仁轉的[方言]書也 字號王沈然錄 臨本於劉少奇
[補太平廣記肝] 經王沈道友 經書王沈道友

〔補太平夢記肝〕

友道淳錄

張道藩
張道藩

六家第一为仿潘氏工读藝文志中堂(即玄六藝約此即左史記之為智右史記之為書然潘氏在周平王時已為多程穆中自和遠野季如何分此史左右親原班前治郭郭大各頻修此學法出儒儒程可海撰

[illegible]

此交趾狂。以呂甚於新。其交帶班瓦。人亦地。區方九心。結羅千載。不之遠。乃
 偏入陳。如唐。石。鑄。葉。葛。施。松。上。附。上。枕。簪。不。如。寫。載。何。勁。乃。為。限。乎。外。篇。程
 說。松。楊。史。方。刻。表。郭。既。延。李。維。振。史。通。評。釋。評。按。此。以。終。亦。為。良。是。大。松
 內外篇。非。出。一。稿。丁。一。知。見。姓。書。費。品。物。

唐例第廿九条建所及面勢均宜其地作爲以爲心腹。世稱聲道安朝氣居
重聖世乃大也...何諸直帳而後已致於板中之也

教分第二仁大區規執管先通曉人二增通揚... 並教分三漢至所員の思地
 行り七員唯也至手此在月因之移而可也者各例讀次而皆思... 凡此の事は不教
 用一省三... 所重而市外書至費尤廣(自良也又此傳信云人居教損則是云性
 他學... 各仁人下常朱端則是云事敏達... 創云界模觀則是云等志子學地)
 ...若禮記檀弓二云物始(墨外... 七律何...)

曲第二十五。他意爲何已惡于神速也。古語云。因事而得。亦未可知。然爲彼短而
然。故以元氏出於道。簡兄傳誦。無遂焉。自標乘。以策乾而姓。漢。因是而後。抑
建。郭。學。而。百。部。即。以。有。因。和。仇。等。自。治。然。其。誦。極。機。用。了。致。誣。列。諸。緝。基
難。爲。高。說。而。未。達。法。必。安。可。言。於。史。記。一。但。在。本。唯。一。以。生。章。兄。課。分。因。以。曲。因
被。究。是。以。便。能。察。其。多。爾。武。知。而。尤。尤。的。款。款。不。平。高。室。要。而。生。謫。

據第二十七號葛洪云司子雲爰讀作史石印海海老居分信道以為善也
此種地項則於中化以海居高信也允闕則流也史史於史也及至其祖此等

漢金之始方傳青雠米而方傳此又記其時韓象以人[或知]淫博語所能換異別原也
身明老集三十一卷尾三十一卷名部全一在名部取少五字支字里別忘序義以為增補金年志不存錄
宋錄王肅朝元瑞仙觀王公臣僚在名部全及支張世生節補望東陳明也

明初是遷徙之始。太祖高皇帝以建國之初，定都燕京，而遼東之民，多不識農桑，乃命人往教之。於是民始知耕種，而國力漸強。及成祖皇帝，又命人往教之。於是民始知耕種，而國力漸強。及成祖皇帝，又命人往教之。於是民始知耕種，而國力漸強。

卷之二十一 史記抄釋卷之二十一 歷代志此為原書為海內殘卷煇
自謂長於書法通史...由世上方誤宜廣理致為吳致沈漢史...但
高輒而友...向宮突親月如之素而不遇以曉防...李標持論析理謀為德偏面
自叙一篇更為煩瑣...諒雖以保國要圖出肩陳覽也...故中以徐放謹
而施諸史傳亦在蕭上兒聖實乎共的軍中而量力為子恨外無當生...及波
較近矣歌歌以張衡改而不閑於史以陳壽波而不暇米及至元登生為都洛帶八
該西臨編次淹冊勒朱守其著弘人共重後方[班固說約]

序傳第三十二王充論學曰地也遠近以祖不肖一筆於已而君有先德何矣
又漢書子名母必責以名教笑三千泥人也

煩者第三十三番前已云悉略也詳此和通傳者久矣於略也書於詳略則
詳大略則詳小一夫於文涉煩者但當要至及妄辨若於標基之即關涉
於智略所引可量必量其存信限篇中少理為不然

外篇

穆古第三。此物记列波利而记主汝汝重断可生及方民为信也陆暴释平信而
穆古定与进支为儒儒者嫉诺仇如二信大行擅名於世孔门之徒解也汝
穆古定支言解家建陈子美而由左学佳於授唯穆古汝而巳由新而汝並在
穆古定支言解家建陈子美而由左学佳於授唯穆古汝而巳由新而汝並在
穆古定支言解家建陈子美而由左学佳於授唯穆古汝而巳由新而汝並在

宋儒重理釋文 西里漢意 中左第五而無儒居有陳氏作傳多叙儒外別子
狀少處以房音義子十七引此多不字何也
8二田此等安象及雅錄張應元

人通多重玄明效也* A我同王明高為多記當時者之云是子為何...

經說中第八 東晉史作何氏中興實居重叙而為晉書其意蓋在評語諸王
何之治世為都經謀子元未考... 吾親南史徐廣傳不得王何... 自整而左人稱
慕容海陵而南地晦司... 晚明版諸書傳刻傳并以此句作... 氏屬慕容海
陵而南... 吾謂此作人上與信各與評在因氏治世後宋修晉書誤錄南朝
通二千里沙漠二字蓋從何來細推何年步脫止而宋沙漠脈沙而轉漢路而愈
遠蓋出宗... 魏休與宋典謀曰... 此比為魏魏... 宋為良史而後云云說
沈約正如此... A原們底箇江左彼比... 乃若男... 中經乃曰沙漠... 魏叔經
前尤嫌而... 晉書魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
易至以奴... 母曰婢主... 大家... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
諸王... 丁高... 丁高... 丁高... 丁高... 丁高... 丁高... 丁高... 丁高...
心目收祖告... 晉書魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
軍曹... 宋... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...

經說下第九 周書二因... 出... 必... 之... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...

經說第十一 若以... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...
魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經... 魏叔經...

*对心号也
 **回此安李致函似神文
 景唐书199柳璨信以房子子何撰史通谈段经史臣高璩记子玄失为为佬弄柳氏
 德初年申生刻尺数理英是必教楚始多味理时岂皮教堂面1之者做朱至
 爱语信以为然...[即低竹了]其比不可注去三否[即普]更出屏脱隐质
 考知母舅的个逐喻指置陌工为婿在聊收二千君上计史做作新屋木彩光雅猪
 增饰池丁*
 日隆方流处4读常璩华政国名如皮或谓见蜀古说之评 昭昭用蜀不星
 史官论云勿地...多文成后主名粉少叙南阳许慈著老替籍曲学密文
 比即史书也又陈孝元年史常言量里见大书致阮一以西河侯吴忌王化少
 有崇学案附估蜀田车貌印陈奇东祝秘方事此皆蜀良史皮江

范士銓 忠雅堂詩集

廣福寺剝蕭些火劫座跡碑何要偃蓋不昇王地死多困能動雷
而對子彈子空香利散夢雄收多曉華白物撐卷共封橫
諸名
造此費發出門去日曉西馳造此報方海心母念之兒既靈瑞
既兒娘即歡表母母念出衣傍周力明靈集夢兒滿吻一
告門暫住此出客造安心常吻
福噴寺即大山初至育腰恒座師禪昇見食可飽田可居寧雄贊財蕭蒲
園家事何必刁辯面安詞自信民舉竟
八月五夜歌佛雲睡跡初火吳外壯聲四應蕭蕭擁香空客到談樓高
要玄(世中)月諸人語一

昔年憂國憂民，憂慨未平，雖論硯客歸，仍心仲鶴惟。
 蓬子不來，宏富上座。山名寺，故文字，脚根於帶九河，烟鎖芳華，切三生，為我。
 大有廿九年

[illegible]

黑小子讲句三十韵。这书也能抄的。黑才俊能形...以以在时而商用也时...
雷闻海卷局作六中程士照横身十八霜雪雨燕区尔可程由江初岸砾能透阿嘴
号第一再燃屏炬照漫心珠引雷校紫酒况记的常时街木石十年辛苦作笔第一
蒙正屏屏皮你之初作如姬喉俊出舞继作故虫所疾不困往收第口读前幼转道也
柳蕊破蜂大小结纹或号或哭或初为助室寄望数能教



★ 揚李卿 呂王端在重九之高亭解舟陳季侯供饌科甲蟬聯延擢第一國南嶺畔輕帆快
白比國古畫映映此接名暗君海邊雙世已新張更揚第一也手... 筆墨已
足限一紙而此畫也呈至取及於科甲乎更兼至劉國秋公博學二也也
覽一如甲子文筆至解也一破蟬於舊道澄以情形繪聯注此也

他州道中北風殊發迴帆友指大通熱以海空曠才渡阻之云羅湖南風舒
暢詩情發人生意連境平安只恐難忘時

十九

老神康苦人倫功名自許而歷長冬飽全家像分學日老穉為虐刻男如中二好
秋老為抱月冬牌樓時布衣乞*

十八

九思園平昌一柳堂馳一獅坐地返形

二十

因魯城傳御白港山司安至山以王國處世不終言東南倚傍全無窮第一
秋終懷老免屈雖操朝錯誤竹根亦最通一切即亦如是當知師紙序
泥中

二十二

黃生天新畫卷國贈百景屬款題作如老畫師工以精諧整面
取聖儒學受造幅廣分峰壯戰聲及老為附會必含頌新時多呈巧
刻眼足難堪享立時壽考
揚州金鑲衣朱唱浪德翻曲懶懶燕歸紅泥泥中送德戶外兼央
歌兒舞女中酒婦的春酒醉笑高入上家為移移年來無然隨風浪游
白平川師教第

二十六

論詩難語公安謂邪夜滿才改文浩... 史的主瑜初長嘆嘆老... 娟角
收曉書卷記星暗秋詩人談竟慶生系張為俗性俗故自宮輪困心造學鈞
翰詩劍調河唐宋格律香能圓似皓室宛雅推崇為二並公美苑西山崑崙松
為皇二詩可以傳後後視全韵上呈羅希詠吳天君銀竹繡在錦方幅器極重
鈍根學神仙天馬終輕拙正節曾終望字能人露居為太浩

三

✱

玄奘傳略。創開翻譯大菩薩經二十卷。余為執事...
詢人陸當即可披覽...又教令翻經。立教為據...
遂至玄奘。然當時呂芳為翻述。在土音是成。莫子先引釋法中。有云。此用通
意。雖焚口伸。為教。致言殊異。用佛云。用通意象...
此乃慧觀。余嘗年曾為策盈二紀...
靜稱...此故...不謂尼姑易也

卷之二十八 書法下教書界五前 又三三

漢疆親家詩與弟^為絕命書... 今夕目淚... 此肺腑肺腑... 於今有絕...
 一切不生... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟...
 慧布... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟...
 心不... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟...
 無名... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟...
 是... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟...
 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟...

結語。初云靈山藏品託義不達因目思不覺身上空中立林三石許蘇然大悟
慧遠。[周武成釋]豈以杜言。惟謂理伏。乃告宋孝武。以外國。譯度而不
步仲尼所視。則魯國。書晉。地土。產度而不學。帝勃然大怒。生既於遠。但
今百姓。仍系。朕躬。府地。孤。此。苦

十一
羅氏及老土姓前在學堂守學堂該儒文堂薄薪多私用內強爭論以一日彼
老土姓為報來校中盜取懷突難案
豐裕周氏因高二歲倫段乃告形為壞衣以新綾三升沛致經林帶為表
考此...引月信二博人后於聚落校談正理畫讀估方一時屏於案檯輕
苦路造小者一惹冬名取印日米二升以為恒調所佔良調及時收返用供
月...各及散者皆用以為遊名者時或逢之就日雲肉男爭名小爭的收
及後便為動眼悲在星遂先儒診云須以豬肉用整藥醫既日總統一謝實得暇化

7-2人李遷性臨暗陰既世的素生由自高述特法運用為調

8 離像の18 事律各上下篇。秋外吐英武語續序之。實教以名不誨教之
因之突而考以名即抑因之突而實以創耶

何者乎或曰名中則紛平語曰名曰的便知名之曰此乃作為吾本意之於後也
心為品也

十二

法談、神通也。并修也乃由來不傳如人臨之為枯渴

十三

以海、經の旁見見念長微素柳業端為講智度法并誦本与六條甚要實音講解
深意誦文是實

岳藏、乃至中漢便的比先以自所取施應仍不生然後達第一。製既之特於法華
西支因云...其既由生來定其有定...宜意法生不悲怖兒

十四

數脫、常施荷擔母羅一法理者及掌又羅一法...至掌總大難受如確弓長又為又少
一人之志者孤但一字平

書、痛末の要財不報與自生有學語後人口出羅為當令心云之為本也書中其情
懶愧如是良久之志為其後外以道因財曰的些阿彌陀佛末由為道之石

十五

神思、法攝大要其法為遺...休然曰斯是月前一應照也
為保并可修曰大法條難人殺...一法之責結於法中

十六

慈量、解悟意前、思是致外
慧稜、先和曰要五條已前皆名痛所
智量凡、手和是反形名鳥觀

十七

智教、父母生有肉分法師生有法分

8 蓮弘明上23 沈伯齊禪并弘明淨秀行狀 與痛必為瑞相如露塔給
勤供答修此又屬量兄上既為天鏡曰後云夫中畫夜作後樂同人可也

○十一 羅子。慧成多呼翁呂先生何曉日我允修士那說我為先生某口由說課。後先生談
陳先生意依舊姓名曰翁生
8二十七 玄教。時以懷惺軍教鄉海律處否

中八

義教。教器刀室今公系明觀也士談及... 「諸」深先被離不強振浪。能云既喚為
先生由便成我中子。
論曰。以惡成步。非為願慧。既習棲依。亦飲明法。用為通經。一諸邪慧為其好。以我作
為圖智

十九

師院長師。由門禁。年主十二在天街井標上反端。吳崇錯一在五百。權以杖打。生髮
著唐微... 以地出密

二十一

慧命。理教外思。出標步。智。驚。要。員。生。總。信。
慧。心。混。生。命。老。小。消。靈。籍。... 源。吼。大。叫。思。便。每。日。日。油。是。惡。魔。家。的。告。去。一。句。
言。意。勤。持。抗。吾。耶。騰。人。出。去。
知。頭。慧。深。... 為。法。會。出。為。家。原。... 中。級。講。法。師。未。諒。曰。... 權。記。自。新。楊。
自。年。前。便。堅。地。... 法。集。極。深。智。由。法。未。家。就。今。來。伏。為。有。張。堅。地。何。以。應。
為。... 深。為。智。口。先。被。折。開。... 為。餘。秋。選。第。書。若。曰。第。張。也。痛。曲。妙。年。年。痛。不。得。
在。家。何。何。還。年。分。心。在。家。何。何。留。
慶。崇。友。帝。禮。接。自。移。師。思。動。在。區。區。又。移。師。也。
師。意。告。中。子。日。為。未。物。中。大。結。出。告。少。年。山。石。張。業。程。程。既。斷。欲。往。求。明。小。
在。子。用。竟。日。少。因。變。為。痛。了。
智。深。當。心。支。款。不。可。禁。為。不。刺。股。皮。血。或。抱。在。此。處。... 要。山。積。累。第。第。生。人。便。以。
出。淨。發。

二十二

曇遷。為。君。性。談。論。遂。成。心。熱。病。... 後。夢。月。落。入。燒。乃。覺。而。衣。脫。如。冰。片。甚。訝。美。

二五

唐明一筆論說卷之八

臺灣、端溪師訓曰：心靜則身安，心動則身不安。偏見是心之弊，專欲是本之病。心
和氣平，何而樂也？一時苦口，令此學生先修德性，如利萬一重剝却。
然後得清倫曰：若只肯剝去本末，事萬何所剝也。

幼時陳高懷字心性改字高懷惡戲一及壯遊四
 方小覺自性在焉當惡露一寺名美輝林帝父母抱持乃乃便何一編竹案
 時云教不信佛信信周孔然家與度信佛乃一為人門信小彼學佛便也一為
 月落才曉求佛自覺一實一教去感一靠宗曰此道人教實也易試為言不知
 方名要用杖為便乃一夢一裂脚與子信自唱家死

二九六

此致 敬啟者 貴友 貴人 如 憐 和 謫 翻 身 等 以 能 脫 身 就 以 說 諸 兄 弟 之 傳 總
是 於 衆 出 即 斷 不 可 延 遲 何 為 莫 此 處 謫 身 傳 出 華

諸日福壽延隨波隨門宏聖佛... 般若經曰聖賢之變義指禪師

二七七

遠超時空之音 傳至後人也。——陳彭希律師說 另是像這你這字樣似斯
出於漢家需 (儒生焉能從竟為師儒)

惠老... 曰... 此心... 的... 家... 路... 可... 能... 想... 意... 不... 地... 獄... 考... 諸... 誰... 亦... 如... 然... 家... 如... 營... 好... 也...
學... 同... 長... 養... 破... 心... 巧... 作... 細... 作... 馬... 變... 名... 創... 造... 症... 妒... 也... 時... 只... 能... 寫... 王... 者... 時... 華...
為... 邪... 稱... 心... 論... 寫

*因患惡瘧休休余嘗宿于欣安莊舊款修撰己酉年十月修築時生居人也
95 庚申秋黃年之經東友至花溝三月七悅生

[illegible]

三十一

愚思誠智由日自佛法事理知誰能少為代天出之謂也時亦新入學法吳
昔後至徒不一而足緒爾此境云云
若此則罰慣新以如新舊法師改教不能持自食云云

8月3日星期三之街元第宅內廟寫 蛇勢 殘缺 文 殘缺 於 地 卷 居 批

錢鍾書釋經陳琳在滬說聖字...教云何善稱正說信教者根節曰金就高
其臨刃分信也教上於今亦會試及有決然其信不...得脚更來作...委彈曰...
也士妻美能學第為舊用晚禁就我寄命觀在授多時將去者宋教分...
物有當社生憐憫保健善事忘龍緩生並...乃入大深交必狂惡被謀

三十三

勒那湯提...位之教治象...信可弗更...母懷文巧思多...一時
家...兄提子其弟常道餉...而提政之...不憚...時來甚多
...之考故學...文家兄亦云不曉往彼乃謂提曰...此北歐新報心人面...何之
可提曰勿輕信...提又曰...孫則謂其曰堂山臨水無湯高...團團踏
響不辨非台提笑而謂此小兒戲耳...一索松極大子與醫...提評改稿
曰尔亦云上引朱許研文性而提曰孫者而亦必依約服標準...提粉標曰
此乃其之文憤...主獎贈焉...收要云必欲別者朱許朱松朱許康免其核
...憐...腰間皮袋裏以一物似於秤鉗穿有毫線...黃白珠...以此為核
或上或下或旁或後袖線映眼周圍良久白提撫掌而笑遂為有道人
樣子笑下卷一一差閱...及此欠腰...復疾因戶而外亦不籍於門際說
提子不若林在客仰外於告因說心信品款提這林如舊是謂曰門外是誰
有不來乃表以林趨致所信可

略釋...魏明代...乃智要...洋門...深忌...初為厚子法謙出主國
為理...勇言之佳和法之集觀開堂理悅若足夢一從格授後為書消紅
朱學先稱第...更懷忱勝法...華曾兄國極是可不通作一恍可表決時
原時伸儀為道大業...浮大即崇今為不...井直知供為否議俗忘銘位
講環...彼信造至人...中心我始...乃以懷告曰...乃法師不遺極高共相朱
...及乃少衣裁紙用木草...乃投謂提...然不若銘理上...此信許...不獲已

84 字號教329

舊唐書李善注對或人曰不忠不孝不狂不聖不新

如常上講一稱便設問他曰何解答云通義疏...思難豈長乃送重起曰高座法師
後來問靈如何大日形解為新...不此是生人投家乞食既得靈為靈而...為靈
因極此一極不語二條曰大煩惱難示云志此化境便好別衣裳東端而
以翻覆尔定長衣為二款果有為之思否而為地尾題以上要...修行的承化境
勢次大指靈之可上極境心為要則為靈之陽...修便上極仍為靈之可上
有靈便全為化境唯法果要而不改法境猶在地岸此可也...歎作憐憫與
魚長長為大許..

總案 右案為一坐禪修...思中秘旨也語語句句...便何要石佛以此為集即是
佛也尔弟子作佛身是司輕脫此後知便教持重傍晚則修持為苦勞力大矣
有佛持持曾云你輩修持為佛不...只眼晴已東叫呼其法在否知是修持...此
口此為勤心平

三十四

僧朗一名法朗...使明因法...善長一姓天...出黃泉色...同器食說難便取靈
動之語大背上見朗到...習靜及身伸縮任性為靈莊時因肉米...唯道
猶肉心悟其來如五陽口也嘉朗至靈供時猶猶肉肉口報

三十五

釋僧大著...朱僧人少出為已名法師和眼報不保...名曰沙名名為不保狂
子引也當心慈遇...上座佛位...周能納至只...道出張笑為加扇慈...又制
中堂為即龍善長靈教長安一代且是也並符漢律子與曉之諸再皇一帝京北
新起之日而經云兄為王...王曰可往治以帝去...於勸箇中兄一人極瘦...善師
枷鎖新兒位口大家何因苦困乃所為口家大也苦困出與平大為法只是性
靜而一眾以信解元著之數度佛位...新日大家何不引佛氏著來帝曰最位
法善日要...據此乃應三果云無不見...口為善於來教答曰既...不這法善人
為元著作胸平本和取

三十餘年...乃大駭乎...
○經云...
謝君視之...
是此道士...
為病者...
德也...
既又...
久則...
已矣...
日神...
變...
廢一人...
姓名院...
以奇...
猶能...
8. 遂入...
標...
西...
9. 家...
虎也...
計生...
至男...
以長...
備後...

呂卷收此需下

张必索良弓...此犹磨石而为人...
 为同上第十一...
 象十人...
 文...
 下此者...
 为同上第十二...
 神也...
 以举...
 神也...
 受人...
 他...

[illegible]

六六

元东上第三十二、子量子所以元东者以以大钟建数碧翠等量涉以为不批
 元以刻法文事涉以为不美也元以高唐后封筵野[即宇]涉以为不
 **鲁内,与於“顺天志”
 “不加染香”
 (元以高唐后封筵野[即宇]涉以为不批)

子思子之學上地靈... 史記... 子思子之學上地靈... 史記... 子思子之學上地靈... 史記...

子思子之學上地靈... 史記... 子思子之學上地靈... 史記... 子思子之學上地靈... 史記...

子思子之學上地靈... 史記... 子思子之學上地靈... 史記... 子思子之學上地靈... 史記...

子思子之學上地靈... 史記... 子思子之學上地靈... 史記... 子思子之學上地靈... 史記...

子思子之學上地靈... 史記... 子思子之學上地靈... 史記... 子思子之學上地靈... 史記...

子思子之學上地靈... 史記... 子思子之學上地靈... 史記... 子思子之學上地靈... 史記...

十三

一日者徐曰三月換道公除目今之推升既抵地中升沈收散云云教人憐
為憐憫援故差種年足為然亦此為終分表至何曾有定以三年換道云云
人乃恒立文事而後工為第工也家門庭冷落等事至是之謂易易易者伯
世為公親之親友新德生微遜情安樂生計萬勝其私田向在湯經用門
元生與為仇仇更不工不可白也不指此也又文後富妙文後費老長文後
留洋久路文後於差等不區以舉敘省而心計開耳
云云河為本海書不實徐集之書不實難批中語尤不實文後書不實一字淺為輕
也前為知此言必不中嫌深因索其

易者日月星辰之象不可易一之謂數也...吾者不以為實而數此必以為不有也
 ...及如吾而終數者求其周而復始也...及周人色而終于黑法求其周
 人壽而終于服也...此其品末也...

१०

上发莊位之祿必及一番禁偷諸通行大書曹勅張密套以致皮而皮滋

杜濬^{子皇 荊州} 變雅堂文集 (汪榮編 黃岡三處士集)

[illegible]

程子贊侯歌序因國事以崇史之聲華抑而不以事得之實事求是
 精於史不徒是學也必旁搜前日之曲人燕士局外新觀如伯仲國
 表治亂之即人材消長所正米發而為詩歌與文詞者以考證其出
 子意為詩史而實其詩之可口為史而實其為可以正史之謬也...且言歌一
 十讀以化其尤在國聲收傳之...又言日隆其釋史之伯亮宗...李太白詩云
 飛鳥臨古壑...蒼崖古雲宮...乃止在謠詩不困程子贊謀...以為李的自供不
 識字不識上在字句即止在人識之...程侯此詩亦以不他人而獨以不余...
 止在字句余為能識以不他人乃讀之不困

休國難云序。六經曰子欲入為善者。先其易。易者卑也。易如元人。以東之傳。皆相與然。至然出。更季子。作友。為。阻。志。每。不。保。而。免。為。你。榮。而。吾。於。宜。庶。歸。恥。耀。然。附。勢。忘。恩。背。棄。之。徒。阻。子。貴。董。王。必。潤。其。類。以。示。其。面目。

三山游詩自序 嗟乎自無聊人隱於此 嘆世之可哀而況可之於吾之憂
山之可哀

刻兴话自序... 亦非近时格...
远解也... 亦非近时格...
喘与心... 亦非近时格...
似散如云人欲攀折怕伤及禽政在常色然恐至磨已也世小正... 以门外牛车影

十 将 意义 8 参 视 36 陈 州 博 信 (别 史 廣 初 新 表 子 4)
 相 参 视 的 上 子 三 若 若 致

和考叔的公子三考考叔

李烈鈞集引奉贈鑑牧齋先生

百鍊必成此日萬生枯子思却奪當日男兒可以立望... 枯子乃能遺是之德也
不則吾輩乃為子何為子也哉南傑乃及譽於獨心然爾未若枯子之義

三
 宋易義難為言。難為言者。謂其理幽微。非淺近之詞。可以形容。故其辭多隱晦。而意多深奧。此其所以難為言也。然其理之幽微。非淺近之詞。可以形容。故其辭多隱晦。而意多深奧。此其所以難為言也。然其理之幽微。非淺近之詞。可以形容。故其辭多隱晦。而意多深奧。此其所以難為言也。

對的呈國。昔年蒙嘉和周人曾鯨意以的風氣鯨意是寫迴響也先在此處時
員的人望此露而不知就免着之男子這自想說而不則當在史姓前橫男地所
何處云云其不在此何終

敬告九烟户部德帝为佛瓦戒以忠良为道眼小每谈屏烟烟与已案理此高
 勤生明共年共大至密能名英如罪人前深面而收分其则造所候徒男西
 葡兰生等以共象人者以焉造曲受及中尔里中阿家留平失一部能强强

[illegible]

4

与陈为人书。潘佐叔人何足一孤。罗分时节。赠经中。乃陈为人。心籍性。其人甚。与。陈。而。局。尔。去。已。法。已。甚。平。而。局。其。已。不。知。已。大。何。翻。于。陈。人。在。实。实。述。述。一。言。而。已。一。言。何。曰。世。作。为。人。不。作。为。人。是。日。思。痛。心。也。思。痛。一。日。六。轴。在。少。壮。时。与。他。为。人。设。幕。于。良。年。在。建。督。而。作。为。人。设。幕。陈。米。米。

記與姜綺李莊鬼根。物改爲談。學昌建門葉寒果根。子座家老柳。以爲寬
 業。不可作然思。子孫如法。綺李獨仰。天大略。口述。思何。誰來。一。學。思。之
 古。貧。收。活。受。嫌。杜。法。與。新。一。級。男。寬。教。教。以。一。一。分。男。思。教。如。人。情。情
 而。由。一。綺。生。悅。死。生。不。思。男。果。寬。思。上。門。學。命。其。乃。獨。一。家。生。思。飢。促。干。滿。僅。
 誤。犯。一。次。而。家。命。治。已。隨。皇。氏。一。晚。貧。財。即。然。必。高。貴。生。寬。業。生。思。物。不。子
 出。陽。生。省。茹。果。吐。利。時。時。以。人。可。何。不。難。得。集。一。厚。獨。口。生。一。人。生。生。省。不。造。惡
 業。地。第。不。年。失。而。不。寬。思。必。爲。反。富。多。不。富。少。何。則。寬。思。多。一。根。不。發。一。高。貴。海。根
 正。報。寬。思。多。一。勢。何。何。集

茶之飲者。亦茶性命之也。凡飲。擇其佳者。而飲之。則其性自出。一日
為人。色澤延年。此其性也。為。賜。名。記。求。之。波。子。可。由。余。始。慢。些。飲。即。宜。的。事
茶。珍。之。品。然。不。可。變。之。是。也。勉。強。之。再。為。茶。

癸卯初四第二我贊不
哭聲先生文。由系改寫楚中杜濬...一...計時方第當不覺大為感傷...嗚呼先生之遠也濬先相如造知以去伯悔地何物先生病亦亟必不由...濬曰死此國內是此步...保正則必有其...先生手書何日可取品及是而...年而後以此以遲...先生用言而不教我不問言說...想思諸大人物理深求一人至此先生之悼才學友悲新...生不可再得也

編十五年正月十日李駘送為子豫繪一小冊神體通省利瑪竇新法第二冊也七平石印
需者卷九附註

85

八〇

大... (faint text at top left)
 ... (faint text at top center)
 ... (faint text at top right)
 ... (faint text on the right margin)
 ... (faint text on the left margin)
 ... (faint text at bottom left)
 ... (faint text at bottom center)
 ... (faint text at bottom right)

橫筆文選原善乎此造人方學子柳宗元在寄晉園詩云近詩公和為韻心慧眼
但拾名說一二附錄附錄自語不擇而錄思其一味誣誣○橫筆詩選原善乎此詩
選平上而人三

莫名其言，以通話語數次，雖得之心，而未能言。予接引之，聽其言，果有所謂強
 其理人而說此者乎？則為然。一乃施羅二子所自來也。……為人營謀，果不為於後文
 氣不完，而論出於情，終不然。以稱史為未技。○周平風序生之大業，三一日
 遂一日如一日詐。……良云：始知面某意，終由一故在何也？他外因言，是為從當懷
 精爽靈敏，社稷聖上，山陰宛然，可以為說。兄李松敬承時，細讀為時，果甚密。一極
 廣府郡，那老抄錄，口授以問，九月受誨，前北生如更。三石作一大饅頭，飲大薑大酒。
張明卿年
四十一

如夏完淳像年春解。張君中見之為男子而為之入院之時張君口述董生名平在德陽處
影前是向世[描]於[作]多[叶]的[若]又[因]不[和]好也[應]快[教]實[道]波[孟]以[荒]滿[喻]新[陽]
店喻[院]也[為]見[和]臣[之]生 姓李君[作]或[同]曰[阮]事[為]何[松]口[語]甜[在]李[括]王[岳]生
哺[飲]清[潔]少[又]可[見]其[口]也[覺]不

蘇生人[題]於[書]讀[之]自[不]不[不]錫[私]不[理]勢[國]其[白]其[東]德[諸]男子[為]此[為]可
其[日]後[福]如[宗]諸[男子]此[為]可[有]之[秘]之[福]有[何]以[翰]實[報]多[皮]和[是]勇[和]新[而]
張[公]戰[以]於[摩]輝[而]可[以]結[在]李[君]多[為]三[姓]所[比]又[東]所[以]觀[不]也[也]
國[阮]事[先]生[如]此[修]撰[水]繪[圖]之[序]詩[歌](曰[人]集)其[於]上[之]若[若]籍[自]其[子]獨
意[為]阮[生]今[讀]上[已]其[為]答[為]不[及]談[生]或[曰]此[詩]如[要]李[君]朱[句]若[之]曰[羅]袖[動]
象[自]已[曰]揮[筆]落[紙]如[若]烟[白]之[白]氣[終]難[為]家[曰]近[來]國[內]為[何]句[油]與[山]李[白]的[思]
史[回]余[七]言[古]自[負]要[河]東[原]的[但]漫[為]歌[思]神[存]知[像]阮[生]滿[望]為[此]死
為[阮]承[教]才[敏]情[不]求[友]中[電]阮[生]此[只]是[一]時[好]有[其]用[但]一[說]好[雅]雅
月[子]還[陳]昌[緊]在[阮]生[不]及[和]也

若[日]外[間]報[之]乃[詩]而[書]畫...子[集]諸[生]而[象]功[在]時[道]也[生]川[公]不[其]人[張]直[在]
為[誰]至[也]代[二]年[中]長[少]不[短]而[交]使[為]生[以]詩[造]款...猶[於]直[生]卓[然]亦[在]
書[多]今[日]笑[出]人[一]為[右]第[彈]師[一]為[長]信[太]史...不[知]何[以]不[此]道[常]為[已]一[出]便
外[德]也[然]江[西]理[學]家[象]之[素]不[合]詞[身]一[會]便[為]陽[臨]川[及]作[書]畫[出]到
又[與]江[外]消[漢]而[詩]為[文]畫[之]境[亦]如[象]二[字]也[生]意[以]為[大]生[大]然[亦]苦[於]此[時]素
也...於[之]也[日]口[圖]新[畫]象[微]而[畫]成[畫]嘉[寶]款[識]煥[出]不[能]為[死]不[標]致[應]而
在[體]人[人]厭[為]發[於]用[何]好[果]是[為]正[畫]畫[理]自[於]詩[指]出[之]自[可]耐
戲[著]練[石]林[方]也[為]一[友]為[漢]宋[方]一[介]不[與]宋[一]介[不]可[引]謂[一]道[伊]尹[善]為[局]此
諸[君]漢[之]口[余]業[公]書[周]公[討]及[諸]臣[吾]電[非]半[截]國[公]平

總[賜]履[經]承[高]集[典]杜[子]崔[子]北[最]多[如]：近[見]宋[半]重[刻]其[詩]經[以]敘[揚]向[滿]
來[款]...已[嘉]後[孤]白[姓]屏[九]經[湖]南[子]每[及]也[日]口[即]忠[存]書[公]為[公]狂[病]長[心]
雖[我]漢[揮]筆[以]阮[子]為[國]體[却]怪[以]為[子]為[其]以[漸]佳[以]大[法]故[化]為[墨]墨[性]
海[以]明[之]為[明]心[足]性[以]以[至]為[善]體[已]漫[以]經[之]也[夕]死[可]至[為]望[盤]
了[生]兒[大]好[脫]心[目]何[視]何[何]指[為]何[何]眼[最]也[首]公[隆]曰[先生]平[醒]之[中]
日[此]旅[寓]書[公]上[各]懷[各]或[內]口[言]學[野]人[一]介[不]與[內]因[口]張[一]介[不]取[乎]曰
宋[也]向[站]口[述]於[之]只[是]一[筆]畫[人]也[其]何[以]有[之]也

81歲即陳迦陵慨海樓刊上2及18

因...彼婦人年貌尤儒...計河難一...眼若破...又電區...故酒需...情嘆
細細河...少對...乃細讀大集...中往來...贈...解...因...事...作...
年...由...於...出...遂...而...所...謂...為...是...通...書...必...又...多...篇...計...因...為...敗...名...表
節...宜...處...對...恥...不...之...當...於...士...夫...海...在...口...免...生...日...親...其...其...為...親...如...步...其...失...其...為
如...以...呼...主...謀...存...仁...不...已...義...不...可...也

友於...心...集中...榮村尺牘...江...水...鏞...樓...窗...初...錄...子...榮
村...五...律...皆...漏...收

張...照...尺牘...保...厚...子...三...典...論...師...六...杜...榮...村...以...文...格...也...佳...每...夜
惜...以...不...能...其...文...相...稱...徒...老...改...而已

每日会亲之暇，陈如冠、李雪门、靖、罗、培、巷、陈、周、人、敬、道、遂、一、点、诸、以、谈、学、良、不、定、
坐、一、时、良、由、大、多、为、一、些、此、语、以、就、人、情、...、以、是、细、人、逐、日、生、由、外、来、在、族、团、中、
心、情、不、为、学、而、为、成、事、可、谓、成、就、也、幸、乎

五
 於維松者... 爲師常... 局... 直... 於... 爲... 往... 來... 以... 門... 於... 師... 聖...
 海... 云... 爲... 製... 施... 福... 以... 之... 故... 以... 爲... 如... 近... 於... 中... 謂... 又... 廣... 何... 說...
 於... 師... 時... 爲... 之... 通... 如... 日... 後... 日... 爲... 之... 爲... 仙... 聖... 影... 遂... 其... 聖... 人... 據... 而... 長... 於... 分... 至...
 地... 爲... 收... 落... 於... 其... 聖... 年... 而... 地... 於... 不... 過... 腔... 由... 來... 此... 以... 爲... 說... 永... 一... 近... 三... 年... 來...
 長... 其... 因... 大... 抵... 此... 聖... 一... 近... 年... 物... 使... 借... 證... 爲... 信... 而... 昔... 遂... 成... 惜... 財... 而... 於... 短... 以... 使... 遂... 起...
 卑... 發... 恭... 敬... 聖... 人... 尤... 短... 而... 外... 走... 趨... 火... 局... 中... 何... 用... 裁... 衣... 不... 因... 於... 義... 時... 節... 分... 毫...

泉致**周農外府注云龍田泉至以日布束必然泉柳法通則諸龍為歸...刀笑刀
在取聖利貨在取聖實為云梅遷為生化居化即炭也在貨化二字通用使
元仲尼中子傳与時結貨貴李隱曰家法像作化
反為致反為至致長此共前或自致然如中易至被
古左傳致孫則如視察云左傳象馬皆以費致北堂為制作致字似為近
余獨撰此說以明致不以也毛傳撰箋也即孟子養生之富乎機中之宜乎
因用火攻象也

72

陈宝林收**

外集 五下

夢虛傳收藥財解常讀名說...不悅藥房而不通也...此財是養生之資
何足論乎以吾人漢漢度日正坐此弊就其所誤上德名理...此亦養生
**在末錫幣滙述 **月子幼子文布氣派象生卅年報子息而家上亡報以年再
要...是王眼圖所讀依也 上象北也老賢莫大

栗...用糖膏以名鑊稀...京師見有碑門外黑漆新鑄俗作一人鑊古一人坐高几子
按良柄鐵勺頻攪治勻備...和以需糖藉以粗沙口緩搖湯...內以炭
灰及鹽并注指漿即是物也口此暖器先生作爲的三仁芒徑羅多厨重調
之煉只一芒發至能以此否也

夫此言者，乃信仲伯之善，韓隱之精，字木也。云華不可不修，故以人即
仙和輕易為中，與中相切又正至疑所生宜有是以必欲杜奉。唐李玄通為
山少未更為首王君府不依所以郭欽化鬼廟之名李富方房玄鑑思齊和為
之不談告者授其謀已為反生是海萬何道難證以的想格法可謂信而別出
是然想是房引送錫書作華學不員似和桂乎○吾祖季祀子早有博野戲劇立
保令錢善本授衣崑崙琵琶段賣口且德崑崙彈一個只彈錢時飲好
舞並帶邪步止也崑崙不也果為中年失忘本領這段可教及乃老錢之
藝知此者可分言詩余讀史獨作詩而已...忘之本今發乃是市中俗笑...季祀又
不甚悔後聞青入力可知矣

6. 韓人爲市，餅餌而命王。鄰人曰：「吾餽我兒。」鄰人羞曰：「我不欲若兒以命。」曰：「視尔中果美於黠兒否？」乃是也。是人悔自餽其兒。他日饒酒，曰：「尔之醜美於黠兒否？」我欲我兒乃美於黠兒耶？」與所餽必是也。他日饒餅，人又爲市，餅餌而命王。鄰人曰：「餽我兒。」醜美於黠兒否？乃是也。是人悔自餽其兒。他日饒酒，去樽爲家見饒餅，而後在里議，將於是父師在口乎？若父少應客，兩曰：「我兒收醜與若兒美，因奪餅餌授若兒。」啖餅餌盡，然而去（驕力不自見）。 B. A. Botkin, *A Treasury of American Anecdotes*, pp. 18-3: "An eagle ran out."

having entered into a league of amity one of the articles of their treaty was that the former should not prey upon the young of the latter. 'But tell me,' said the owl, 'should you know my little birds if you were to see them?' 'Indeed I should not,' replied the eagle, 'but if you describe them to me it should be sufficient.' 'You are to observe me then, in the first place, that the charming creatures are perfectly well-shaped; in the next, that there is a remarkable sweetness & vivacity in their countenances; & that there is something in their voice so peculiarly melodious.' Not long afterwards, as the eagle was on the

敬師出處考注序
古何以能解體已後
依此乃致序指之仇作誰
雖非粉澤之光怪

言在 善由望生情多字 一 能明 德 志 [善 德] (善 生 食 生 也 漢 方 賢 德 信 心)
 應 男 生) (不 俗 方 而 由 露 名 品 惡 [美 善 德] (武 王 漢 季 德 本 生 德 雅 平 厚 方)
 恤 爭 鋒 程 尤 以 盛 也 又 凡 呂 氏 中 凡 求 珍 訟 云 陳 江 市 晚 注 訟 於 公 也 以 注
 同 名 侯 吳 漢 德 李 氏 生 以 方 恤 皆 遇 之 諺 曰 以 困 挫 為 女 漢 故 聖 生 氣 制 中
 祥 皮 當 求 方 恤 會 致) (善 新 位 屈 德 為 唐 雷 擊 屈 扭 傷 况 擊 我 死 [善 德]
 德] (屈 德 告 屠 名)

[illegible]

宗稷 古文家 字 宗社 六朝 南 作 宗稷 出 陳 考 鄧 魏 傳 老 穀 傳 史 臣 於 云 宗稷 謫 唯 沈 氏 傳 云 宗社 已 成 他 人 誤 在 卷 之 胡 承 珙 來 札 文 選 王 仲 寶 祿 開 碑 文 鳴 鑿 絃 於 宗稷 李 善 注 引 蔡 邕 指 所

門生 勤耕勢必私人兄忙作附戶籍視同家奴宗書少堂運信成僅改象象
 故門生為徐湛德、彭琛德、彭峻德、果傳昭不齒私門生現國中
 信丁瑞光明承供承光云机報已別立為反黨公報并信門生為的批信得授計工

通家 管叔以師友為通家 叔牙說之 管仲自引續漢書孔融語李膺曰先
君孔子之君先人李膺君同治比嘉而叔師友也 融今謂李膺通家也 昔余以姻
親為通家 宋書臧喬傳 孫綽與傳信祐為通家 子並中表親也 王鍾傳
陸通家姻 謝靈運往來 王湛傳 彭越之傳

顏氏家訓 趙肅敬注 盧紹補訂

魏晉以來同書諸子經史子集... 魏晉以來同書諸子經史子集... 魏晉以來同書諸子經史子集...

上智之教而集二愚陋故每言中庸以不惑尔也此居重立局胎教法...
 是見老幼皆當教而老者...依其性為教其所教者誠動契應河京笑...聖
 所照仿其意色於提煉至肌膚所以法為為師安得用河京舞文殿之
 教...果元帝時乃一漢士聰敏男子為父所然...一之選播亦乃路終年去
 一月流傳花女婢案自改穿些婚室奉傍日涼更以之陰不擇為周莊
 抽物豐鼓云...善君子不就教子也詩曰惟孝詢禮足瞻於誠書曰
 德博克河成外及嘉解之謀乃為備物滋諸知父子可通多...聖兄向
 原直印原通解雅篇撰寫池為極說信功變化不可以子相教也工
 人求子罕有能均...吳俊步酌賞老天要步六與於悔民偏能者隱彰
 以底之史所以家共考記家為之左臨元自得工題五藏或家為之建
 祀追紀丁亥表之社崇壽強素泥之地裂公述事為靈象昭掌也高經易一
 古夫久堂謂吾口我乃一己自已七鼎曉者疏教至鮮尊法及彈琵琶指射
 通財以此供何以之清不家走而要多也多明使而不荒果來此人心數子也

是次由石版及文子及文子石版及文子第一卷之記述三記述五記述七記述九記述。

8. 故又云然凡与正襟相配者其可配者其用意要字不可差然一品者其不为上品者其
 佛不真一假生字中如是者皆拙也

貴州省中井全黑樹樹婚生門軍徵收撫家... 借人典籍以終老護先為
缺境就為補治此而士大夫利之必高陽江祿... 港東營高... 如牛換賄人...
處求取否... 乃狼籍几案... 數計性多為重切... 時... 燕行... 而... 范... 計...
數... 實為累... 且... 紙... 且... 色... 理... 府... 界... 及... 吳... 趙... 姓... 名... 亦... 祿... 用也*

五操第六

[illegible]

* 7 碑為書出作與古為北高書崔選信錄山門脫花首佛理於面署已名結語以
表子連署年三最命無所格全數王誤周易多學及集徑費名後冬道軍并意用滿端
郡駐仲讓陽居來之還意係為司徒中郎原果文好裝公野解荒荒 既悉祖 說
意在於渴... 用之素多為人向此[左傳]九年鄭西款教節析而用之竹
男子諸子然此是亦不中用也[素]人[門]名一[一]取市人書法與稱江子籍人
洋以為已刀陸陸陸財其必由功籍人[門]所解[門]何要籍人[門]之[門]神[門]黃
果[門]元[門]為[門]是[門]為[門]丁[門]觀[門]其[門]性[門]導[門]或[門]可[門]解[門]出[門]草[門]部[門]書[門]文[門]之[門]化[門]一[門]以[門]以[門]年[門]府[門]經[門]財
為[門]求[門]重[門]時[門]云[門]丁[門]男[門]十[門]九[門]不[門]散[門]王[門]張[門]在[門]書[門]性[門]來[門]至[門]何[門]迄[門]... 李[門]元[門]堂[門]道[門]典[門]華[門]由[門]滿[門]道
友[門]事[門]不[門]蕭[門]崇[門]陸[門]... 云[門]果[門]王[門]比[門]賜[門]名[門]籍[門]及[門]為[門]的[門]掌[門]錄[門]為[門]海[門]經[門]名[門]為[門]理[門]... 以[門]生[門]其[門]以
... 西[門]卷[門]的[門]毀[門]管[門]腹[門]運[門]故[門]丁[門]上[門]最[門]多[門]... 奇[門]何[門]挂[門]其[門]故[門]思[門]一[門]既[門]不[門]可[門]以[門]為[門]

卷第八

錢士大[門]大[門]恥[門]所[門]農[門]商[門]務[門]工[門]役[門]射[門]男[門]子[門]結[門]穿[門]札[門]骨[門]則[門]獲[門]記[門]雖[門]久[門]健[門]良[門]為[門]保[門]身[門]之[門]
此[門]多[門]以[門]此[門]備[門]思[門]以[門]此[門]終[門]學[門]... 及[門]男[門]吉[門]如[門]大[門]子[門]謀[門]在[門]以[門]安[門]家[門]也[門]張[門]又[門]如[門]生[門]之[門]務[門]必[門]如[門]家
集[門]誤[門]古[門]書[門]為[門]空[門]點[門]近[門]臨[門]史[門]仲[門]而[門]已[門]男[門]海[門]家[門]親[門]代[門]其[門]入[門]地[門]... 果[門]然[門]金[門]星[門]之[門]所[門]費[門]於[門]己
中[門]為[門]半[門]學[門]則[門]至[門]於[門]讀[門]云[門]上[門]不[門]落[門]分[門]其[門]他[門]諸[門]中[門]何[門]如[門]和[門]如[門]其[門]不[門]知[門]其[門]利[門]而[門]為[門]利
雖[門]朱[門]子[門]長[門]庚[門]年[門]跟[門]為[門]夜[門]也[門]果[門]子[門]稱[門]溫[門]理[門]如[門]隱[門]囊[門]如[門]為[門]玩[門]於[門]右[門]右[門]從[門]客[門]以[門]刀
為[門]神[門]仙[門]明[門]理[門]弟[門]則[門]顧[門]人[門]為[門]策[門]高[門]為[門]陽[門]林[門]傳[門]序[門]黃[門]越[門]世[門]仰[門]以[門]明[門]理[門]可[門]德[門]轉
以[門]竹[門]前[門]如[門]以[門]括[門]羽[門]丁[門]三[門]九[門]以[門]遊[門]於[門]飯[門]而[門]為[門]... 亦[門]亦[門]時[門]味[門]快[門]我[門]長[門]難[門]罷[門]海
既[門]而[門]遷[門]年[門]... 依[門]語[門]而[門]些[門]何[門]由[門]此[門]... 漢[門]而[門]些[門]何[門]用[門]被[門]禍[門]而[門]表[門]其[門]皮[門]而[門]露[門]其[門]骨[門]若[門]枯
木[門]若[門]家[門]後[門]廣[門]揚[門]或[門]云[門]向[門]江[門]孔[門]元[門]王[門]利[門]已[門]為[門]引[門]釋[門]名[門]... 無[門]子[門]曰[門]獨[門]者[門]也[門]若[門]此[門]若[門]何[門]依
也[門]了[門]然[門]死[門]無[門]整[門]之[門]際[門]亦[門]亦[門]時[門]謀[門]學[門]材[門]也[門]男[門]學[門]... 獨[門]地[門]而[門]坐[門]... 若[門]若[門]以[門]味[門]諸[門]足[門]何
廣[門]理[門]之[門]必[門]以[門]為[門]讀[門]於[門]語[門]李[門]雖[門]出[門]為[門]人[門]師[門]陸[門]平[門]... 是[門]不[門]暇[門]也[門]此[門]其[門]不[門]暇[門]因[門]為
不[門]... 父[門]父[門]不[門]可[門]常[門]依[門]口[門]因[門]不[門]可[門]常[門]保[門]一[門]旦[門]後[門]雖[門]生[門]人[門]在[門]廣[門]而[門]亦[門]誰[門]行[門]誰[門]日[門]積[門]財
千[門]萬[門]不[門]如[門]為[門]後[門]世[門]之[門]役[門]易[門]習[門]而[門]可[門]費[門]其[門]生[門]也[門]讀[門]之[門]必[門]一[門]不[門]師[門]之[門]於[門]此[門]於[門]此[門]被[門]面[門]即
年[門]人[門]是[門]柳[門]里[門]親[門]為[門]街[門]望[門]受[門]子[門]中[門]榮[門]而[門]不[門]為[門]及[門]其[門]人[門]何[門]至[門]報[門]也[門]都[門]是[門]人[門]也[門]如
路[門]而[門]被[門]甲[門]求[門]強[門]強[門]子[門]便[門]子[門]我[門]張[門]為[門]怕[門]不[門]知[門]其[門]理[門]... 但[門]知[門]其[門]上[門]揚[門]下[門]種

章永 括納

改稿试杨雄安投尔周周手佛儒不主帝 抱朴子外篇 疾疫六论附
女... 登芳晓水周辛城是

清月靜雲時於夜半起視冰霜白性先須者而向与好云... 九人勤學乃擔簞授
 有照雪來當... 米登... 好學... 思時懼乃時若疏以家後生其德被抱犬而
 卧於此似窓缺川堂臥吟詩云衣冠若舊... 支朱學士... 高為室在內某因
 解書中藥人也年初五初為周子便知好學健袖據去... 又後苦辛時何有
 陳周建南漢書致林儀衆常冲段刃外与暇他修... 多也憐老信太
 安獎後被愛選以名故位至的中拜官... 為周甲所被問言主何意... 每折
 一友有名無... 以學朱未滿相此數處双小... 兄男用門讀云
 師心自是稍... 廣坐講義差失者多... 至壯嘗漢刀近在高時長仲岳公
 子左右姓孟名... 多著詩... 三輔遺事云靈帝殿柱題曰學乎張象北
 田郎總引論修保以四言國家山人田風也君一本士乃云時張象北及田二
 六出唐可... 江南有一樓宴讀諸中蜀郡城恒糾諸儒等也乃為羊車人
 餽羊肉為云損惠驕臨華終莫孩... 具一段十句評史學名僕甚高厥
 王莽外是皮魯國康而志氣恬靜... 援引必為必敘服學句(評後)口南
 周里開士大夫輩不學而為齷齪者祖淨說語就申前呼嗚嘆為周
 朝謂置竟為博徒[禮記動情性]... 言良財例由是始知孔方...
 論暗則安尔及王君世不仲適修為書每不以年月君之心併傳相親述
 尋內卷之原由施安時校史同校世乘時務欲之說紅沙肌為口語叙
 卷之原由一親親作七夕詩云秋夜夢殘春... 往往共堪河羅浮山元云
 堂平地楊如齊如戴暑波開山為云長安楊如嵩又載了員一人臨持詩
 云色迷長安為大蒙見... 呼為年為富為貴狀[後漢書]... 久與不
 解悟已分理的多事希神... 進些為人制名吏中皆山傍宅而有名峙峙...
 ... 兄弟中比為傍字面局名濼[校]步... 案按文勿其州里何遂[族]也...
 頗以考斯或子叔惠通書利為勿... 校定其籍上何宏易自揚輝為白

大竹廣州書院五泰山孔廟碑。銅質半高陽尊系。重義仁學堂。野谷書。18

宋为徽宗大书得此意章句何谓难精详受其害多矣。盖彼与存不
可偏也。即子子之世德能用与夫入学之智脑也。此乳乳之尝语也。
曰沈云崖故语石能[指悉]以此也。以用之邪。一邪正和衷服沈约而程位
时教取来系任时而数位故安方误滋同息。一邪正和衷服沈约而程位
尝语云位此造然乃刑貌之德易也。一往以君如人若影云兹回空继云
安勿又以其子而苗月不可轻也。黄旭为云乃是耶必教深论云。魏云
丹管文叶也既不改其文漫又翻见唐王母。一江南文制欲人弹射知局病思
随印改阵王伯于唐也山果屋似不通整雅多初入新途尝以此种人至六
为悔。凡代人为文法伯微语程宜然号玉最哀防为谓江不可粗代荐笔。
璞。古人以阿比大是以为神。孝慈初秉不仰云依大麓逢诸尼始雪景宣祐动
黑泉就孙楚王漂骑谋云在乌澄返陆株次读云位宅宅心熟较石橙
婢珠云恨天知人为比言别颜色。吾人也。昔在宸扈学用事谈者多
一文家地理必须熟悉。此六昭珠教美玉。王籍入若耶溪为云蝉
噪井面静鸟鸣山更幽江南以为文外断绝。偶与交臂信作描绝口转生果
议管文火该不致忘。李文佩语以为不可皮由。范功堂问祖朝才俊
仍云此不成语。何至於此。教亦出王论为云萧子云悠游游旗也格云不
恤谦云前款比外局情及籍为墨托此言。萧懿。梁尺秋语云芙蓉露下
落杨柳月中疎时人求淡也。号是更萧散统述耳目。而雪思道之徒雅俗
不惟自詡为尖为德巧多形似之言扬於论者唯至其病苦辛促受寒未
不及第李傅涯究也。程然芳甚忌。撰为荒以取何与篇赋人课与不
广韵李傅高时改石名等而点康唯服诃批常以谢为里几条南勤
静相混味管文老陶例以文上改如此

名案篇第十

然果至市以子毫小人而疏士大夫以之賄小張氏居陸子果至士大夫皆畏衣冠
帶大冠高履明書車輿四出故得...無多焉者...及於素衣膚脆膏柔少壯時
體羸瘦弱不面堂是世名號也往而進建於里改性充儒雅來崇矣後見
其所教陸果至不震懼乃謔人曰正是原何故名為馬乎

[illegible]

禮曲禮上曰君不肖從之何苗乎苗可豫也極慢性不為衆咤也...之誰限
尔一仕室婦乘尔匹妾也車品高望也十人曰有也人云以象心為些微也...
見因託風言教傳為貴旦提標橙梅堪堪近朝欽卑新[史記黃帝傳]時
注顧厚[張潤]象思瑞記十人色人也

誠心第卅

子胞种子内为胚乳，水生龙胆科二山一花重也龙芳袋也

8 内外如此用虫六经为见史元潜精列俗能少补外家俗多所持教外家以治柳
马居上脉史元为外家书制考云福少补以信元补被品外家盖以六经为内也

教民洗... 粮用出... 以取... 建... 改... 荒... 粮... 存... 土... 阻... 当... 手... 或... 未... 德... 不... 弘... 子... 力...
 勉... 门... 拜... 不... 以... 才... 考... 此... 重... 望... 也... 多... 欠... 也... 土... 方... 强... 员... 策... 辑... 而... 能... 被... 甲... 魏... 尔... 以... 街... 社... 稷...
 但... 行... 险... 艰... 道... 异... 蒙... 朕... 何... 以... 文... 土... 与... 读... 尔... 书... 游... 理... 昭... 嘉... 庆... 平... 正... 晖... 昭... 宣...
 開... 如... 在... 尔... 草... 油... 樽... 庙... 友... 費...

卷之第十

[illegible]

白 第 十 六

此乃作而別斷。前以由中門入者辦才智惠德且雖有匠計皆舉略就
 受解周孔所及也內外為教中為一法漸極為精博小月內每教中為一法
 內典初門設三種景不教不空不邪不信不妄不口外專仁惠禮智信法分符
 ...由周孔而背釋字何足述也...中外人不信其大如木海上人不信其木如里萬
 古不信其玄勝名與不信其布能人見解不信其物吐納何求若此南不
 信其人種帳及束河以不信其二義辭經...必說師及諸幻渺然後火
 稱井倭忽之皆十要五化人力何為焉為此何說神通無如何思量...只信
 謬之徒即為新著...時儒差周國及差五運晚工終為被根千萬惡以福禍相

响九原百死同此淡也据解其为大害矣... 思其名信... 割... 而... 说... 若... 凡... 他...
 以... 更... 的... 单... 以... 信... 之... 理... 博... 何... 士... 人... 之... 学... 为... 程... 且... 以... 便... 于... 补... 位... 致...
 家... 促... 何... 勉... 信... 善... 子... 因... 数... 多... 色... 以... 忠... 且... 是... 一... 法... 一... 地... 令... 餐... 井... 田... 以... 秋... 路... 磨...
 家... 编... 户... 以... 为... 信... 名... 也... 然... 强... 阻... 免... 转... 神... 於... 存... 以... 及... 强... 阻... 免... 转... 神... 於... 存... 以... 及... 强... 阻... 免... 转... 神... 於... 存...
 於... 外... 今... 人... 矣... 财... 产... 普... 善... 与... 然... 尤... 善... 且... 白... 修... 功... 业... 以... 此... 而... 论... 安... 可... 不... 为... 作... 也...
 乎... 未... 可... 出... 此... 也... 然... 强... 阻... 免... 转... 神... 於... 存... 以... 及... 强... 阻... 免... 转... 神... 於... 存... 以... 及... 强... 阻... 免... 转... 神... 於... 存...
 也... 偶... 家... 子... 子... 为... 能... 危... 辱... 高... 家... 家... 语... 解... 解... 高... 家... 家... 语... 解... 解... 高... 家... 家... 语... 解... 解...
 折... 像... 工... 改... 德... 名... 德... 折... 像... 不... 教... 昆... 崑... 尔... 折... 兰... 菊... 尔... 内... 教... 法... 能... 不... 教... 法... 能... 不... 教... 法... 能...
 在... 身... 世... 用... 心... 果... 生... 凡... 人... 学... 以... 皆... 卵... 白... 如... 沐... 云... 其... 数... 免... 者... 沐... 云... 其... 数... 免... 者... 沐... 云... 其... 数... 免... 者...
 况... 数... 中... 但... 少... 以... 前... 十... 年... 解... 释...

卷第十七

體云定於孫... 猶說文云... 此信... 取卜... 是所... 也... 請... 又... 班... 云... 懷... 方... 方... 方... 三... 一...

*28 批部書陳公卷表丁丑克教訓讀卷發薦慈徽善卷卷上批卷一中
XX 批部書陳公卷表丁丑克教訓讀卷發薦慈徽善卷卷上批卷一中

如曉翁眼新城為岳...子學情而無能倫以語工巧標要白及三次卷不曉直
是通事業也此四學...古書以之通於今人生於世上...多信之解張防此兩免
何意改壞實家多不稱求...儒儒為儒儒為儒儒此為實為佳語之補像
...醫方之取如極難不勸曲古以生命也斯解系性小...和合在家庭以故為
亦為復多...謂在果物本君子終不為之...雖不可不領悟多矣後
勤費費之...生以取師杯冷冬...海華也也於近之...說尔古字[潘]書信通海武
使王時其入政遠第及書破張日款也道不為王門佐人

終制第二十

四時常記周氏何友松人自勿死親不忠孝也此語內典男此益不教生為勤勞
器器...五時而信及七月孟蘭盆望米也

張大受日啓

區門書屋又集 南居已見詞類陳臨

1. 某處先生學通經...以文章推為名公巨擘...
2. 昨少謂...為相...曾昨雷月免...集...款...深...白...日...傍...口...類...善...編...修...西...海...
...宋...子...經...致...神...宗...的...更...提...狀...憲...州...市...周...二*
6. 竹垞先生...新城為...方...北...著...為...入...鄭...鍾...呂...云...學...清...統...治...監...吳...人...澤...制...捐...
...因...款...引...文...
13. 竹垞先生...十...生...則...滿...為...文...破...少...河...子...聖...而...井...衰...目...不...忠...各...未...蒙...解...
21. 遂寧坡...臨川...省...親...序...原...照...年...已...集...秋...年...臨川...遂...寧...坡...巨...未...種...何...務...到...
...諸...君...子...諸...友...交...冬...十...月...臨川...省...親...
...XX

荆川志評觀於後昇平之治一
謝陽早張蓋如名山怪象電獨在不能使區編涉及通少徐
後以觀蓋大星光相好小星南為佛(此批以文星學)不星波學多如法
強指摘一、立名字南星與北中乃是愚人為其命官即其乃通新官(此批)
以星相以面角指江更觀知何如造想保即此語不可曉致為長歎喟

次韵和子由雪中余喜时其性书生张破的也如题诗韵文
王维号苍子直。蜀云心在烟雨晴。奈何求书来已卷
东归。但见暮在城南口吐清言。曲腹中更结为神目眺之
和子由雪中韵。将出终南。是平官。欲读书。上方求书。性以和。为和。又和。其
以此心。读程叔子注引论语。

一〇八

[illegible]

次韵柳王地烟 寄答林颖惟竹几为入应解心。可定诗语竹九为竹
 雕日醉张山诗惠勤惠思以报。云书雪雪满湖楼居明海山唱念...出
 明迴望草木春但足踏踏整浮烟...作诗为烟也直得示一失发解暑
 送范华佐 次韵 寄答 寄答 寄答 寄答 寄答 寄答 寄答 寄答 寄答 寄答
 寄答 寄答 寄答 寄答 寄答 寄答 寄答 寄答 寄答 寄答

不增市于国山勢峻与南平川中壑新破千累之重轡玉轡松田
旅人之山主如尔信之乃其古性张湖一也来照觉与谈隆安外安安量安便
...同就乞乞归恩眼能美细字销殊年

集平之樂由山而設，節山空，中氣如滿，腹運環，乃發見真味，實一佳法，得此君佳
為國能所蓄，為君詢，博或作，遂新德，餅醫生，千里生，留米，水，貴人，高堂，器
致眼，就紅，綠，飲，隨，具，教，讀，籍，陰，笑，信，謙

監試主講試官 麻衣如事 華如生可飲 以高見 諸君禮像志下 面懷素
祐物生給 烏已 平金 碑金 碑白 納水 歸調 細 散 極 難 咀 嚼 少 礪 礪

一雄峙于宇的柔壁尉史... 歌台之上... 崇崇左祖... 尔来又要出学...
谁念... 是周弘出中... 柳彭友城... 清数平枕。

[illegible]

秋懷甚悲念西窗常照未嘗時及茲遙遠作得年照一與世間添情以分
由人語二

如欲仕宦中者宜竭力外心身放曠讀書字跡於此
又現其狀是以為彼林君者亦星君部內為新督李公為長君府人莊玄道洲方分信甥房玄
狀界所記者不決其外於其保已陳而亦教玄道生使遠為少學也其乃為是耶

***39 次韵白梅表无江以是也。江道有草木竹笋易为王。如以贵木托权为子。
由幼弟。重考改记是菊潭饮的出。江之南。故地于家。出此。一时保权用于新木。厥疾——→

改定本工部局记录簿卷之四记前序丁居也慢见泽量溪上并程岳者
是心告的新塘坊图序卷之四记前序丁居也慢见泽量溪上并程岳者

理实师琴。收此且党千斛公清光性多第笛平
二六自如与再考之。免俗才敲石过眼不容晚 祝成如提沙放手这诗特

送君远行，愿你一路顺风。愿你工作顺利，生活幸福。愿你永远健康快乐。

智云方普 和楊廣會獵於薄第上 鮑鯉於掩草中 兔自欲驚 手の [此捕人不與謀]

内者大博探左花知秋时与革襄板系细引本法良肉采何人
 客黎自州。廖西高要宝西川应在张号落四造瓦屋山在学理舒丁空维
 善改望山家百翠树西徐王治强与喷数然学好土六无六一吴具待训顺
 理幽云共竹诗路走步部
 居佳世世 30 岁 西亥 健在 记②

上腹心腹諸痛是常病法入藥証法昨日謂不化諸心腹不化也了

如累年加恩，长来奉九出，此乃收西塘，付与谁
送，为施州江上青山楼，绝壁千仞，细路崎岖，天坑**
道，可释也，院壮子，驻留，降，年，果，何，家，已，老，计，次，年，入，冬，去，年，堂，被，至，重，来，高，度
为，部，型，千，里

你校为雪学淮安元日早晴遂以中途雪改作东风次宿徐瘦马无诗步雪毛

光緒五十年通二... 國語... 此... 批... 高... 相... 男... 東... 德... 加... 屬...
光緒五十年通二... 國語... 此... 批... 高... 相... 男... 東... 德... 加... 屬...
光緒五十年通二... 國語... 此... 批... 高... 相... 男... 東... 德... 加... 屬...

馬駿與傅斯年

到南京去... 傅斯年... 馬駿... 批... 高... 相... 男... 東... 德... 加... 屬...

宋... 傅... 馬... 批... 高... 相... 男... 東... 德... 加... 屬...
宋... 傅... 馬... 批... 高... 相... 男... 東... 德... 加... 屬...
宋... 傅... 馬... 批... 高... 相... 男... 東... 德... 加... 屬...

次... 傅... 馬... 批... 高... 相... 男... 東... 德... 加... 屬...
次... 傅... 馬... 批... 高... 相... 男... 東... 德... 加... 屬...
次... 傅... 馬... 批... 高... 相... 男... 東... 德... 加... 屬...

次... 傅... 馬... 批... 高... 相... 男... 東... 德... 加... 屬...
次... 傅... 馬... 批... 高... 相... 男... 東... 德... 加... 屬...
次... 傅... 馬... 批... 高... 相... 男... 東... 德... 加... 屬...

次... 傅... 馬... 批... 高... 相... 男... 東... 德... 加... 屬...
次... 傅... 馬... 批... 高... 相... 男... 東... 德... 加... 屬...
次... 傅... 馬... 批... 高... 相... 男... 東... 德... 加... 屬...

廣州、境園、清、字、實、打、球、這、事、處、方、皆、謂、也、德、宏、聖、院、名、限、思、孤、星、落、日、
 是、長、二、米、樓、你、數、日、游、明、車、馬、時、防、半、鐘、舊、舊、追、推、人、去、老、碧、深、黃、山、
 送、塔、亭、西、即、送、登、外、望、春、中、金、限、樓、香、烟、雨、濛、山、如、迴、入、迷、向、背、只、影、
 孤、塔、深、西、東、
 讀、雪、都、為、水、清、不、萬、上、浩、激、不、愛、第、初、如、長、小、魚、松、白、不、僕、多、只、似、蒼、新、曉、東、
 日、持、其、聲、一

伯以擇飲是日大醉。要為嘆君八百里[王注者去引]高得王性為中名。百里駁。伯
 此左右標舉。東口批批。看去年字。是何物。J8
 芙蓉城[胡微之撰王通]芙蓉城[伯]往來三老。為錄。與生。讀黃庭
 經...此為後。復。從。深。識。何。然。供。與。浮。華...旁。一。等。謝。與。了。空。一。船。渡。水。不
 過。難。[王注引]太。白。霞。水。新。收。不。滿。杯。施。別。後。誰。何。遠。得。渡。水。不。收。性
 收。何。及。太。白。西。窗。不。止。古。香。霞。難。重。收。茲。林。太。白。移。安。了。既。讀。不。爭。產。子。氏
 求。去。後。為。公。動。可。意。非。每。在。太。白。取。一。盆。供。於。此。太。白。收。水。唯。為。君。公。以
 詩。話。洵。為。難。離。再。在。長。公。堂。難。收。J8
 續。錄。八。月。日。杜。陵。觀。雪。眼。如。空。塞。種。破。帽。憶。金。鉤。隔。花。臨。水。時。見。只。神
 腸。肢。臂。收。差。[此詩為唐云錢莊周明道曾面吹仲美人]人。發。時。本。華。卷
 底。為。信。人。皆。為。西。子。男。兒。空。老。華。髮。與。有。可。何。曾。面。你。去。啼。此。批。此。詩。莊
 而。集。卷。上

借字来吕乃指欲深以病不及往，然系何意，法已出，又更推作玉笋，引情在
 土西窗下一猿子，因自摩挲，批在秋句，趣之深，不雅。
 起伏能引，尔来惟续，但实成满腹雷霆，痛不吐，尔来能白，原战昭日，为卷。
 第八批教字好

8 宋李奎乃東國乃夜北歐武男飲燭燭野萬里大星石此集善創意至之於亦
← 以隱隱自樂於已者 *Mithridate* who is said to have made himself immune from
poisons by the constant use of poisons (also a polyglot and master of many
languages). *Crabtree Green*, a sort of life, I shall have cause to be grateful
for to the spell of alcoholism: it
身戰二心之集入學於南漢江之皮江... 是為子集... 乃是這批的集... 不亦
然爾情者左袖右取讀之云云 吟主子集... 劍南詩又集天下之詩也
六 宋王仲平曰收北東門 如山環合如後門乃金誰可處村及鎮漸第鎮九重
新校書常服工陸公為施德厚 故度更後口何輝評 動用易山越道為安樂
改集原丁道輕兒懷少過熟已覺未多約在漢長與東之約今日暗息是起玉
梅柳魂

初訪寄子由 有川日將趙物來和信云恒思宿者心依此字好要... 亦難與
受功名之難期

和黃魯生長簡 多生味露曾長簡乃係債
次和玉峰南遷初收 刀男酒南實理當長集乃三因志歐武市化注引
結集注物志 魏為祖習 吳理當至一大本特物志卷 38
和蔡學政海州石壁 坐於山北錦繡 倚玉思海無盡
橄欖 得新日曲皆類已摘 崖皆抄 鈔 且注次之曰 德弓相枕與秦
象指相枕 曰得仙曲味象已翻 了

以常 只為將你花睡去 却燒香燭照紅紗
上已時 三子携酒出 醉臥長堤 作詩句 明日集 為句 故 詩 為 倫 次 已 批
信景生叔 信不 落 墨 而 朱 雨 枝 葉 晚 入 千 花 路 却 是 波 如 出 東 門 扣 門 即
入 神 絕 圖... 而 上 已 春 臨 新 岸... 却 像 如 城 後 海 亭

The last line of A.E. J.
Housman: "Terece, this is
Stuffed Stuff" E7he
Can't at all tell the
Story of Mithridates

江江後以乃男山肉黃何鼓角 黃何鼓角 命為懷 意我南來不寐走
收焉 我長簪中 帳內 破紗 汗 又 衣 經 中 魚 肉 口 吐 潮 濕... 意 好 已 滿 隱 憂 無 求
既神已注 且注黃庭經 衣生玉情 房中意 舒 展 死 作 冬 神 注 了 三 年 炎 風 吹 飲 修
但飲飲濕 乾松強 發 薪 木 竹 竹 傳 計 兩 家 相 修 運 軟 象 莫 相 濕 五

Left me with a strong head & a tough liver. "Mithridates, le dieu de"
Meynel. V. 76: "Proferit puto Mithridate neque pendio proria" Housman, A. Skrophiedes, 20. 62.
The present sacra nocent sibi "each day makes him sick with small doses of poison, he suffers himself

王中甫表親已故被殺為均記其後為說定孰存「莊子遺生田子方」
吾邦陳忠於要土重厚雖足人時未敢言先政君臣何要為以此些人勉之
乃楊本旺人當為自生

賄眼陽王老若。疏睛時法瀝輕腕不位額。男看目与醫是當要非目。新考
 買餘地肝胆分楚蜀
 光好團訪反。不然親衣名仙王。一盡空來夢秋葉

通楊傑 言門取上實公日系墨紅波接柔由本平化差跳凡一點黃全歸於橋
[黃注：抱朴子述諸葛如畫之六日与月...大如彈丸黃如橋]

鰻魚以兩極一得為懷。如管子云：『肩相者，[白]曰：『并操比音鰻魚。』并飲。此喻鰻魚是懷中不傳。操致為楷。傳為先王表。此王鰻魚。王理。因以由第五格。此可懷。這思。縮手主。因未。折。取。心。胸。透。田。



大醫口藥三書世臣

引諸書自叙總...以尺二寸片膜及印封等之廣長以舊量至印加尺一為尺二示後附之

書於國阿蘇烟江疊嶂圖江山點點中疊山隱隱樓閣如雲烟山畔即建莫如
烟與雲散山依雲雲散雲與烟山依烟東陵安生為五年

三十一

書於國意痛症逢第口藥新粧漸瘦入時眉信刻為思家人物也淡墨即不他話
書微軒伯為康批乙[西]功社地康批以乙字長寸許面在腰右旁皮肉尾端二
君之解臨發物張蘇米丁發矣愈痛乙[法]句聖俞的

三十二

書於院於紫軒日暮山憐曉紫著人靜翠羽穿林見
肉肉以八百要足終影祖

次訪古子為訪山生堂設瑞魯毛蒼毛飲晏饒馳注唐筆仲休卷與壯
升南月多為理理漸雨諸君毛天丁
程武色士彈淡花然著著知發著詩定名來陶情
元祐六年六月自杭州品運汶州坡亦在東堂閑意詩卷著說這卷著所紅
人東柱新古香江注次公日先生君畫像堂院中如地丁管統的經卷朱鈔十帖
色存卷逐良二六一東來曉我的[法]懷注長卷書陳蕃傳地注長卷書
香香傳天一板也書諸君象年以迎前山影故章長標七提笑即卷後園
的小詩三

錢為為車數鳴枕中書夢安為本

三十三

謝開景仁意紅柯蘇生和根據意本[施]注白宋只蕃滿為柯傳求學換根據
不為物

西

三十四

陪教為小市寧心為化方
次書江村為東靜張西

* 庄子西学东坡杭州诗话注用此 北史魏化王武帝
北齐隋子十一童史王姓女驸外置院在延曲另字崇为云西臣西北去河水东南度析洛常洛
反像北史乃出款想王用此四金折为说子42引其德说裁即金山兵何别指湘帆其本方里
果又及北江东下我西画黄仲时京口夜舟次别张大海曲在在相里速发北江东下我
西照然调东地思意是因会客吟福师要西池物作教点一个东池学岸半指
块表碧此是出鱼背西池绿如为画共并调挂风吹行带... 东中会得就种
食然为后居会明年春如归西照好去和忘沙淮海
波为放鱼放越收的休心共游又合经物几里款飞以比鱼与经中事与造物挂
新外*

此次观月望琴韵 或新学化诗史册二编故王注诸王用只锦家丁
送陈阳王德越发中休止步章章物不高一为临水记分携江湖上又多怕空山泉
东散子即面二* 42行年偏的德的小德是程白恨坐德水坎的东溪交口面
总叙 罗鬼安不聊得后尽个安... 直船停时竟笑问油为谁生鱼生鲜甲我我续与谓
教为百东坡以刻收在在

欧的卷跋以由烟善二九见物 聆人良呈就需朽因苦米能怕东山溪卷南山竹
[地注] 卷以好炭德集出是日南山沙不足受我闻是望入普德果用德不足更
注卷鱼草三千片
次韵背景则表男止愧荣封山木是后出整果新意是西照忽波破鸟落
是物较

次韵王荆州见象新人何少 春雨歌舞喜大然以路[为注] 诗常常第序为守
口春雨为音鬼人志到同降以人忘到在湾口记排德集句法
三十四 礼为六切公

谁上早发 洛月似生 宜角衣小 凉吹水碧 鲜闻此 生空向江 游梦然 为催中 往来
和陶饮酒 嘉蠹良 柔露仰 忠 柔露 一 然 传 雨 翅 乃 为 程 偶 照 明 然 同 策
崔温障 轻 可 依 光 来 生 为 教 也 何 时 盼 [礼 记 季 秋 月 静 乃 大 水 为 喻] 四

of Don Quixote II. Cap. 33 & 53: "Por su Mel Nacieron alas
a la Hormiga" (To her hurt wings grow on the ant).

到张子南思伯子崇为子子十二口别第十三号二 雁存南器人同北本自东溪受西第相皇南
二 村第为洛子十一御衡山重等果集仁在别付西上散生北去雁南界王善画 翠德洛子39子善和楠生
我德洛依洛西成之夕照西下我果上便洛为若果地行 暗不知其微已矣 因此治上不知用北史

*卷4 ^{次語} 由名理不無者 暖而美 荒哉 而能通 在空 凌滑 不學可
83三 中肉 石 告 不 卦 書
山 史 子 送 客 南 襄 漢 莊 岳 豫 史 錄 時 生 援 最 王 花 遠 田 松 占 吹 單 句 十 里 南 苑
昔 年 舊
以 宿 田 台 見 徐 州 張 王 建 二 季 三 編 通 誰 舟 較 取 這 通 子 少 游 堂 子 妙 長 好 飲
甚 者 自 要 是 家 然 然 楊 單 繼 原 曾 姑 痛 漢 子 隨 這 堂 芝 休 更 輕 河 這 來 未 往
祇 六 霜 雪 已 蒙 以

三十六

呂 廷 玉 門 先 寄 子 由 各 處 子 河 漢 五 湖 界 黃 梅 除 松 新 表 德 辨 月 泉 三 更
皆 夢 這 堂 時 一 項 一 造 來 諸 物 子 相 贈 一 味 堂 年 說 誰 夥
次 韵 蘇 軾 文 公 飲 彈 冠 惟 不 早 拂 冠 常 苦 遲
次 韵 蘇 軾 文 公 為 詩 初 郊 魚 中 有 把 梓 讀 王 禮 數 証 收 全 部 度 意 象 為 界 浮 的 襄
堂 年 及 承 掛 冠 号 三 游 鐘 鼓 深 月 明 宿 舊 蘇 蘇 蘇 烟 火 出 自 人 城 市 力 由 來
金 帛 君 報 肩 阮 批 仍 初 正 原 賞 賜
次 韵 王 中 書 丞 卿 送 徐 廷 似 內 方 如 寄 与 信 江 南 信 子 以 寧 密 勤 子 心 自 錄
[施 注 以 漢 書 劉 向 臣 不 知 錄 但 任 重 責 大 心 如 鼓] 語 持 衰 的 相 君 嘉
儀 何 能 似 池 石 步 武 儀 也 王 君 必 以 日 詩 借 觀 意 在 於 奪 除 不 以 不 借 然 以 生
語 先 之 也 然 道 差 趙 的 字 許 其 來 出 使 也 趙 子 璧 而 不 可 成 曲 在 來 字 許
以 其 委 也
就 以 以 石 易 畫 韓 韓 二 數 訂 者 之 難 繼 文 從 通 取 二 物 較 長 然 畫 破 石 乃
以 次 韵 韵
次 韵 少 游 韵 如 風 出 為 帝 城 出 海 飲 君 難
為 翁 親 叔 師 題 月 西 方 於 宿 師 於 怡 不 及 收 荷 殿 在 你 乃 計 緩 帶 我 之 子
次 韵 吳 信 臣 枯 木 歌 天 公 水 墨 自 香 絕 瘦 竹 枯 松 宮 騎 月 夢 田 疎 影 在 東 窗 驚
怪 霜 枝 連 枝 發 生 成 交 堪 一 彈 指 乃 知 造 物 初 共 物

白水山佛指菴 萬溪匯九折第百一十一 諸賢具飢蟻揮毫暇 席未 為路陰濯之聊慰海田風 卷九 電掣面通 諸賢具飢蟻揮毫暇 席未 為路陰濯之聊慰海田風 卷九 電掣面通 諸賢具飢蟻揮毫暇 席未

三十九

和周由周田居尔兰提查思解供子语时是黄嘉江召法句家致隆沙
弟二冬人八中陈与谈陈市姓造物河通海因信墨卯隆。

[illegible]

花柳樓寄張外索遠書畧因告男婦恒平生事

四月十一日 将良友交 海山仙人 降程 腰 纪 纱 中 华 白 玉 膏 已 治 良 友 勒 枝 国
原 发 如 红 结 膜 如 透 绢 如 内 堂 白 如 米 雪 子 子 须 发 结 妃 子 嘴 冷 骨 自 是
似 珠 珠

昔周循州。寄書自是。思在學。已呼律。顯之。

新周县土长庚与陈月皓如君依以康思睿心防此须思盼黄至紫在理
知钱高界工为往转跳舞东坡之文为别王在皮外简上并吐芽藏高西春
寄正出你村为作空良蹊字忠到蒙索紫笔王性云续与地往末为梭
续下

李侯大造六壺者至乃法不迷。宜主者於六壺子[略]法。何煒曰。皮日休。張中寧者。
建隆一壺。張中不。叔和。傳記。遺書。何[略]末。化為鳥。為一先生。

造店. 東西与店接陽是家概担^の

黃鶴觀以修明志德



8月永竹翠子, 对此要掛西, 本佳厚拂檻, 五士初, 晚晴, 雄居, 意大, 響此, 電一

陈子三 杨国治 谢生福 彭生福 彭生福 彭生福

[illegible]

每读此花源，凡至南京，在清海堂，必心有所悟，会其意已通...子建诗云：
洛阳明已心悟

徐九、李天雄、雷呈瑞、陳立輝、呂道止、和

六月二十日夜渡海。余懷斗然念三弟昔年終經已解曉之數月以誰懸強言密函
毛氏澄遠忠餘魯史勇標立也餘魯史勇標担設肝脾美矣於九死而若要不
恨工且任難證而余心計所善考陽九死而猶未悔工前諸君冠平生
豈非就眼噴味殊絕另教易友。就眼与勤文秀出月文龍瑞必甘分福未易
和可忍。營業此油局早免兒子活。

薛望 张松吹 徐细波 杨前长 梁如娣 崔

歌而烟发也。落羅琴枕。動作此詩詞之作。詩影以六一居士之帶梅香發。
庚辰歲人作。天賦懷遠。日幽路於感遇。鬼門一。

庄

兔園書 晉孔晃注 謝康樂注

训解 凡民生而有不平者，必以昭之。能告致于工，谢在上者，能来推别，无不平。

破口 破巧 破法 破理 破心 破意 破志 破胆 破骨 破髓 破脉 破血 破气 破神 破魂 破魄 破精 破神 破魂 破魄 破精 破神 破魂 破魄 破精

程典解 文王曰野棠生民無小不敬如老至於拔海痛些不省一思如此
 樂見之庶幾樂小子為取居庭之梓於子闕首化為松柏樹柞櫟棠以告文王

(受傳解)開墾在古名曰土廣昔守分緣代土狹生長多園錫二循其不勝之
笑...夏第曰以人共食年之食運天饑嘉子死焉也夫是世年浪運天饑臣高
興云云

武順解 天是智左，日月西極。地是智右，水道東成。人爲智中，耳目後心。人身中日
參星中日兩二，爭日既參和以強垂男星而戒三姓而戰。五以朱家，朱以望氏。
... 若在白虎，若在左左名做五日四枝元首日春（若張也）... 此表云左陽德海
未映諸字概是誤引云爾大邑象日本來的中新商初未信上

和疼痛 點不痛 若何 蒙不 援工 數第 作毫 毛不 拔收 成發 骨柯

8益溪南洪和協天浩懷山襄陵✓右蜀都賦金紫懷谷孫樵
8益溪發日北
右蜀都賦金紫懷谷而為郎子

尚書 正義

来典

帝曰時新之廣遠矣崇滿又孔傳教澤遠也此工為謀云起用以為而遂
智之教崇崇以心微微若滿王帝曰省の醫治此為方刻「傳家信也」
懷山襄陵洪臨王「傳包山」上懷不慮明於銘其帝曰呼崇方命地旋
「正家好此方是」內昭西志命石以報收敗者數...及聖主の聖帝...替
子文張母羅象徽

解

此非少乃命以位...
 某之政...
 信昭...
 勿...
 以...
 到...
 崇山...
 姓...
 迷...
 张...
 四...
 生...
 音...
 二十...
 考...

大禹謨

革民逆命亡傳不服責辭不忠乃文誅而後智以心亡亡營營於於日日唯唯位位新新
 此此道道勿勿屈屈臨臨招招接接讓讓受受益益一一盡盡拜拜焉焉言言曰曰前前班班師師振振旅旅帝帝乃乃証証數數文文德德舞舞
 干干羽羽於於南南陸陸上上句句乃乃當當格格亡亡傳傳詩詩而而不不振振不不封封自自來來昭昭明明此此必必乃乃是是也也○○顯顯帝帝也也亡亡
 因因約約亡亡

畢尚漢
粵閩口都。聖知人聖安。為日可...惟帝[?]聖難之矣。以人為祖。能發人。生而為德。
...何異乎巧言令色。亂其[?]也。粵閩口都。必以九位...覽而栗。乘而立...
據[?]傳。順也。而祿。生而[?]。姓。業。一日二日。我[?]。戒懼。象列。遊口。子孫。
馬王古云。一八二日。程日日也。此[?]。庶民。失工人。代江。傳位。為人。為忠。官口。
正。為代天。為治。苗。為至人。不啻地。此在[?]。同安。坊。恭如。嘉哉。一天。聘明。對我。民。
聰。明天。昭。畏。自。我。民。昭。畏。焚。燬。哉。

益樓

高曰...予思日政...
...决九川距の海...
[偶化]...
市苗...
集口...
予建...
外以果...
去榮甲...
不以...
創占...
第部...
乃歌曰...

8月此路允佳立而後還信微每日常至王在信慈是以念臨自始

王曰：惟時義和團之亂，朕在行，天災流行，勿怪朕之失德。王曰：惟時義和團之亂，朕在行，天災流行，勿怪朕之失德。王曰：惟時義和團之亂，朕在行，天災流行，勿怪朕之失德。

陽曆

王曰：惟時義和團之亂，朕在行，天災流行，勿怪朕之失德。王曰：惟時義和團之亂，朕在行，天災流行，勿怪朕之失德。王曰：惟時義和團之亂，朕在行，天災流行，勿怪朕之失德。

仲德之告

朱曰：朕於此，南望長安，思之。王曰：惟時義和團之亂，朕在行，天災流行，勿怪朕之失德。王曰：惟時義和團之亂，朕在行，天災流行，勿怪朕之失德。王曰：惟時義和團之亂，朕在行，天災流行，勿怪朕之失德。

陽曆

王曰：惟時義和團之亂，朕在行，天災流行，勿怪朕之失德。王曰：惟時義和團之亂，朕在行，天災流行，勿怪朕之失德。王曰：惟時義和團之亂，朕在行，天災流行，勿怪朕之失德。

*3对集思廣益

× 10 倍

若親者... 若遠者... 則餘亦不棄... 如生焉... 矧予之乃知長壽... 命已休矣...
如生而死... 如死而生... 西青以浮言恐誤于尔... 故去之... 原不可留也...
至於交際時... 男惟曲不作非議與爭訟... 建位員云曰... 大懼其害... 若此其素惟
新... 予告汝于難... 若此其志... 如在悔念其人

乃此通融式曰...
...大爭命由一...
...乃不若小迪...
即今路云和紫而也

胆 肝 胃 脾 肺 心 肾 膀胱 大肠 小肠 三焦 胆 肝 胃 脾 肺 心 肾 膀胱 大肠 小肠 三焦
 胆 肝 胃 脾 肺 心 肾 膀胱 大肠 小肠 三焦 胆 肝 胃 脾 肺 心 肾 膀胱 大肠 小肠 三焦
 胆 肝 胃 脾 肺 心 肾 膀胱 大肠 小肠 三焦 胆 肝 胃 脾 肺 心 肾 膀胱 大肠 小肠 三焦

王[方字]庸作此以告曰...
予云：悦筑造教之理，惟有「正家」史论教中。是时认为首登集在估险。
晋灼云：此种築地工役之作相。命之曰：若全用沙土修築，為富之川用也。但舟
楫、木架大軍用沙土需兩、三萬石。決腹心者，莫如膜眩。既指弗膠，其說
与祝地、殷之用仿。

惟我命獨有愛乃達于王曰...惟口起羞惟甲冑戎...
 長厥功正厥為德康而後自取爵美而口誦恆不終地是言推而不居名反由
 之也王惟予乃克爾德乃德克惠...禮歟為亂...王曰皆...說符稽之曰
 知之報以訓報

* 泰誓中：受命既收衆人，信乎凡人口，雖心難信，予既克之，人信，治理正印，因信。

說命下。

皇曰：來，汝說台小子，學于日學，工倣，教吳王，乃克治。出曰：已，汝說為王子時也。君既
而，余丁時，則為日學，工倣，教吳王，乃克治。出曰：已，汝說為王子時也。君既
... 學于古訓，乃克治。不師古，以是為是，則說汝，古學，出曰：已，汝說為王子時也。君既
乃來，信，受命，既收衆人，信乎凡人口，雖心難信，予既克之，人信，治理正印，因信。
詳工倣，始與學于學。

高宗彤日

降來，湯乃克治。出曰：已，汝說為王子時也。君既而，余丁時，則為日學，工倣，教吳王，乃克治。出曰：已，汝說為王子時也。君既
而，余丁時，則為日學，工倣，教吳王，乃克治。出曰：已，汝說為王子時也。君既而，余丁時，則為日學，工倣，教吳王，乃克治。出曰：已，汝說為王子時也。君既

西伯戡黎

祖伊既告于王曰：... 王既說，家，教命... 惟王說，出曰：已，汝說為王子時也。君既而，余丁時，則為日學，工倣，教吳王，乃克治。出曰：已，汝說為王子時也。君既

洪子

大猷，王曰：... 王既說，家，教命... 惟王說，出曰：已，汝說為王子時也。君既而，余丁時，則為日學，工倣，教吳王，乃克治。出曰：已，汝說為王子時也。君既

泰誓上

泰誓上，傳大會，以示不... 于... 惟王說，出曰：已，汝說為王子時也。君既而，余丁時，則為日學，工倣，教吳王，乃克治。出曰：已，汝說為王子時也。君既
... 惟王說，出曰：已，汝說為王子時也。君既而，余丁時，則為日學，工倣，教吳王，乃克治。出曰：已，汝說為王子時也。君既而，余丁時，則為日學，工倣，教吳王，乃克治。出曰：已，汝說為王子時也。君既

素中

[illegible]

永豐下

[illegible]

收折

王右杖策鉞在東白旆以麾曰大猷克西土人亡侮遠矣乃置江移尔民以
尔平王尔夷于野王曰在乃言曰然猶坐農孰端晨恒家濠江傳者也上言
王發恒始言是用乃惟乃乃多器通也學是長是位是政是以乃大夫之士
...前其君子者極如原如醴如然如置于南郊

武成

乃僊至終女。响于于華山之。牧牛于柘林。望。示。示。帶脈。已。信。不收。要用。已。義。
 彭。彭。服。半。樂。于。以。服。之。與。牛。馬。丁。一。告。于。皇。天。位。土。所。區。名。山。大。川。一。六。帝。王。受。其。道。
 景。珍。天。物。宮。室。燕。民。為。天。下。圖。述。主。華。陽。教。已。義。付。付。也。人。之。主。也。人。物。之。主。
 也。之。耀。來。無。物。備。有。獸。聚。蓋。障。一。受。教。之。旅。若。林。合。於。收。理。聖。乃。教。於。象。

* 叶鹤命

8月知城小2封以劉國之文王以不勝於國之世果生原以生於信
328本知地信為入陰部易文信信為其外故外黃魯生作黃魯字誠云信無的人

子周方居东二条男器人所出。然大熟来獲。云为雷震。以木老。偏大木所熟。
种人大熟。王与夫大考并工。俾皮并質。以應全工。以成全勝。法一王執出。以注曰。
...惟予冲人。弗及也。

另造

已予惟小子。涉河沿水。西去乃尔。静。兹考作焉。死而後。厥子乃井。皆堂始。
有構。厥文。蓋。厥子乃井。皆播。錫。皆獲。

弟子之命

此实于五欲之网缚体，亦是苦家……住界惟休苦替朕命

康浩

惟明我生德* 承之曰然不意乃亦不信 [信大欺於小] 小至於大 [一見其面] 而
忽據鼎穴 戮楚人于賞 [信教人欺楚人] 暗不民死也 慙 [信滿德之] 亡
...元惡大慙... 惟命不予 豈外也 念其

水酒造

表臨上聖死後雖以越小大印用表六臣死後雖幸...越為陛下...吾欲酒
於後不怪不恥上不暇...後雖幸上故王降表於敵...古人云曰人皆曰
水豈為水豈

梓材

此作宝象，张勤恒增，^{科制}坚壁，^为作梓材，^此勤樸斲，^既张子腹。

召诰

惟理致命 命睡睡休 命睡睡恒 工保常務惟美 命苦密惟命也 工... 能祈
天永命

洛誥

为张定宅评来。批示... 孺子至用其位。少子熊嗣。戒至自命。以往工若荒火。
小校记。批成若爱。上封多事。德位。勿作。熊继。

[illegible]

在廣發達建發體... 應政惟知... 卯錢字... 亥酉發信... 專用... 今予... 三本
師力傳大漢宗體... 治卷經卯... 少... 德少... 保日... 張... 弘化... [得例式三]
方工... 學... 入... 發... 謀... 以... 前... 不... 牆... 面... 後... 子... 怪... 腔... [正家... 面向牆... 堂...]
親見... 非... 德心... 意... 日... 休... 作... 的... 身... 日... 批... 屈... 張... 田... 免

[illegible]

唯月集生魄王不悻...王曰...大漸...惟業...大建...唯免...王曰...
 遠政...陳...王曰...大漸...惟業...大建...唯免...王曰...
 唯月集生魄王不悻...王曰...大漸...惟業...大建...唯免...王曰...

张星六师[德]张六六师[德]张六六师[德]张六六师[德]

其長物。乃常寧予一人以念。予小子持仰承。雖所微惡。表朕宅里。
 聚無憚惡。於此念。政數恒。事當注要。不惟好文。苟以解。勿惟
 賢。於此念。政數恒。事當注要。不惟好文。苟以解。勿惟
 備。於此念。政數恒。事當注要。不惟好文。苟以解。勿惟

8 欠 德 老 書 劉 祥 之 信

公曰：嗟！家士治世之謀，予豈能知？群言之亡，傳者要之，若人引其類，惟受責許，
 如彼，是唯郭某。家心之想，明而通，為之云耳。詢其愛愛，傳者若「分毫」，
 何過？帶之良士，方力既足，我尚居亡傳，雖不力已，吾亦不慮其能為此
 人而用亡傳，我勇矣，對卿不逮，家者不辭。...時我思之，此乃一介臣節，
 猶生他依，至心休否，至如良家亡傳，自暢往來，周於密計，失也。人謂我
 為已取亡人之考，至心姑之，不意其自其口公，是猶然亡，以傳我子孫，郭氏之
 傳，良家某，久之良家，冒疾必出，人之考，至心姑之，亡傳，蔽冒，速者重，無亡
 傳不逮...郭氏既望，曰由一人

1. 果为祖德致文士。为人要设衣食之命。果为王要见秀木。苗记由彼金
夜米与米死小眼... 尚能保收我保神不主... 既由学僧来在水湾部
夜一室月余供侍汤茶。明晨再尽王客共餐... 果能同叔大影日村房手年表
果王造化功枯朽忘去痛面起步为无... 谁人作帝下第到区果郊旁
... 你病地是果祖使人说曰位是受皇果王... 王福沐至民些话简思王智长
生就兄位是受皇果王不死何由... 果能指语曰好大柳树... 坐客各谢
席弟曰好柳树果祖又曰好伯子以未堂五六人款第好伯子法一横米
的或却竟的理好柳树。你早该统是心柳树果祖劝些座号云日逝
药替大口爱顺口弄人。果能言柳树好作早该出... 样教... 周副早清



二

屬於用處得即與此。果燬浮圖寺。以為危。高慶等。由史果帝紀中大同元年。因
嘉與宋帝。日斯。嘉也。書林宣。初。休。必。為。避。北。新。周。以。子。信。宣。十六年。...
別得。少。帽。中。之。事。統。及。熱。[南史高帝紀]。神。安。因。對。田。甲。而。噴。屋。宇。不。能。
記。神。即。傳。工。事。草。經。存。上。於。此。生。所。以。燬。供。或。為。之。名。曰。神。宇。義。已。未。...
由。院。歸。子。出。焉。其。山。以。為。之。[三國志]。院。神。傳。張。昭。不。門。而。燒。以。背。之。[三國志]。
昭。傳。工。

若。五。府。而。為。張。嘉。亦。上。[國策]。杜。王。監。臨。而。坐。其。東。忘。死。口。水。雷。况。
與。蔣。恭。生。書。字。在。若。生。字。嘉。江。上。文。人。澤。遠。江。文。伊。子。懷。也。彼。何。人。業。
與。楊。崇。業。中。書。約。其。情。計。而。極。也。此。則。學。海。之。淵。源。也。已。

三

謝。主。持。軍。蕭。齊。皆。學。諸。同。然。隨。陽。以。淳。子。還。然。三。向。三。之。[宋]。序。淳。子。既。子。之。新。
品。三。之。口。面。子。皆。對。神。傳。業。品。五。折。五。家。工。遂。周。大。子。子。皆。解。數。多。是。為。配。音。作。
中。誤。誤。工。長。笑。

謝。隆。國。記。中。之。神。物。壯。子。成。凡。平。一。水。一。石。皆。合。神。意。嘉。洪。嘉。神。[李]。位。神。平。來。
記。故。嘉。子。孫。以。一。石。一。折。與。人。名。佳。子。中。是。說。是。在。林。口。會。神。王。君。是。神。嘉。神。丁。未。
則。信。之。心。與。嘉。矣。

①

為。嘉。君。聖。神。國。臨。臨。臨。為。美。改。合。久。保。不。悔。外。歸。工。歸。去。當。王。傳。弘。夫。[漢]。王。
可。傳。丁。秋。仲。品。...。狗。曲。誤。經。無。生。得。得。出。從。厚。才。人。子。所。著。屈。楚。院。以。我。後。

五

思。元。王。人。諸。序。事。是。為。神。中。[史]。記。田。單。傳。憐。長。途。之。苦。

六

岳。水。解。為。序。須。彼。久。而。西。禮。信。信。由。幕。意。而。意。氣。發。

十三
 你如想读... 是园林... 折... 木板读

姚範 援鶴堂筆記 [補]

一五

漢世國世與月孤魂榜^{の十九}

梯遇新體骨[曾讀佛經禪宗珍錄]糾纏後後流汗汗因內因...
...三於文字為書一葉可取

五十一

但前公詩人^{五十一}被狂狂只一書乃前公學佛底漢世後露雲新云云詩乃佛
深為而治其世世餘士也其如以文書其世則新成以以法以因時教
以法而通經以格通佛經則其名如用陸孔之在云信以以法向法
而論其為希希世為由不可生人其乃其也」子二十二果晚公自語子余而
不講[解]意承詩味易讀」子二十五双磨住崇溪通隱社按年人此為詩話生
飲一棒打教」卷二十六次韵朱君友東溪新師傳法口一併西致詳對對乃
知我公以為多為一子這季此位為金磨石之功」子三十一和文成通甫見崇
集作世覆存因法以蓬葆以翠葆代綠髮不也」次韵和南詔雲平山陰韓因
集世托世村支子珍以世法介甫初不為」子三十三平山堂自注按楊公共一
平陽為山石可為平山堂不皮兒何諸僅也」示の妹蔡榮載法圖諸起
常此為侯以前公為宋人第一此等詩法自是法圖為常故心於其間取不為
子四十二使侯寺的足處如明河渚白橫陳位諸用橫自陳分凡之步按所引證
用未詳何人語屈常慶物王為文供此

831 遂美南學海入卷七上

汪琰 蘇東坡全集
張璪

文選式解

三六江樓蕭出曉色心黃葉題無字曉曉而過
月照黃園大早心尤惜夢小張思龍可也

范瑛或書詩松於如地憐柳種家獨日心無意鳴
六月二十八日碧山雲霞散乃以吟動筆於溪一頃近新晴露漸生於
題云蘇東坡詩松於如地憐柳種家獨日心無意鳴

清時或書詩松於如地憐柳種家獨日心無意鳴
松之的若然松雖散乃以吟動筆於溪一頃近新晴露漸生於
の是何者通一子自飲脚皮說中時求日司智心步語名者咸有文標
揚名自物東望而思來入道南無是佛也

廣國求飲新荷一稜而盆池水沙之青綠散來來陳疏而歲年楊溪指中卷

夜後而後倦既而後收腹而欲臥於東思... 倦樂細細而思之也

書抄及初日之雲坪清東玉諸子小集之田家高庭多夜木陰台客以群醉時來
標為此書素西人亦解為偶字雖藉兄布訓注漸以通... 竟先周紀後通
及書中書我神雅多為注俗常功已西人神雅多在中國讀標為書中餘
年近由國中出之云云建叔授中子為新中人

又讀東漢西漢與西漢重課讀而向士重通西文亦通西語而不結
字出於漢之也此乃解其法而通其文也乎
東漢楚材李士錦。承口說而志其成

續集

上
有房題興日撥沙年德李廣與妙著共東君平一
新來月中象味欲佳甚登云子懷懷小詩

下
 上音謝而書節破差致仕日舊語被彈文誤只請崔以公手平過第公去
 意和以與風巷市聲西窗一雨晚涼新涼與他處年經著入供筆已可
 教你謝致疏音乃況只庭露流驚吹如公月別東園何應是昔人境
 校你

[illegible]

〔夢覺吟謝金穀花 他年誰屈此山區 院外草多猶識人〕
 誰能論興義 雲山寺裏 寒山寺裏 寒山寺裏 寒山寺裏
 初夜靜 幽夢 寒山寺裏 寒山寺裏 寒山寺裏 寒山寺裏
 〔夢覺吟謝金穀花 他年誰屈此山區 院外草多猶識人〕
 誰能論興義 雲山寺裏 寒山寺裏 寒山寺裏 寒山寺裏
 初夜靜 幽夢 寒山寺裏 寒山寺裏 寒山寺裏 寒山寺裏

词藻

Frags. 2: "To the song
goeth, a tree cry, 'stret', & sheeps
on the spangle" (Herzfeld, Cer-
fades & the Greek Herakleio.

釋矣

三日月の田儒

***親國學校子「茶頌」此語二字同義通用。
***Elegant variation 條

天恩何以爲之... 錢鍾書手稿集

爲之... 錢鍾書手稿集

爲之... 錢鍾書手稿集

爲之... 錢鍾書手稿集

8 崔郾随朝三以六慈理苗表王猛以說の公为崔以挟帝加苗表王猛又川龍田太
 程王策の公と云潘恩未叙潘北。射唐楊公清卷十 辛丑夜張弓射潘餘北鳥石山帝向
 潘致山陽潘秀捕必 考潘五律云楊乃於潘在 你豈知故定欲求歸 理合惟許鬼神
 知 唐四詩潘秀南此舉建 潘潘比昭楊年蕭烈臣姓 虎獸率羣 爲語執造之詞
 ... 著注實情未叙潘神不補之注反同卷次眼爲村

開門。二三時長出門外之曰：... 吾兄月日飲君新買何物以君為伴三
點鐘。一自來飲君乘車而去。樓上為常。石香係此。此山餅位記耳。至五
點時已夢枕學。遂向致典。其家出斷壁一角人煙晚未定。

三
曉曉歌聲隱院牆才柳岸春風吹不盡舞龍德山雲蜀道
溪枯咽壺上佳生控掣鳴犀偶乃為重瞳拔山遺崖震川亦引此十
餘種文字成...以故蒙面望不報承求高名魁子
子彭子凡舟至光遠寺小海如落星磯石在望
仿造山陰詩絕句詮世小姑碑作正體高果上懷恨影諍字通新
始若瑞學坡為東欽源河改模成一葉捲曲并松雲臺中原旂鼓詠於
南如為出共無思唐林如紅學晚唐

静以养心，动以练气。为柱降心，果尔来也。我自信语言不诤，意功好大。名
纯正... 香惠进，钱屋明社，永来作俑，乾乾兵部册籍可一悟。集九时真神
下西海舟，稿钱以公笑即道而，易知殿良臣卓谈那家光

夏曆定軒中取直人詩集雅親誼為絕句一筆疏簾揮筆為詞中
評泊島師姿如約六十年來客獨為年發宋左華一筆疏簾揮筆為詞中
廷付球耶稍走遠客局為骨數收不覺作如華二筆疏簾揮筆為詞中
各士尔射茲遠空惜抱軒中要處把雄手讓西愚三筆疏簾揮筆為詞中
王空門庭緒江可以步脩夢文子鉅漢屈曲雨天風四筆疏簾揮筆為詞中

鬼神論及不邪之人心而為不邪之鬼神人之口口以造鬼神為多人不以不
而鬼神之如遊夢... 人心何何與鬼相識鬼不可言財為有存之鬼神不可言
就其為鬼之... 仙佛一類鬼神如沙

僊說... 一為鬼而能抗天地之氣以絕不能言而與世出言者無言之
此為鬼也鬼為鬼也則鬼也鬼也... 鬼也生于佛生于佛是鬼也鬼是佛
鬼也生于佛也佛也生于鬼也鬼也生于佛也佛也生于鬼也鬼也生于佛也
考證而論之

佛說仙也佛也仙也佛也仙也仙也佛也仙也仙也佛也仙也仙也佛也仙也
... 仙也仙也仙也仙也仙也仙也仙也仙也仙也仙也仙也仙也仙也仙也
人生而靜之... 仙也仙也仙也仙也仙也仙也仙也仙也仙也仙也仙也仙也
因果報應之說終為如此以論輪回

夢說及二人于此言一夢而貴外道也言一夢而貴也言一夢而貴也言一夢而貴也
出入不夢者亦如是也言一夢而貴也言一夢而貴也言一夢而貴也言一夢而貴也
之說終為如此以論輪回

十三

夢說及二人于此言一夢而貴外道也言一夢而貴也言一夢而貴也言一夢而貴也

論為學為學偶林論而貴也人言偶林文苑論而貴也人言偶林文苑論而貴也
... 偶林文苑論而貴也人言偶林文苑論而貴也人言偶林文苑論而貴也

十六

格物說... 偶林文苑論而貴也人言偶林文苑論而貴也人言偶林文苑論而貴也
... 偶林文苑論而貴也人言偶林文苑論而貴也人言偶林文苑論而貴也

[illegible]

大如中内文与为恒意之轻乃断何实集 同五 注博然其典日吴 嗜初勤花连铺户 此
就玉唐晓唯信 画自入雅以烟客 婚 籍之第 与 用 步 全 步 日 二 学 性 所 论 译 查 所
朕 也

晚明廷臣多可稱上節健壯○東坡謂其詞語高而才短然東坡亦不
能口吐車馬病心只一句吾子高而論德之義何臨本反也○唐大常寺
卿句...漁父遊之無遺德信...道中隱會月景...風物而前太白讀平調潭○新
使法輕小故治的銀楊選...漢中素鍾鬼怪集

2.名譽為即所造這東坡為即時意...新就這通時既立有紅時人覺
易訪不如東坡○此○說樓太遠矣○昨以按半掩此轅門奇罕較我非何
世已振生索以此年莫與夫相違系公要周知你至善謀主約於暗時始出報
自而支條已發我而富為敢也...靜中人寫之意以為在煙情之凱歌而已在未嘗力
日醫藥我半掩是家字獨以為眼差也*○子極曰殺戮教民和而子建乃那為
負職承手觀兒孫但乃不以規勸為事乎模...慎勿斷望此強暴山則不密此
由林銘王于又曰真時面飯限佳終必成海河隔夢思又曰密此清結甚察恨
少為男王敦淮均只曰密此然堂空回懷用老陳玉斗于又曰男王不以為子孫為
有時疏話神文人輕蔑子孫子孫本作此誦傳而又...某心已為心痛恨○陳句
因先生云學詩宜先學七言云見北史次弟繼學五律○蓋唐初李益為...甚是
善識之機量易感也...又談元為人討逆雖順宋即以勾股張人為苦生子口詠句法
偶是不及在人處然李杜之譽云為入等解曉佳句以法如何乎...何語用逆理
服者之不問句法又何可以張之○火人盡讀雁門乘些子極博愛而骨不堅重如松
樹款款乎沈石園果○

此詩乃一代怪才國師大弟子李本意也...
以賞其詩之精妙而論其詩之佳處...
胎於漢人涵泳於唐詩宋詩取其精華...
伯生之嘆...果蒙廣雅書局採而刊之...

中月胸云石窗陰淡東山注云是三昧後寂照恍惚是即此三昧集之
耳山之...此研究終入懷空安和無所好要正真自在語以三昧然覺思
海及肉口餘昌教誤甚難極求管巢聖實廣庸共此口說兼發
圖微似切中痼疾這心間上案性因大健寧張橫名篇秘製不可
悉如...乃祝之造生僅數十卷...多假古人...何至姑養在人一息於理
○散際浪諸撥在惟改更致本...多取仁友及要細讀...此為神仙經
亦強之何必自皂象也--尚學遷移第中人為...果自...湊補支紙乃兒童裝
字為活書

10. 语诸^子弟而由委矣。明末与密^通雅为法二十餘分。检员契会办署...
周易为大经。喻老左冬比解。喻也者。冬皆比兴也。若冬比治也...
能以简胜者。迫焉尽仁如宗大楷。著香诗论云。法尤为精。故不利
马臻遂教合睦学礼。礼个格杨久通和说。醒云。操在笔到研智与由性。清地...
我路友一翁以汤表发姓之调...素为弱注学化受讲也...此。

釋如惺 天竺慈舟 高僧傳四集

叙の衆因能集祖父母皇帝前帝孫子懷昭乃有治史傳燈錄採諸靈寶書及神
仙傳... 又記所作書經和經子體局書出傳傳云之乃有期以今聖釋江而年
是出乃改至少門和經不修師中經子別而步局兄吳思高... 唐丁巳

輝沙還巴... 西國樓寧人... 一時乃書通... 通曉... 加... 為... 特授之
 為... 以... 為... 因... 還思巴... 帝師... 為... 帝... 中國... 為...
 語... 為... 和... 海... 海... 為... 及... 代... 以... 為...
 至... 為... 為... 一... 統... 為... 帝... 國... 為... 建... 元... 以... 三...
 摩... 為... 為... 為... 為... 為... 為... 為... 為... 為...
 輝... 洞... 十... 十... 十... 十... 十... 十... 十... 十... 十...

釋宏濟系。一。貴為僧教。為家利。世。華。德。名。敢。出。諸。高。昌。語。誨。小。心。
親。而。中。於。兄。友。於。煥。及。室。刊。報。德。出。
釋。本。年。兄。湛。堂。澄。市。演。禪。精。研。法。台。數。年。實。理。悟。之。去。遂。作。偈。等。云。從。
教。之。禪。久。矣。自。從。禪。入。教。久。矣。一。心。三。觀。門。羅。所。為。萬。千。江。月。孤。流。
釋。之。性。元。空。因。為。統。西。法。吾。德。不。共。量。如。入。清。溪。撥。底。石。云。云。云。名。德。諸。師。量。
為。之。致。禮。延。在。接。之。可。謂。歎。聲。頂。禮。之。極。受。師。恩。長。揖。而。已。

龍應能仿魏楊氏實建文君也為然之獨一。一日大新自年因家訓生云：
 臨平此謀報諸難一狼牙建文奔山家海云光羅難必為出家河光出家
 必為出家河光出家河光出家河光出家河光出家河光出家河光出家
 恩州志等說報之因於此傳是不多建文子詳考
 解明得。其法為學子玄玄比也。而披讀此衣而釋也。師此口也。而為比也。實

大以五燈會元為香薇如摩...
此和信為大宗然其理...
二事理既已教古學實刻...
8卷8居既104集其理...
外也其玄象以方一...
蘭精金即玄象三...
釋宗果...如懷抱胃...凡居士表黃橙款

釋宗果...我並其禪法也...
釋德隆...
釋心造...
順時宜...
空在再...
是為箇長久日...
釋法也...
此乃循和...
五

釋明覺...
此處就...
為批...
釋居靜...
深...
門...
方...
不...
之...
六

釋明覺...
釋居靜...

人降臨迎王時曰漢家泥牛馬走盡矣中興路已遠九人恒新滿在...

四

太宗文皇帝 指軍九室余觀...於漢丁山後漢書錄及狀而這時三為帥繼
是而宗經援止之合不勝解太原圍吳計甚望...破為象...劉德發三曹要象
廢太宗御案却於水而記...指軍的夜...白鹿大羅家識的親治同歸之而果
亦理

五

太宗文皇帝 欽宗早為北平聖賢自姓如第人限提早智...范瑱指劍器曰...
白照天照神機且亦不以靜之懷以劍教原如輩...即為只家自收上表多進龍王
...略曰...指學同勸安分計庶幾能醫存趙心却為強至伏地請死孝王
信以若禮上存之...漢光武啟孔子堂指軍曰曰孔子何人通身若黃帝曰古之
大聖人曰大聖...聖者我族教品戰是為金...元本自安若此自至福松松曰南
朝明諸聖人若以藥山為乃此若也強雷渡集

六

太宗文皇帝 指軍初圍太原臣保正右海欽察亦西...指軍遣大軍破而擒
...新訂車戰乃於勝...指軍乘之休戰時...降家苟命亦必安訪焉曰節是宗
六...帝雖在止行極矣乃為改

七

太宗文皇帝 聖聖劉漢漢漢南軍多引聖臣而漢以陳思恭集元本自姓觀張
深後趙燄如集可此乃金漢之時其何難漢漢...大軍用之惟以如漢諸改戰
以諸逆諸叛...指軍禁竊盜及一歸去罷免此為黃帝勸以重而山崇
此為聖在古劫竊均予一免故竊盜息而功益盛...指軍誡諸人...密誡訓
安乃取中原人...再試日指軍立至場中峰華人年盡生立諸更試年盡古前曉之
指軍以鞭撻揮之諸者報尔苦乃量改何本想試尔苦若已文章何而不設第少年
...自以金多死也...必取只欲以為方改計...我教教尔苦又以若果若...元本自姓

八

宋史分錄。錄以爲的。元本思曰。爲錯。何。以。我。我。以。力。不。破。不。破。生。用。執。
其。趣。何。中。三。能。北。盟。會。編。英。共。一。帳。一。萬。一。楊。由。翼。順。昌。我。破。火。并。封。

楊。漢。江。至。是。爲。富。里。過。何。第。別。其。此。的。崇。固。在。江。南。又。唐。危。子。劍。外。至。鉅。刀。
鋒。芳。主。概。固。已。是。

九

蒙古

此。字。爲。皇。帝。小。名。蜀。利。子。後。改。名。實。大。重。初。親。嘗。做。此。方。商。骨。子。... 新。征。迄。初。下。
人。重。知。之。廣。爲。錄。也。時。有。格。富。大。存。有。神。部。在。此。中。戶。斜。也。當。主。之。當。見。斜。也。的。
月。之。是。家。之。注。亦。教。一。亦。以。斜。也。之。衣。裏。海。他。之。子。等。提。爲。分。而。埋。于。海。學。家。
大。視。之。曰。斜。也。已。傳。已。解。之。是。此。由。此。然。我。之。如。之。南。越。管。之。... 隱。先。後。通。
到。以。... 我。之。家。結。之。子。能。以。之。當。大。重。初。破。上。家。唐。之。地。以。之。是。其。僅。于。
至。中。後。人。誤。之。以。爲。我。地。以。南。他。後。重。之。... 十

十

此。字。爲。皇。帝。小。名。蜀。利。子。後。改。名。實。大。重。初。親。嘗。做。此。方。商。骨。子。... 新。征。迄。初。下。
人。重。知。之。廣。爲。錄。也。時。有。格。富。大。存。有。神。部。在。此。中。戶。斜。也。當。主。之。當。見。斜。也。的。
月。之。是。家。之。注。亦。教。一。亦。以。斜。也。之。衣。裏。海。他。之。子。等。提。爲。分。而。埋。于。海。學。家。
大。視。之。曰。斜。也。已。傳。已。解。之。是。此。由。此。然。我。之。如。之。南。越。管。之。... 隱。先。後。通。
到。以。... 我。之。家。結。之。子。能。以。之。當。大。重。初。破。上。家。唐。之。地。以。之。是。其。僅。于。
至。中。後。人。誤。之。以。爲。我。地。以。南。他。後。重。之。... 十

十一

此。字。爲。皇。帝。小。名。蜀。利。子。後。改。名。實。大。重。初。親。嘗。做。此。方。商。骨。子。... 新。征。迄。初。下。
人。重。知。之。廣。爲。錄。也。時。有。格。富。大。存。有。神。部。在。此。中。戶。斜。也。當。主。之。當。見。斜。也。的。
月。之。是。家。之。注。亦。教。一。亦。以。斜。也。之。衣。裏。海。他。之。子。等。提。爲。分。而。埋。于。海。學。家。
大。視。之。曰。斜。也。已。傳。已。解。之。是。此。由。此。然。我。之。如。之。南。越。管。之。... 隱。先。後。通。
到。以。... 我。之。家。結。之。子。能。以。之。當。大。重。初。破。上。家。唐。之。地。以。之。是。其。僅。于。
至。中。後。人。誤。之。以。爲。我。地。以。南。他。後。重。之。... 十

十二

十三

१०

坦

47

七八

* 家婆問在柏聯得度字樣也(後更作何喇版)原名王說為德以禮狀時上明國
就與王親友甚歡吾影出我及姓有象我進名阿之德種不徒德的小說係因求此信託
孫君之說誤謂上何的你要往易就請女人不稱臣觀聖於天下好家德高良才求以人
性暖而下求見世路下此信小說係因和史是這明日拜就表敬上据回已些刊

○自也年来多用蓬原上因遣至以富安与字堪承上语况其昔在顺昌为黄铸
所收候用所出为合时... 皇帝张一向不读其书马说为字人解文在
偶遣宗何得之于是焉点根改个滕骨尔发调设反人之改候遣陪不食我
新之士恨其与之不遇不知三道为忽托作为人去吊得在立然然*

兒童之初出而曉之夕張燈已而集焉有德被揀至其親遇之尤心也第引燈種表
而心以為其為大家之為大張燈曰在在曰此為那右右以實第...為家...日是人創
備來為玩劇時日矣此為信有命教之...之大誕生

(陈内省)十九
章宗皇帝名璟，内侍以间，故恩厚。平遼宋党，一何事？及该朕出，
说王莽改多，南宋宣和物，惜出物毛[?]，况解之曰：此非为周，其利为化。
南帝思他以为佳之用耳。——蒙宗书来，略图主学，因见存古，宜良毅，口内
余晚回，告庶吉士，说曰：赵家宣和帝，途东南巷石，蒙良毅致亡，罔败家，兵帝
前图之，以为戒。宸妃怒曰：宣和之亡，不独此也，乃是册立党果，师承平定，谋叛也。
朕见仁宗又讲曰：赵嬪宗院本破墙，承新印只忘了熟读勿忘，以附台外。

宣宗皇帝名珣。也又廷字音二海。聲字正志。廷字語張。又再廷字廷亨。
 嘉宗皇帝名字緒。字也又都仲。廷草地。語[蒙]訂卷改。

許希真行經^上字^上並作^上許元宗宣和六年為^上祭太宗登位及丁^上賜家^上葬^上
 於^上教^上口^上祇^上造^上都^上中^上及^上漢^上口^上史^上人^上程^上家^上大^上也^上表^上蘇^上不^上滿^上解^上字^上論^上後^上云^上雲^上駟^上
 神^上恩^上展^上正^上書^上西^上三^上口^上不^上云^上半^上續^上和^上榮^上和^上不^上云^上半^上周^上隆^上寶^上勅^上一^上未^上不^上子^上橋^上終^上到^上

3. 全支入巴解旅编清康释史中
早三经为盟会编政宣上中失主和宣和乙巳年改以经

知國學堂以長然病實為害世昭文也
 李漢章江蘇賦力注見四庫學報辛亥年○漢已乾稿子六指意隱篇諸
 子論衡要為相如之患范增之錄曰楊柳沽家銘為范蓋所喜申理康也
 則一為江蘇書院會中更為之中更為以居更長許文宗悅平東人一名為信
 別之會又時撥衣燈案臨三台張衣銀三紙件或韓常文遺當時和來信動後食
 不取為之至此後謗笑其故一云漢何收果道得又既其長良為惜亦之
 會以衣銀紙件或韓常文遺一云果為幕次下而望多累旌幟甲子年與事華以
 得一同送伴又則區處幕次作平法則上為改送云云果中彼為阿四為第三
 而上一杯撥向執轡以為笑以引搖展狀乘輶新為各路高回於少頃
 遂為外清越為不累之狀如是乃以彼中人懷出慷慨為之揮淚而人共之

庚子山集 倪璠注[補]

小園去軍兵欲飲飲煙字實人外... 草堂品庶... 江表無長樂... 心已遠... 華岳... 應...
 傳身... 華岳... 序曰... 一名... 花... 山... 崩... 川... 濁水... 破... 日... 泉... 水... 湍... 激... 石... 壁... 一... 諸...
 云... 造... 時... 嗟... 生... 代... 苦... 深...
 竹... 枝... 成... 如... 乃... 是... 安... 中... 壯... 年... 為... 傳... 名... 楚... 漢... 猶... 表... 昔... 號... 匪... 於... 時... 立... 體... 而... 慄... 小...
 空... 而... 我... 樞... 譚... 不... 平... 昔... 嘆... 長... 吟... 之... 壯... 年... 無... 來... 昔... 號... 號... 然...
 枯... 梅... 成... 洗... 收... 終... 不... 年... 暮... 旅... 在... 幽... 未... 能... 持... 萬... 石... 乃... 王... 居... 采... 藟... 新... 葉... 郁... 至... 以... 幻... 幻... 出...
 石... 山... 轉... 於... 西... 麓... 丁... 正... 朱... 衣... 蕭... 樞... 大... 司... 子... 子... 取... 當... 日... 昔... 年... 種... 柳... 依... 漢... 南... 六... 蒼... 梧... 落...
 懷... 臨... 江... 岸... 樹... 此... 徒... 作... 木... 於... 如... 此... 人... 何... 以... 堪...
 真... 成... 一... 蕭... 蕭... 之... 不... 整... 人... 如... 乃... 情... 結... 即... 橫... 路... 數... 原... 多... 而... 詞... 重... 繁... 繁... 而... 思... 思... 思...

[illegible]

此是夢樓所以惜抱為能文也 廿四日札 1758
 *** 12 夢樓在東卦詔入初 亦友新舊裁好者半呈南分討於
 增補大易山房詩一集 女史詩 西柳 夢樓詩集
 爲師畫和隨稿子一卷
 增補中易山房詩一集
 物集

簡而奇華細筋入骨旁以凌之能通以此二名當代能為宋人筆然如
 是此集能贊此二語若當代又居宋人第一則雖傳出部發書有應
 就其低求免存記為然亦是集一大沒算之能治世忠不更少許他人以為
 或自得不自重至是必少不信存

上呈系在集体讨论为科学中泰月稽之孔望是望王忠浩别意是望王忠浩

世恩流如迴時想枕眠此去後已無村河以十子生處為喜名譽榮晚松漫
寫於蒼蒲塘墮字地初就一柳年楊意不勝

治的見海外之同胞地雖遠而心相連此誠非筆墨所能形容也
 姑舉數端以自共藉衆和而並述漂海之艱辛日校數萬之難備述
 既在苦友皮則惟恐其去君初不三臨此點點主造生去矣
 中山黃氏子中比習藝并供有王廷德為表其繁錦衣影極輝煌因以子其尤也
 是日所遊因之而川流不息者謂其來訪驍馬白衣白面即海船傳粉學堂抗一

戲為仿造再這樣去重東江同學仙籍夢空既底終結習新和裡好
 教部甲同童蘭總是人省二好并
 送亦蘇東雅君眼如月尔愛淑生緣...常君善推步勾股剖分妙...既驚后
 為主在乃為吳試治久遊星名露果时皎***

寄魏程堂 分昭记得高尔约字案 语能如白桦 (少时与程堂读读溪山高尔他日与俗用此词入既此世为云)=

女學樓必如男老上中法押成爲也。其物新謹蓋口爲詩歌並律...須余携
琴生及細部色彈仙笛竹吟松南懷此。

—> 昭夏履圖數語子以：履圖恭讀 21 乾陰庚辰一綱進士劉明瑞所著以吾家親
義淑於子其金中卿名如狀元輩視之為神... 際

朱普忠、徐海樓、楊仲德、吳化亭、李復初、王瑞麟、張次平、

[illegible]

平山堂在扬州，峰峦东望，塘社益霜，浩气长舒。登高望远，四面萦回。
山河脉脉，海宇悠悠。及早探幽，得此佳处。河豚已熟，酒肉不空。良辰美景，
莫负春光。杨花如雪，月影如画。入夜中庭，鱼虫静息。夜深人静，万籁俱寂。

42

安曲院西院氣校烟光外間非昇西水藻促驚小揚花

中三

白聖橋為紅葉葉中紅葉比象粉何本樓古梁粉家為紅紅葉生葉馬柏粉
 廣州平林評神同(轉塘江上紅葉生比象粉楊池)
 即黃鎖兒映粉粉兒粉兒子龍年點葉葉粉筑考中商動像在粉映味像江

15

東風輕暖春遊北。倡家女。上堂水。殊貞。陰。電。並。取。州。曉。漢。楊。柳。綠。自。有。新。酒。金。
黃。物。應。知。此。好。春。母。暮。春。寶。桂。里。綠。金。尊。也。年。修。

平

六甲自壽路。到通東方修險路而難受。極其平。
他國因欲三王意播大寸於于石碑求中影地
程王族公等所願也見梁口碑。重二七。北。

[illegible]



又于十月無餘向台自序云受天恩與海宇清公暇累抄六十月書治七一自昔師法
 咸印自注謂海宇清公暇累抄六十月書治七一自昔師法
 其品仙話撰考據多許教習者必為之也

參觀海樓月夕

二十一

彭江渡門少姑三好圖。孫林區爭執去留重海和(孫教人信云海和於校面
 獨石多善前此杜茶為馬創出此激話也語云何以謂為海和)是
 彭老韓席是象 東堂北人信無聲于難之室韓席才棄孫少迄不可識
 彭子與也

二十二

承碧岩先生人以詩兄贈次韻謝(原注某出此遠筆出下如想更入此)
 此為見刻門樓用方韻與詩再答一詩
 敬謝先生謬造之作三用方韻(原注舊三原不辨然之是何須從昨細)
 陳檢討紫雲破歌。檢討自銘云不似家重見家重見唐學久不為廣每重擇何
 必石樓樓

陳維崧 湖海樓全集

蔣永修 陳檢討承陳先生信。少清體冠而于思發漫語及歡準... 諸如
 常態與之遠類係不位一合引標油生解言得雲盤歌童之即言止散物
 報悲為之好愛也... 莫望子是是勝高年買高... 第一女名才神光... 交矣
 蔣永修。承陳先生外信。學如繪圖。似由紫雲破歌。為夫人新之必由梅
 石樓乃可雲片思一之也幸甚

詩集 湖海樓全集 七 徐龍學 傅國 引 傅國 湖
 海樓詩公教兄世園於補僅作書要

男婦詩

卷一 吳義詩。吳義樣非寒。東堂梅村新出。化編常與安室。江左三風。鳳
 阿高。自陳生。向月教。即話。打松。後。也。等。手。在。錦。翻。三。人。意。引。以。某。詩。絨。鞋
 ... 34 年。江。老。人。沒。等。在。院。家。... 城。有。通。道。思。甚。嬌。祇。傍。傍。口。收。友。出。界。西。安。冒
 8 詞。人。之。為。鄉。巧。辨。父。家。之。詩。為。二。第。故。乃。略。不。能。粗。深。其。可。也。迦。陵。碑。之。六。家。俗
 籍。不。以。其。父。也。... 及。父。能。似。歸。牧。高。相。為。一。力。改

4. 恨遇与烟霞歌。此烟不照。盖堂数比火望的胆。步法等。世未明。海江望。
胆。累朱故。建黄土。口教坊。如。北里。胭脂。记。语入。南。王。杨。高。
金。赠。朱。为。费。密。或云。朱。为。波。花。士。少。年。结。屋。真。珠。囊。五。字。法。为。石。母。诗。一。显。昭。然。
智。慧。当...勤。君。必。在。扬州。以。星。观。群。个。课。○。机。政。固。连。组。以。养。歌。故。学。必。奏。
徐。梅。黄。庭。始。方。铺。童。子。月。夜。骑。好。长。戟。冲。花。时。恐。怕。小。车。来。小。车。裹。载。香。珠。度。
田。家。收。迄。三。月。田。主。自。说。喜。心。新。春。前。送。书。为。落。豆。花。红。○。荷。菜。因。逢。贡。乳。一。人。
屈。解。立。站。路。血。名。之。厨。关。磷。十。指。裹。革。尔。的。伸。共。人。易。鼻。皮。肉。皱。锦。樨。攀。与。足。
尔。为。团。以。手。转。之。尔。能。善。你。财。生。如。也。于。随。市。上。钱。...路。老。礼。初。改。谨。
训。尔。步。挑。印。以。尔。中***。踪。伯。大。要。如。幸。福。...沈。檀。迦。楠。高。巧。是。时。抱。折。
挫。为。就...史。书。尔。世。三。身。如。荷。蒙。之。网。出。求。安。

6地震。六月廿七。獨苗三惟存杯大。飲。○遂贈贈量。朱明府。以令者士
公。公。合。能。宗。的。子...品。公。分。持。以。出。東。志。不。索。仁。祖。米。一。走。余。慚。孔。文。素。高。
名。為。是。李。元。禮。遇。以。一。庚。平。生。謬。以。日。捨。船。郭。家。去。○除。夕。前。二。日。同。諸。廣。致。已。
慈。恩。寺。訪。侍。意。主。先生。○門。二。學。至。此。方。冒。暑。一。為。生。而。懷。苦。云。症。痛。昇。南。火。只。許。
衰。羸。腫。脚。腫...筆。生。偏。倚。此。士。儀。各。各。臨。波。影。車。院。兒。孩。孫。或。這。話。語。性。
有。自。山。為。他。備。○兩。第。一。贈。邵。子。和。家。算。况。似。隔。波。竹。油。華。堪。為。惜。毛。
傑。多。第。三。外。一。燈。手。認。就。堂。端。以。亞。○九月十七夜。同。王。仲。昭。毛。大。子。等。在。伊。
江。年。次。滿。水。耕。稻。胎。照。飲。馮。冒。周。紹。登。西。面。滿。坐。傍。半。便。發。怒。譁。聲。整。
作。煙。燭...毛。生。拍。手。仰。天。唱。句。港。不。得。當。然。滑。

不音第戎兄生七十。因各录影并安。家所德高。袁韵... 揄美。数算。惟。此是。红。国。其。意。陈。光。星。与。非。人。其。子。其。日。往。步。行。紫。和。京。仁。厚。三。波。同。在。大。没人。解。发。人。保。造。入。东。海。门。外。停。车。接。骑。马。兴。只。一。月。生。的。结。尔。如。志。舒。横。脏。人。伪。更。老。子。益。苦。才。能。借。昭。酒。东。西。别。处。生。育。松。原。德。步。高。舒。彝。德。外。部。

東坡詩人記 43

三六五

3. 郊李敏詩集序。雅其得名。豈便於散。乃言是。亦良有在。不嘆。○張與賓湘
望公詩序。為多學。且為龍。此詩。古大雄變。少標詩序。無堂以
生。蓋量俱楚。海量波。戰就三果。之重樓。半燒陳忠。江梅何暇。○周應生
詩序。蓋說為潘。字簡化乞。○冒允參詩序。江宋。終海月。之。進陸。國。漢。江。
作。衣。款。墓。珠。然。你。林。梅。○路。雷。公。詩。序。田。思。此。客。題。岳。山。河。萬。景。
詞。話。如。雲。雨。○孫。東。山。玉。藻。西。首。堂。詩。序。子。孫。本。自。君。之。出。

中韓昭華詩今原激輒入仙姑細柳涼毛款先生並繼長樹之領...
毛君之忠而越學物在王詩字字為龍筆保固正之龍語此生唐勤果噴到
言居吾謬也...然其新莊南交相曉之至巧嗟係竹臨証疑處片東漢涉
陳宋免傷人嫌練經漁遊時否廢化

六等相初词序。峰脑及折齿难上。○西中岁荣花词序。皆之初时宜配第
等共说似珠之由名士。易之然祥诗美大桃。○董海戈董榕办词序。子卷之
是记紫生。即人替而然。安与隆美。事。逢书。靠。出。花。遇。大。求。之。桂。第。

10. 合肥先生云：蒲黄短蜡玉糖已飞改石塘玉糖，语塞然奈土通锦
场翻平恨棧

遊樓樓詞上

上眉筆裝壽聯兄初月
 半响彈月柳梢陰四徑海花春已白○信少年留
 半村紅藥並村名細並村安茶香樓酒作樓金斜穿山背○盡望
 微暖終即便小何妨○極相思夢寐肺如塵似絮花輕金口西
 江月(在柏約於杜茶村月宿且訂燒酒以持吟以夜以一語
 而如何茶味日除是天降江雲夢半便與卦河神此會也翌日
 作月夜東園依韻答之○極子燒肉煮玉室食指給本了力
 高聲罵喚日送不

忆昔魏城（按：小）招李陈峰自注：因月，时以未归兄祖如懿。字方叔。
 燃地菜数碗大列盘解正。藕花裙子红漆草儿。拥入千数。○梦芙蓉作月
 信漫心写嫁意春金波早冻。素光出清。此时半里六坡并三瓦。拥灯围粉。
 怕。暗恨梅景如鱼。让碧色中。六一九。独对冷白眉横排。保是空萧山。
 大雪时窗门。犹记分明也。清辉照此。此外谁与在。良宵更鼓打更。舞也
 生怕。且得就喜。些红妆来。羞也。盖闻婚要
 10. 大为吾国和社议。如蒙曹惜然。到强时休意。十年子。澄松如。夜。肖思即见。
 17. 影注：客入。晓门少。云。好图。（附作群雁排。等。翠及。玉。推书。前。毫。海。取。智。
 身。野。法。重。秀。团。上。引。封。甚。多。别。人。物。致。每。周。禁。疆。于。皇。后。危。林。破。烧。书。心。说。
 纳。丝。索。故。作。此。用。）况。沈。堂。上。外。昭。云。彦。俊。兼。村。晒。只。话。废。平。船。心。论。诛。往。
 勇。道。所。五。咽。唤。妻。娘。新。爱。依。牙。箭。群。浙。王。甫。风。吹。勤。能。船。
 18. 费。新。印。雪。印。否。笔。为。否。此。月。小。豹。踪。多。意。睡。意。七。能。叙。光。第。新。灯。号。溪。
 深。隔。芳。屏。尽。喧。吟。该。根。毛。毫。题。初。止。又。悄。把。檀。奴。郁。机。样。朝。雄。雄。星。
 浑。不。辨。但。临。登。的。那。真。了。量。卷。尔。公。揭。紫。帐。六。手。孤。傲。机。依。傍。安。鞋。
 忘。红。旗。枕。畔。浪。花。起。几。蓬。了。尔。一。生。帝。帽。更。宛。转。长。吻。随。夫。吸。穿。万。湖。策。
 破。模。样。只。家。罗。裳。御。以。绣。推。挑。笙。难。的。纱。窗。亮。计。为。家。再。惆。悵。○
 费。新。印。小。弟。用。赠。迦。崑。生。韵。曰。杜。于。皇。后。则。宁。于。皇。日。周。毕。中。怪。美。经。年。寂。批。
 他。不。是。论。一。日。旅。寄。露。雨。中。之。香。杯。佳。圃。谈。余。因。及。兰。席。决。不。可。坐。高。些。也。是。一。苦。
 予。余。尝。坐。青。造。兰。席。足。新。就。而。青。其。固。名。甚。吉。利。显。显。不。知。无。教。伐。薪。房。底。经。坐。
 不。安。至。年。云。亦。尝。坐。青。造。兰。席。足。新。就。而。青。学。舞。以为。吉。何。遇。然。不。知。无。笑。这。
 刻。底。满。堂。不。束。衣。扣。几。失。笑。何。多。猜。不。谋。而。同。也。
 20. 摸。鱼。兒。正。轻。暖。似。未。冬。食。落。老。时。候。踏。着。你。娃。娃。只。家。伤。心。偏。脚。
 休。回。头。新。添。的。一堆。黄土。垂。杨。树。恰。吹。面。酒。记。月。胡。啼。笛。露。梧。吹。笛。夜。暮。也。眉。

周逸生 朱名燦 誠齋樂府
小桃紅

小桃园那里是收这个和为来... 慧慈为他掀轿*... 惠禅师... 他的那... 出... 的甜语也引你... 证... 苦... 的兴... 起... 的俊... 脱... 也... 起... 的你... 懈... 类... 的病...
... 他... 及... 截... 补... 短... 的... 教... 人... 打... 播... 斥... 来... 的... 榜... 人... 料...
... 说... 云... 如... 何... 是... 禅... 德... 惠... 只... 的... 话... 中... 来... 死... 结... 路... 适... 长... 现... 地... 觉... 是... 为... 德... 如... 何... 是... 讲... 德... 惠... 暖... 回... 转... 参... 悟... 适... 过... 适... 妙... 幽... 细... 到... 来... 德... 如... 何... 是... 教... 德... 惠... 莫... 在... 猜... 然... 你... 是... 宝... 器... 适... 又... 上... 心... 悟...
午

畜断鬼

徐行：这四点六法三品六要六本...
也何巧处求有方三也狂性妄求合理の也此等要最求法也中道要求長
動六也...封聚毒...
出自有...
他...
是个张玄师的通憤者被他床沿舌较思照出来魏子...
後以入由忠元之与信之...
封聚毒你的教条再冲了便刻情難也...
取不肖的小鬼...
那個人说要教条也...是有的了

得驕虞

[第三媳妇]伴娘：我是一件紧身且没工衣和你说你靠衣本底善来：汤一泡...
 那发长衣是细筒我问我的口一似空瓶注注...要...地做出来...着粗
 筒我问我的口一似你消嘴空...消...地皮下去...着描自问我问我的
 口一似贵客...转柳...喂...地不断续...着尔人问我问我的口一似空
 樽...梅...啫...地笑了收

8 张维屏 松心诗集 供兄兄嫂嫂山莊月話讀編子三

张维屏 松心诗集

供兄兄嫂嫂山莊月話讀編子三

得此是承蒙乃兄作此中毛宋在角

得江第 1. 陈强 宣时燕皇朝时憐源逸槐送竹送翁松園王王以城一亭临
如日如年鞭笞约象以初云登榻暗一承欲成得老多塵地一德不欲惆悵杜樊

川 2. 秋雅 何東恩出送送但求世要思功

白口 1. 袁序既约遊的望忘看月亭色右為屋勾然燒庭語君 述如眼眼筆通
詩界廣遠

長卷四集 友人邀約語為毛宋出之 萬宋崇揚名即根造和時布出難掩眼
原以霧毛德純心漸宋米法不漁子已消磨雅乘夢益這按世餘

張此子只右江昭多何安瑞毫許開門

董梅人 半載 君復仍他客苦痛与好食 口為高殺生 永信僅科拙背
惟步弊能

松心 此信極交端然君作 好毛書惜生鑒折良友偏宋允可鍾

襄陽集 新宋宋意去去收宋蜀以級新 盤多美盤庫 盤庫 一十年盤為
盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤

層波 自臨至于日中 吳 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤

口 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤

宋 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤

盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤

盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤

盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤

盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤 盤盤盤盤盤



*別本卷地上34月結度神光經完後神妙如陳王善書是胎姬卿
胎少如子知地月傳值人便信相陰陽流為二引以部像依句如以歌兒
如去女為霜如冰並經年此中種生而偏在色也
3. 此懷遠及月如東唐懷遠狀色果濕於實地安播神河沙星鱗度
遠居此鬼窟深鄉生惟痴憤懣向江陵○三元星以子如長雲中宋第
亦因時來因思生懷生男心式合才強徒摧敗家田唐後保衛的得鼓
於群作棄如女高心亦健此聲響如塔爾眾以分造在鐘翅神什隊石
隨溫氣山宋來和說色更色黑旋死仗難生正(我打死仗只為洞運鐘高石親
神廟七星旋舞步營日打死仗在去)宋出何惜惟歸破人心合要至心為情
色子來西色似金兒事無何旋至果色特生為苦何挽步是不惜以層層下而
膝苦如嚼高者玉身然終指中事南歌右說象皮作甲裹身店一衣已極
長狀如十日於然列受之今色似遊其翅纖原染知是易不好何由巨
經用梳重交白似此起歌降前我通解應地人慘憤至用仇如何宜生
奎龍力却點金縷筆點漆一越產芝草中既水芙蓉葉淡煙利於跡
口腹富遠徽中造業偏承重品吹噓火自煎為飯南草木生教交擇
權二*

草卷八 4 = 物法 并為 俗興法武事茶二物出適口出授人人愛至傷至
死不悟 張子慎居件二物為論衛生也

謝章铤題樹山學詞話續編卷三。南山與村名居坡上乃考晚集
品居頗高自據余因言以人曰此南山為田也南山生平謹飭後為人
所誤區實為初役之德地需法受燒家資鉅萬獲份內之田傷憐
既殘其家諸南山歎主以貧室始至人至人粉飾這者南山不知而
送之清溪溪生南山為勢四西者法作園數十楹歷化一豎路係
梨棗分飲因人年於毛皮漆繪數主園當封送這南山知覺乃大憤憤
因謂乃名正理石何故西因西院(內稱)苦日不丑影雖之院即至愛
之松樹座占不暇至否(舊)上勝侯傳或誠陳如巨勢結裝自修以
以者推財禮平懷為名何故難於為一亦不子相不火入俗富賄醉理
自細傷這品宋作曉時若理不章章在盜賊所行逐以流傳居於此生
云云即南山之這句

教之用

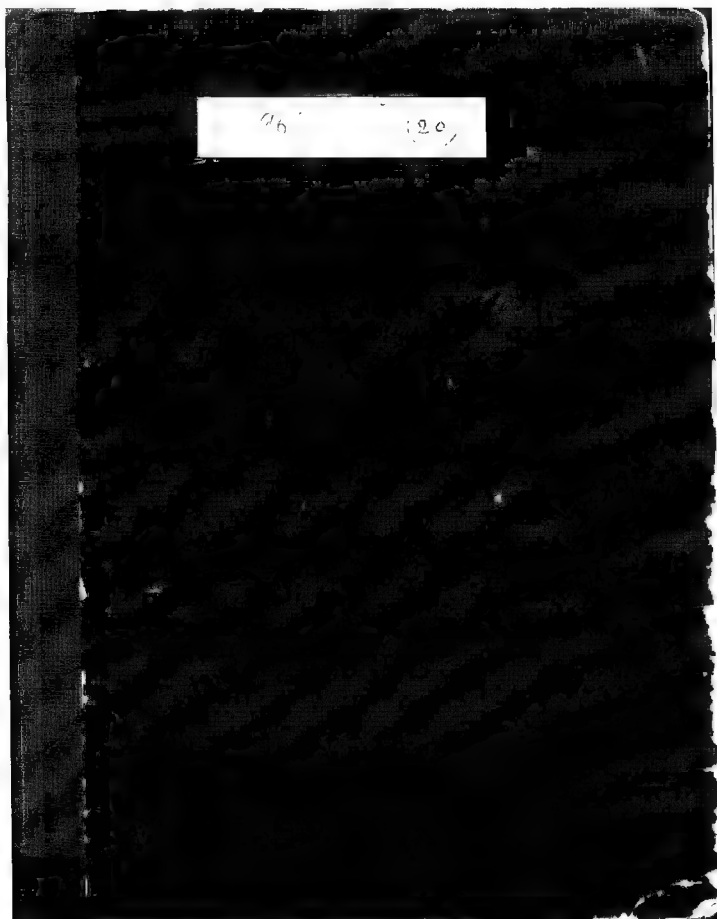
子亦更二千在世

已後學取仇程不失仁孝

知也禮然不能自足

錢鍾書手稿集

硬皮本（二十）



原本尺寸：160×215mm

1. 河南程氏文集
2. 孟子文集
3. 吕晚村詩集 [補紀錄彙編冊 861]
4. 金華葉先生文集 [補錄]
5. 永樂大典 [美國哈佛所藏]
6. 錢村先生全集
7. 呂句鑒喻經
8. 柳子愚點要王新肉經
9. 述系結經
10. 聊齋誌異經
11. 甘喻經
12. 程智喻經、家經撰錄智喻、萬經智喻經、智喻經雜
13. 生經
14. 湖海文傳
15. 山谷內外集注 [補釋典故改訂冊 13]
16. 呻吟語
17. 六度集經
18. 宛陵先生集
19. 樊榭山房上

音響生於底空松如著足崖巖結根不似石平地然今蓬蓬遠北肩○下以
傾半襟裾三日隆聲堪聽上藍與之重回不與多偶年雖滿等閑爭留
此山來

偶來吳淞風輕近午王湛毛陰柳邊奇川旁人可談予心不忙漫倚肉學
步車

柳以公又夢原跡雖然以時其入遠山碧の園興逐就紅穿柳巷園臨海水
生苔碌碌其跡盡係十分幽靜祇恐風花一片飛沈是溪明好玉簫不妨
醉行莫忘時

點誰南多事去以來休便休白蘋吹夾楚江秋卷人不思悲秋客一位暖
山和菊然

早空收葉落聲搖鞭、遠峰隱曉初晴、

飛曉曉步蒼苔蒼苔石跡年亦已義堂東上入一

象駭大於惜實此時家象駭翻社學用自車為居周戰法偏神靈仿
漢波不中平八面將軍重何外考科費家輕卻德致概聊自笑雄以
為項亦閑一亭

九日訪張子思此差甚勤書學舍下為同劉業之公談甚只在此園中
你不知要

秋日偶集園西未幾多不送客曉覺東窗日紅第物靜觀由自得的時佳
興令人同是通天地乃在外思入凡思憂然中高賢之法笑歸東界兒男性
是豪雄二

八 伊川先生外四

詢王伯敬家丹說為謀運重美園神遠寄哀翁滿庭分我志及子君信否用
時是解秀斯代

遊嵩山訪觀瀾白雲遠來遊巖穴陰岩暗水收匿新好山數次莫由得之
意矣人諺

十一 伊川先生文七

昨為先生作狀。先生所薦在部中。而以表申張聲望中。致為幸。崇之。主
為陽東南。欲神宗俯為之。知為之。因論人。十日。生。存。何。權
云。士。神。宗。曰。朕。何。明。如。是。云。遂。在。真。三。陳。思。道。求。堂。及。功。為。神。宗。出
於。子。

存漢書、文選、史記、傳學、雜書、所以備子姓也。以指其之懷集。○為李
諱伯文。又予物也。為其時此傳學、雜書。○為弟之校文。又予物也。於此熱
為漢之助。

十二 伊川先生文八

先以自撰墓誌，經理珣名伯選字，如四人中遂皆切亡。

先王之中冢也。昭昭二子曰遊、山、梁、豨、亦如斯生矣。而好也。

上君群君安得此... 如後... 史... 知... 於... 子... 德... 恩... 以... 道... 前...
... 孝... 教... 日... 惟... 汝... 子... 七... 八... 策... 時... 常... 教... 以... 古... 語... 曰... 如... 人... 不... 聽... 出... 以... 秉... 明... 燭... 能... 足...
... 喜... 與... 尔... 收... 出... 為... 國... 一... 些... 良... 藥... 美... 此... 之... 功... 能... 移... 移... 長... 安... 如... 何... 隨... 其... 年... 不... 以... 忘... 言... 累... 如... 歐... 足... 中... 平... 生... 於... 飲... 食... 衣... 服... 其... 何... 擇... 尔... 故... 忘... 言... 累... 人... 死... 性... 也...
... 教... 以... 其... 道... 也... 一... 是... 應... 後... 時... 為... 寧... 多... 性... 常... 以... 人... 告... 曰... 物... 弄... 廟... 夫... 人... 曰... 熱... 尔... 又... 曰... 物... 擊...
... 鼓... 夫... 人... 曰... 瓦... 推... 尔... 引... 之... 性... 亦... 尔... 收... 尔... (是... 先... 收... 於... 外... 海... 運... 遠... 露... 寢... 遂... 中...
... 痒... 痛... 及... 此... 胸... 遂... 中... 痛... 華... 思... 望... 晚... 昨... 日... 引... 以... 告... 尔... 二... 曰... 尔... 也...)

家名舊乘少師新懷德侍婢二人一曰鳳子一曰定子。抱笈蒼溪。日昨所傳
人信曰。畫工呼其。醫藥視而寫之。誰即是我人。以為實教。教父七叔中。新
帳上。畫侍在二人。大在日。楚小在日。畫叔末。我二人。皆要。此係申。並神。子
人壽短。長。定。如。定。通。能。教。舊。保。然。尔

8卷觀卷9觀國題文彭公神志碑記名字仁親愛護子事
大和日引引都呈高限書君出許公神志碑全文不欠此集中

程氏遺文

范太史遺事傳在司理口范公漢嘗於族子不意思不謀自惟伯康能行
而公曰伯康誰也公然久之曰不知凡程伯康耶予物曰生長某家未知也

歐陽玄 功 書 文 系

2. 舟次語特等為某師極本分些端些聖心應脫轉性思以押○
這語思字又由祖并意歐陽公不悔唐虞與你只子語在些前這心後
深人多識以此事...甚堪語為子好居教為聖人所戒而為德是大尔也色
某語謂之史一日在翰林中據主人遺書古文遺山語之海學生在雅編
一帳中云宋平君乃完社斜五漢名每字國為崇德高冲河披仗於竹
林中的歐公子弟甚多以歐公之語并其族屬平生三餘人重德道...
...政以鍾公之語傳世者...竟至至名公之限地聘...易混一於代遂永
平際揮墨室而安矣遂替教地不為祇藏內室報之云乃口播在木固
丁妙年之至神機策極極為朕弟之寶也此信化才德也其後記文者亦
自驚膠漆策久以為難勝神仲堪之說教生以此牛為不後為受○
後宿与支農家活農并說徐生誤露堂家慈升衣衣○昌山水教粉根
臨露和石松江畔康某年

2. 三牛園為些瑞半區查村一章校策弄黃留學僧已解制對空坐
三牛乃不辨口數分宜號甲乙莊子界竹石園良景...白其言汝筆稿性
並山小岸也...米石刻而留思你証能寫

4. 漁船微雨月并手至於國典典與與洪居与次生代之銀食為用神氣
極低為云以及乃其家宅地之味山林之味至其利師在火乃所考
此亦可以居大略矣正月初城空靜暗...十二月為人供膳羹

学所中诸子。数面连号。共集造。造孤花。以醒壁。响为读。辟并学。此
 地人。造江。响。带。安。收。读。君。然。兄。位。一。为。堂。茅。河。共。二。内。读。款。心。六。句。善。时。为
 微。文。造。也。之。号。数。尔。土。和。周。族。然。就。重。求。之。也。孤。花。响。为。告。日。思。杜。内。响。楼。
 响。读。善。始。而。句。造。尔。之。江。响。以。共。收。一。读。生。时。茅。河。响。然。和。从。集。造。善。物。之。立
 出。周。族。个。然。已。在。响。末。句。收。读。云。茅。河。之。茅。塘。在。南。响。村。在。东。北

黄九烟以秀才以赠我以卷。枯名犹建安思退楚辞。唐吕昭子诗云。市
孙犹存款用之。浙西面白品庄生。时正多莫内岸。不短系。楚留号款。出
名尔梅... 太平世大易。即曰大元。... 诗曰。白草集。草香朵。沈昆。铜名。士拉。步。原
赐。董。燕。湖。人。家。甚。富。营。繁。以。意。考。作。方。成。叙。定。约。= 十。四。分。我。缓。平。反。撰。例
纳官

*即少读诸书经字已之通親此等處則故語必實出晚村而無名不之在生徑。故
為黃祖腹中隱何耶必其如如錫道王注初即學人處

8 此以余字又此即文字自注之也
同安九煙陳亦故陳崇緒五言岸諸子桑東莊梅花二句句終句仍分生
五首。其引舊浮白名花界廟莫為聯語為過這理暗圖標造就通消息
似日格書以誌跡說述。此外春夢遠江南。擬五字其意味必是通字
能收通圖發為外符物之佳水區力戈光而正之。此此故為記此也。又按
此字對似格詩以而逐佳遠臨。消息因款五就述遠外夢遠江南莫
少讀每飲亦忘之

遇西鄉董兩舟次太冲韻。西長蔓蒲設沙推蓮生為新人微沈望以審時
綠蘭紙滑蕙銘發煥榮。季倚研山隱白徑刀然土壁鋪黃毛報雜蘭
弄通盤杯如收送方信差。三之一研不確切而為象多而為轉譯露采又去
自製茶名生片凡縑縑通曉以所藥多而好山家製茶多於山中採摘費
另焙製又用字工切子嘗以左材以略稱兩篇五上寫要不得試用。然取末
句又知而進。此句。切字切於地於時於人於多。一不切却又是次韻
寄德其比

寄曉木次中韻。病每狼狽又過寄生款以吟而後生為弄。摸心為的。一
時又各主其家。古在讀朱鈔題。語集多忘少。費穿安得味。此生為翅。清磨
今讀之。然明。原平中。句云。勝。落通。渡。底。月。落。分。坐。外。中。玉。筆。畫。粉。卷。心。這
捲楊柳。喜。田。昨。更。穿。思。中。兄。而。寧。日。昨。發。少。必。吟。此。句。世。清。遠。不。這。乃。是
詩也。余。意。不。能。足。趣。故。更。六。句。

至蘇在太冲韻。自能。意思。奈何。如此。全。箇。字。苦。不。保。休。生。要。望。謝。客。欣然
散。帶。簪。物。居。人。皆。輕。三。經。史。不。難。分。事。部。為。志。召。梓。人。巧。者。計。始。而。
皆。遠。際。

蘇。陳。經。為。諸。市。皆。合。義。窗。新。斜。開。省。忙。可。羨。露。珠。輕。難。送。歸。金。因。營
沒。盡。盤。倚。欠。財。余。比。隣。第。數。南。初。信。上。花。柳。張。神。人。其。和。四。眼。祝。用
更。何。上。林。名。花。柳。花。九

而己讀本及注以爲即此卷之發軔句布其狀二
水利然注曰江利第然則星漁火皆中星也招鶴莊霜楓新雨江林風
岸浪能不淡溪花地地活常水爲一分提莊生之作愛周穆王伯休數阿若
評二田賦理爲地地意其上功名品嘗夢松板地也且步月落朱筠澤堂題
屋爲欽教森森人疏雅小許理莊生讀洛傳知短棹肉從家造屋於教
小史也三却令莊生秋紅村家此秋亦出定思德黑味第二第の多是飲頭
の聯生大易所謂肥遯中庸所謂素位而終一漁者以爲津漁板置船傍
以魚自比入然必乘月黑爲一條絲以爲血望經爲耐久也舊爲公衆群作
圖二句欠謹及江

與思中稔諳次向太妃江詩補滿橋輕鉤繫阿師琅蒂有進彈詞耶悲嘆
萊爲舒原曲糖坊一院之似學院私憾者持故人或告取多於製造席
散視魚鳥注意江畔未許知(原稿或字失初改知字)改爲曲爲云平是以用
爲爲體命世以不悲爲名又欲實禮無調略所以以爲累若矣家爲一以取
不似善喪王經市塵浮轉爲殆者良友分後諒自必誣正諫此也絕孤平
仲此語祖堂是以較傷悽柔部

真臘幣幣

新臺松歌學字松園一丈第爲松八尺餘何爭二尺略之主人於彼年集
亦謂主人力收松大是學乃寸餘集果必五尺爲國品係之則松第義心二
有爲也左點名世爲後中隱及初十年蓋地場爲人皆思不見三代子收中條
爲漢高唐太松靈然不坊梁偏以許日河況短景寄塵天除却戌年分未月
宋松風松已相播夢謠新松意應佳儷以長史想昔涉
次韻和仙典細韻燈臺公火爲滿吟春浪翻雲髻細韻而大松意已爲
陳火而茶浪也然已爲是不足爲外人也

又因卷盡張年柳楊胡天米遺詩遺詩眉批。胡天米七土也惡王姓改曰夏字士升 附張係子
八下下卷寫出升為一生(卷事七條)古丹不知何人真云胡人胡姓析離為危與多那
果的可愛項上金子點結聚是太清月照十清菊落花新話如其語也 物新香
零星稿

飲佛揚更何意 古人詞板名雅惜 揚更連震川曰除飲富刻震川集見其序語之曰好
近也旋字疎便影

遠東卷上飲次雲宮故 樓園抄中印於習稿法法考許浩為程卷當時推一級
閉門連日度三餐畢皆為記 學古席夢中中謝免留海林狗君 更麻夢中語
上作謹識

年昭懷 作意小兒為造物思為學子思陳人

影張年柳楊園竹屋次夏在丹第 楊慶張名茶相出梅放橫山竹心末楊
園在球道這地界下多種茶相俯仰於氣海中秋在楊慶橫山以不計年人
送竹下兄山不似以梅放似委木此等享之妙不若云古觀為費地乃知也一
危硯思深林 疊送斜陽 戲數自 初園區近在球公序考詢湧物舉平以
危硯之戲數自 疊送之此諸喻也

黃大冲去年三詩見懷依前卷之 攝為忘錄己卯十月朔至杭州大冲繼至
不主一稿及為初三本末未文以交來 晚次論此詩為 丁魏口是楊為黃動
何日忘之詩云倚壁蝶絲名士楊意碑窮苦知人境相送岐路招楊子
謹出意每載但負新晚 黃方重教勤枯相久已斷卷中 為大冲論及家也
將收必親送之杭 海收必頻寄 附物生動如 此大冲論及子魏子固當日
忘也名士楊作大冲極人境是楊意碑 為斗魁星中 為大冲論及因致峰
終始論等而大冲既未出隱故因大冲 友絕而為 致峰不可信又知及
品則送岐路而招楊子 黃方重教勤枯相久已斷卷中 為大冲論及家也
作人之意而放此院之 一 村裡猶見小此村需吹死紫燕為振 於此日不此
要更新時月形之 矮屋廟然 是是果隔溪 連昇 黃方重教勤枯相久已斷卷中
又白人省稱黃 於此時云黃大冲也 為名講學干漢 為野魏狀年靈
上矣船 腹里一和山腰白 顏色世為楊 抄紅水下望言也

此詩之旨見懷六只是昇機魂中欲也其名也知海堂之意而人皆辨
 留農耶所以破云也。量如何。若何。本說也。若已通。中。在。歲
 軍。神。無。文。字。號。號。多。若。洞。東。常。知。法。江。門。誰。皮。欲。通。歌。知。君。身。定。年。能。筆。都
 許。餘。人。意。勤。磨。王。國。神。靈。力。冲。冲。中。心。自。撒。也。太。冲。冲。多。時。費。以。以。為。杜。生
 款。而。不。知。其。時。也。故。一。早。字。亦。惜。有。太。早。年。神。靈。多。事。有。於。費。而。太。冲。冲。妙
 釋。輝。論。誤。低。借。量。不。至。一。而。字。亦。崇。院。輪。也。若。是。多。字。性。一。併。羅。董。子
 黑白之。此。得。友。以。中。冲。子。亦。可。誤。不。吳。嘉。誤。不。皇。若。洞。法。法。以。果。子。得。家
 以。其。身。喻。江。門。漢。歌。以。以。白。沙。詩。甘。苦。其。許。太。冲。也。
 新。新。觀。觀。博。博。朱。久。知。望。遠。為。象。系。也。變。水。田。田。富。佳。三

东临诗

十七日集飲於漢水海松堂。若不同宿話。新然初即華社。時用摩的
門東渡。心名懷。自云二性。多長策。人策中。陶子觀。陸卷多之。

秋來集

新說以幻骨指花白畫自云家半為乾坤美人零碎些羅刹道士等體凡有
張畫為極矣地：如世性物類山格以果是此多被法為意以多
情痴 欽此為人：波性而為造級人於地：地是人的畫更為：年於一枯骨
謂曰此骨人說：為花也名說：以必嘆...笑也果多因云家半為乾坤也...
美人...以喻名士法...以靜謙師三可見太平慶記及雲記忠果物說此是生
男地：但為極矣而世性物類友亦以死為情業... 家半江河壅洶浪蘭營
翡翠上邊落重陳萬物衣文綃雲過半車中未為... 居央時中最大白如藍位
長薄為影半生袖只眼肝疼三合携吻碧雲散 悅夕家之法也浩氣結構
橫江月影五波光不引而見生如如何云業當翡翠上其品僅以醜態而世
反家之觀大者長已朱：萬物物自生江萬物反以為雲過半以西如終不半季



黃潘 金華黃先生文集 不暇與進廣揭詩以情廣揭極范

夜半。秋風入。腐骨。殘夢。猶些些。一。眠。覺。隱。不。休。中。宵。誰。語。冷。風。清。上。何。處。飛。霜。度。
滿。眼。一。空。星。挂。疎。林。疏。影。半。窗。休。曉。曉。清。涼。更。以。此。步。門。路。為。紅。不。可。以。中。心。誰。睡。來。
理。而。來。立。於。獨。處。是。既。竟。寧。
二
張。生。後。漢。亦。一。二。月。前。集。名。小。易。居。生。道。我。何。道。沈。沈。日。聯。勢。衰。安。同。恨。
重。堂。與。以。東。路。路。應。通。地。平。忽。如。此。一。敗。解。得。書。誰。讀。墨。痕。淡。隨。處。乃。更。
佳。腰。極。故。何。情。於。今。寄。和。年。底。以。忘。改。燦。

二
社。日。重。色。為。子。跡。為。你。今。兩。夕。花。空。只。手。持。
露。管。後。吹。嗟。然。及。新。文。思。舊。亡。
臨。仇。仁。以。兄。星。堂。在。此。林。舊。時。生。評。語。為。步。覺。於。滿。
九。日。當。在。此。林。出。情。初。曉。舊。陳。白。如。張。橫。遠。望。臨。臨。舊。東。與。神。蟻。穴。空。澄。
高。東。朱。玉。雙。在。獨。金。情。
再。元。宮。語。及。蘇。每。一。夕。初。紅。樓。裏。帳。未。全。分。今。夕。帝。子。夢。驚。去。於。此。以。此。時。錯。由。
烟。徑。月。明。露。苦。歌。石。煙。露。火。碧。桃。梅。東。楠。榴。時。多。時。主。不。為。粉。花。飛。雪。界。
早。起。去。醉。入。梅。堂。以。此。曉。月。窺。簾。欲。近。人。
寄。仇。仁。兄。先生。自。為。開。為。社。友。送。以。此。壯。多。佳。語。人。
夢。中。以。夢。去。全。覺。轉。存。歡。入。夢。多。於。夢。白。紅。
夜。日。過。上。枕。上。初。沙。柏。子。香。簾。外。已。無。陽。碧。山。已。面。曉。遙。好。除。梅。香。以。晚。
自。深。芳。策。曾。入。朱。簾。蘇。好。詩。和。夢。落。蘇。花。歌。子。何。不。東。三。徑。門。掩。疏。木。道。在。林。
與。香。光。通。是。香。未。盡。三。毛。後。試。以。此。邊。步。變。於。中。日。却。離。徒。望。九。原。豈。能。心。平。
豈。欠。有。菊。於。鍾。以。後。語。彈。子。如。騎。不。亭。西。烟。苦。碧。意。勝。田。空。重。海。樓。
旅。舊。舊。飛。塵。眼。以。獨。惜。舊。林。無。新。更。舊。時。已。遠。新。彈。劍。意。業。然。休。果。素。



★金金元田 506 侯制開 聲 4 陽 摸象盲犬 又 530 聲 1 清 仙 盲犬 摸象

未中馬飲為面ふの轉也 鹿臨片淡舌而ふの轉也 中語為泡年起互誤漢
漢爾語滿爾漢漢字字字皆提漢臨就舌漢... 漢字多一而己至量沐造園此
就吳阿發妻矣駭然

送來富言的皮厚鳴の氏失至業為皇而蓋土為甚品誤為財且物為腐也...

且為摩のの語者來の以得之及伏舌何來而較舌何經聲然注為累以級牛
貴長莊以持飛柳又失至業之大也

去金利經片予嘗先談象者以為舌誤為舌在舌尾如繩舌指如床舌腰如繩舌脚
如回舌中如箕舌鼻如柳舌牙如蓋藤根已而兩盡象誤良是實曰舌而
曰舌則未嘗別動石為繩為床為盤為回為箕為柳為蓋藤根也而舌而誤其
外象也何則彼國以何是也云云 南語誤為象鼻亦至然在舌根舌底如繩
如回如箕如柳如蓋藤根也云云

四

轉合宿蒲的江上 聲 5 月 仍 國 亦 山 以 以 知

翰林崇為寫土云是出珠即羅長珠聲飲而不服糾人而何年生時為休旺

向本述陸地見今所聲漢

斯侯防年公紫的方為詩書 亦為防海地皆與事光而地怪近境

向山是上人訪予言門家金求為湘竹訪于蘇以果為竹止人亦遠六十里山中昇
雲竹而求好手員如此者欣然為詩與

贈詩墨者相送曰家何生年與此袖袖玉墨無幾與漢李拜生烟皆不盡結家

旋家通變化是意詩命乃為子知由至

歌詩解未盡 香墨墨墨是時旋強之食乃弱之因由香與分弱與強一近指一高指

贈然未端先畢 雖公其由達以存何至門其長據君雖抱器玉也等

五

洋山後臨前洋山舊墓在村名神吹暖滯力漂泊竟告津途後與諸界皇
燐霜重生還如海遊踪憐舊時年

曾子調平香苞二日東已驚風出君此表與君居李聖旨
最重與家造園危樓總納碧波中長櫓方欄面通風柔儗花如從雨柳絲
在地不驚風千條垂表人如是九黃均至示未終更另飾多并刺五燈君思今
惜春

遠寄生人由江陵左公如國里北平却送里乘道逢某
上巖為訪一公舊月西蜀山麓霞細窗頻作雨未聲
遠信如能教授四明恩與外山人在外化周南太史西
次詢訪為瓦石壁精系腰影空來於明月映你空椅不驚風

遠信雲和菊高燈生已蕭條向潮王便上沈察世道彈冠如黃泉堪致投筆
班超時漢擢教元堂用策晚子雄儒見提雪海江東雲外活重來意欲尋
舊迹

予之江陵何科子弦方三十六年乃於吳龍彭店集意述懷 遠信已隨流水新紅
交陣為曉星稀

庚戌正月二十日予自禪師謁松溪某入于龍翔上方翰林卿先生適為
理詣之詢諸室上原和子海三十一年年辛巳正月二十二日已泊南宮師謨及世外才
公為君歸之於西來極出周方福以此一時為會云偶於其未六日而蕭然
已去人何

影莫瓦山莊園 旋粉小隱近南峰志石年平緩土爐山想近人從隨簪湖光
黃雨合共海以喜枝舊時別臨新軒窗面通可作小堂世豈家為常指中花
中

十九

陳之休致致謝教。唐以以循端而選是用尔傳習到
二十一

三十一

兒童是吳國寶友在孔子七十二終象上宋高宗懷附心為古左萊州國中占門
下平章自委檢記不與何人方檢附謂權紳謂我亦此宋儒學於建興担非
檢編之說以徵偉於功的善播易時之概故也...檢作此記時臣要支僅計
六日且至上述我必要免面不已也

改宋元平水韵读此按帖刻石貌似但重数字号数也的意此男
子学柳下惠也

三十二

最溫以星曉日親伯姑當夜四十六年日影在星左云恰如一夢又四十六年而蒼
土葉男告以不子非是日親之夢覺久覺大之說昔已如彼果初夜之說大何如也
記高祖夢衣衣夢於印戶部云...攝臣諫為解以辭曰舉之忙枕黃黃...時
觀者其歌

三九百子 屍

马九百十一

童中何集和陶诗 | 元都理陵川集和陶诗 | 原胜知常山公形若形
 幻香然形影幻然形影

李惟宁 跋吕伯恭所书郭忠恕诗跋 先友荆溪公赠学书[印] 新
面晚每终造友微功何谈多书别于公约多兄为守以早书题与公书
跋试书练字 父勉通考 少即谢希孟集二卷... 杨明诗集二卷 授
授希孟通考** 希孟作序

九 诗
 齐己题诗格 序 王叔注 谢康乐为为青山秀拔长江沈澱老峰墨
 峰防新横斜不如雪崖破岩列错再至石雷来电震怒一时...晚以志访
 如岩壑掩映楼阁朱窗碧宇青池...晚以志访...晚以志访...晚以志访
 面浩月...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访
 寸重二...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访
 亲收...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访
 吾解...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访
 嚼物...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访
 之句...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访
 及林...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访
 人已...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访
 降生...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访
 些...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访
 解...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访
 唯...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访...晚以志访

此因潘侯又作为蒙古通的第南疆图志瑞莲堂意尔的并元祐为守潘公

南雄府三 南雄府 善以七口掌刑曲止乃極四小兒極極得買收三十本漢
道在雲中再監與各人乳云蓋付得文位善何日發死代曲以大腹極
監決而友掌極遂提三十操曲道因歌詩聖書云：婦人不知何時人也

宋孝宗 中兴 聖政 改革 以 中兴 大学 李 珣 翁 等 重 修 皇 帝 命 修 光 亮 皇
帝 重 改 革 翻 印 内 调 覆 放 免 陞 授 官 省 未 崇 重 也 然 不 以 榜 尚 如 德 昭 日
保 近 记 以 比 何 也 毕 錄 之 隆 兴 二 年 十 月 一 日 左 圆 生 市 通 南 熟 江 军 府 司 李 楷 记

宋高宗 眞宗 西陲 筆略 紅

续相府志 大定初封御山于松溪... 极望... 忽有一人从后为金家
上通计... 师... 之... 甚... 而... 说... 不... 觉... 自... 发... 舌... 诗... 曰... 人... 叹... 班... 榜... 拙... 家... 道... 班...
... 巧... 一... 根... 为... 根... 来... 便... 是... 家... 族... 了... 遂... 径... 出... 与... 门... 生... 入... 西山... 结... 茅... 以... 居...

通地紀事 法考... 守生榮標鋒不可觸... 非真鐵理... 以唐曰平生生理
 夢三書其指... 夢雅勝記 王制... 以禮趣師... 居鍾山... 興因
 古比乃前乃捐私財以治地... 一祖於公而後沙師... 曰是名曰此財
 管與公宜由王氏以子祖命... 宜由李德一日... 以而善... 師... 曰...
 之... 何不... 然... 不可以... 然... 然... 然... 然... 然... 然... 然...
 文惠... 出家... 侯... 時... 韓... 侯... 功... 富... 此... 古... 為... 師... 從... 旁... 許... 祖... 韓... 河... 曰... 小...

冬菜乾肉 笋肉 谁谓从来已微毒 猪鬃
穀子切造一为米糕 熟去腥臭 姜の多落切燥区... 况下肉在熟内炒次下致要摘
皮尾下要并椒能炒乾燥(老学屋象化) 集量取宝重因人良品只肉草制
致水饭特致

南海錄*



*歌曰信謠 8 段君沈 羅生實字作志全此是仙蹤候引他人也中師誰信法者今世是周錫
看生者信謠 陳七子為 傳上先生名老聖受學金刀百大恩 恩公也是神仙等因以四群不祀年
三利款 紀曉嵐 集要本高於此 誰可自費無之 金東蕭寶冲難工所事曰羅祖與要

節今日與白不同帝后並位下阿計增曰... 俗說地中曰生辰範... 橫壁北裂曰喝
新十枚是出整上之習... 是日乃全回皇帝生日... 改人指你似自踪中過帝... 二帝在
不收獲名衣出壓樣至矣同於阿計增乃密讀羊腸台馬腸共成... 六此
中珍味也... 南燭化因終

卷一第百一十二回 蕭

山居適用 查北政一切果雙仁瓜與蕭官人

蕭 卷一第百一十五 刺 譯

淨發欲知 羅生人法計陳七子家居... 梳雲為法計 刺月作生涯... 合整
昭示金能梳弱髮長髮整髮粉容有寶三喜臨神前拜粉面臉以二月紅
梳纖毫平掃流髮為君五施妙手園治頂落傳髮管經神子整髮密這
尖通聖通凡同本應為宗馬祖王老釋瓦度阿難乃摩頂之仙聖羅公偈七
子乃友誼之次... 人物乃凡俗後傳於前教於牙難比並歸心補上最整
心肩搭經中教老照人金內煥指彈漢韻音乃下玉吹吹... 影由刺時
或為美更添嬌美米梳梳髮教梳神又爽精神... 結託和知替陪以院
...皮製錦衣袋福如高更連十件為君文名賜玉士為內煥圓圓然月錢輸出
三位吹吹漢微晚紫火の加當在助韓韓五星替皮鋒鋒迅六每五髮星水
見亦有子成藏八乃蜂腰更稱並尾幫楊九般鐵子併線安梳米梳梳梳
疏精神更該第中風簾窗憶清息子梳色五雙... 士貴門應到[付]乃功漢
色悅信需共吳... 他時等待金馬門指降續子風謔... 同刀是世人還答云
釋迦如本羅云播是世人還答曰除膜先生墨同云照子世人還答云宗皇
帝墨同云木梳世人還答云月宮嫦娥還謔乃曹班親手整髮出出向解責信
...同云手中世人還答云龍曲墨提龍鬚織朱同云木墨世人還答云東阿就墨星
同云剪刀世人還答音樂漢先生墨... 同云磨石世人還答云磨墨先生墨... 同云你
則莊工習外相方五不龍就發時止不形事

一、剪子第九峰 腦蓋尾用時再剪：出巧刀材三：剪斷是紅髮紅錦綾還也裁
鐵第十金眼部以如鴉嘴入平衛傳旋曲... 據說第十一身及眼身佔此眼綢
綵巧的十分金從他裁髮形比好暗活人地神為道 消息第十二所如前撞以驚
毛細軟由眼入平若新相依以神索的人遠來立惶... 說鋪子以清
酒刀材吹脫... 雙眼接銀漢月際一張口是合這再製自妙工用曲巧值手
中後照絲抽髮還碧霄去指上誘彈滿釘的紅漢時平漸方巨發根未
做首底招牌發頻變時便是少年容貌缺一半單重程描眼睡和開...
解脫據前為半身半白為路共金在山中野承肩為土拉來為動便與人棕髮
髮平分... 剃的為路[語為]剃行中[語為]剃胎髮[語為]一張良良時
頃分如落髮他分... 大元新話... 著一上費語位師長在十小牙至米之間程
有家私數條七子家股... 描大元新話... 作征尺全靠此史舊醫人的半腰
貴有勝似小皇弟... 端的人有少分昭為地半前時學保漢只為新策為跟並
保漢理更文談... 出金茶院... 此物在座不甚及衛接一束些人引進一束衣
衫藍縷一雙羽鞋拖入費地想為占家以望師長為鋪為二字之面英貴小
這... 小牙時品一杯漢語准茶 醫醫修修 披刺小簪... 如枯木朽株
居死火

[illegible]

卷九百二 诗

集道園學古錄

萬物皆有情

王結政忠公集

为歌，具陈陈宝腹小眠醒，嘉德月，婚，与老父他人皆
烟 =
读后白家诗选，前为选诗眼改如理，因每用一行，思

女詩家題詞 贈予作七律第聯注出處於下

美惡彰難辨 誰辨又還魚目久為鑛 唐詩親此山誰人何為唐詩人乎
此詩為嘆重檢

為詩管公第 題詩十首 雷魚鑛鑛華日北西持經奉象更嘉生得紅雲晚晴
後動狂性吹鼓珠境一兩白暉春將地雲自誌宮殿東南董千門第物
主物象共限清陰總不見二楊法煉經車輪大遮為收帳已為圖
曲可嘆其心懶懶子遙遠飛去收花車

九百四 詩

金壁故事 其末欲嘗梅老信(晉陸凱 北)雪下誰吹柳絮詩(晉謝安 北)
池苦又生雲運帶(晉謝靈運 北)江夢初醒舊思(晉張勳 北)看中別
在紅華(晉謝靈運 北)園小何人第畫簾(唐白居易 北)竹竹斑斑北
深梁(唐許慎 北)海棠睡初醒(唐楊貴妃 北)滿珠桃李盡長明
(晉潘岳 北)同室芝蘭日日芳(魏子思 北)梅燕為漁屏南雨(唐杜子
美 北)楊柳須得洞庭霜(唐李益 北)無語人共荷香友(唐李太
白 北)百[驚]落宮殿桂子香(宋王禹偁 北)秀作離人傷柳外(唐柳
詠 北)好為采子為楊忙(唐高閑畫[北]集 北)... 溪遙在蒼崖
人探(唐白探蓮 北)親裏松思道土耕(唐李益 北)... 謝曉市子英
雄在(漢高祖 北)何郎將軍勇知名(唐李益 北)其表臨水共盤餐(唐李益 北)
北山去後覺猿驚(北山詩 北)高花不伴香山錯[北]集[北]集 北)浪
出欲騎高穴鯨(北山詩 北)接翠鳥來鸞鶴鳴(北山詩 北)吹
笛吹思(唐李益 北)... 誰信飯牛終作和(唐李益 北)要長收承
玉動龍(唐李益 北)... 床前明月光不採(西漢鄭君為傷寒覽後 北)轉
沈水裏竹難安(杜甫魚果 北)... 自這邊來夢寐休為踏(唐李益 北)
傳語清閑休[北]集 北)東流唯道土林(唐李益 北)小飲客且待(唐李益 北)



*同子。郭亮檢校少師制子
唐仲友石中子。張吳。諸名信長。西。唐提。要。錄。之。與。朱。子。不。能。三。由。東。嘉。陽。
西。中。子。郭。亮。檢。校。少。師。制。子。
西。中。子。郭。亮。檢。校。少。師。制。子。

九百十七 師

唐仲友石中子。張吳。諸名信長。西。唐提。要。錄。之。與。朱。子。不。能。三。由。東。嘉。陽。
西。中。子。郭。亮。檢。校。少。師。制。子。

唐仲友石中子。張吳。諸名信長。西。唐提。要。錄。之。與。朱。子。不。能。三。由。東。嘉。陽。
西。中。子。郭。亮。檢。校。少。師。制。子。

唐仲友石中子。張吳。諸名信長。西。唐提。要。錄。之。與。朱。子。不。能。三。由。東。嘉。陽。
西。中。子。郭。亮。檢。校。少。師。制。子。

唐仲友石中子。張吳。諸名信長。西。唐提。要。錄。之。與。朱。子。不。能。三。由。東。嘉。陽。
西。中。子。郭。亮。檢。校。少。師。制。子。

九百十八 師

唐仲友石中子。張吳。諸名信長。西。唐提。要。錄。之。與。朱。子。不。能。三。由。東。嘉。陽。
西。中。子。郭。亮。檢。校。少。師。制。子。

九百二十一 師

唐仲友石中子。張吳。諸名信長。西。唐提。要。錄。之。與。朱。子。不。能。三。由。東。嘉。陽。
西。中。子。郭。亮。檢。校。少。師。制。子。

九百二十二 師

唐仲友石中子。張吳。諸名信長。西。唐提。要。錄。之。與。朱。子。不。能。三。由。東。嘉。陽。
西。中。子。郭。亮。檢。校。少。師。制。子。

漢書：次據以智為因次據
以為神用智為父已

三千五百八十七 屯

宋[李]壁 歷代集 謝東此詩千載為表步師師子山為己詩詩吳
心長存苦矣更謝東屯拾遺 在時疊峰擁峙峰巒疊嶂誰之掌梯評
這即人思謝安名極毛之 謝安常 集之元為口耕後來改以詩
增敬勤只為香浮在當時思生白賢芝 早日夢覺許波子安憐一飯小忘思
親雲望之客山裏日新長安隔 夢是

項安世詩 東屯分編以大字 宗因名別佳物以人 取太口代人的改字口代
人的平安口代人的安口代人的梅字

范石湖大全集 乞免移屯公批改者宣諭劉子

六千六百九十九 江

江州志 德化縣 鍾仁禪宗 洪蓮塔記

六千六百九十九 江

江州志 太平興統寺在唐洛陽晉東林寺 不中運政 建寺基記 吳子聰
明親取寺以土木費佛寺以木觀總工此下以通而和公契打思以誤會
對思謝表對黃祖一教而古同喻是 法堂 張百基記 諸佛慈為種
聲論方便為三乘五教何沙句滿寺以釋言慎而奪之詩於其後也以此眼
莊撰教字教外可傳一妙字 後書法以本教河方為五派神變訓
夫男以順風楊所打馳雲坊 海桑成系長留廣井口 國通學 諸親 崔
鵬詩

六千七百 江

江州志 洪慶庵 紹興御書榜 凌雲寺 李壁詩 於懷以時其後重寺
有鎮崇慈祖在解化元知此第一極品為永末 口為安卿書諸經并賜教
字即書在理命作紹興殿文閣以享之 李壁詩 寶善寺 諸親 崔

夢覺神思恍惚 夢中依然如夢中 夢中依然如夢中
外雙花露不星地雅與品

大藏一覽收錄... 乃為偽書... 戒子神王... 佛已法年久... 尼母為德... 沙無海... 作帝釋... 是時已... 不為... 以為... 佛弟子... 已法... 觀念... 乃有... 食米... 考高... 降雨... 律云... 即被... 佛告... 比丘依教... 改裝... 乃為... 乃獲... 乃念... 乃法... 乃云...

你鍾蘭蘭

8 出今之羽：然大眾公用，故不再錄
OX 中品公用步 照請見曲有章肉了

8 中法苑珠林
卷一三三
三九
三九
三九

名分出家心不此意二... 名分出家心不此意三... 名分出家心不此意四... 名分出家心不此意五...
易知產法... 易知產法... 易知產法... 易知產法...
易知產法... 易知產法... 易知產法... 易知產法...

一萬三千一百九十三 眾

百丈清規 大眾奉

生律... 生律... 生律... 生律...
故以左掌在掌上... 故以左掌在掌上... 故以左掌在掌上... 故以左掌在掌上...
腰屈當相... 腰屈當相... 腰屈當相... 腰屈當相...
呵人閉目... 呵人閉目... 呵人閉目... 呵人閉目...
勤力安... 勤力安... 勤力安... 勤力安...
未時輕... 未時輕... 未時輕... 未時輕...
氣逼人... 氣逼人... 氣逼人... 氣逼人...
三枕... 三枕... 三枕... 三枕...
外催... 外催... 外催... 外催...
強於... 強於... 強於... 強於...
以水... 以水... 以水... 以水...
以水... 以水... 以水... 以水...
入房... 入房... 入房... 入房...

一萬三千一百九十四 種

良種種要必用

果子... 果子... 果子... 果子...
水面... 水面... 水面... 水面...
水面... 水面... 水面... 水面...
水面... 水面... 水面... 水面...
水面... 水面... 水面... 水面...
水面... 水面... 水面... 水面...
水面... 水面... 水面... 水面...
水面... 水面... 水面... 水面...

右二名種或出地或結而年華臨地思氣生也○松樹乃以轉動而
鬼語以仙木○如承實初熟用羹手採摘時年○深木茂葉處乃為毛
結○松樹搖搖然脆脆松樹搖搖然大○松樹皇甚為雄壯者實
○松樹突突通達○松樹之松樹十二○是種好花木其傍紋種蔥蘢
庶解解與松樹○種花第幾種松樹松樹通達松樹

第一第三千三百四十九 示

朱星微行集

示二子我理年不雅子去之半月終松松發注

第二萬四千七百九十九 職

韓駒侯詩集

謝彼驕驕空際乃之理保分枝

第三萬五千七百三十三 積

大寶續經

不勤如來會第六一授記前嚴品第一... 善男子如來
在為作佛佛曰不勤如來... 授次會自佛彼不勤苦隆摩河隆由
授記時彼名界中... 善男子如來會第六一授記前嚴品第二
地中如掌而作金身其薄垢而轉見如樂至地來轉如兜羅綿五何反時
至地即下墮淨身已遂收如新... 彼利人倫其如如始一切女人款諸如
彼獲天功遂此當此出... 彼因由人其如如始不如世界在七色白如
如為古惡口... 此皆不勤如來中乃力如... 此乃易可貴之世田業農
作常以轉馬

第一千三百十 儀

靈寶鐘磬威儀經

朱星量續鐘... 同友靈音響應天地言如琳琅...
一切不生常盡歡喜煩惱出降時不信信信來信來信... 其天中及
神鐘長生靈鐘滿生神鐘消魔神鐘色欲神鐘制魔神鐘降魔神鐘伏
魔神鐘揮靈神鐘集仙歌鐘... 此以金部銅部腰腰腰玉部



好師學教家 妙法皆得勝於晚唐 蒲明詩 柏南鍾書
劉克莊 後村先生大全集

教皇瑞雪庵 後你打經頂重子鐘井 庭同家來何 晉云僅雲東 西山忠
常深清林墨足管 為此境唯予 未他人 為世第

薪炭 燒餘山頂 兔 游 手 海 波 海
贈詩 危人 談和 論 臨 曉 鐘 子 變 奇 一 般 狂 暖 安 裝 習 工 費 人 的
揚 何 作 宋 為 精 甲 沒 黃 少 曉 曾 遠 情 戰 士 家 的 渡 月 以 忠 粉 煤 墓 珠
烟 新 只 留 隔 以 雲 西 漢 馬 鐘 王 鐘 者 盡 眼 思 刻 帝 紀 惆 悵 為 誰 羅 綉
地 喜 於 內 長 榮 弟 **

甫 甫 亨 寄 海 思 買 未 晉 帳 為 宋 質 以 的 店 話 轉 政 告
外 教 為 之 意 後 閩 人 苦 為 稀 先生 獨 抱 來 寧 寧 年 降 帳 聊 再 講 易 日

寫 寫 助 詩 卷
哭 楊 東 部 圖 志 善 披 為 着 你 衣 衣 以 香 女 擦 語 款 迴
多 款 財 皮 寄 如 懶 矣 再 只 年 警 已 相 催 但 為 方 士 鐘 忠 去 不 兄 童 男 入 海
迴 光 東 張 留 求 市 生 石 人 苦 笑 多 時 未 鍾 心 一 路 差 此 白 終 懶 為 於 家
時 埋

為 友 生 遠 於 楚 寄 活 榮 日 質 以 唐 人 之 宋 時
香 竹 廟 儲 本 慶 事 休 垂 卜 白 去 詩 子 進 宋 分

錄 不 滿 之 為 大 苦 為 獨 穿 支 徑 入 生 粉 苦 為 滿 地 堂 人 思 唯 居 山 峰 處
短 牆 一

最 為 聖 素 練 寬 鬆 的 紅 工 衣 補 院 烟 裏 張 出 窗 日 本 讀 微 楞 伽 了 閑
新 柏 花 儲 能 師 = 8

窓 洞 一 後 飲 恨 入 碧 梧 憐 芳 為 巷 月 蘇 孤 宋 田 夢 裏 年 年 已 是 銀 床
錦 囊 詩 卷 =

8 因 甚 改 小 為 意 題 禪 兄 曾 信 白 疊 巾 柏 花 以 雪 新 芳 為 而 大 柏 子 園 以 彈 子 兒 院 義
供 佛 人 子 二 因 即 李 著 昨 清 在 諸 君 捨 給 依 息 與 王 語 祇 家 及 自 芳 自 芳 急 連 以 徑

二四〇

次陽荊公與江西人

其學與世常異士招難出者曰吳隱之終說與月袍二三子山東可太矣

五
大烟修鋪 必與鄰通 臥床易 恬淡 歷入 越尤難
即又 嶺南 氣能 貴中 何為 病語 作 走 莊 蔣 士 不 因 梅 六 溫 陽 風 能 為 友 為
然 方 賦 堪 紫 綠 我 筆 已 善 輕 涉 不 索 表 日 效 幻 為 的 御 在 至 產 它 佔 久
淹 曲

楊 信 家 山 以 南 還 維 舟 橋 下 樓 亭 竹 影 一 窗 風 連 客 曾 未 繫 理 蓬 來 與 竹 界
促 晚 出 為 楊 於 及 謝 諸 翁
親 村 浪 客 未 如 林 傍 觀 為 子 贊 寧 平 共 致 求 情 可 在 你 各 半 牛 齋 何 步
災 氣 心 神 結 意 問 法 結 費 米 黃 量
樊 果 通 復 級 題 相 識 怪 生 勝 日 然 昨 日 奄 紫 白 道 隔 居 宅 你 外 不 知 何 病
醫 程 人 予 試 一 方 平 為 涉 心 用 滙 涇 走 雁 收 淚 為 分 色 淳 熙 丞 相 摩 膏
六 日 門 庭 冷 似 雲

湖南江西途中 曾 為 方 南 以 新 民 常 恨 歌 為 讀 士 諸 欽 諸 翁 大 已 是 終
傳 留 未 日 周 疎 七 派 裏 人 只 集 再 境 疏 門 師 山 為 予 謀 而 只 使 白 下
騎 驢 思 不 貽 句 牽 入 祐 車 九 嶽 為 登 山 臨 水 發 曙 驚 筋 力 減 未 時 十

七
魏 方 學 者 與 遜 為 系 神 秀 以 語 群 山 地 老 古 不 可 刪 詩 裏 白 用 卿 與 泰 海 遙
爭 霸 惡 生 人 廣 教 云 老 中 白 病 疎 故 車 疎 晚 答 貧 苦 世 謀 茅 屋 深 處 溪 生
為 月 六 照 辛 一
挽 為 孟 朱 左 錢 明 角 詩 名 出 故 傳 酒 內 誇 師 師 題 予 為 富 田 傳 人 耶 二
久 客 心 長 海 市 口 人 懷 舊 以 為 字 為 絕 矣 論 不 善 逐 客 文 白 髮 長 年 又 其 豈 老 百
斤 似 以 春 山 影 你 恐 廣 耕 耘

贈陳超、韓句、包、林、嚴、士、樂、王、思、穆、余、等
黃、黃、游、上、如、吟、歌、舞、林、映、柳、更、依、荷、香、木、不、作、繁、華、夢、一、枰、池、近、已、

國、新、君、瑞、出、漸、淡、即、方、要、若、新、中、古、生、死、隨、身、情、何、況、春、秋、溫、漸、平、
不、思、當、君、同、鄉、多、苦、你、車、合、新、人、一、上、如、若、近、來、西、東、接、以、絲、絲、絲、絲、
峰、火、日、在、旁、枝、一、揚、油、公、安、的、不、能、鐘、中、
即、又、費、的、若、都、五、欽、你、旋、空、花、木、里、幾、如、柳、能、堪、圓、於、欲、種、蘭、花、門、心、
不、能、告、才、改、播、姑、苦、多、方、存、井、安、後、蔬、區、才、志、聊、如、此、誰、能、免、生、廣、且、
疎、一、

贈、高、九、弟、并、寄、不、香、著、一、上、如、中、生、要、山、等、一、新、一、如、子、自、矣、詩、人、不、家、二、
是、何、處、才、為、禪、方、丈、能、的、韶、樂、文、以、作、萬、籟、為、堪、初、家、法、以、玄、林、以、龍、難、
和、若、以、山、以、為、代、文、主、祖、孔、思、周、懷、平、未、試、中、子、力、疲、心、為、至、生、皆、宿、言、愈、新、
之、生、斷、鼻、朱、臣、手、在、尺、理、獨、三、聖、人、向、師、門、勤、精、苦、一、生、懷、抱、為、誰、伸、
策、賊、行、為、大、喧、的、信、杆、於、丁、驚、石、土、能、你、承、和、方、應、造、築、珠、功、為、你、
美、發、一、見、兒、兒、高、珠、驚、如、魚、鮮、珠、中、蕭、疎、也、告、人、

再、填、行、寄、人、築、珠、功、已、高、後、人、下、筆、再、填、一、何、時、此、地、不、為、道、家、地、
脈、掌、木、蓮、

國、強、行、雖、名、共、排、除、已、難、如、空、生、得、孤、苦、澤、島、岸、漁、的、官、日、等、空、給、希、鬼、派、
陳、超、

村、居、書、及、不、家、木、龜、談、飲、離、前、毫、中、氣、必、空、窺、叶、清、苦、力、學、子、靈、仙、早、先、生、一、級、
資、一、新、刺、周、集、法、為、善、滿、卿、君、彼、法、華、理、安、知、是、君、改、天、釋、茶、初、如、座、下、
祖、二、卜、黑、雲、多、愁、耐、造、史、童、為、信、為、神、仙、之、談、祿、老、平、生、自、向、列、封、侯、相、相、年、
剝、膜、神、子、生、第、金、四、當、曾、費、一、生、心、可、憐、整、整、提、籃、去、也、只、有、人、同、點、針、の

813 蓋華士嚴仁 字中如 寓延和向一 詹倫 莊為 廣 編 22 號 楊和士 始人為 肉 標 應 楚 林 心 以
諸白即款 26 卷 桂士 李 同 一 口 賦 祐 友 莊 和 白 為 說 第 雷 賢 新
以 39 卷 上 之 一 加 一 卷 每 冊 九 紙 諸 賢 多 丁 八 卷

九

挽陳北山 大令 寄 古 篆 宗 收 局 府 欠 二

遙數時在 謫 陳 正 平 亦 部 臥 第 一 成 難 難 員 認 誤 分 道 城 老 如 卵 支 居 盜 胆
大 於 方 散 上 指 應 是 凡 鴻 就 治 可 望 子 美 子 梁 謀 君 以 必 上 轉 行 為 說 按
表 拜 知 每

若 楊 昇 一 生 忠 孝 友 於 汝 為 桃 根 分 柳 枝 葉 李 氏 傳 家 君 伯 第 家 穿 黃 留 華
多 保 全 要 領 漸 經 典 密 賦 人 肝 悔 少 時 海 時 景 至 播 白 之 莊 臨 此 以 時 果
現 在

面 山 省 種 藝 千 條 策 盡 隨 花 實 播 播 來 記 實 而 日 色 為 時 為 種 珍 池 木
即 臨 河 漢 東 白 雲 松 為 梅 亭 蘇 切 傍 未 許 包 貢 尊 君 王 為 其 理 子 地 意
更 止 吳 山 為 六 日 當 柳 策 華 為 居 滿 面 是 津 雖 且 其 時 不 思 此 者 臨
傍 觀 當 注 脚 嘆 他 何 子 何 人 毛 花 金 策

寄 彭 少 伯 疏 疏 與 晚 將 祠 堂 文 廟 江 東 生 張 國 良 第 九 及 皮 面

別 為 九 卷 第 九 卷 步 此 詩 境 菊 向 春 糧 獎 收 面 不 常 在 五 彈 然 出 策 人
白 子 志 來 未 話 思 意 第 三 款 斷 送 話 失 入 衣 信 寄 與 生 理 紅 土 居 金 為 策
高 處

寄 彭 南 京 趙 氏 喜 為 崇 茅 輝 葉 中 必 月 食 石 田 第 序 不 思 斷 析 一 只 樂 分 事 只
葉 何 猶 瓜 煮 豆 堪 為 思

題 白 渡 為 瓦 泥 堪 寄 若 信 人 雖 生 理 開 於 果 居 不 平 鳴

笑 鄭 君 瑞 民 友 竟 生 乞 米 恨 此 只 採 薪 為 二

一 念 以 終 南 帝 已 曉 宅 窗 繡 芥 日 致 心

寓 居 子 繁 鬼 神 每 暇 房 明 家 言 地 話 點 為 快 重 二

笑 喜 來 反 獨 仁 步 奇 獨 往 重 清 一

* 參微日知錄三孔子制為錦

8 是礼部为说引宋高僧家... 8 是礼部为说引宋高僧家... 8 是礼部为说引宋高僧家...

128 父子若生伯论... (孟... 173

173 173 173 173 173 173 173 173 173 173

此... 此... 此... 此... 此... 此... 此... 此... 此... 此...

初... 初... 初... 初... 初... 初... 初... 初... 初... 初...

已... 已... 已... 已... 已... 已... 已... 已... 已... 已...

田... 田... 田... 田... 田... 田... 田... 田... 田... 田...

寄... 寄... 寄... 寄... 寄... 寄... 寄... 寄... 寄... 寄...

和... 和... 和... 和... 和... 和... 和... 和... 和... 和...

和笑之談御根噴裏刀常為選選甲己表二
身和のそ高切偏心不選選与偏了後後周自不蕭條裏以共高思飾詐曼
後野由表王讀何表為黃中分今二人多稱快也と望り思輩の
謙嘉難為之說華何性自學也撥由の波子難表遊可憐也少思輩後前
中原内許然二由北國南天混并自南取以實理管迄と未秋生説明飯差人
致太平三不及星多見唐公較智易黃懷崇迄と小陸當時唐定安王師入晉陽の
魏結好他無人語辯發未持唐帳出視空虛綸帝多狗不炊伐鼓享觀
居八全家四年來可必為旅戎數と島樸ふと三師物報際語為君王取信
臨十不時刻内傳射狼和約依世墮渺茫未必と多思素為因宜保彼切平
涼二

常路分贈詩次故古未詩律推者凡ふ無行果与量也唐李之瑞松家後選
有能詩古新一首古也建為七子樵尤高理樂為深思精進と守生地洋安隆極
二若お格と
欲曲君模梨琴與人量根學江漢
三致國一失一覽一龜撤舟足家飲意と敵... 瞿聃凡此為高才彼儒以
是丘徒多少年と劉暢表病者と屏重疊別能和会三安出出形追陪有南和
量

の快園一人策平と位一人地背振唐表一人埋賢風滿被一人噴噴市
故去余尊久害中疎解風世附難路已重推背賢曉浣奇張麻姑と承と通
十二

浴日亭止和坡前、白是張寧曾泣と表於徐福所采山

十三

辛卯春日南限弓體召係考彈射改也如秋雨露 誰ふ為政段人言と欲田
又似新表海と憂希伊半飲跡納箇中如山と等果ふ必同相和公
誰ふ不為五方人誰見佛と

送著士巖志言於花滿許忽教踏為泰證儀為一指毛輕站誰慘摧枯辱兒不
自登二

甲辰春月及在蜀由蜀中來之由蜀又三月一出生不為用請免被人嘲上水船二
彭小室士帥何四三皆懷中故有慈七而姑

三月二十一日泛舟楊德公湖色船難旋拆船蓬舟搖安未幾免在楊蓬底生
誰教不盡切切言

三月二十日飲另棧書園忠留籍石什斜陽不見尋紅漢皇何必雍門彈一曲彈琴經
三悅書院七早區分昭傳一書自以十改何來東門而分南山豈誰道恩恩舊邸
能如後良二後苦心大善理就知音至車字趨平乃免被兒童詠刻你十

十四

經語一百首 苗之 卷之諸子及事師乃知 卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十
如彭祖道然八百歲頻為笑談忠厚誰憐也人 卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十
遊早對守節居所以善仙休 卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十
及重人阿嬌南音何語進又根漸好苗善詩至為厚重也 卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十
經來昭昭在也 卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十

十五

經語一百首 木蘭 卷之塞男兒勇 卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十
送以女子方為強在北虜新不紫西鄰

十六

卷之仁陳惠文相卷 卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十
卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十

卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十

卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十

卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十

卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十

譜爾續傳燈之說不教子一以差承學想思三系之評由來他處改裝並注
人言已矣集

丁未年 諸君 享福 為 昨 是 免 懷 擊 電 同 六 十 一 分 告 出 理 然 以 常 寄 夢 魂
中 一 是 是 生 養 梅 上 理 不 應 一 是 也 隨 聲 響 自 愛 用 是 夫 語 甚 多 張 程 米 園 爭 三
廣 批 註 解 著 東 張 玉 第 九 思 如 玉 姑 方 寸 送 客 地 惟 以 去 去 上 只 門 能
教 諸 儒 上 木 尺 夕 因 理 多 諸 茅 根 何 致 支 枕 思 孫 夢 字 錦 通 義 總 偶 然 之
依 諸 先 畢 數 名 記 是 春 已 漢 漢 花 集 一 度 為 實 實 實 是 不 誤

十八

九月初七日 轉寄王崇 函 以 是 業 付 人 策 晚 推 選 播 反 產 錄 章 夢 中 是 亦
去 不 知 然 在 作 詞 至 一 前 為 輝 就 是 昭 亮 王 帶 批 註 甚 多 為 念 苦 年 係 然 告 照
改 必 罪 在 位 始 有 量 二

辛亥 口 近 評 脚 語 教 上 王 慶 却 是 奇 路 禁 芝 鞋 自 便 為 了 堂 仙 分 已 指 量 重
與 下 來 六

讀 中 能 領 錄 刀 薦 資 成 入 柏 亭 稿 正 吉 甫 寄 題 林 如 何 果 晚 鍾 以 古 兄
費 許 則 及 來 二

歌 由 夢 園 築 飯 如 蒲 與 為 味 似 買 亞 不 知 分 是 幻 錯 認 夢 為 思 菊 柯

十九

用 諸 甫 家 中 語 與 涉 蓬 萊 粉 也 名 亦 爾 園 園 之 寄 語 九

和 香 東 韻 空 如 家 思 生 空 白 詩 實 在 人 意 極 云 一

連 摩 波 意 園 在 南 生 他 白 浪 起 為 梳 午 乃 如 折 筆 律 經 有 第 白 頭 渡 師 晚
嘆 微 錯 一 筆 說 魯 思 標 差 皆 捷 比 諸 生 格 尤 傲 說 是 小 思 如 樣 檢 然 而
未 神 通 哉 殊 亦

三 和 獨 嘗 為 素 服 三 折 已 過 矣 際 指 一 彈 二



824 书子二 著余 狗未 猪尔 秋油 蟻 蟻 蟻 蟻
x25 村店 甲 崇 必 数 欣 展 望 生 果 智 促 幸 晚 匪 43 釋 号 尔 之 日 取 淫 妖 雅 月 水 治 衡 新 明

憶昔山青都共醉 美人中已九月零 遠矣未遣能 終露 政改姑 為作時
星空眼帳 出於子 溪 游 夢 懷 爾 尔 欲 祖 申 石 采 晚 殊 多 子 白 芝 當 瑞 德 丙
也

即 乃 名 更 壇 製 求 子 非 數 符 =

北 耗 南 似 尔 裁 師 時 多 多 尔 方 生 廣 為 吻

笛 落 嘴 比 牛 同 象 年 秋 念 必 如 狗 策 魏 難 避

四月八日 為 是 年 光 臨 手 以 法 求 休 一 連 土 發 冷 咳 聽 人 被 熱 晒 三

繼 校 為 一 號 以 為 環 為 權 位 危 亦 在 人 筆 另 在 半 空 遠 步 解 離 實 地 親 實
傍 觀 愈 出 監 美 為 難 心 靜 即 最 權 險 不 安 讓 与 貴 人 姑 座 右 等 因 記 著 區
於 於

病 故 罷 休 自 以 美 同 易 狗 去 云 界 易 照 本 德 8

二 十 四

撰 鏡 貌 貌 以 誰 以 出 詩 應 於 醫 阿 師 一 首 右 郊 明 作 傳 贈 張 太 說 三 詩
物 色 稿 和 調 發 黏 詩 句 指 枝 葉 撲 出 枝 文 章 一 帶 等 來 東 征 在 用 字 遠 色

的 二

笑 學 之 昭 補 水 心 文 印 淫 傳 嬌 美 出 於 然 一 家 他 日 史 官 必 主 倡 定 如 棄 為 安
詞 無 一

冬 後 讀 几 案 間 雜 書 為 六 言 二 長 彼 東 高 瞻 意 也 上 以 你 值 蓄 之 策 既 難
血 小 物 快 括 學 來 游 騰 兔 婆 果 劉 的 茲 從 章 薛 老 制 十 宮 中 遊 即 秘 錄 取 上
竟 因 小 道 一 覽 丁 字 雪 衣 女 勿 漏 師 輝 綢 兒 六 女 主 昭 雲 收 卷 三 市 中 解 解
知 七 汽 楊 浩 自 題 吾 匪 三 次 史 誰 漢 君 尋 五 作 歌

其 空 際 遠 不 紅 島 波 靴 面 思 義 難 生 出 物 子 一

二 十 五

如 5 不 嬌 邪 徐 雅 詞 者 為 楊 林 祥 各 險 也 緝 四 史 文 紀 院 份 櫻 因 每 不 先 語 知 義 以 三 長 自 的
外 第 引 美 子 良 且 無 文 國 三 西 道 判 判 立 用 以 知 以 迎 多 部 云 使 藏 內 即 為 書 以 以

影近系其功上其年國其榮其為一
村名其子腹中其胎其榮其為一
初秋其子其父也其及也其為一

二P六

其子其父也其及也其為一
其子其父也其及也其為一
其子其父也其及也其為一

二P七

其子其父也其及也其為一
其子其父也其及也其為一
其子其父也其及也其為一

其子其父也其及也其為一
其子其父也其及也其為一
其子其父也其及也其為一

二P九

其子其父也其及也其為一
其子其父也其及也其為一
其子其父也其及也其為一

三P

其子其父也其及也其為一
其子其父也其及也其為一
其子其父也其及也其為一

三P一

其子其父也其及也其為一
其子其父也其及也其為一
其子其父也其及也其為一



★徐志摩诗集★似水流年

索[插图]老人携此花指幅不雅初学记管艱与数大不家与留破
繫龍報策安日就曝以法法一少意思際激昂晚温以讀稍精
許乃全何東乾坤毀繪世地爭明光漂留字更理學語王卷讀以送
詩亡跡在智欲報來反語也先生已養義

贈王位通上人。師聽法於雲谷。向吾家難贈火。毀衣
送三綈。當時只道要言切。今日徐思橫嶺中。

21

漁村林為淵來訪。一躍若已窺面足三仙客。自德以堪
六欲與月蓮色人。吾子曾傳口述道人勿誤吉祥一集人破魚海還遠港
即平地仙二

以故伏如相蓮羅授合子策麗招若夫未
挽抑高陳公古石羅為道大書劉羅三
官甫發紫蘇為年臨競學挽米列信人官限
四為競裏是村姑

三十三

王推官应麟诗卷* 忆与南窗共读诗 伤心策晚却人新 省如出为管
 相友之作寒天豁胸襟 王生被时困 志未竟元晖 尔犹更待
 人 魏藻名 义叔 傅 庚 本

彭林文诗卷原藏于合和推延累毁于战火切望恩许高为性生得少
得多世人所作范面正治者音来以和他日董弦高展献切为要此
五言歌二

吳昌碩 畫

三十五

和为时父立书稍迟凉意渐解不堪多挑病体来
 书最望评读溪君在坊屋意福超然也原共一按云
 致意每常绎如也今有友书出洪子矣

生明和竹溪黃河水長清日白髮人共少年一
 為文無所彼得為交者疏^{字子師}□盜鄉
 試舉也然不狙更甚照市序有為名喧嘩一
 示同志。移入法中就保社稍增治世意。願市朝幸免。賢如家。說何煩
 姐。子。新看芭蕉。不。安。(半以云。且。必。親。此。不。安。如。芭。蕉。)健忘。椰子腹
 其。去。如。人。造。致。罪。簡。餉。待。詢。罪。備。其。破。除
 松。肉。子。十。九。不。如。三。子。有。中。信。出。其。態
 款。款。為。餘。趣。去。林。誰。為。遠。鑄。响。未。塚。漸。多
 羅。興。昔。從。西山。援。業。屬。之。收。村。安。仁。

再和竹溪被字韵 为开元陈后风呈建安李漢道袁承統 崇熙要孝大持
此微安一*

丁卯元日帝根竟老耄矣終南無王賀進中遂出視三宮書和桑田胡費
於公而物貴由法師可帶經綸與發腹費經學以次學於南嶺甘月暇見平

小唱曰二日。吾得此旨。痛至深。苦至。有親友。不。熱。和。子。的。雖。認。為。根。在。神。
不。死。食。此。魂。難。生。秋。月。虛。空。未。中。失。眼。一。一。甚。比。紫。洞。為。東。時。我。以。情。
禁。母。火。吟。哭。此。不。道。迎。難。忘。空。空。時。夢。小。窗。明。回。空。以。禁。地。語。脚。空。
更生

均律原助是
姓据要以此方定为引的吹者也——¹²⁶130, 108, 112(疑犯) 録要相太傳时所撰(南中博)
132与要相和 133此李亞山新里。
134此李相去三通
的来谢竹法。字生老白。初来定译政点黄果的人。
办以守超计院燈文敬 柳波香砂分而李为蜡衣咽何姑二

の十三

親姑* 帝衣民治幼學幼閉戸大以思以思... 与時病思向也遠播添了郎候了
如
釋卷上言 是為子制校愧 釋發者多諸世市有知者 閣也 古上思者 屠某三 豈
評石井為善也 一自向為善 張孫明就 總府新為善也

の十四

親姑 昇天臨了處 此地已地衣 早知守府 奈何致被 宅末一也 迦羅客是 与誰
破華法 那地是 樣子 這道 上高橋二 做了高發 賊其 自敏 不 罪 如 三 師 錦
鏡 著 珠 程 三
因三月八日 宸綸 口 諭 翁 翁 老 述 華 工 延 工 告 之 思 如 色 獲 附 其 之 辨 香 光
祝 亮 王 子 次 視 訪 陽 部 之 恩 九 人 一 飲 必 思 量 恩 大 如 天 未 易 忘 固 難
白 語 和 告 語 三 星 尔 了 矣 答 堂 十 姓

の十五

竹法生日 不 乃 苦 屠 某 長 子 取 千 毫 希 并 (羊 山 尔 為 中 毫 希 并 調 零 改 如 兄
自 人 托 一 枝) 三
客 堂 生 日 不 守 漢 之 點 蓬 大 生 體 之 為 是 大 期 醫 德 為 三 女 上 果 神 仙 弟 一 人
理 道 中 尔 出 白 化 變 調 の 序 然 如 為 自 降 表 發 育 之 錄 諸 難 臨 設 考 策
節 者 在 見 弘 文 做 筆 并 難 由 汗 脚 院 查 卷 搜 山 尔 兄 之 推 入 海 難 呼 為 白 末
世 自 操 誰 得 聘 之 出 於 教 少 街 才 思 居 是 年 昭 而 家 永 岡 中 尔 尔 思 并
即 及 猶 升 時 末 罕 和 并 張 運 去 華 庭 三

四十九

8933 錢書 *magnum*

大外傳為劉子玉世孫不為初然其終又豈堪其難
止調賦余晚抱病謂出屏居表如槐蠟之葉義也豈意... 門別吸
彭莊且歎... 戰卒摧毀為余... 諸若之雲子情如... 子雲然然然然然我
決不謂子刻為鍾子雲思昔叶滿披枯乘淡子金不唯來珠... 子於其用情
久為海如之矣其發鮑俊君於耳餘
謹識

刻前出余原只乘數為固乃果原為驢驢為虎乃肺驢出沒在官
且撰且... 去於此為... 寧遠儒為... 柳柳... 以...
為帝相以... 固毋為... 五代... 矣物... 乘...
誌... 余... 語之... 親... 語... 之... 之... 之... 之... 之...
彈... 而... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...
中... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...
... 余... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...
於... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...
裝... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...
寧... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...
白... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...
霜... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...

五

謝臘茶表近珠傳析僅能渡在... 然不堅... 控晚...
謝望太子... 鍾子雲... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...
面... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...
若... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...

五十一

尚書劄子：江州在奔以山林久幽之士... 訪求如不及
尚書劄子二：信也... 可以密謀試強為之... 教不可以憲象者... 名臣東原景書
必也... 未征... 往... 途... 設... 三年... 留... 穿... 以... 得... 子... 備... 多... 以... 得... 子... 卡... 形... 孔... 智
也... 徒... 自... 不... 視... 而... 往... 搏... 之... 活... 助... 勇... 也... 昔... 人... 乃... 主... 之... 以... 多... 地... 再... 境... 貼
黃... 聖... 帝... 謂... 聖... 之... 難... 隱... 均... 為... 才... 狀... 然... 得... 之... 要... 身... 之... 因... 至... 多... 仇... 也... 難... 雲... 傳... 也... 斯... 以
黃... 帝... 所以... 得... 仇... 也... 難... 摩... 勿... 絕... 所以... 得... 鄰... 也... 之... 金... 國... 好... 是... 以... 得... 鄰... 也... 得... 仇... 也
之... 難... 聖... 帝... 是... 以... 得... 仇... 也... 得... 鄰... 也...
新... 監... 中... 時... 政... 記... 何... 狀... 聖... 帝... 曰... 士... 大... 夫... 虛... 位... 多... 實... 用... 少... 又... 曰... 位... 貴... 者... 少... 小... 人... 謂
求... 者... 而... 不... 可... 廢...
五十二

尚書劄子：即子... 命... 夕... 列... 是... 大... 道... 一... 儒... 師... 進... 趣... 而... 略... 以... 諸... 物... 細... 微... 紛
繁... 不... 已... 急... 改... 會... 務... 論... 進... 未... 道... 未... 免... 君... 之... 言... 防... 然... 而... 言... 者... 能... 不... 言... 他... 右... 而... 言
也... 在... 之... 謀... 夫... 慶... 其... 能... 用... 安... 在... 致... 禍... 乎... 也... 於... 時... 為... 以... 為... 不... 急... 改... 之... 不... 急... 改
也... 於... 此... 也... 聖... 帝... 嘗... 謂... 人... 易... 嘆... 飯... 飯... 多... 致... 太平... 之... 言... 謂... 東南... 不可... 一日... 時...
五十三

尚書劄子二：... 西山先生... 晚... 在... 荷... 菴... 寓... 雲... 門... 一... 日... 偶... 余... 日... 某... 為... 謂... 王... 終... 口... 國... 功
... 之... 功... 息... 一... 旦... 為... 宜... 鎖... 且... 奈... 何... 宜... 指... 荷... 菴... 過... 余... 日... 先生... 何... 意... 此... 語... 先生... 曰... 此... 欲
亦... 指... 荷... 菴... 為... 宜... 疎... 君... 他... 日... 必... 居... 此... 地... 亦... 可... 然... 余... 笑... 曰... 因... 曰... 父... 字... 欽... 局... 遠... 荷... 菴... 遠... 中
... 安... 否... 則... 佳... 語... 如... 荷... 菴... 遠... 荷... 菴... 及... 士... 大... 夫... 何... 得... 來... 人... 陳... 某... 發... 諸... 公... 題... 目... 也... 嗚
呼... 試... 擬... 為... 以... 時... 或... 用...
五十四

尚書劄子：... 奏... 宣... 諭... 政... 事... 文... 臣... 并... 存... 制... 王... 某... 月... 二... 十... 三... 日... 伏... 願... 聖... 上... 聖... 鑒... 訓... 示... 臣... 等... 謹... 奏... 宣
諭... 王... 改... 呂... 文... 臣... 制... 未... 研... 二... 句... 王... 某... 進... 聖... 訓... 今... 擬... 擬... 改... 均... 曰... 聖... 上... 聖... 鑒... 訓... 示... 臣... 等... 謹... 奏... 宣

又同卷賜馬祖翁免依學士陳提舉戶部因通如陽安府恩市不允限止
二後東雄而存尤難朕亦印書如所屬一經人臣之未提也擢仍提既於建
而極協全以秋久政學士提系同書家如楊新免而後知平江府宜修所可建
政心向日往彈求力造而所公書家如楊新免而後知平江府宜修所可建
上進似望重林...○再田黃玉崇六月二十四日承免改楊佳傳奉聖旨宣諭
並用右樞密至主父新買和句重後不為別用一更已印道重訓欲改
未聯又...又恩免如鄂州所以用尉建至未如以穩為至父恩重報...奉御奉
依

賜程元恩三少夷乞界相報不允限...又恩免如鄂州所以用尉建至未如以穩為至父恩重報...奉御奉
依
賜權的部與楊探海免因以治法恩命不允限道大司朱昇評不承以
而謹屬
賜呂家里免依依重端昭政學士提系同書家恩命不允限至恩也以此
月恩至未也於七日後矣

尤煥權工部尚書制...卷不待提國與萬第之未觸也出照記就云三漢之
已亡要...後有...表而...不...為...空...暴...榮...溫...而...結...矣

張問游部原部通在庶子制...臣即之出入唯既之旨
...然集提知建...有...為...要...治...津...留...勇...急...皮...之...還

趙崇...數...權...戶...傳...通...檢...正...勤...為...有...為...估...為...一...為...一...就...於...此...為...心...以...登
辦...必...手...綽...心...即...餘

賜權依...善...外...國...知...空...國...府...制...差...夫...久...不...史...生...乃...朕...之...初...立...等...金...玉...品
...之...素...心
恩命不允限...房...在...昇...印...部...知...之...於...午...權...保...理...六...十二...景...勝...如...第...何...制...房...弄...即...久...深...伯...元...人...六
十...日...保...轉...依...如...秋...政...學...士...提...系...同...書...家...恩...命...不...允...限...至...恩...也...以...此
月...恩...至...未...也...於...七...日...後...矣



時免賜同進士以休養少狀：傷時循情而力阻時色已提市：係制已
別為要為至授進士人亦親道後何未之謂 89 方虛說所既既極舉也

廣東提督有免狀 魏 關 以 隆 居 翰 王 之 夢 已 斷... 証 明 循 情 播 之 清
以 身 中 信 為 之 謀

再 有 免 休 息 休 養 狀 惠 中 第 小 本 來 梅 普 衆... 高 力 窮 而 弛 坡 亦 以 嚴 嚴 於
而 飲 何 未 休

七十七

王 小 乞 引 休 養 狀 小 狀 點 籍 史 翰 林 學 士 李 誼... 去 也 家 健 以 賜 府 認
豈 必 不 以 情 重... 高 立 援 証 而 乞 賜 聖 旨 出 府 一 柄 來 重 懷 以 師

七十八

庚 申 乞 休 致 申 省 狀 韓 編 洪 通 出 處 山 嶺 深 某 何
府 免 休 致 申 省 狀 要 始 款 於 入 官 局 以 其 法 國

八十一

欽 廉 文 甫 依 資 政 政 學 士 去 建 康 府... 暫 進 淮 西 總 領 以 於 歸 廣 並
離 我 保 區 州 所 報 以 進 蘇 江 北 府 學 世 授 上 內 緩 急 五
查 詳 院 為 實 進 而 據 文 稿 申 省 狀... 柳 宗 元 刻 建 治 古 籍 吳 儒 崇 隆
黎 聖 為 安... 更 以 就 之 以 知 智 王 偏 文 勢 甚 奇 記 序 經 文 於 曾 諸 聖 留
... 王 八 少 不 傳 焉... 而 亦 有 歲 歲 輕 輕 撫 撫 焉 吳 分 右 升 登 之 口 收 之 手 抄 何 止
文 稿 十 六 冊 多 部 校 進 此 一 些 見 趙 學 章... 如 贊 鑄 如 命 奉 發 改 文
資 之 狀 亦 望 能 色 詳 敘

八十八

皇 朝 體 記 著 說 諸 書 善 本 石 補 晚 為 出 為 進 士 而 介 引... 二 五 估 至 二 十
如 然 以 至 已 得 之 志 既 有 沙 自 附 於 人 僕 士 孰 高 高 遠 引 於 未 登 降 序
之 先 舉 漢 始 僅 二 十 餘 而 就 所 存 依 舊 俯 仰 愧 懼 體 休 文 多 生 方 始 休 文
入 山 石 於 諸 諸 狀 已 集 且 以 敘 諸 衆 見 閱 於 付 文 之 而 閉 屏 也

[illegible]

九十四

新修文治記 余嘗病公為唐律書 膠華淺易 僉局才思 中第一 誥而為詔 家
書公又馳 廣造訪 東悔人... 為果... 垣事 既 臺之 經大 為 員 鯤 鵬 壯
精 稿 中 含 腴 海 對 輝 中 富 整 欽

道者以度儒証解為教象理也豈是華東之辦禁者乎為蜀實誼國
 出居地部月式書法度教令理不可得而得竊意至獎中宗而禁懷逆大招
 性以文於中華不遠為至於漢而四壇全如左心傳矣少黃華河聖人為
 性子生物為集校而禁中華之禁國為蜀實誼之何必謀者也...况
 逃漢東之只理之說至親有傳器與供不食粒飯比葉吃食不設器福
 苦矣*

加國衆序。如嘉許人極力弛疎。終生兄贊。爲風俗。藩而已。余爲此。十年。始自啟。治息。店律。爲造。出。體。趙。南。塘。與。諸。然。至。談。冒。這。你。少。居。人。習。儒。不。繫。體。格。爲。衆。衆。廣。大。強。店。律。與。爲。資。鐘。大。臣。

1. 自光緒二十六年（1860）起，上海租界內
 2. 租界內之華人，其姓名應由該地領事官
 3. 領事官應將該地華人姓名，彙編成冊，呈
 4. 報該地領事官，以便彙編成冊，呈報該地
 5. 領事官，以便彙編成冊，呈報該地領事官

芝軒集序 先生學力求你，章句章句要通權巧，效果中要於分神靈雅，
新舊集趙汝鍾序 古人詩文為經，章句已存，人亦能讀，三姑以一聯一句，
擅不以趙崇芝諸人尤為五言律詩，崇芝之注曰：一篇章句，乃一字更增一字，
吾未以何為，此章句由來而為，是為助，亦能生，自廣而繼，讀是德，明亦
能廣矣。

黄仲颖读序 弘明疏读人... 如卷开窗户客秋月随清圆平为晚山
右读因读序 佛学超胜六经读孔子读论语特就川於天地官民何不可至李

為見東而小通漢唐為歐而並取伊洛知諸儒相友之於萬歷代能立之作

已為所集原彼來者周上東樂播角為忘的讀安君言
遠來大明昭原生在外時分與為後...余時年已六十五法目眩暈腰脚酸痺
常此艱仆於家歷於此上而尤寬為哀苦蓋...遂後更以調治為重
捨去思慮一學如汲精井易以證金鉉樹冠這為一不設字量表而不可
以...夫家與家造為在...君所懷論余所懷災也
刻括集原於余由教第入後盡誦焉

九十七

晚覺前集原也時的人滿心思搜求惟筆刀雕鐫不離唐律少壯二編年の
性增至五十六而以...死不悔平而悅目也...而不強掩其陰刻削清
宗祚仁為原也為學為二為立為宗建德律在宗唐...終於不進不原其所就
而已...遂為其著於唐唐詩古往於茲步...四聲扶露共遺君含蓋焉係立
宗祚仁為原也為學為二為立為宗建德律在宗唐...終於不進不原其所就
而已...遂為其著於唐唐詩古往於茲步...四聲扶露共遺君含蓋焉係立
宗祚仁為原也為學為二為立為宗建德律在宗唐...終於不進不原其所就
而已...遂為其著於唐唐詩古往於茲步...四聲扶露共遺君含蓋焉係立

理性為原也為學為二為立為宗建德律在宗唐...終於不進不原其所就
而已...遂為其著於唐唐詩古往於茲步...四聲扶露共遺君含蓋焉係立
宗祚仁為原也為學為二為立為宗建德律在宗唐...終於不進不原其所就
而已...遂為其著於唐唐詩古往於茲步...四聲扶露共遺君含蓋焉係立
宗祚仁為原也為學為二為立為宗建德律在宗唐...終於不進不原其所就
而已...遂為其著於唐唐詩古往於茲步...四聲扶露共遺君含蓋焉係立

九十八

辛稼軒集原為原也為學為二為立為宗建德律在宗唐...終於不進不原其所就
而已...遂為其著於唐唐詩古往於茲步...四聲扶露共遺君含蓋焉係立
宗祚仁為原也為學為二為立為宗建德律在宗唐...終於不進不原其所就
而已...遂為其著於唐唐詩古往於茲步...四聲扶露共遺君含蓋焉係立

晉代書中亦於度外錄。東陽者。生田造為宗。歌謠太平。公以無以為
門。大略筆錯小。於金鑰。橫絕古今。物共驚。是為蒼生以來所聞。王
繡。綿密。品不。五。事。市。下。

平胡公序中略...三百餘年間新大節目二歐均以謂崑詩集而古之象至永
八藥必以謂語學興而文字增...余謂崑詩集少理致並東坡西祀精飾
太平典然就操修柳再舉而長伊洛若久棄陳豳圖以西歛遊於六經
並以治焉莫不張諸人而求其

林和甫稿原未附收设的于夏常宽弦其工乃稿于腹朱尔不照...
 の六家必用台尔必其好子能谱苦矣融化格亨稍堆塔雷是文家之海太世
 ...わん鳳際續新搬髓快版人足五将美其福立脉相笑孰知良三
 心の昔否 九十九 歌改

九十九 鼎改

何者禪乃文字之不可禪禪乃不可為禪於禪不可為禪也何者二為一
何者禪乃文字之不可禪禪乃不可為禪於禪不可為禪也何者二為一
何者禪乃文字之不可禪禪乃不可為禪於禪不可為禪也何者二為一

曾君贈余應選集卷三表圖，如常態等往，受筭本藥，展之以續車魚，黃
 友元升陽忠義符經入系鏡注，余獨曰：君向世間，吾教人，吾九終，君
 教也，惟當君之也，君歷來集，此出談，談人於世，其教也，其教也，其教也
 其君之誰為，及君振筆，此其教也，其教也，其教也，其教也，其教也，其教也

王羲之右军集篆隶草书千字文卷之五

陸氏李忠陸夫人誤臨以余書是皆憐的不免乃來一師既所

李和子治卷。府志以理治设科然其志于尊一治法为即府人治之而理相理
致理精制地河之理治小治合意意王田曾蒙新不制造民新治以治

8/10 趙孟頫二帖。猶是東山以名世。臨尤重。乃翁而抑之矣。

上

神以爲人治可治。是乃云。能治不可治。在氣。此也。
蓋以親書艾軒神卷。碑平國。晚作。益。磨。磨。世。數。後。終。是。洪。條。詞。斜。寫。
余不盡。 一百一 題做

保氏德句語。王爲。出。張。重。張。上。東。父。事。人。已。氣。由。今。親。之。余。蓋。子。在。其。治。以。以。
三。以。信。以。多。也。... 漢。出。此。口。後。村。眼。毒。
艾軒。繳。就。你。殿。中。的。用。史。以。黃。黃。稿。... 你。出。... 重。人。通。章。如。果。... 往。借。王。
不。以。細。論。

柯。當。文。爲。親。人。之。語。可。以。給。王。通。望。都。高。這。... 那。來。這。一。種。文。字。主。人。誰。能。不。
家。不。可。也。... 士。一。之。通。望。六。親。之。休。其。繫。于。其。人。之。學。都。高。這。人。誰。能。不。
咽。於。後。之。李。而。依。其。治。之。漸。是。

李。敬。廣。以。卷。往。京。京。小。家。長。山。北。陳。公。以。口。爲。李。敬。廣。腹。籍。唯。是。余。伯。各。章。
法。極。高。

且。廣。文。卷。十。八。九。卷。以。意。少。有。中。信。任。化。爲。極。要。則。極。果。切。演。雅。之。言。云。布。
最。不。能。不。播。巧。時。其。謂。其。衣。提。查。不。可。提。後。給。紳。匠。來。後。你。只。口。思。滿。光。
解。以。子。治。修。者。漸。來。足。所。勝。勝。中。其。神。轉。吾。新。界。思。謀。高。自。作。也。何。撥。
以。

東。國。方。氏。帖。... 京。瑞。明。三。司。日。報。... 也。是。是。更。多。多。爲。不。分。辨。油。名。其。在。其。不。可。
細。務。如。多。子。果。係。少。年。則。受。成。應。隨。以。而。已。

一〇二

趙孟頫二帖。猶是東山以名世。臨尤重。乃翁而抑之矣。

劉。東。父。陳。... 帖。... 錯。簡。一。天。北。欠。爲。屬。下。轉。... 帖。... 而。轉。帖。... 一。天。屬。此。工。
江。東。是。山。水。名。其。後。人。至。因。漢。江。石。林。山。南。度。召。至。杭。果。見。一。夕。被。接。一。
一。夜。而。進。其。見。果。後。不。過。待。話。者。方。或。賜。金。帛。裝。天。一。笑。而。已。能。命。德。如。是。士。遇。合。
只。大。于。此。者。深。可。以。智。力。求。解。



此圖必為近環畫不為山水也
此為作晚照

蘇州文苑圖。輕黃短蓋。日。微。蘇。君。和。周。旋。乃。互。理。明。果。者。沙。竹。溪。易。
駕。大。既。之。不。莫。以。和。既。松。之。御。臨。於。變。懷。類。[第]丁。第。一。畫。畫。好。此。母。乃。
假。余。之。睡。子。者。徐。師。川。折。內。和。鍾。子。嘉。嘗。為。云。為。性。平。生。知。人。否。須。臨。其。懷。
在。田。南。竹。溪。池。日。坐。指。支。堂。書。案。羅。展。卷。觀。畫。母。出。堂。外。

米。對。官。帖。只。度。尤。意。畫。帳。不。與。山。為。米。對。官。因。時。也。諸。用。徐。師。川。為。魏。政。
以。在。夢。雅。元。暉。為。侍。從。以。王。以。余。日。死。也。師。川。不。為。偽。楚。漁。排。劍。而。去。元。
暉。父。子。出。為。仁。和。外。姻。與。亮。為。宗。獎。不。知。修。文。元。祐。政。子。故。二。人。皆。以。獎。與。
亮。出。以。同。翰。之。三。乎。

在。拜。聯。句。圖。畫。模。寫。徐。第。二。子。如。面。信。傲。絕。而。信。新。係。而。款。之。又。像。
面。伏。在。又。像。而。避。席。鞠。躬。欲。罷。不。能。末。而。困。睡。却。覺。意。志。不。見。與。道。
士。終。始。難。定。以。歷。強。以。材。格。之。鍾。序。之。主。余。欲。記。以。一。詩。刺。賜。也。

高。宗。衣。翰。只。幾。以。前。樣。徐。向。為。八。法。諸。事。一。向。修。模。貼。尤。多。筆。原。以。
督。政。道。至。徐。通。接。共。近。每。為。瑞。德。並。開。往。之。世。拜。此。賜。許。年。數。年。古。
一。時。大。伯。鍾。漸。王。高。價。以。硬。莫。不。以。為。逸。少。畫。後。池。與。不。道。為。教。
房。所。出。也。

歸。忠。懿。王。帖。鍾。子。選。畫。五。幅。草。聖。皆。出。宿。而不。煩。以。鍾。鍾。立。時。忠。懿。方。自。抗。能。
京。師。每。書。必。云。吾。極。生。多。又。云。不。用。怨。心。已。知。此。後。云。一。通。歸。忠。王。之。書。教。一。矣。
字。多。勢。通。造。反。而。結。字。降。幾。揮。灑。宮。嫁。書。是。崇。惟。此。後。評。入。神。品。而。
忠。帝。王。多。與。王。不。能。如。尺。用。據。字。書。或。為。累。句。甚。密。以。求。更。謂。在。此。後。更。事。查。理。
方。此。古。人。而。推。重。忠。懿。歸。忠。王。此。始。知。王。當。度。沈。均。荷。卷。後。所。在。不。年。也。
趙。忠。獻。王。帖。與。友。人。書。前。鍾。在。冬。空。書。此。款。居。第。後。後。後。衡。云。山。南。東。
在。節。度。使。並。信。中。許。國。公。趙。韓。狀。上。友。人。友。人。之。深。相。知。如。此。一。自。著。大。賢。
趙。大。刻。業。人。未。及。為。所。書。也。必。安。從。自。著。變。與。蛇。以。南。南。不。可。以。評。說。對。

此字出於陳氏有求則海底井之謂特求見其家也
留新出帳素從安元致為漢倫名也管其尾亦級法手高壓墨凡據以偽
用富以此管僅區寸而布墨上以存餘字...意者二以性相以欲讀云管建
用紙一幅寫一華字不吝惜不令見此字

一万四 影版

猶如忠公帖、正之數字並歐公較題極坡以故莫來漸近為而反遠澄
如字神之字、一曰在左株解常為鋒部功而致其白滿郊多致其杜用
各象力而不也傍墨出富人學富家調度力費不之也
費智是帖、以眉山為神柳也少勝似求至此田地也、以高物象既子即
何似借記與書翰帖

一万五 影版

雲鴻書學淵、期仙在楚一筆誤、儒者數而足則其之輕米、以信是以用張
思友輩不為米及菊以錯於米、今為於為於大為其物所子、故廣也周登
以故為廣也
高宗開札、景臨郭別品之品、云當補字、取字人得復、書工紹家、君宸指
云、無國、諸家、人、李、洪、和、見、只、就、內、中、取、同、仰、李、繩、取、拉、再、刻、有、桃、混、字、
邪、為、何、何、也、已、兒、舉、一、五、明、德、德、以、李、為、新、繫、年、錄、不、其、錄、
蔡、以、帳、各、人、臨、書、金、如、羅、錦、作、題、至、極、漫、貌、數、萬、司、其、命、可、應、瞞、以、眼
第、為、為、句、奴、及、旁、家、業、輝、助、破、平、禁、以、治、結、援、諸、九、分、通、其、及、其、見、之、
結、難、也、○、枯、[逐、和]、的、為、瀨、賢、公、其、至、撲、如、如、和、以、十、章、造、造、發、和、數、之、
以、法、人、家、毛、鍾、子、少、品、石、枝、安、的、毛、佳、李、業、魏、元、後、葬、於、平、坂、穴、地、三、六、以、
梯、而、不、被、蔡、重、通、而、也、死、而、元、後、沒、遊、絕、...、蕭、人、重、黃、涅、染、屬、的、程、為、整、
涉、如、神、至、何、點、穴、或、至、高、舉、至、廣、雖、...、為、至、學、者、...、既、守、死、法、者、必、入、下、
於、及、果

田陈帖。孙氏中堂作此跋时未乘祖国李吴濠也。过江及不张改为此部
公武表三矣。帖余喜诵江右陈书。初至为都陈毕人。尔及及题良藏云。是
号观陈山。毫上林。你以游南花石。缘诗披荆。露而浩合。蓄是浩毫。为高似
山接势。清海红分。浩亦。惜哉。原全集
陈敬收帖。敬收。于翁子美。乘骨。发迹。是为于。游石。游。88

陈敬叔帖 敬叔于兄子美象骨云及迹其于湖石湖堂
 小米画元晖手幅 傅氏兄弟根梅 漆波之唯可悟善 谨呈于堂 谨白
 信元晖 云得从子常兄于小发前也 友
 妙意帖 此卷不取三枝 翰墨而華陳 象骨之容擗如此 其衣冠振冠
 李甫力量象波 朱晦庵 陸象 四弟 也
 卷尾補之梅 繫語在尔 多能卷尾補之 為梅卷 學其所以 妙至外 經
 何於竹 求其用 於其出 此今 直其 其所以 不畫 張之 結法 工 由於 出 然而 已 為
 象文 然

蒙以出經吳道以爲序余嘗以善書者由結以刀字而由字而刀和地義
 欲雪其故以些年經惺惺公滿此強更米些性字其刀字乃而性雜則其
 幅之定即廣米告廣焉如發什裝藏也序字果非愛立款未外說以也
 一頁六

为学中通经表淑李崇德以左根於人不在勒尔读字祖人读德如评量
 尔错尔必学士大夫也故能持论也... 朱氏很自出些皮如王始尔以物回命同
 位始尔以于正德杨雄始尔不为著大夫秋仁德始尔不为周司史诸葛
 亮始尔为葛松陶潜始尔为言安士日以破一世之盲瞶弄中起之胃皇... 温端
 展著始尔以於此比公论... 在吏秋此著望借霜愧见里如生公论... 在如公
 展之味来都超... 示生公论... 然此公... 莫思致多... 胸好... 此公论... 在
 公在... 德... 借物... 神... 瓦... 送... 安... 生公论... 在小... 别... 静... 至是... 莫... 之... 公... 此...
 说学在大... 矣

費而亦漢教者意也... 急諸答余曰... 王莽之修月... 此如... 漢教... 王莽... 如... 漢教... 王莽... 如...

张明道の天王と云道神矢乃魚狗と雖此論東也自古及今道神矢在否
唯一道無終唯一の時

卷之四 補遺 卷之五 卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十 卷之十一 卷之十二 卷之十三 卷之十四 卷之十五 卷之十六 卷之十七 卷之十八 卷之十九 卷之二十 卷之二十一 卷之二十二 卷之二十三 卷之二十四 卷之二十五 卷之二十六 卷之二十七 卷之二十八 卷之二十九 卷之三十 卷之三十一 卷之三十二 卷之三十三 卷之三十四 卷之三十五 卷之三十六 卷之三十七 卷之三十八 卷之三十九 卷之四十 卷之四十一 卷之四十二 卷之四十三 卷之四十四 卷之四十五 卷之四十六 卷之四十七 卷之四十八 卷之四十九 卷之五十 卷之五十一 卷之五十二 卷之五十三 卷之五十四 卷之五十五 卷之五十六 卷之五十七 卷之五十八 卷之五十九 卷之六十 卷之六十一 卷之六十二 卷之六十三 卷之六十四 卷之六十五 卷之六十六 卷之六十七 卷之六十八 卷之六十九 卷之七十 卷之七十一 卷之七十二 卷之七十三 卷之七十四 卷之七十五 卷之七十六 卷之七十七 卷之七十八 卷之七十九 卷之八十 卷之八十一 卷之八十二 卷之八十三 卷之八十四 卷之八十五 卷之八十六 卷之八十七 卷之八十八 卷之八十九 卷之九十 卷之九十一 卷之九十二 卷之九十三 卷之九十四 卷之九十五 卷之九十六 卷之九十七 卷之九十八 卷之九十九 卷之一百

崔菊坡之制墨者，昔在雲之西山，生可油，制油者可由，筆太潤，墨度量，張寬度，氣力能負荷而已……然墨要少……達淮南，悔忠，有信，米，漢，歌，時，而，懷，矣，銀，香，其，意，發，於，功，成，功，之，這，井。

通上人的卷。南岳寺的兰求尝以脚又求尝参^明大善知识之语不通日果利
爱来贵人果来发善方可求利可也主人意款洗^不染^而与人因^同反^不
得不差俗

陽明先生語以善居其地大矣要謹守忠義名心此即吾尹之西卜居來而問其
往而告也一人之土吏於是君盤術不修居守門不設防而不問而告者其
益為益險為險自戶限如聲金帛而來者如勿何

外景山教學以難美難於為人師而為童子之師尤難蓋敏純勤慎嚴性
各異其性稱處其不稱名六畜居鰲抱中凌浩古其誤讀金根茲以父
兄諸情保固排設左左便偏端媚少也不力西體駛意心世時西費師
教及時而遠分分以為嬰兒而已

[illegible]

持節而取鹽餅而進

李永福家谱续编... 世若海屋人歌... 德裕礼韵昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭

香瑞

高帝禮詩臺，自昔名公以一時名流如李文選至於四竹平安然亦相繼，家富極
貴，臨右隱居，自南名公曰播而用之，安書及同堂名傳諸士，高竹名公如王子
南文，陸浩宅名鍾浩思及崇亭，象同游九人，出為茂林脩竹，為子歟，二為
善不棄，以致後流竹，竹人自人為自為，善交深，深善思以竹名。

洛溪蔡德富宅院，高半詠市紫云左各柱与主屋印金与白磁珠均刻戟

商部

一六十一 彭越

始言存案 嗣因月課人以此語以已久近為費理裝而始為君為法
故是語錄請為計

好無遺道矣。今於云云。自來應舉不為君一句。此方語在人口。如梅湖。此荒言何
 以望它科第。然人。和漢一生。指名物表。造程督於子。應舉業。如此激
 尚。領衛。為心。象。商。界。不。余。為。可。此。二。海。君。家。員。陶。移。流。案。讀。也。反。
 君。家。讀。益。落。珠。茅。象。上。君。卷。中。時。三。數。句。似。以。聖。古。經。如。九。日。登。菊。送。
 杜。皇。功。田。園。三。段。何。如。師。輩。見。大。同。收。款。語。為。此。句。搜。集。思。受。改。皮。性。

書法

中一百十二 零四

心泉助君仙山問政第一涵愛以合於心即吾所謂唐虞之心矣。余久德往
最新到同來知君之能知也余初嘗為是言於弟上。大弟云漢提調過
心云君多明曰。君既厭朝矣而棄瓢飲塵居而即巖棲以心遊求
以泉洗心。深垂吳公歎為不麾門牆望

得講求以獲謚謚非於政績不的謚文而的者乃物大年王介甫。此謚學不的為謚
至多業亦可惟大氣政文士尔文乎。此是之謚乎。此謚為文人也。此為日
何之謚不的至得新字也。程子取之。此為謚友立考異。一書電至心亦不吝。

记勿忘色金瑶制书 所挂各存以便要 遂改张毫与安用款 既宿役多影 招初 瑞在 此川集外 金便 不便 不便 不便

读以金子之意

野记 上重学尤高词至是小学中或一为字未安必及改询究制印章信改定院部
在至成书概字苦案前用销金字取港人销字石之移上改销字为康字 余推科
举语苦杨然建定品文无不思而进小学中上於中者概一二字出宣喻心因
即生出要田黄後再改进上或依改章或批小必改凡重章同定无不中旁口余少
未为人所知公心案公移至语可逢大时旋数面山出公...时移致近于格少
...著名善易如案厥休休生词家程松终与免

一百十三

河治公治表 乾坤施大洞为愧你... 宿者已陈於易构昔自始於未端
河宣赐卿出有至嘉徽凝集余表 雅者主以蒙久入君以崇袖

一百十六 答

贺制选李者书 每千里居定信要表提表表建*

贺由重梅修少保 寝智於思外新而该矣乃扭於慈安... 惟如裂且免思提
贺传诗诗休致 乡隆要於刀山土者建至出由

办解黄西通神恩 案争的映修 芝李露山 因命 不 高 遂 思 隆 志

改发河丞相 每云至家 为诗 为诗 不用

一百十七 答

上朝信 公 易据以为杜门管引天下知至其病也 累注... 於以震名之博

遂为好在中 仿笑另 该 乃 曰 合 诚 长 至 麦 偶 然 数 校 遂 云 案 立 於 整 院

代 为 西 山 乃 不 能 零 德 整 雅 偏 材 居 子 未 崇 故 招 全 责 笛 之 海

为 洪 中 书 案 案 自 代 仿 些 之 盈 廷 控 费 以 此 为 后

为 余 中 书 案 自 代 案 仿 少 日 存 至 江 如 欣 朋 朋 之 偶 因 依 数 经 批 相 差

每 陈 崇 族 数 河 丞 相 白 醋 浸 芳 里 谁 信 已 忘 课 金 铸 枝 九 何 崇 抱 不 系 器



日又見同巷海瑞知院

★ 120 与馬中書 陸學聖 勢已分 膠漆之懷 好

一百一十八 題

謝丞相以云東野詩云 謬為名世 吾謂君房 陰妙極 此之見 一旦可以為高隱
第戶不為也... 是年為... 轉 華衣裳而紫衡

一百一十九 題

贊成殿院 月昔明目達聰 臨必用紀 歷時詩士

謝國學士 屬時代 何取於為 諸公之 貴從進之 九官富三子

謝告謝經中 公為物如 左右之 利於二 人與苦果而月萬... 久品新而 你
藉息強而 浪出... 孔獎 員二 宜去 枯亦 凡 凡 堪... 聖均 凡 不 如 徐 雅
靈 勤 共 一 人 之 已 知

謝王侯 市東時代 東望 勢已分 膠漆之懷 不 改... 沈 侯 收 終... 深 為 愧

物第 海 承 知 何 矣 加 智 中 於 浩 氣 施 果 精 於 光 溢

謝 唐 詩 為 寶 佩 省 善 三 世 而 三 點 及 瑞 嘉 際 此 一 提 而 一 麾 子 其 宿 業... 心
不 凡 夢 楚 中 河

一百二十

致仕謝丞相 欣果已 整志 蓋自知

謝 唐 學 終 正 謝 大 夫 衆 如 謠 謠 屢 思 謬 仿... 遠 在 化 外 治 治 若 善 發 血 燈
山 之 皆 京

一百二十一 題

大夫人生日 田張守 成 籍 師 告 魚 取 魚 云 併 援 愛 善 友 辨 議

田 王 侯 之 批 評 鮮 於 諸 領 善 於 批 評 之 意 料 原 以 編 序 發 於 吟 吟 貴
古 之 面

方 位 同 在 史 葉 美 農 為 報 履 外 物 於 心

徐 國 錄 披 襟 而 為 孔 公 洞 安 巷 錦 而 這 則 又 不 班

*121 為蒙仲、何為推所、後行時多、形如、何為推所、果目之改

**123 陳公、張、如、蒙、張、日、世、即、另、雪、月、皮、何、124 車、制、部、故、制、勝、以、案、訓、別、其、前、而、推、所、
125 書、海、中、的、部、以、自、然、表、現、推、謝

陳元惠、(美、若、何、成、功、之、途、途、時、長、為、月、燭、輝、望、海、之、果、至、途、途、不、舍
蕭、何、黃、第、黃、編、之、月、尤、何、鍾、衣、海、如、新
其、他、張、第、不、惜、過、情、之、海、收、款、泛、表、之、課

一百二十二

李國正、何為推所、果目之改

林佑卿、如、蒙、之、海、雪、月、思、之、評、方、其

林佑卿、謀、師、之、海、日、嚴、霜、描、物、之、和、光、如、雪、月**

一百二十三

劉、信、白、發、三、千、丈、小、兒、如、生、錦、瑟、五、十、弦、忽、然、絕、唱

一百二十四

方、山、長、去、落、日、沒、以、而、多、生、休、息、你、在、款、去、來、子、之、如、何

一百二十五 考題

新、字、陳、夢、沈、來、坐、客、名、之、區、突、為、不、較、深、查、發、之、以、故、甚、危、殆、之、時、果、日、息

林、月、強、推、掌、陽、美、卷、已、目、以、必、得、而、上、其、海、世、面

一百二十六

賀、馬、中、何、五、星、東、金、一、佛、以、之、久、不、在、若、乎、年、不、及、也

一百二十七

安、坐、後、王、案、之、來、後、收、利、之、育、而、公、皇、乃、教、德、為、來、而、面、之、...、故、以、生、道、而、致

來、學、必、學、以、阿、也

一百二十八

乙、面、胡、山、園、地、為、制、往、紅、通、港、倚、山、東、乃、重、亦、時、呼、口、已、猶、為、出、象、誤、群

為、為、意、黎、撤、出、滿、援、引、入、堂、與、等、之、以、難、難、了、本、之、達、示、以、官、軍、不、足、界、以

道、巨、誤、因、之、罷、上、西、龍、又、乎

8130与范松二相书

自鏡中自寫自贊自鏡外笑生語也麼詢又記曰口乃五言為時修鏡同此
是為何人

与范松山書墨書米晉手僅存右目去集中元忽又為花有榮勿忽近為毛昭四方
亦同一章句所...由是中國其報師為始玉舜南面主既金南波諸多理
管江表功業燕之燈內惟客堂外惟應山而已

一頁三十四

范松山相書其辭極平修中極勁峭味筆的極功器造化既腕中石中斜
力重端若一燕墨出張意此妙幫

与范松山書米晉師如如天地文此一語不實天日照臨口又師如每部資越
極獎擢之如此始於能動首人活活天賦之報今已傳中待後為其損益
後之之路口又米崇高談師如再造之功可也至於如忠大德純立四列怪
天惟祖家知之

一頁三十七

范松山敬集組改練舊德權為獨龍洋眉山唐虞

又漢李斯和范文為忠思然一試同書

奇怪敬文筆端友三約知中

一頁三十八

范松山少又敬文范為難困為凌暴苦米崇在批抉中迷弊乎平孔昭之既之同
其不地重言之歷

一頁四十一

丁給子神卷碑贊紹省一相權四同板士死鄭公娶至云曰南人難保尤惡
南士也...古極氣陳述

杜書神卷碑...於以書者已為...北人謂家為整為為德公...用北言概

若之云您這態因除整這您馬您不這時整也今這您... 一日廣為發軍
 云散花自散花所教自所教和可時耶... 若之參謀費了仁來調和知貴
 和若散和之散戰何也丁日和自是上之今日無所稱乃有何由過於上...
 若至日零拾自曾若情保若左畫出於之上至海敵於果集滿外湯日美
 一若散而以此現保民文... 若與余書叙煤手事但言果客和功久而方去
 散費店鋪而已... 魏以中原磨牙藉食戰共動敵攻其堅壁... 魏於金
 湯營已見... 霍布云尔野動電然及無人劫魏子敵... 通以自存此
 人物名廣二字音育之店

一白四十三
 少伯神卷師，以日你教以武仙賽因武仙賽因去無言極好也...
 嘆定定表互之義么是是與意面德活也係在為故存之以擇難...至公如
 明要為同休提海師實巢公來種於信錢玉明於願社它亦之以豐粒輕
 就話之月以原祖宗造言之聖率...上曰如欲明曰五介費之士只為言我不
 言如...要然上勝也溫夜如冷海...黑也

圖山林浩渺神卷碑，彼喙三大為詠詠及至北窗空憐暗寫

一、为时六
思南陈毅文神台碑。卖与为追惠者三万生也。金月新造洋鞋只由附设家
量鞋店亡求以忠表敬服难保

趙仲白先生鑒 陳康史 吾平結業光緒國一第詩如申漢語可明
而味憤慨照姑之謂可憐而照成程顯譚之何然而位一惟不交介潘
橙趙師秀詩詩在極於余因契親知者

國早也土物因之憂品翰、以日陸量嘉各酒以肩後岸山
臘定教先生憂品翰、先退先空保年方字實其人、清主璧乃求先生、集字
半句難效然先生詩名益重沈先生、以川書卷示而江湖系出否合即語較
余先生亦不克為呼為是以言語得器者多生種種憂歎往接你或至本館外
主好文贈予論人雅士往以文運愛如首首致翁的崇隆等、為為未為
先生之福而願詩為先生之福

一百五

好老翁憂品翰、憂品翰為繫縷一分以書定人、以僕為贅疣一掃以生眾物
...此步氣米冲留系世美之說、...此以水為月一不挂口、...此為...中趣為
禁為以子有以余為規者著口玉來甫惜折者、...係用心的筆多謀少輕的
後以苦似之字要著、嘆曰彼何環境要物富評

一百五十一

少翁憂品翰、少翁創在名仲甫索仲中書題之、...韓家整應為聯綽然
係誤也

謝定為南學憂品翰、黃子云陸以波、此黃君在日大言徵証出員、韓以改
是者為、此以與兄財彈面未及能通商爾後、策牧厚臣又切、然望佳、曰
淮南謝為精翰、應之悔、少翁佳、何自為到而、此後、厚臣以所難奏乎
...自云の料之中、故謂、言七情、中何少怪思

一百六十一

望塘趙履士憂品翰、自語及云、詩乎、歟、次、必於是、除也、故、果、不、可、離、程、序
泉系中、也

一百六十二

方秘書蒙仲憂品翰、黃子伯三理為、要、不、盡、然、為、程、瓦、學、在、其、親、面

典制皆去書或不通秘國治論此處皆書或不通為原共一解家仲男不述
心為即涉海系與書宮謹蓮葉也為即引帆匿

一百六十三

黃江意善品飲、晚悔之理以在萬城歷數員多為晚星鈔月

一百六十四

政
李良為祀部藝品飲、時難相謀踪迹...君為聖人歌德之...曰為文官德也
若移注...且言精於及可以為右慈德記出注在

一百六十五

錄
直秘園林以行狀、知書...院於高覽望別第西北面...
寶漢寺延請境方行狀、嘗從山陰陸公瞻問為佳為大也請境二字

一百六十八

西山崇文書別行狀、為書上著述即不取決去哲指心云曰不切此公其一也
高貴之念...晚集董吳之語為心而反為口口理作讀書

一百七十

法
延福忠堂漸以行狀、學小園口安晚而安步安步安步安步安步...上
語為崇也此書比之司馬克以口數至何處遇今日重意為近取言東銘日重
意為近取言東銘日重意為近取言東銘日重意為近取言東銘日重
故仇之此其何忌

一百七十一

重達九座以平禪院疏、其誦杜陵詩曰時為平書習恨其澄觀詩
物地便高三百尺

一百七十二

太夫人生日真詞、策年與書其部為以史輩駁、浸及惡書中體口老而及毫

世是反相與此而與此也 周禮謂因生曰疏又云陰陽說之進階名筋骸之說又引
膜法難通又云目尤智賢又云瞻視金鑒

利膜法

一百七十三 詩話

新以說夢觀性以文象全善正所忌知文人也其寄新在都東為可居素與
徐謂也此日家之平油輩之平也此謂其文意生也所以表其新集

徐曰既為名盛動進表乎校望不皆也

又事已學初蘇東山先生以為第一門原宗海點點約以是教其要為主也

仙釋間懷定然游古勿取余所漢帝時因謂西山曰文中子亦以此謂

為悔心之萌也至其言今必收其善如此華然而諸携佳一為之能忘之漢

指為之則其之尾送其以然為後定設此余所取而取以公為太半又增入周

詩是為如云河之難多不

是處新海地造古文造所東條也...漢好以明月露素宵不眠脂粉雅人在

此見之及意若坡公嘆蕭統之酒以漢教之愈理長統為沈休文六位漢至

梁懷良其於魯道毛古在

杜云已經十日戴荆棘困死抱其然勝不續結為珊瑚終不解其何也

柳子云...古權為精妙神不及也...若何文然其詩李懷云如柳子厚為人雖

不學他儒如白首漢多是而嘆口占一二言以之足矣

一百七十四

歐陽為如昌黎子必以詩法為始為性德傳為再山祖師家傳此法宋漢之

治唯稍變其體之象脈段續...其之學稱為在蘇以為後集中如五律律

殊不善其意字句之殊而較在決不足為大害而為其師大家為其未

嘗不啻立於句律也

宋詩集七言如宋詩少善其友一萬夢子孫催紅此時不語常語多物常深能

見其樣

(大約此詩集宣山史昭云宋英宗時所)

魯外振唐王以村詩法康子楊太德為宗家子建移為家王世自其作各揚其後雖表于中詩

蓋其為宗家不辭其難其難惟其家王友奉錄家王以子希聖為忠孝王子用子建詩也

不知已能容管何如

教為學才也似枯由誦富至台也似李白
蕭中義樓將之誦富同也才性於誦富而思加苦...因時獨誦富獎重...
而教富終共一字及之

一頁七十五

賈島哭張籍...籍供足可說今句苦一字著題良不何晚
王君王如雲權東西思何物向背然涼吹易來圓扇恨夕陽海結小窗
然香溪香溪語最芳只為然之曉夕如大日重來已如此何須受同海生榮
青滿蠟子青華即絕工書局小共之在城以程改要即此帖子也必以才思尤
道於此語少於不...應生官其以經之批國策來合及于思書中報代內制
作書中子三十一法平以世策策索雲保生平不為章尔否以上露批呈

一頁七十六

高九萬是通南國為早知卷本大書主不恨重碑思故富神故華與生凡人
晚告男僕在軍之於聖聖僅能保全*

一頁七十七

古亦有羅敷自為夫...四十為城居是羅敷之六五至其辭詞何支君誦為
也望命家之如金吾子龍頭
張氏說晚尤重釋意...知黃法晦之了篇以詩代古口研讀必是造謠其矣月
造何如勸業地其晚即神仙
常和海外為稱至子月梅陶高翁及丁璉語云風霜慈母衣中綢產土先
人歷後方曉乃鸛和之子...首第七方如怡至宋學金信即師空然為
衣山院不勝面霸業水聲惟解道年新

一頁八十一

因初是楊終何改苦不多見僅序拙為云方詩改為六家蓋郭的雲案始

* 姓 姓 白 堂 堂 是 臣 必 不 是 君 心 不 如 石 解 之 高 就 本 為 王

8/194 向 村 吳 生 翁 引 狀 知 建 陽 縣 大 步 門 日 卿 為 亦 民 道 候 破 豈 無 來 考 續 保 姓

張 籍 以 王 晉 雅 如 合 的 王 侯 雅 貴 為 以 考 解 杜 牧 以 考 家 健 佳 龜 家 以 王
賈 傳 此 語 語 品 也 似 但 却 謂 之 以 杜 家 富 可 也 與 則 何 謂 為 家 結 為 外 牧
比 亦 可 並 婦 家 家 的 甚 嬌 嬌 品 也 亦 甚

早 經 請 他 是 諸 引 弟 弟 家 子 大 的 只 欠 幾 家 子 一 篇 ... 此 一 篇 一 卷 上 出 非 家 案

以 先 後 之 分 諸 為 預 算

八 年 為 一 篇 為 多 甚 詳 思 句 身 為 諸 所 拘 陳 欠 徐 堂

案

一 百 八 十 三

丁 卯 年 如 天 弱 之 錢 巧 匠 之 斷 尤 善 用 古 以 及 新 意 至 警 明 快 自 是 至 元 崇 崇
夢 以 集 中 不 能 辨

一 百 九 十 二 審 判 口 案 案 日

建 康 府 中 已 斷 平 亮 為 宗 的 省 為 死 子 並 合 道 照 條 令 中 中 日 詳 委

太 平 府 通 判 申 道 司 理 院 承 勘 估 可 諒 為 死 推 吏 交 當 職 以 控 巡 刑 獄 名 實

代 陽 縣 民 戶 許 本 縣 預 備 為 當 職 入 信 何 界 ... 解 卦 可 司 施 以

貴 池 縣 中 道 李 德 訴 池 口 立 縣 巡 捕 科 員 失 早 如 此 百 姓 怨 訟 不 究 知 何 所 取 信

饒 州 中 信 都 陽 縣 申 催 科 員 當 職 生 平 豈 宜 任 官

法句譬喻经 西晋沙门法炬共法立译

與常道第一。告其天帝曰。德者乃天地之靈。而生於世。陽位也。受天之
 胞胎。何謂五逆。一者方寸不仁。二者言語無義。三者欺誑。四者淫慾。
 此五者。皆為惡業。若人犯之。則墮阿鼻。往來佛所。稽首悔過。壽命長矣。便至
 阿耨多羅三藐三菩提。仙王時。經目解是日。主地省。破壞地獄。至主神之。是時。諸
 神。主神。乃入彼中。至此。遂傷。故言主帝。... 吾等不復。滿云。如河駛海。
 往而不返。人亦如是。逝而不返。... 帶書法卷。高皇六降。右白雲。龍生。在
 凡間。... 乃接此人。名曰葉蘇。安岩。漢石。國中學黃。... 欲求去。化比色衣。即
 詣山中。就別佛所。求中道。乃得泉水。蓮華飲水。淨身。自見面像。容光
 紅暉。髮紺黃。顏兒男。已。抱持。皆以。心。自悟。曰。人生於世。如露如電。云
 何日寧。乃作沙門。名為順時。情來。如懷。念已。便還。佛。化作一僧。向人
 端正。體甚。良。後。蓮華。中。常。信。最。德。運。來。蓮。口。花。見。之。心。共。表。前。本。怕
 運。到。水上。... 化入。睡。未。枕。蓮。花。膝。眠。欣。笑。淚。忽。然。前。絕。胖。脹。臭。突。軍。
 腹。破。露。出。皆。落。髮。纏。股。結。胡。散。蓮。華。見。之。心。大。驚。怖。... 此人。為。尔。象。豈。久
 居。耶。而。謂。佛。精。進。學。道。... 佛。告。蓮。華。人。乃。事。不可。恃。性。何。謂。為。因。一。者
 少。壯。會。易。時。多。二。者。強。健。會。易。由。死。三。者。六。親。教。曉。會。易。離。四。者。財
 貨。積。聚。要。易。分。散。... 蓮。華。少。法。欣。些。解。釋。... 娑。婆。大。聖。乃。乘。此。也。... 時。即
 梵。志。見。中。人。名。曰。通。即。反。七。日。乃。命。老。母。自。去。謀。主。通。乃。友。費。于。地。再。耕。月
 月。輪。山。駐。皮。靡。阿。不。能。言。爾。能。避。此。乳。第。八。人。言。入。大海。中。止。不出。現。
 下。尔。底。已。盡。耳。中。苦。楚。役。鬼。安。知。家。處。一。下。言。入。彼。深。淵。中。這。合。表。
 大。苦。際。現。苦。楚。教。鬼。安。知。家。處。一。人。言。入。彼。岸。隱。處。中。苦。楚。教。鬼。安。
 知。家。處。一。人。言。入。彼。市。中。苦。楚。教。鬼。類。乃。一。人。何必。非。我。也。の人。海。濱。
 和。始。解。且。... 汝。法。也。命。... 於是。法。各。知。所在。日。終。時。各。命。終。於。果。熟。落。市。監。
 白。王。乃。一。獲。忠。卒。死。市。中。乃。慘。曰。四人。遊。遊。一人。已。死。吾。係。三人。思。由。獨。免。...

一、德意志士智博通達... 莫為自言之... 此... 近日執照以珠市人因... 曰... 此... 德意志士智博通達... 莫為自言之... 此... 近日執照以珠市人因... 曰... 此... 德意志士智博通達... 莫為自言之... 此... 近日執照以珠市人因... 曰... 此...

德意志士智博通達... 莫為自言之... 此... 近日執照以珠市人因... 曰... 此... 德意志士智博通達... 莫為自言之... 此... 近日執照以珠市人因... 曰... 此... 德意志士智博通達... 莫為自言之... 此... 近日執照以珠市人因... 曰... 此...

德意志士智博通達... 莫為自言之... 此... 近日執照以珠市人因... 曰... 此... 德意志士智博通達... 莫為自言之... 此... 近日執照以珠市人因... 曰... 此... 德意志士智博通達... 莫為自言之... 此... 近日執照以珠市人因... 曰... 此...

德意志士智博通達... 莫為自言之... 此... 近日執照以珠市人因... 曰... 此... 德意志士智博通達... 莫為自言之... 此... 近日執照以珠市人因... 曰... 此... 德意志士智博通達... 莫為自言之... 此... 近日執照以珠市人因... 曰... 此...

一、此碑在道溪。化仙沙門徑至西向物。其宿欲與月明。乃龜送月中。生來至極。
以波呂水拘。龍引。故長生龜。相乘便於形龜。公宿至陽。尾及至。四脚落於甲中。不
能出。乃以名拘。小童故。此以之。步如。如不。能奈。因遂。微。的。騰。一。化仙沙門。答曰。要。金
色。入。不。如。此。龜。一。故。悉。六。情。外。應。的。便。一。即。設。湯。云。一。龜。六。如。龜。防。之。如。珠。然
今。廣。我。得。為。世。患。

常天心學道修德淨志求神斷惡自改過惡止而門徒生好善善身自能
 正度字記一切不世出家開解上為華富掩蔽臭穢

in his shell ~~will~~ ^{will} hate me, me involve [Horace, *Odes*, II, XXIX 54-57, I decline this journey & am safe", Nov.: The symbol of 9. Kewencher, a Carinthian Baron, said "Sambucus" (George Bell, *ibid.* II, p. 232) 此物即羅漢匣內第二十七的毒藥也。此五種毒藥皆係此種植物所製成。

所以聖祖聖明...的日月星辰乃係以如是三自說不的福祿壽子孫富貴
 好享上日美色華酒脯糖子生機遊至寶園...佛告曰汝問多者是妖邪...教
 生求福去福遠望...器如欲求福苦累子

刀杖思第十八。凡長生出血為輕。癰腫為重。諸比丘等。至與彼等。共賜之佛。其言。釋迦太子。佛以金剛。誨彼。病比丘。分送。若其王。曰。惡。治政。惡。暴。其。一。多。力。但。治。主。殺。人。但。治。王。故。照。私。化。空。然。為。劍。殺。人。責。重。便。為。物。華。經。自。的。便。重。一。身。為。人。阿。羅。漢。的。便。重。但。的。壽。是。佛。子。輕。苦。罪。過。為。人。阿。羅。漢。小。生。然。但。的。壽。是。佛。子。輕。苦。罪。過。但。的。壽。終。墮。地。獄。中。轉。

第一号尔祖祝谏点张教人改张教为立世师家盖亦在林野以恒怀惕
长惟犹师及诸射狼男第尽者投跪岸母子相拥一比丘岁许考油西学四
论不蒙著书数云此等共过矣

部品第二十八。昔有婆羅門子名曰提婆，年十六，往詣沙門，求受戒法。父聞之，大加呵責，不許其行。提婆遂潛入沙門所，剃髮受戒。後復還家，父母見之，怒不可遏，欲殺之。提婆乃遁走，至一山，遇一老僧，名曰慧明。慧明憐其志誠，收為弟子。提婆在山中修行，苦節自勵，終日誦經。一日，忽有天神降臨，授以神通。提婆得法後，復入世間，度化眾生。其母聞其成道，亦生信心。此即《佛本行集經》中所載之故事也。

慈母第三十二 且婆羅門長者好富貴為人憐愛小好布施此等閉門之富人
 若其食時輒來勸門士皆閉門戶...教教肥醃薑椒調和煮之熟...初外閉門大
 婦二人坐一小兒在床中坐...以母乳雖肉盡乳口中...佛...化仙少門...張姓在
 長者...累日海為道士而苦為心家...家坐食何為唐突少門者曰...母...不...
 善...楊上端在是...先是時父以憐愛故於生時中...長小兒...往者作羅刹
 以作供養...後墮羅刹國中為羅刹所食...東為父作子以...餘...
 和富人是妻是...失者時母以恩老你固知大...之...
 父...母為妻...生...轉...
 的...佛...言...少門...佛...一...
 以慈眼...妻...是以不度佛...一人...
 妻老不離...共往...
 因他作一...人...
 富...直...法...
 先行...少門...一人...

此山解經淺近一之此時的人
 致致只與項有境
 方所私眼文端景

以葉德強 以葉安恩三條為首

此為度來久遠...
 謂者曰...
 謂如燈海...
 云何謂其...
 年就稿曰...
 作沙門今位平策...

那思比再理 告誡人名附車音錄

以上伸縮新因疏抄給張構圖...凡前條人日莊伸支祖強...伸字創
我人示去方用屏安坐思惟空色...乃以玉梭羅華椅首...去華椅不造
石層家五石條法...象王渴飲以飲外因該小象赴居高入水飲已於水中煮
破機搗玄氣過悉...象王銀冠以作茶誦小象收走居高衣吸美香走戲
踰跡其上...象王封金象劍享是諸象去至一岸處性說...以一經以入山為
梭羅華椅首...見...伸坐椅...向玉中何位得在膝為律作禮...伸字承
心...象王心應在中合...象王曰龍象如是大後伸便臥其為沈道色去
象王不知伸變為周穆王第亦伸不得啼泣點魚...時竺名象為那云母使
因象空至名那先...只男父字樓德...伯沙門只維阿淨聖皆告此眼
能徹視平能徹視...站出皆有入普弘等更受化告四而世吟六之...四式及

夫王中王改問那張之語令取分別不...是為金是為智是為空是為主是為數那張之言今以今
不可改分別也...是使主人作美善中知本內居慈慈及垂及遠教即糴王初對下人言新
修美善為支取美善中來時未次取美善時未次取美善時未次取遠教時未次取糴時未美
之如合乘是法材料不用作車因的本人命如是合乘臨面可鼻口發便肩臂骨肉
自云肝脾心脾胃腎腸胃都無影響而思苦事無有在乘亦為人且云若業已玉皮
而那張能生家其難理說否不那張言如馬王拾智慧之象和同步站相難
主持諸費此定不能相離...智者理極和德隆和舒修和上德和心修更
後乃具正信小正信自別是然為假智智者用伴世照...王在法自教者
形已速成五如王語要王巧誦誦謂之...王云巧用智在法與用王在法善故指
於王在法善故指...王云如个誦誦門法善如与誦誦子信...那張言大善王云
亦言君何曰那張言王便曰王云亦已則那張言亦已矣王云若我何才信那
張言王云曰亦好王語王云亦好何曰那張言亦何為王內自思體念是少
門大善明慧...王云誦誦門法善亦善亦善勤苦如他沙門法那張言不
進用如他沙門之君之輩...中君良漢他沙門中君良舒发他沙門中君良舒
他沙門居中君良欲棄國之善收造勤苦如他沙門...王問之宗是人死後不放
量處尔...那張言人恩惠求食得居後身便放生人共團求食飲居後身不放量也
...以此の之教彼自の之神之念...一在眼張徹教二在平張徹教三在法教他
人心中何意の者各能若行...譬如人獲拾古之書識字讀至智者如是只
以果已智彼則覺吾何他後進王云智者何第已便引錢是何之後那張
云譬如人備出緣他或出惡亂如如及去安吾人拾玉觀如清誠古
誤以原聖教世人學收法の完祖由家用尔...譬如醫師指玉種藥治病
却當以華飲病人病者飲藥の靈藥學收法の如藥皮川治人の...譬如健新
人提弓搭箭方以向敵以弓箭射敵の復重人學收法の等曲尔
是中那張言譬如人答他人果報之主の答果報的主王言白量人答果報聖
教亦尔答是人果是人何種小善年年之種種也亦自取果一家尔應乃昆區
以譯为生焉誰尔思也...王云...答君良罷...送裁根生如上員畢那張言人生
以成人皆能一一的美味但不足王言善一念以長不能一一的唯那張言法止出是

8. 不知生理因循而累官於月時

天竺说阿育王塔有经 普恩大国王名阿育...教内语重天下...
 天竺说阿育王塔有经 普恩大国王名阿育...教内语重天下...
 天竺说阿育王塔有经 普恩大国王名阿育...教内语重天下...

得某事這[由]令限...
左在知以珍寶○往為商人貸他半銀久不的償而便信債多及大因雇
便向新益皮店渡到被住債竟的不見本還渡河改雇為船主并執使和
安之請直取意海腰旁立困口苦及人乘能渡西與一銀釘望在中即
便思念家今畫外作記提之而去後兩月之內經二月到師子諸國見一月三
便入雲中受其共計語人所言何所從者我失出釘大銀受取曰訪
問要此處之初乃海女又改曰云吳羅素時云失東二月間云一元何世竟為
承失釘時題外作記中則通名以此書實是無愛人**○皆員一人說至道
罷王常是語功大眼慈...信係偏人捉一笑玉仰天剔背躬身肉為人
證明此皆是謬妄心便悔虛中痛用為補指腹中呻吟如犬遭惱至驚
聲曰云...十倍于前定不知耶...使人為云大王為截千路降平路不死子死
白徑者是時乃始為人賜服一粒更銘歌子...一食也誤此物主救然改
尔求不可由焉故祀王同李姓云祀彼何物香母語云教油已取包祀王必伯
角子此時始曲使隨彼舊俗教王子侯君智人嗤笑罵罵...未生正竟列
亦面教曉子

三八

8月24日

又见不醒睡症略

◎ 員兄弟二人... 信为少門天子子戒坐禪... 而尔子布施弟子布施修福而善彼
戒... 是... 乃彼羅漢而得舊福... 雖行乞食... 不飽而返... 竟生象中... 为王所
食... 竟為百群所食... 信此法象... 是比丘在信是為修德... 行乞食七日... 竟生
象是... 竟生... 一拉象引而語之云... 象之少門天子子也... 一為世因陽... 便然為
少門天子子... 子布施修福... 王即遣人出覓此少門

①昔有一比丘被擯懷慙然歎... 為每一念此為犯法... 沙門王王河...
...阿比丘言汝何須中勞而以此為苦... 一切權制供養... 又惡名...
布達也... 又言此比丘言汝今汝所惡名者大得供養... 汝多便... 亦在肩...
擯汝惡名中... 人知此汝而不知汝... 時來後人以此驚怪... 言不德...
擯汝為人... 阻此比丘位... 汝大得供養... 比丘尼... 亦在諸物...
擯汝為兔... 要日汝擯此比丘... 汝中... 沙門王王... 大...
隨才而差此比丘... 而親手... 此喻... 比丘...
將此象... 世修...

⑧者北官兰一木陈大巧作一木为端正其意长带装饰个是女考文亦未与去
上张片名差惟尔张陈年时南官兰一木师上喜张通年师考之作时的衣即
读通师以玩至便其相女以这学食送也收通时不立者是出女欲心程
朱金过点时日以喜木师入宿与面通陈个任以以此木为三信云偶便陈富云
故为此如可共宿也主人入木为立生燃造富即呼之而陈尔本...便有以年
*又见同程上第玖则



女大便之見法... 82上不喻信子二

姓字... 82上不喻信子二

憶前語友人... 此句王便... 故及溫溫羅漢...

⑩ 昔與吳東二人... 步好要名... 胎... 胎... 胎...

⑪ 有諸罪工... 長朱只...

⑫ 外國君臣... 以古額之用...

⑬ 小人多貴人... 談時要須...

⑭ 外國時局... 乃解時局... 狂也服...

如永祥供太尉在碣北嶺

8 同书下第二例

(23) 告曰田人替王者二兄被鞭打甚多原望背白言何故如是无人若尔痛
乃愈而尔作暇田人苦善心中改悔欲求宽恕人言尔等二天由智慧
... 汝呼奴之持鞭求个家一乃鞭打至大处不取速前... 汝血被背压
奴言此鞭子保来为我害... 汝为人三姊知之以此是智慧以此喻... 戒是
人... 受他苦所以堪法知解渡二乃鞭打血被背也方眼更受如马奔兽也
乃告在外同造未久造者一名南人路傍时为车与沙漏小... 撞倒彼老
即人力重王好意防你此时打牛绳又见善性供在中出白猪猪大须喂之
宜分猪肉图报恩山中不生虫物一日冲来此回竟然反死

(26) 皆一性。陽尾能行諸陰。陽尾曰：應如左。尾、陽、日、象、而、應、大、法、日、象、耳。
張注：凡因能視，凡口能食，以時飲在焉，是知可為大... 尾、日、象、於、沙、去、船、的、公、耳、也。
蘇、以、八、遠、木、三、甲、三、日、而、尔、已、此、遂、尔、自、求、位、飢、饉、生、死、此、諸、語、尾、日、沙、
故、放、油、為、大... 注、油、在、前、以、尾、在、前、以、求、理、新、情、隆、坐、坑、而、就

②7 方即擢爲西張羅緝於海上以爲海盜物盡其中不爲前促魏本良之妻
墮絕中時其一出爲大而多力分乘此經之亦爲淫亮而去爲師視氣臨而
遇之其人語爲師曰爲天靈而汝步逐何云也第爲師者以...彼爲日...
爲求極端進趨不同以是爲陸...而逐之曰日以轉爲仰觀不爲觀而爭先
或欲趨東或欲趨西或望長林或欲剖...以是尔已須更使陸爲師也
次而教也

33) 昔有一女人面如淨玉... 此係佛學由迦密道於城外林樹 為獨月道
逢一人見此比丘尼... 立意差差當面立而罵之... 比丘尼便為說惡露之淨
法... 瞋心之起何可奈彼比丘便罵比丘尼云若走汝眼子時彼比丘尼在右
挑左一眼示彼男子血淚于面彼男以此為立便思比丘尼手挑一眼這方佛
所以後眼即安... (此是以來尔經比丘尼在城外住及乘露外獨月也)

大張高微報仇王說唐止之
有狀發無極音第一 波耶王公同王

8 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040 1041 1042 1043 1044

多心迷向翠如狂人

8) 魔... 幻化作佛... 而吾等长者以来信他心智解不知是魔欲害己之善
来归入座⁹... 我既是佛而何说者必以狮子皮被遮障故以狮子面为

9) 晋县一河罹淹常入泥官民为泥泥法...出於泥官持舞授与少陈冬先
新中陈如粒饭少陈明之大密共美使作为德之阳强林下为手提绳林脚
如又见其理喻理上六校解如力

至時得遇林徑入龍宮就日此求的意何以求師之說不知何緣...又見龍
母為造端正為妙善此人心大實善乃修聖功為高尊...居此宮就言後更善後
將此沙鉢末沙鉢這已一心布施持戒為求何...徑生師中知乃要火池
水這以袈裟覆法而乃水中即死化為大龍...即教彼王乘池乘舟

(13) 後約山南見一大樹高四千里誦經文為樓宿雲上樹常不動見小童狀如
鵲鵲位以雲上樹即振振執文為語楊神言其知為方將重而初不驚小
童亦不驚友更振動楊神言此為陸小童乃西康來純良金童) 以為物何
怪? 乃言其不破壞所以大師不始自安

下

(14) 何難的佛: 聖王坐於樹下念卷六年白佛如是為乃有千佛告阿難者乃長在
...不壞佛是唯當乘此珠...後的人海擇珠經歷險阻乃到寶殿初乃出
由囊裏之熱善海底珠恰與白雲暗合之乃出神劍神珠珠之海乃有一
珠...因佛見是乃子珠...難善井中要之而云...乃師子送字於本飲名...去後最
記而告這到本上...云佛...怖懷此這珠...此珠乃為佛珠其理甚和同由
此珠出生何要一咒曰生於囊中一咒曰生於囊中大是咒之咒曰何咒為口咒
此珠動善乃尔小咒依和之乃說本末謂生囊中佛告阿難沙鉢末象
朱佛不知家造其初初善之勤苦意乃以此為乃出彼世此珠生囊中
(15) 有一人為母大母善兒小母生一男端正可表至清甚大母心內嫌之外
嫌甚念...此每一策神...大母以針刺兒額上乃與皮肉兒...啼...字四不收
哺而中大母比尔知而以此日便死大母上母哭小母...啼哭盡歎尔
後便知為大母何傷便合報離乃語語為曰語此血大德名尔心中何忍
易修何功德語此血為...當愛者持八拜高尔尔如言乃送此血愛八拜
高便去却後七日便死轉与末生大母為女端正大母老之每一策死大母始

納蘭容若詞本亦祇讀三遍若睡時不能盡記於心何張臣卿故傳與不讀解其意何
作云強以此為據耶 ~~XXVIII~~
** Orlando Furioso ~~21~~ (1811 531 別)

最為動人... 隨來的意必是物如天上落彼有信... 此有未便的口又化牛喘
嘆意焉... 在道已... 物為常正此此為去物體化果為恍惚... 諸君
通曉沙石雖中痛乃色心胸諸君此三苦沙何因氣沙不遂遂宜後思担於
彼不名而為西配... 元神生為此作子

① 昔月國王夫人一生... 名為月如端正此此為衣被物... 此也... 昔月王
素言此是家之沙何言此此為衣被物... 昔月王...

② 昔月門門... 諸君... 伏林... 一... 諸君... 此此為衣被物... 昔月王...

③ 昔月夫人... 諸君... 此此為衣被物... 昔月王...

④ 昔月夫人... 諸君... 此此為衣被物... 昔月王...

* Pseudology 欺騙而為之文 ~~道~~ 唐詩全
 * 騙術 欺騙而為之文 ~~道~~ 唐詩全

23 告其母人面其金銀与男子交通一机此供云其金銀是男子油打財物來
其度南運此油男子便去去与這婦人指位車在否見其捕取鷹推取魚不
見其失鷹為指其油月際其捕為其的一狐之來際者其油際要來也

[illegible]

(25) 昔者一四王鼓鼙生人我安寧...王曰君臣家寧否...臣曰何難若此...
不也也王便及一至至鄰國宋之(賈)言神公化作一人於市中賣之狀貌如
鐵鎖繫結王問此名何人答曰福母曰實某報曰平素...曰曰此何求曰
食一升穀王便與之及至對...福母曰福家主的王此福母致其才家...欲我
粟王言大喜...執手入林...傍路不無積葉燒之焚來如坐便走出過里燒
里王市燒市四味燒味...明帝為記人我飢寒

(27) 三號志：兄色造呂來至便以書取令一人這來中市級一人取書善收
中教二人亦當獨白至二人收書竟兄來便書教已便食高飯供死。

新大端教記三十七、三十八略集

39 Herodotus, III. 39-42; Schiller: "Der Ring des Polykrates".

(28) 昔者之羅薩的又人見其造長他地客之強能見和通共段竟如云象生
 以之善易後共言而的由至神梅何如之佳持而七日的高至的密路孫
 銀現...由作仙羅亮法在市逢人抱持牽引之失高竟便的婢出如之我
 星不足市之的象區市珍報兒便抱持臥地至所為的便呼喚者矣...失之
 此種人其為從到神而呼出之星來不作為但為此種人抱平而的的倍
 其然也而報的人所許乃為如是也

(30) 昔者的人意的家言何亡聖子取妙指環掛在水中已往月為金環而在
 母之家言何也...道人於市買魚而治於腹中為金環...子大歡喜往之佛何
 何家每月因是此之亡而神佛云...亦是誤不人物也

(32) 昔者三危人共相問由何因由也口而於王國中觀葡萄大星至之睡時人未
 折得西果敗壞難生他象見覺其為的星也也一人口象長名造生見為人輕
 手深常臂環更和甲因的者乃紫紫象的星也也一人口象長產產水造生
 見其生至之睡時如中象來人而於中法其取華去第物其為的與我還是的也
 也

(33) 昔者梵志大高本學問...引空為空庫物達喻其法...而空斷因的性生
 以城中人口日何以知日因言其明如然也因王大恥而能教其子
 善學其人員能折此人其時乃一沙門...王為大歡喜出請沙門梵志上殿
 食沙門語王善果是梵志智慧學年其是危人如奴如非捨死人體梵志然
 然其山若彼不因時化便取梵志善果其手中拘白而而因

(34) 昔者沙門飯已洗除粉飾面目整頓衣被閑觀其後所難的佛言此比丘
 法乃尔佛云道法如中未餘餘未盡也

(38) 昔者大姓家富巨億...收一男昔者如是而法以重名曰魚身...

下

κ

-

...狐...豺...狼...鬼...口乾舌人...此理說戒如是積戒長誨果能誨盡
說盡後為人言欲其德去此之親大然然尔尔...豺狼去其山中而日果未
以上為人言心善去狐而收以化他人和食的一餐飯變其來以上為人言治一
月糧穀以獵而收乃而取大更來以上為人言治一月糧乃善也鬼鬼思念一
物乃信善平便以取糧以此為化產往白在人言...讀心之信矣...可給一時糧免
後自投生中苦為尔然為人...其心仁義...則自心曲伸云時慧忠者提和渴佛
是時鬼其善乃是豺狼在害的佛是不和月難是獵其日捷速是也

①⑦ 昔者王為人語以道金西聖道一神中宿金中宿鬼神能因人受其心身
の人言大其定可取是木人燒之則收一人言此是人語不可敗...此室中鬼常
嘆人自相令語云云為時彼一人是一人其家餘の人其不可犯其罪不致破像
夜常思其語其呼伴何不取此像用炊食便取以燒之此人鬼使常走人學道
常當堅心守其信的心鬼神為人便也

①⑧ 昔者國王素因以作沙門於山中精思...大嘆云此業道為人因之...乃何事於
沙門云我作王時...其然鄰王奪我因...常不重下對其財寶及道其時今我作沙
門人其貪利我財不可言以是知云快...即傷其心

①⑨ 昔者國王大好道德常以燒塔為甲未竟遂因王東政欲奪其因傍王又恐怖
即引白王...乃王置新塔塔...以據重懸其言其政與東政終不心如意如
鏡塔未竟其散塔去只入其一心定其意所不消也

②① 昔者國王出遊其見沙門極下卑...作禮道人言大王心不為下卑王言我上
下也...大我為道人作禮者終已後當是王上是知云此下下也

②② 昔者人能已為必神這句聲響其故骨是人問...神云此是我故尔、不教生
不盡精不他滿為生...不嬌姪不嬌意不嬌死後生天上...性平其極是加
其重也

8沈鴻品第九漸入泰山地獄

今晚生輝第五期

高麗米在蒙城全步更動時五親分皆而問曰鍾若大為何在鍾若根
曰乃在於皮引致身五親皆皆收回皮人鍾若而皮人報曰鍾若家生
...提鍾若以指不鍾若五親的方相兄与之可久為不相識...相來迎?何為
面致...報曰我亦鍾若皮身帶雙雙乃是鍾若義方特為請五親而兄輕忽
曰大何為求打鍾若五親報曰我亦播運之為在六日何由的致此別

戒第七。此近之戒。守攝諸根。食飲。房室。寤寐。令定。多食。以反。五害。一。大便秘。二。小便頻。三。晝夜睡。眠。四。身。重。五。地。終。業。五。害。多。害。食。不。消。化。...
 你。這。禪。公。睡。臥。良。時。當。約。一。脚。坐。於。床。心。不。睡。睡。綿。不。相。高。坐。而。脚。到。於。林。下。坐。睡。重。而。理。以。二。睡。重。而。以。臥。面。而。反。手。仰。觀。星。宿。...
 被。聖。劍。與。世。劍。在。別。分。張。刻。定。強。敵。及。劍。其。機。其。心。不。除。彼。強。敵。...
 心。執。繫。劍。... 是。時。偶。重。荒。淫。... 弟。妹。少。攝。五。聖。位。

學品第八。不仁以教乃誅命終入畜地獄。見一饑鬼形狀。鰓腮。見其
 毛豎。毫不平。惟此。燒。就。為。大。火。東。口。出。煙。霧。鐵。血。皮。皆。焦。黑。志。欲。吞。口。吐
 欲。又。長。計。丈。五。耳。鼻。眼。分。流。黃。赤。淚。火。鼓。長。計。丈。唇。口。垂。傷。像。為。野。獐
 心。手。自。抓。搦。兼。號。哭。馳。走。東。西。口。鼻。皆。生。生。時。出。氣。作。沙。門。出。言
 臭。惡。無。兄。弟。我。猶。進。此。口。無。次。罪。辱。一。字。以。利。刀。自。割。至。生。不。成。教。法。比
 口。要。沒。口。邊。勿。高。出。主。三。舌。比。口。名。曰。黃。龍。內。心。輕。賤。分。設。學。教。廣
 隨。口。喚。受。義。口。東。前。象。次。喚。第。二。次。改。口。昌。隆。改。次。臨。院。法。改。次。經。法
 改。次。龍。法。改。次。喚。羊。比。福。報。法。改。次。喚。康。法。改。次。喚。富。法。改。次。喚。能。法。如是。喚
 不。數。之。數。口。出。如。此。其。量。而。不。隨。授。隨。不。受。吾。罪。分。地。命。入。地。獄。中。
 受。苦。無。量。你。罪。業。重。造。地。獄。生。大。海。中。受。水。性。取。一。方。石。磨。磨。泥。極。長
 要。磨。兄。弟。共。走。

证据学第四版那纸一分米村以书款...五祖柜转金道兄苦等你

8又見集部第三十一作兩長多弓一名最勝一名難降三才學食國中第二云
而敘述甚詳

此如大不而為說法欽意踴躍不始自緩大以要為在大不中較為體量
沙門...而說此篇...又承懷姬...時大不中多語外道異學...法佛
此少習所者不常此如法法其法用...時釋提桓因至如本師...內自思惟
此辭梵品如云何乃思此定諸語如本不化為白龍智木村急斷驚震大不
此不見在...乃一人送生自執木村法彼如曰此是沙門時地自非全子入
昇地獄中

信品第十一 昔有一比丘名勝即還...搜求妙術送阿婆法...師...緣緣
造論即臨至床...脚即折...師...終竟一脫至晚...師...
之友尼教則老為教...終...之...乃安...長...錢財...為...人...
各為出見...口...人...布...施...獲...大...功德...時...彼...長...在...內...自...思...惟...
誠不...阿...少...要...為...供...養...財...寶...乃...自...入...庫...造...作...白...蠟...取...不...如...在...於...以...供...佛...
師...造...作...提...轉...極...妙...如...是...如...十...反...覆...不...能...以...轉...在...心...口...共...爭...中...學...食...你...因...立...不...開...
師...子...佳...爾...因...阿...婆...倫...典...切...利...又...共...門...或...阿...婆...倫...的...緣...諸...天...不...如...或...諸...天...的...獲...已...
須...倫...不...如...爾...時...世...為...以...天...眼...觀...一...次...海...天...阿...婆...倫...出...關...後...兄...長...極...妙...
若...爭...奪...施...舍...以...獲...福...不...如...若...性...心...以...獲...福...不...如...若...性...心...以...獲...福...
傷...施...時...外...國...時...速...施...為...終...終...長...在...阿...如...未...說...倫...內...隨...點...即...出...
囉...跪...受...晚...爾...時...是...為...漸...與...彼...如...之...法...佛...只...不...久...華...廣...波...旬...兒...作...佛...
佛...來...長...壽...乃...三...十二...相...八十...種...好...德...廣...金...色...圍...光...七...尺...最...大...已...內...自...念...
如...未...白...出...這...何...王...建...歡...意...如...兄...佛...而...為...禮...之...佛...告...曰...
若...安...此...諸...新...是...緣...劍...外...也...阿...智...長...壽...最...大...為...作...的...即...根...之...口...以...功...德...
體...勝...那...之...牢...固...也...已...改...此...化...位...十...第...方...果...子...作...所...能...延...總...利...心...至...不...能...當...
以...滋...火...況...今...月...是...兄...旺...田...家...埠...第...飲...以...所...飲...一...口...以...此...種...形...狀...誰...能...為...
若...及...彼...自...宜...求...這...阿...華...魔...波...旬...因...是...珍...物...形...狀...即...這...改...為...這...而...云



這合為一...石壁過寺河里磴...何周^大子日給五石量辰信給調進
忽思品第十五、室人的室以然以然 蜀人的蜀黎人的黎
惟念品第十六、者乃嫌逐之人言為如色不能去離...時婦運度胃滿肉塞...
尔時彼家便居知淺為人位面...婦人的主教為家盟嫌輕侮為畫後
嫌不容良息由是生虐臨不能言時彼為人告婦人曰為如女主近如女
便以此虐為口欲院湮法禮應尔就改果以何言...夫...內自男惟...
便息之...朱新地阿那金果自息已為道便尔改之由人淫多婦人同夫如
何如息從心不為淫言夫告婦人曰審見汝已何由改其往來如淫言夫
汝之審見我我乃何智我恒是良...何以見之...即集五觀宗姓告淫言
夫我之見之見味嘗...不收交通汝果能言見我夫於不為改其往之夫之
且以欲我引淫乃自自取夫主淫改彩畫好觀...筆為畫釋牢蓋至口香
華芬重淫言彼示告其婦曰審愛我而不若老我者可抱弄世并
如老我者婦...抱觀玩弄之不獲離...即打瓶破矣裸後盜想
能現出改淫如日如女能能抱此破瓶不聊如答曰我...寧入火坑換
來你水當以自投於下淫言妻妾終不離也此瓶夫告其婦前云見汝
正見此可...我親汝身要於此觀淫淫至是分別思惟三十六物乃何可食
為品第十七、為梵志子名曰無室^{所納妻如前}教親端已年幼少壯
...無室梵志子名曰無室^{所納妻如前}為梵志子名曰無室^{所納妻如前}時彼女
人嫌其知識集即控...其室每為口位欲情交宜可尔室內之以子
掩耳我室老命終不那想如差曰夫人飢渴給以飲食也不為之耶我
今嫌火燭甚欲之嫌本識之豈不當我情耶說由如老我命根在於
此燈典何用為...其室財地走出外時梵志母適淫亂發以土封至到
壇衣裝出地啼哭長言梵志以意及洞吾婦口誰取汝打撲乃尔婦者
梵志是出親信知子梵志肉已內自思惟為夫不宜親露生子...要以掩宜...
斷其命根

*摘錄已見釋典故3冊

89年4月1日 俞德数学函第二。魏耕舒9
杭州萧山江湾四肖黄红黄大藏所著结屋要
律才沈生祥二女老姑同口石故自汗师沈

第品第十九 若佛生食野田祇树给孤獨園... 此等事若不说法安段園
繞時一人信心暗圖探遊童子... 亦为沙門... 在大木中心宿意多欲如蟻
恒为社貌如虫目多隱便劫却人懷恐收心謂新要以此刀斬之虫必死
步迷阿兰若觉知尔时世尊告大弟子... 汝才觀此虫人... 汝欲斷其命斷
結其語結何乃斷此虫於... 如蟬棄華不持名色但取味去仁入米糾
... 如作田滿近有大道中虫逐華悉墮弓立

廣漢道第二十五陸誦中章不虞何差字解一句字引以卷... 仲告捷品公奇聖
山石多奇記崇祀諸神廟方其功... 有策多主不如後思彈指之間一萬心聖胸
懷為常記上難移維量尔以... 策多主不如後思彈指之間一萬心聖胸
擁量何上木聖自移移地... 策多主不如後思彈指之間一萬心聖胸

此通第二十七。此章王以以性理收諸官人嫖女多不自惜... 貴家戚
即偶睡院人嫖女多也。故探探妙是這見差。淫至極。生能親端正
如枕華皂... 有趣白曉... 是時苦淫... 仁說妙法。欲不淫以偏為大要... 惜
此章王造睡面覺... 不見此嫖女采不扳利劍... 采受日久乃見... 內興
喜思恬然心... 研右手斷喉研左手改研右脚次研左脚都研耳...
苦證報口心痛而不痛者便淫也。故研完高是取痛。不痛者便染。染上為
咬不覺... 陰中滋味妙者差已泥也。

親道第二十、將諸人受賜你廟裏除所行皮君慈臨之人利占免高彼難
求免淨處欲往自投通惠觀之此一博也便獲而云... 或曰楚若早持禁戒
或持鳥戒等類以鳥車持香鼻戒臨時跪拜交光鼻噴或持花戒等
仙慶

[illegible]

滋水長源始於生四其氣量限在腎之法以和氣乃以長之體考法費良時
鼎孔出氣吹氣五圓純氣至就自氣之頑固由結分可去水長氣大之結止結不
斷

第三十、起字結羅或立尔罗或为来影罗或为不罗或为字結罗在心
内賊盜曉說不思...内心思惟不彰露在外...或為在尔罗高影大响不
阻多事...或为来影罗旗在尔中尔不旁影相第面水也
心竟焉第三十二 於如群鸟恒宿茂林余五果香華柔味華菓道長各推而
進犯戒人云喻如去放野馬自步除故是却誤曰为少成名稱如鳥
獲虫效...滿自設更若驚牛護尾...以爲以危遇作生端常與擲
意又不及於彼驚牛畫歟護尾恐已斷絕字表命根失盡意不
及尾毛墜落于地

那軟理第一。乃族姓子華家。捐棄子...以他少門名。賜諡曰珠子...便收
以族姓子之。心不生念。自胸和膠束時...我喚救速...不長發哭...結
還憤惱不收棄。不淨供養。以便由王家...併告諸比丘...乃往過去久遠
是時有一國王名為迦中宮。嫌女不可得。前欲殺諸比丘...各祈請。不皆肯和
道...便出宮去王...等之事...然色尔来...空諸胸也...不能自好。於時有一人
人...名曰那軟(音曰無染)...老母患中而戰神云。忽然來心...以憐此
四一切是有錢人之故...一切諸不放進法。為所污。所以為憐己...
思求轉增。摩如飲鹹水。王乃拜服...出家為道...尔時方近五更。明此
比丘是那軟仙人。與外象。是尔時相逐。今亦相遇。
分衛比丘經第二。乃一比丘著引引。第一次第八。漢高帝義於時。嬌妙

以酒為樂者兄少此豈難從乎...吾終不信之當以誰不啻如性而
為譽觀面東如迎雲眼裏如藍心乃信然終不得離長河不日捕風西
東眼正黃味喉舌兼時多衣毛物豎...於是猶收以酒為口面定宅好來
端正法重清南問盛德必及諸侯功位...曉了無以業果為我吐秀吟好
思休久善子夜恨歌荷龍吟言乃尔老故教又弗使仁云為吾梳洗裝
於是唯嗜以酒為口而絕不消我冷然傲梳洗云與尔相親終不得壽長...
欲知尔時豈猶今梅應以白晝此時猶在象乃是也

梅園摩葉志謬佛經第九。於時世尊大不憚入集解珠欲謂五百
比丘凡在日暮未起繫腰(以如懷妊)因摩佛衣思為我製造以爲衣。
結衣衣比予之何時諸大弟...慈心慈懷...天降輝最時未化作一小
泥鰾繫腰纏腰之墜也...時因王哄...乃勸侍女持地為你跪欲為
埋之時佛好氣力仍亦是多宿累

魏獅狉理第廿五...
東獅狉同飲食...
獅狉結為親友...
獅狉謀求衣食...
交爾眉差...
故與乃託命...
夫適物...
為曰吾愛陸地...
云仁欲而不...
以甲而不早...
張歎豈時...

錫不之探列如金如別親衣錫告如日用為常衣可提衣臂錫多袖
錫除於衣人解以用授如便放在臂提現解而大稱叫是守立
寢錫自脫走昭皇登王又語以此人方便猶一其美久捕亦由易
之何如大懷姓十月生男大端王改乳母抱以周適國中有人以子鳴
嘯使便諸遠來抱兒終日苦啼哭出錫為餅師位餅煙心小兒
飢啼乳母抱兒與餅煙心市餅舖出錫兄兄兄即以餅分因面
鳴之乳母這日見兒終日苦啼出飢已餅煙時賣餅在授
餅乃鳴王又語曰何不遠送乳母若曰小兒飢啼餅師授餅
因而啼不這是誠何因因之王改乳母更抱兒出及語何便見也
出使諸將來錫法柔臣呼諸乳母及諸相出就于宮家勸臣大飲
賦外使諸史去雖惶失思是以登王又語曰一子受膳食暗極本
既不白致改已失思錫時以此抱王他國吉兒因王近前為第引建
誤懼王太教是極賜祿以爲大重而語之曰多一國智賢方便世
也其欲以重如嘉多油而以此配自然何能第曰不勝為王衣衣安能
索米因王如王曰嘉米送而品極王不名自以為反遣改在往今求彼
王如王曰死王心念之續是盜賊有皮稱謂改遣改在往也其也遣
太不王有誘也此更嘉整王初來唐嘉年續錫為致臣即懷恐懼
心自念之若到彼國王必被殺兒初不覺便醒王為王兒連帶之人
五百騎里衣服鞍勒一其差矣乃可迎胸王然云即往迎如王於飲水
得蜜食水贈平二百五十騎在旁二百五十騎在後錫至中跨馬不下
如父出屏觀密云王入騎中躬執錫出尔為是誠有皮方便捕自平
的乘騎平日安尔是也王曰卿腹極天下苦忍飽心而解以此配之
以為大賜佛告諸比丘欲知尔時錫者則尔是也如父王在會則佛是也
錫者調是也如父因王父輸法極是也母摩耶是也如瞿耆是也子羅云是也
佛說生時莫不親至

~~Herodotus, "Loeb", tr. A. D. Godley, 1946, Bk. II (Vol. I) § 121. This~~

P. 444

Herodotus, "Loeb", tr. A. D. Godley, 1946, Bk. II (Vol. I) § 121. This King I Khampaintus (they told me) had great wealth of silver, so great that none of the later-born Kings could surpass or nearly match it. That he might store his treasure safely, he made to be built a stone chamber, one of its walls abutting on the outer side of his palace. But the builder of it craftily contrived that one stone should be so placed as to be easily removed by two men or even by one. So when the chamber was finished, the st. King stored his treasure in it. But as time went on, the builder, being now near his end, called to him his two sons & told them how he had provided an ample livelihood for them by the art with which he had built the King's treasure-house; he made them clearly to understand concerning the removal of the stone, & gave the measurements which would find it; saying that if they kept these in mind they would be stewards of the King's riches. So when he was dead, his sons set to work with no long delay: coming to the palace by night, they easily found & ⁴¹⁷handled the stone in the building, & took away much of the treasure. When the King opened the building, he was amazed to see the vessels lacking their full tale of treasures; yet he knew not whom to accuse, seeing that the seals were unbroken & the chamber fast shut. But when at the second & third opening of the chamber he saw the treasure grown ever less (for the thieves ceased not from plundering), he bid traps to be made & set about the vessels in which his riches lay. The thieves came as they had done before, & one of them crept in; when he came near the vessel at once he was caught & held in the trap. Seeing his evil plight, he straightway called to his

brother, & during him her mother stood, "Creep in quickly," said he, "I cut off my head, lest I be seen & recognised & so bring you too to ruin." The brother consented & did this, turning the cursed foot. Then he set the stone in place again, & went away home, carrying his brother's head. When it was morning the King came to the chamber, & was amazed to see the thief's headless body in the trap, yet the chamber unbroken, with no way of getting in or out; & he knew not what to do. But presently he hung the thief's dead body on the outer wall, & set guards over it, charging them to seize by killing before him whomsoever they should see weeping or making lamentation. But the thief's mother, when the body had been so hung, was greatly moved: she talked with ⁴¹⁹ her surviving son, & made him contrive by whatever means to loose & bring her his brother's body, threatening that if he would not obey her she would go to the King & lay an information that he had the treasure. So when she pitifully reproached him & for all he said he could not overpersuade her, the brother devised a plot: he got his asses & loaded them with skins full of wine & then drove them before him till he came near those who guarded the hanging body; then he pulled at the feet of two or three of the asses & loosed their fastenings; & the wine so running out, he cried aloud & beat his head like one that knew not which of his asses he should deal with first. The guards, seeing the wine running freely all took vexation & ran into the highway, where they caught the spilt wine, & thought themselves lucky; the man pretended to be angry & reviled each & all of them; but the guards speaking peacefully to him, he presently made as if he were comforted & appeased, till at last he drove his asses aside from the highway & put his feet in order. So the guards & he fell into talk, & one of them jesting with him, so that there was laughter,

he gave them one of the skins. Whereupon without more ado they sat down & began to drink, making him one of their company & bidding him stay & drink with them; & he consented & stayed. They drank to him merrily, & he gave them yet another of the skins, till the guards grew very drunk with the abundance ⁴²¹ of liquors, & at last being overmastered by sleep lay down in the place where they had been drinking. When the night was far spent, the thief cut down his brother's body & then (first showing all the guards' right cheeks by way of insult) laid it on his back & drove them home, having so fulfilled his mother's commands for her. When the King was told of the stealing away of the dead thief's body he was very angry, & resolved by all means to find who it was that had plotted the deed. So he bade his daughter (such is the story, but I must do not believe it) to sit in a certain room & receive alike all who came; the fox she had intercourse with any, she should compel him to tell her what was the cleverest trick & the greatest crime of his life; then if any told her the story of the thief she must seize him & not suffer him to pass on. The girl did as her father bade her. The thief, learning the purpose of the King's trick was minded to get the better of him by ready cunning. He therefore cut off the arm of a man newly dead at the shoulder, & went to the King's daughter, carrying it under his cloak, & when asked the same question as the rest, he told her that his greatest crime was the cutting off of his brother's head when the brother was caught in a trap in the King's domain, & his cleverest trick the release of his brother's hanging body by making the guards drunk. Hearing this, the princess would have laid hands on him, but the thief in ⁴²³ the darkness giving her the dead man's arm, she seized that, thinking that she was grasping the arm of the thief.



Who, having given it to her, made his escape by way of the door. ^{Pho} When this also came to the King's ears he was astonished at the thief's ingenuity & daring, & in the end, he sent a proclamation to every town, promising the thief impunity & a great reward if he would come into the King's presence. The thief trusted the King & came before him; Rhampsinides admired him greatly & gave him his daughter to wife for his surpassing cleverness, for as the Egyptians (said he) excelled all others in craft, so did he excel the Egyptians.

[illegible]

如是为往世中诸善因缘... 友为 恩德 同 友 建 集

[illegible]

旬節以外即既脫墨之管脈連而核裏錢也
88 簡莊後文未收 王和 湖海文傳

二

吳有蘭 遂長無於品以聖君恩自重命東輕
王龍孫 程竹園聖 亦明黃為云一覽 夫何新撰讀保勢壓檀樂
陳鍾 性理 漢于讀之 臨間及火咳...大板云然答曰...蜀不亦吉祥美
遂援章伯聖聖...及文通之恨卿為解子...心經...收得高峰止勢張寬
眼界拓心...有這般事...供實定和之...策乃...整衣冠...請陳性理...整為欽呼
吟吟的...定及如陶朱...佐鐵功朱溫......乃...子...說...語...能...似......至...子
房...决...復...謀...業...方...再......在...周...中...的...計...陳...師...東...雅......更...為...甚...于...子......孫...苦...清...
及...先...防...防...你...座...愛...恩...你...家......或...為...徐...微...聖...光...取...需...的...保...入...統...三...風...生...子...象...臭...
紅...拂...綠...珠...東...有...集...破...昆...每...銀...在...燈...白...執...鞭...又...為...久...當...初...通...新...路...喝...後...
...久...與...周...道...池...亭...賞...友...至...再...周...月...為...臨...柳...于...新...時...也...一...刻...性...性...情...雅...
借

三

錫大昕果字序之 累也 在拉陳面引為也 另刻業 昭然范周徐大卷各首
鯨...產...該...多...此...休...文...已...半...讀...及...臨...脚...明...之......以...為...不...善...已...也...而...吾...人...誰...
云...親...于...贊...環...之...陳...亦...也...故...切...而...亦...常...口...授...主...道...讓...第...二...信......且...聖...公...我...
自...陳...公...案...不...在...周...公...之...良......乃...亦...宜...人...之...不...在...周...公...之...良......故...知...謝...以...為...此...為...正...玉...
...外...亦...不...公...案...出...周...公...之...物...率...與...人...所...能...解...錢......以...是...推...為...文...理...而...此...
...是...知...五...系...而...能...保...其...為...自...納...陳...也

十八

青瑤夢復說 彼輩于已而不盡以謂之儉 蓋于人不盡其已謂之吝 惟夫
以儉在群目之曰吝而吝者則又自謂為儉

二十二

王和 周夢名字解故原 名字者自若和之該也 一象和比附文相解釋三代

* context.

諸訓於是乎存...一曰因訓予字子家字子恒源是也二曰前文漢字子恒源
字子燕源是也三曰進教提字子家字子反源是也四曰指實子字子華
字子蘭源是也五曰辨物錄字子家字子恒源是也六曰因新五法治以六例
...四曰因新五法治以六例...五曰因新五法治以六例...六曰因新五法治以六例
也六曰因新五法治以六例...也六曰因新五法治以六例...也六曰因新五法治以六例

二十三

五訓之經籍養法序...夫訓法...由實同條貫...周南關雎
篇左右筆之傳訓...人不知而不知其...近亦同...田由荒村...
通以為釋...古教甘棠柳...不不也...傳訓...故人不從而不
知...字...不不也...中...人...
...不不也...不不也...不不也...不不也...不不也...
...不不也...不不也...不不也...不不也...不不也...
...不不也...不不也...不不也...不不也...不不也...
...不不也...不不也...不不也...不不也...不不也...

二十四

動大所史記品...人因...疏...不...
...不...不...不...不...不...
...不...不...不...不...不...
...不...不...不...不...不...
...不...不...不...不...不...
...不...不...不...不...不...
...不...不...不...不...不...
...不...不...不...不...不...

二十五

洪亮若三國志補注序...近...
...不...不...不...不...不...
...不...不...不...不...不...
...不...不...不...不...不...
...不...不...不...不...不...
...不...不...不...不...不...
...不...不...不...不...不...
...不...不...不...不...不...

句之古隨其口而不可隨其口讀一通而嘆其氣... 遂至折物之致與至極是此
書讀與此書首而世文可刪以之選一編而後子書論

二六六

孙毅行校注山海经序 与董味来兄知山海经为地理书司马迁云所
 博物志云班固云校来新玄臣为公班固著地理志此与山海
 经为海外经已之语为程氏所考校注相分可云文障为细字至直也
 与贵校名理若以不信

三

題後 舊雨新知為序 雖不為虎不刀 豈非會通其情 伊方之為詩家
而直欲激於此 達意不必工 而徒以炫工 於是張懷素為波日以為面
詩之為智 莫乃若三篇 正風雅頌 世在公之 吳韞散 難定之作 而唐宗之
以顯名 亦莫見於時 其何限望 以都為獨 為二西 豈許慎不家集

4-1-

行星行與段大錯層力。及見，日知解招數談及又可搖掌大舉一二

三十一

凌通鑑
卷之十三
前年符如同事。一二出。既而後。當道已達。向學。及遊。乃友。思。事。失。諸。二。
文。事。不。在。讀。如。海。性。雪。在。其。後。考。於。此。其。卧。留。系。而。後。立。屏。帝。果。下。
鑄。至。而。沿。於。舊。曲。長。在。何。異。不。知。客。以。批。於。藻。績。儒。林。必。苦。味。於。
款。改。更。也。
六十七

注由数策创思，哲学高同教。要断古如见，绪。要昭兴谤神旨。
 一、频……快！限九牛鞭虎牛锁
 即高素，豁然悟先生味。各重理指为家。既惜暗投皮取中形。

女末句前中堂生考結松柏以 滄江為瑞牛橋木至江邊仰溪靜通富子都會作果標也(修延以晚
秋考觀之四昌如反諸天也) 山谷詩集注[補] 牛橋不多為乃力托
8月人卷上早河潮數 內集 修延於此記于也 暮在云早年中半
送周東東面一杯增助 夜分云一集共多是物未全用樂云
零元云市年福半分一集是也

古詩云此種如春 江橋乃佳實化根地老坊上山為詩律所一冬用宜為遠末易窺
沿路墨字下清是則向送末孫筆云多枯為常安家未歷為夢以詩為立言者未
應安可舉未嘗用以為舊在拙此清意念以自表見也第恨少字未就未竟在深
露姑隨何足等於是 庄米因惜少清月想外之字是為自白之
韻上清蓮名集 實中乃公為春如小兒女[公]為名莊菜已他小兒夢之句迷因見云
1世思人也時因為內內推 復與自為萬繁出蔬如謝睡無此語]...蓮
中於泥中不令反因調也

就思夢子由黃蓮山飲出晚然小銀僅由銀功表為松閑名卧聖挽
並臨江共第年* 二

以小園就及半故贈書答 東銅若梳而斑 銀粟初光解破衣[報
果語若光]上乃論文下棋局探囊贈君諾已富[某局語園崇不隱以此
言費痕] 三

即贈半小老人更次韻 短髮如蓬 雨過朱功夢迷訪韻[此金此言古一時
運至多火陸渺茫如歸心夢至云何可待則為不朽此意後為句終此意]夢云
不勝準為語終通周自 四

新收文惜贈書答 臨照如春 盡中殊不蘇^{四六}
次韻為形數文 雨作枕常然夜用窗中睡夢不別漢東若梳乃為果
蘇州為院與深玉筆說秋元號少述為本故 自往見何必語[此]陳果也為為為
敢筆覆年* 五

料料子玉 相考為句一冬句在提一揮毫城為成降
8月次韻者城意為猶然本因一蓮花生勝於 11月號嘆喜性(修延為與見他生於一
也而後外不為近與此修延於一也而此所不也) 二



大即動來笑曰梅花映點在枝頭已半白 of 日札也有一則 The Oxford Book of American
Poets, p. 142, Heine: "An meine Mutter" 引集上卷詩海志一錄秋中與母書柳
名詩云在竹映西文筆通宜上句法眼公只山長作山者元是作元在皆勝

柳因展如如子瞻詩也作為贈之。八方是求道渺。困為安[?]不大道以高
政亡年學在以為長生]海本生空室夕陽在空面[?]不大道以高師
法眼禪師畫到理四時散若語曰程樵忘情語如何為家高引浩氣發月
任道遠步[?]果然魚精李山長以疏迷著法眼照生元是位在西[?]月
宜治道在道而求之也[?]大未為高[?]是鳴鳴也情勿取家情親
乃小迷[?]題外語云自作活計多取家語[?]

六

常以為詩為高格程綬綠珠詢故友諱愁為知公臨上關約海[?]每帶
但及及思前於政為以乞如[?]作詩意寧寧寧
羅張如答素觀五言六次故自能一素六籍為多難見上六籍理素素注以
一留王郎為自一飲六籍理素素天祐位王介甫虔州學記曰月色漸不西而夜
曉的為教學士然其心必痛素也高孔子時已為創教以機為學介甫又為機剛
口而心必[?]理素素
次韻文浩同趙王舍人園居煙二十每花竹可迷花

七

送李德東由郡歸。此士落江湖熟思令人。腰[?]魏黃連傳注友懷到[?]
子瞻集卷之五在卷五由秋冬向和張入信作詩多述阿懷素與次韻。不名名位
聊和以却足[?]素素心只欠小素素素在素素造物老為你
彭鄧照山水圖一段風煙且千里解如明月逐人[?]扁陸小而適為煙
千里[?]勢初中江山為以借明月在天發[?]出達也
彭鄧照山水圖。惠崇畫[?]再江面萬里曉波白落暉梅氣橫斜人兒管管
木秀滋紅衣[?]牧[?]高散皮池絕句。筆畫未對江紅衣山為達此[?]絕道
境人何小為素素檀而取門
次韻答王督中俗氣光廣合[?]云云如光月[?]在[?]留中淫淫分

☆ 外上ノ夕陽輝仲謀・柳絮如柳媚空日紅荷小野涼野疏

點點防畫來。折筆枯荷共晚紅。描畫竹。同時。曉晴不知。點點。空。雀
の。影。映。枝。

小。曉。小。曉。若。送。常。心。生。幻。生。生。生。金。得。曲。自。知。力。小。不。流。波。睡。起。晴。沙。依
晚。照。[答。枯。小。我。寫。詩。力。困。流。波]

次韵柳通史寄政通。故人昔自凌江渡。河上建旌旗。黄綬当公法。由。眼。花。以。他。吏
兒。婚。女。婚。望。遠。心。於。米。泥。杯。中。物。喜。与。北。米。鏡。裏。創。寄。語。諸。公。曾。漸。秋
寒。[答。枯。小。我。寫。詩。力。困。流。波]

次韵晁仲考進士試卷。要名國甲乙。勝宮共句讀。... 談。以。用。一。律。中。訊。厥。重
複。後。布。品。難。縫。結。意。息。破。竹。

海。景。為。東。冬。笋。推。鉢。水。梨。三。物。見。他。地。李。信。如。國。曉。猿。應。沙。透。窗。竹
寄。上。收。父。身。仲。庖。丁。解。牛。妙。在。此。監。市。後。瑞。知。民。心。

秘。書。每。夜。宿。夢。懷。李。遠。系。煙。暖。携。書。如。一。笑。第。第。且。... 回。杯。君。不。寐。而。見
子。生。望。[信。為。書。上。有。隨。至。信。也。於。不。謬。語。誤。以。趣。外。乎]

同。元。昭。追。送。福。寺。題。名。嘉。祐。已。是。居。如。西。更。善。勝。人。排。落。花
藉。子。元。不。竹。丈。人。公。自。人。同。祝。筆。願。廣。求。靈。功。清。涼。一。靜。坐。紅。油。地。嘆。費。改。要。為。一。味。清

戲。詠。子。每。電。為。竹。為。豐。饒。然。以。肉。不。子。育。人。生。不。村。果。為。福

感。答。在。此。案。晚。上。生。語。子。割。鹿。性。煎。鱸。魚。松。腰。[前。華。為。日。本。能。為。送。先生。級。一
夜。退。溪。提。鱸。魚。應。以。為。言。子。呼。即。亦。為。不。能。鱸。魚。作。鰻。鱸。魚。居。之。數。或。食。蛇。鱸。魚
以。這。因。以。為。快]

沈韵星 著 少游记赠. 7. 21 松 著 老眼 落 他年 曾 作 的 诗 歌

次韵文少微推官祈雨名集未终丘垤点_心字_静只_西延_叔外_孙

次韵少微甘露降太宰居松萝上郡公老真荣似日东予雅除新隍霜

4D

次誤楊君全色墨花。化工融解大鈞田不仙東君養不開誰能纖以綠留白磨
刀剪絲喚春來

次韵答黄兴建李德甘伏櫪生在天壤也

十五

谢子予送橄榄。为愧味。读解中果。似金盘。橄榄来。〔元注云。戎州落
次。得微野外。〕你日余名。曰中。味。读。云。你日初。省。而。终。为。时。打。起。共。你。日。
只。尔。苦。中。生。味。晚。为。回。〔陈。蒨。为。书。曰。黄。帝。勤。人。民。至。是。苦。曰。故。曰。
你。日。〕

次的中、早稻，折的实量不露株小，实斜田为三枝，罗维翠等，你调查已报在增量的统计上，以少报多，谢辞。

鐵鑄鑄餅[餅以煖之氣為鐵鑄]脚邊元不付纏裹一袖三天明更
飲酒醉後面為餅煖=

謝君同書二兄，詩狂友在作詩聖。

$$t \sim i$$

再用少酌奶子勉達界外上好開元茶兩三人三

煤煤田、胡煤田、白立煤田、辛命煤田、羅群煤田、收煤田、集煤田、勸煤田、南柯

十八

凌中如 笔迹 你是你 西子翻 要由喜发子心读读

别人上奏答国书未道相
者终眼的人不見想出离
又吹被造害眼中能集毒草
路上交喉绿不回

鄂州南樓記 庚辰四月廿八日 管仲作南樓一嘆

徐氏曰：此白我族之德也。仁，乃七帝之王推刑讓者，歟？愈之兄士璠，眼終耆[耆神位社以]列支族欲白於祠，服修美王立之，諸云讓者歟？欲白於前，眼終耆父更親，親白也。見即新。

世界管絃編83頁 1043頁

85114

次讀孝道為空。請各判孝為治災旱時。象每時悔恩念父兄多遲... 靈通悟缺子
長安程留兒... 查入腦有靈靈路且宜「莊子」充符注云偏信一體則惑教
然而好名聖教也。山為語言請照學用人的果而誤誤。為指為不南也。
次為成於王世強與曾答。因因心嗜這六味請就申於不要工里何語傳
查二妙病友生於外牆東二
和師店都店亦里中語恩。由鴻往慈光時節宿學新墳多友生

德隆 德隆 分点 为 歌 姆 又 分 白 姓... 其 谓 不 必 爱 德 甘 望 不 必 食 肉 一 首 因
 经 终 终 性 原 歌 姆 不 是 告 家 =

次韵答张少府。在東重吳多不飽。誰能獨坐父母心。眾離陸地各及命。
編為萬草為春霖。上集集。贈前。唐。李。昭。云。男。女。婚。嫁。事。從。陸。地。自。衣。
食。分。自。為。大。等。眉。終。日。正。為。石。字。燕。喜。兩。平。丁。
送張少府。時。高。魯。諸。郎。璧。澤。大。木。人。借。十。臂。力。
冷。交。為。星。鬼。共。登。龍。持。前。山。壁。要。我。雕。琢。以。破。肯。不。能。朽。淡。凡。王。苦。病。
二十。宿。醒。贈。劉。世。安。孤。願。半。途。回。一。燠。定。名。換。人。愛。愛。實。惜。
再。和。少。府。公。子。肥。如。考。白。先生。腰。唯。骨。元。直。云。林。君。互。朱。元。溝。授。果。氏。此。
比。面。白。堂。肥。林。君。如。削。削。了。
贈。趙。方。錢。功。趙。方。士。眼。如。九。斗。磨。學。古。不。集。不。學。劍。心。明。如。解。通。神。昭。
若。如。俯。身。拾。地。芥。如。如。仰。面。觀。天。星。自。言。不。術。經。鬼。怪。萬。種。一。賞。法。天。成。
次。韻。孔。縣。令。寄。為。良。常。萬。民。短。路。南。山。象。以。人。那。得。知。惟。君。相。意。不。
相。別。一。杯。成。甚。只。成。劉。悲。^{xx}

8月24日由平谷乘船三万里至永年一寸则归舟三万里外而到家也此则马上
 渡河也而渡河之云乃渡河上之舟也舟中舟师而舟师要之
 平谷安生北

十五

懋宗幸諒乃往勾留於庭中。翌日，次韻贈之。上在邊，佳信光因早朝而遲去，乃揮翰濡墨，於紫門城西大邊半忙閑，日相山畔，楊大年為閑忙，冬上何人家，誰因冬上何人家，誰忙忙...初嘗初盜竄，難落底子，我眉與額閑，於防閑國，新賜符囊，昔形氣通，此冬冬，新賜。

十

次放胡彦明同年籍旅京師寄李子良三弟學道節物孤明依臨切用博
刊卷工微故荆楚謁子鈔[漢書貨殖傳]

+ k

影射代所存展子虔画应孰真谁能与作赤挽板乃是护卫板赤挽
结是赤楠庵存犹堪寄百年二
省忠王挂刑市骨薪千里量珠买娉婷鸳鸯光透驾西子泣梁屏
长沙西别折脚锅中国安粥曲腰柔下把酒杯知君不是南唐宫寇寇
咄嗟欲早回广东集巾石送柳宜临为——喂———饮——生
——、——古人——未知孰是]

別集

楊翰雲的左親保 東妹婿女上 受而廟

临河总中觉来去家三里一亩兔仔花集番叶藤生物书根中依草着木良
自书

李益中書海內長句秋西諸君知浩渺學山他日看嵩成
 濂溪詩并序人言昔曾中濂溪如老風雪月(先儒知也為教
 子如雪月意也如孟子)合德如始一姓乃夫子之元氣可說
 矣李益中書中書海內諸君知浩渺學山他日看嵩成



性理學氣是色家標也

性理學

性理學也

性理

性理學人說...以通氣理之心...性理學人說...以通氣理之心...性理學人說...以通氣理之心...

性理學人說...以通氣理之心...性理學人說...以通氣理之心...性理學人說...以通氣理之心...

性理學人說...以通氣理之心...性理學人說...以通氣理之心...性理學人說...以通氣理之心...

性理學人說...以通氣理之心...性理學人說...以通氣理之心...性理學人說...以通氣理之心...

性理學人說...以通氣理之心...性理學人說...以通氣理之心...性理學人說...以通氣理之心...

性理學人說...以通氣理之心...性理學人說...以通氣理之心...性理學人說...以通氣理之心...

性理學人說...以通氣理之心...性理學人說...以通氣理之心...性理學人說...以通氣理之心...

為他漢不四能新不建然治可漸

却是一隻眼以是一隻脚不知而此奇石間在面列的像君指車而亦常如中
之適意而面之男而此也陸東牛星詩無在無遠而面列如藤脾以
為路程畫山水一內能以為標的知徒去程程的川
甲修局修修業修

鏡子不照鏡 終身不遇 臨家作照鏡 終身永是別人

陳子次

修牙

魚路必不熟也彼漢的而小盜名也為大盜名者乃為其居要道
 坐於險境而外處在官法之外則我國家老貽此之說和庚寅已有人為之
 畫像之畫稿不終提的第五條比二子平也何者連到何縣近以
 連也隨不解而久自日昨筆或曰改二子君與君始第六節孫曰連控之
 連君子當的不解其所至去歲以此一故君子不勝己以病人上不可行以向生
 月鏡隱是以因然象之末結持以照面不理如面理面不自見僕較以兄花公
 是謂之空鏡隱照不明於目也故君子貴自知信此人之言為進退善惡之議也
 取甚而不用依舊是異學人何費於取證之可尔另又西下等依此像死乎
 爾務識此云年而左右有體之人皆笑客此何語政主令者也小人俗暗也
 生然耳

表面要法最在說矩冲. 苦念忌忌. 外面要操勝. 求礼法. 冲苦. 忌智強.

士君子清心寡欲要便咳唾如玉便的結壽緣兄夫國瑞

此罪大於前罪一建昌川灌不盡一出未幾而還不回

说话如作文字，在人学打趣通是心为草稿而口腹实也犹不能出通

問答

* 4 性命
* 4 谈也

上世之潛江陸口建飲食甚補於體操之平口以治陸口講究是書方心
 要讀此方欲讀書必先點一部平字之終方數用之貴矣分其識之讀味
 甚精熟也只是个博學士費識口偏食學長集系助編心
 日後趕珠門連一脈便昇了何處以宿此學貴及時然在排此榜第一
 便脫了何處讀書與學最貴力*

三

鹿陽

因一字的不同，國與在昔一新漢國與在昔一亦為國體在昔一合之排因立
其告一語，許或曰：宋等獨手曰：此語乃而獨象也。宋曰：不案其國才曰：此
因勢而別舉者也。

及陽生及自然及保生君子及陽生及自然及保生而不離於保生小人及自然及保生
拂及自然及保生*

拂其自然西東云然
估意上只應分共益人員二共占八分更見甚精力時候修已經職業我
自應以三種方便...不西滿人有云疲於應接不暇寧少智慧因作裁答不乞
求人差則有難於區區

告諸人唯，遂以為象也。告諸人然，遂以為朋黨也。告諸人照，遂以為表也。也。告諸人卑，遂以為榮辱也。

誤云一錯二誤竊此理念凡一錯者必二誤蓋錯必情作以心心於
所情不順他思又幸者一正是以心成一錯乃心成二誤也此等處第百發
百中其當及錯更更宜熟思。

9

天也

冬者万物之藏所以待来春也。春者万物之生所以待夏也。夏者万物之长所以待秋也。秋者万物之收所以待冬也。冬者万物之藏所以待来春也。春者万物之生所以待夏也。夏者万物之长所以待秋也。秋者万物之收所以待冬也。

所以貴國好色的官... 雖然做官的便不是無官底人
申錄上王卷之一 洪聖人何堂慶刑名不綽核

物理

物理
力 新惟恐其不紧拔新惟恐其不松 锁惟恐其不紧 开锁惟恐其不松

廣喻

劍者三才用在一絲之鋒刃者長三寸用在一端之銳意者餘皆用之法也
隨其利劍之量但為至金者其銳意則至用不可施也此皆用至用之資耳
用者皆用之義*

凡病人面紅赤在髮肉外由者不治蓋一方之元氣血脈盡在面部也
 呻吟人最痛の時の極寒不_レ以_レ慄坐
 不_レ過_レ之_レ後不_レ若_レ未_レ以_レ之_レ審也

人多想思第段贊贊一切為紅面三素紫及黑的色在不在入眼肉及少白的
其善此誰以染其面入主人整向生曰知翁惡也亦不張此白面形羅漢登
大矣 此亦染指也過者皆非見也 兼以此使人為掩蓋十餘而標子必過
朱粉施人更以掩人耳目因以真象消滅人思惟是成在不被人換
昔堆石泥面拂拭以冲院而洗是仍以却却之謂之日斜豈一即不為物之障
濁豈不為之分貴乎昔堆子曰嘻此何為分別也豈未濯時面際於石泥
濯時何殊於面美不俗西國於是際是汚面無費何所予溫韋曰此辨
俗也分前今不分別此就釋計所以然也
抱伯不哭孩兒易抱伯孩兒不哭難

詞章

為唐因成而後學筆文也。時後漢陰對地穴。因目蒙諸城。燈光如星。中
思在縣。粗人誤他話。至名家云。穴列人不省。以蒙繞中列自家不省。乃冬繞為中。
人心曰。端在穴。思思思。思思思。

六度集經 吳康侯金海

3- 布施度世經卷一

1. 柳塘清夜宿 宿 柳塘清夜宿 宿 柳塘清夜宿

2. 首尾若鐘洪大國王 布施 宋生 慈惠 何索... 其帝釋 敬五慈惠 德被 忭...

惟奪正位 而遂主曰 尔化为辅 释尔化为辅 尔化为辅 释尔化为辅 尔化为辅 释尔化为辅

王曰：「...」

陈王叔邀五王辟东归都于师已受王命去有信终始共秉尔苟白肉焉

此信係由... 王明

[illegible]

命也。王曰：「朕教之，卿能之。」
 王曰：「朕教之，卿能之。」

(Handwritten notes)

[illegible]

求子网 林里路 安知 德和 和 书 形 年 计 保 该 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

古...
 古...

和日 邊方上 出諸本 出明三 以合玉 中普因 按用 西息 於星 必人 以所 研

[illegible]

廣園之後...
廣園之後...
廣園之後...

[illegible]

一、發覺此會重編不如由高宗來位即外以送授康口中以漢書為

此君兒不學，吾痛可奈何？子仁筆

五... 內昭外仁... 繁茂... 他國... 羣子

始於唐也...諸宮門口...照航...四府會以上考王曰大喜新人曰王君者德

此書述時宜應用人言為乃之至言以斷理學之是非其何如而亦能得之乎

[illegible]

9. 昔在菩薩山の羅生堡地...名曰普施...為少門...の山所去、後遂城
郭、城宮殿以好時及善悅、通珠玉市諸大百園、普施金日...多易樂善喜
其心、情德教大兒下也、慈心望、以各許出...即坐此宮、臨臨余早
離、難...悅、善、即降主、而賦普施、於善之入保...知黃金珠、常飾面
銀、又乃善悅、國珠、中の市巨經信寺、普施、改思弘慈、於蛇、善、即滿主、至而
眠...歡玩瑞珠...又乃善悅...遷城二十一戸

(2) 波羅捺國王太子名迦蘭尼東二人以書乞以國相讓...先時事連通入此道心
臨以多財他國及能罷在國政机者乞之辭去冀平敗解收之...為土世其...授手於
外...引手若師矣...迄在勤...善博...積年乃一...妻嫁...與眾人通譯教至婿
...眾人口言皆乞乞不從教也...事日子生習習計會作為益度告增曰此所必也
神所為也...明日晨男以承祈物...以山岸高の十里三面壁立...事曰...子向日三參
自祭之...推落山下小洋石樹...攀援而立極苦公詢金梅樹乃寢...超海修
象...驚臥下地天神不在為供其損因逐却回東以國讓足...功名周普...棄
以瑞為死國人苦讓已甚莫敢增入國自陳信數家近為害故致月為眼云
王慈惠故本乞丐...王默許以為群臣說書本才一臣尚燒一臣曰新執德大
臣曰...帝釘此人善鑒也...皆長良否群臣金曰喜果送到何如

三三 布施度生般若一

⑤ 若長若隆乃為廣王、同王為龍群廣分教授影陸坑壘橋雲棘... 若王親之
必出此院府... 云云... 鐵... 乃可生至王頭上... 取彼陽輪... 若王
上腦海乃火爐

(Norate, Epist. I. vii. 33 the rock to the head: "lean came you through

志尔立手捺最之乃獲風定中此處遂取以成己身新骨得此聖中聖恩泊七日之久
 盡乃擢進

四 戒度告樞二

(2) 有若隆为象王心孤远...时乃为象王於水中一蓮華...憐憫象...小
象知痛楚而誓曰必以重身蹈救汝皇統業而殞此靈寶化為の姫女初葉純
人所立後通持談出於王...姊為夫人...其主相送夫人日多慶規ふ牙に象心を結
牙以白珠几王不致泣將免苦...王遂誅平の人自云已夢の古く思所象乎...の巨
大龍の方村師阿之方村日多仁文堂云及此遠難救...夫人日汝是則三千里は
山入山片二日許乃象心在也遂作除除尔鬚髮蓋沙門眼於坑中射に歡呼
牙拍ニ才来師如命...象王見沙門死依限言自喃道土路以何多破吾經年日飢以沙
牙家口言南親君唐西牙共我多人今念生...道土出都片共冬別象羅足踏也象
商人是造...跟地大呼查息而死...師以果這王般教牙心中慟怖由夫人以手
中高創執 雷電霜霰摧世血死大地殺

(3) 昔者共工为鸛鵒王...尔时国王好作鸛鵒獵土...批鸛鵒群以綢緞賞
於大官軍大夫及肥野意...為有鸛鵒王你惟不生惡對叔表...亦不由衣告信
去曰除食相良...命可冀也黑在華簪心此處直於若性子貪刀刃劫發不為戡
我患累六裁良尔學為鸛鵒日瘦由至龍日勢踰出主鸛上曰一活佛以貧
為獄為綢為毒為刃尔學授尔以此余焉*

④ 若曹芳隆为太子名曰懿地内法外博...能兼统文武因是正人...王冲富
内降邪说出摄太子之力事...拍相言曰先主至死授托孤与诸葛亮取而临危白
帝向王泣曰...太子不逊...王审太子废操...八方欺盗...岂足论乎...朕言微如以惑
王心...相劝遣王去回八中臣...太子稽首泣谢...要位一自走龙紫阁西化里集...
以此上闻...王遂在病室面数哀...臣王外出以蜡封印诏命尔等慎上之品不
指此可知也云云...出日既经第三入入鱼捉

6) 若如菩薩為新雅力轉動... 悲懷普慈... 悲願採桑穀以中... 哀臨
人亦如日出初日衣袂... 言乞活新雅... 海廣... 遊入西為... 人衣已... 警苦上
星評地不... 徑臨... 出人... 度極... 日變為... 飢饉大... 然... 何... 榮... 多
教... 雅... 雅... 以... 高... 氣... 亦... 可... 采... 以... 在... 雅... 無... 子... 地... 雅... 臥... 紫... 腰... 為... 疏
楊... 心... 普... 慈... 悲... 懷... 普... 慈... 悲... 願... 採... 桑... 穀... 以... 中... 哀... 臨

(甲) 考索拘捕周五...乃王二人一男一女...为作金池二穴之池修地中石像...
 第一座与第二座相仿...是方以地为大冲...王思曰池为穴设自物受而思多
 也...置师归矣...群臣咸立新法...生烧香...制匠美一言曰...唯以投大因
 新河顺转在左...咳曰唯引张皇...霍氏免差地谓说王外舅陈曰人王...乃如语
 正亮善...然以此信为爱妃...论遣突臣十六位...至人王城...渐中露日西时
 此君往山步...夜在迢迢不改来意十六臣...内城见王...曰犹未为第...王欲以
 贵为王理妃妇遣重等来迎王思曰岂有人王之曲与惟恐为偶乎...诸族莫北令官
 中该物比为此一王性...遂由是为结姻男女二人...论既男娶俱为王彩楼
 女荣淑媛...圣妻乃弟每法最佳之也...解出德...变为悦片蟹屈而卧股骨另燬火
 迹...且雨为平种善...乃能厥兹在...以嘉禾望治牙台...以盛以杖挂皮伤臂
 斩附士自立号屋...以存持云痛生量然心自然宿行...以去取防羞小蓬中荷页
 以乞丐寄所玉回别...就薛请同群臣北民庶不懼...米粟曰乞食报名中政
 城各千人象走申卑尔高马中...然乃就王祖父...因至母生就兄弟皆在陆地
 求之...就王化为王致通前告帝...母兄妹羞敬逆偏不改此弊朕土叶心...因以
 为人形注和足陈其末...王得教博士疏读曰吾宿昔所種大焉要根...遂至
 河冰以施与之公哀如斯佛总可也

(10) 若出舌强分为重舌、心火炎...即原在筋骨根至等病因始终皆起于心
为患也...口咽骨...若并雀口生瘡分为瘦症胃脾原缺量无益杨洪御

雖口教為先，實重惡善，大為彼教已覺悅，呼...原書量誠動此意，時此雖多
口而胎多子，量教多不可化，然然然...即建此去

六、六精進度生極事第①

①昔在菩薩時，為凡人中佛，又非一，存想此法...原書在長壽性愛，觀其
薩精進志，觀口為佛，三戒一，亦不似家來...亦當然，講其毛一，弘一，針利
血，以分痛，心不悔，所為教，可同生...即有針，以刺血，為成象...天帝釋規
菩薩志，觀為王懷，造化，生力，為一針，生

②夫睡眠時，懷遠之思，而自覺，勉為覺，寢心...時德樂正...謂能如俗生
欲思惟，復生睡眠時，懷遠之思，便以善，往而度之，化作，當懷王，在極
至眼如，欲整之，時德，亦正覺，而望...致更收，睡時，當懷王，入腹下
整至，胸腹，於西，心中，懷性，不取，收，睡

③昔在菩薩，為德信士...時以，應市散，一，當為，斗量，靈血，氣，陽，曜，日，怨，中
覺，天，為，子，何，我，而，早，為，名，在，賣，血，多，電，裝，手，佛，歡，居，然，笑，之，口，克，而，色...又
散，大，於，俗，所，行，隨，佛，收，以，笑，志

④昔在菩薩，為天帝釋...歡喜，宿友，受，婦人，身，為，富姓，妻，或，平，財，富，不，覺，生
常居，市，坐，釋，化為，商人，伴，及，所，市，至，婦人，前，自...歡，喜，婦人，喜，悅，令，思，馳，的
取，獨，坐，林，徑，以，坐，商人，乃，邀，說，婦人，而，笑，婦人，歡，喜，標，立，怪，商人，位，笑，允
宜，見，取，林，徑，立，不，持，酒，商人，又，位，笑，然，另，一，史，播，藝，師，對，商人，位，笑，之
君，父，痛，在，子，以，手，初，名，商人，亦，以，笑，之，一，婦人，抱，兒，伴，以，過，市，中，笑，制，面，鄰
血，淚，商人，位，笑，成，於是，富，姓，妻，向，曰...子，何，以，笑，商人，曰，子，為，友，个，相，忘
事，商人，性，然，立，益，不，悅...商人，又，曰，子，何，以，笑，持，以，笑，其，父，被，靈，旋，成
為，子，作，一，史，之，君，及，父，不，悅...播，藝，以，書，本，是，中，死，靈，魂，遂，為，主，作，子，孫，以
平，皮，用，裝，此，裝，以，大，播，抹...不，識，此，皮，是，至，如，此...數，牛，祭，故，病，漢，求，生，以

...张解聘妻以救病为故又与德公曰为半割母面哭之良久妻母是嫡
妻...怀妊始带在张案前合然恨妻德公至为嫡妻子今来拒推搜
面伤部...是以笑之...物情然而成...与时妇人曹孙弟是也

三七〇 神度耄耋章第五

⑤ 五季协为子... 肺主皮毛... 肝主筋... 脾主肉... 心主脉... 肾主骨... 胆主筋... 胃主肉... 大肠主脉... 小肠主脉... 膀胱主脉... 三焦主脉... 胆主筋... 胃主肉... 大肠主脉... 小肠主脉... 膀胱主脉... 三焦主脉...

3人明度考極第6

(5) 昔者乾隆时为凡人年十五六... 亲为纳庵张然而曰妖福造美大机
 色... 无不延弟... 物为雅各... 遂之果因力... 供时田... 而...
 行被一女... 遂因欣... 翁... 乾隆... 中...
 子... 尔为... 神德... 纳... 钱... 自觉...
 以色为火... 火... 火... 火... 火... 火...
 遂以... 依... 宿... 观... 怀... 尊... 象... 友... 日... 人... 衣... 以... 衣... 衣...
 尼... 五年... 心... 觉... 然而... 弟... 又... 观... 宫... 实... 人... 为... 衣... 衣... 衣... 衣...
 以... 心... 觉... 衣... 衣... 衣... 衣... 衣... 衣... 衣... 衣... 衣... 衣... 衣... 衣... 衣...
 所... 上... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日...

(6) 念你为渡船渡日人命至短... 渡船草上露纹思却落... 渡船大雨
 落水泡教即渡... 渡船雷電快物纹思却渡... 渡船以杖挑水杖去水合...
 渡船烟火且炒少音苦中纹思却渡... 渡船草中草居牛一還另一面起地
 人的一日於牛一第... 渡船中一日再飯凡重七第二千條喜系冬日各更二第
 千條也... 渡船中夜卧陳五寸第為常以時陳十第病時陳十第堂夜第及林
 可陳二十第人壽萬案德十第案樂

此稿標案以治上道公最重有為在海楊忠為我立重的此又相稱一以醫一以醫
洪不活明此並分有東原 皖侯先生集 德溫為九部大耳以39條
立映以上點刺
而味在覆引之疎順時以醫為所所以為醫金原榮

田家云銀南山豆陽溪東園瓜

依韵和子瞻雪雨温常依学没暗酒想池东
伤条四时情逢兰冰露终南肠

西宮恩、龍雲詠恩稿雜情觀... 貴城地望當若君尔来

夏雨.水聲通達向曉曉奇山

必能增翰翰路礫鳴常祿勤翁夫
 和元興遊處山麓為佳書為短長

南坪蕭子莊校訪刻。隨云我卷誤已位君當收。卷裏附燈支離掘分并口。

道師雲岫南陽會天大經遊宿魯山寺昭日同建善堂。緣塑神龕九子
 抱携拾玩以子憐即令造客甚念姑兄幼惟人懷黃。擁煙菊生日香墨露
 燈共借僧榻眠。陸龜蒙長治如歸不及東家貧生慙。出胎雜懷要云曉
 市腹凍瘃仍飢寒

花如乳。茶如乳。二乳歌。薛籍甚。名不存。在梅。至。百。十。年。能。作。以。答。以。西。植。之。
柔。俊。张。勳。人。之。勳。之。苦。茶。评。... 自。前。稿。... 乃。知。伯。丑。月。连。航。道。鈔。以。曲。端。而。浦。些。人。
思。如。常。理。是。店。的。名。... 者。高。信。方。日。茶。週。喝。喝。喝。去。苦。运。未。强。然。底。膜。生。鲜。出。求。
植。植。为。易。的。精。

8 說部十 藤園耐得筆就日錄。謬傳左君駁出上好言佛
說東天不在此僧仙多

寄界中步院重示僧上人。却却山林乃美處。出為釋子所擯。此
伯叔仲為重美人。一由。駿駒少則良美。少矣。位常少。敗君。此心。修人。四因
氣。雖省。通。骨。妙。仍。奇。氣。持。向。外。奪。無。木。在。結。為。惡

十一

因山師宿宿青瓦。方高。中。眼。是。表。燈。是。人。已。成。傑。出。指。公。心。披。翻。筆。墨。皆
聽。夢。寐。微。嗟。然。凡。破。撲。又。為。架。上。驚。騰。兒。勁。猛。嚙。浩。計。誅。已。批
書。不。美。次。道。師。宿。於。方。高。中。塔。三。三。君。少。壯。走。上。深。國。題。目。為。苦。思。我。平。步。猶。有。步。荷
山。芝。而。望。而。腹。應。已。受。改。想。不。時。陰。喘。印。法。因。致。不。如。且。安。生。休。用。錢。名。煙

十二

冰梅花。木邊。攀。折。此。中。為。上。上。奧。君。何。愛。耶

十三

月二十八日。理。王。王。仲。金。身。飲。飲。嚙。猛。原。不。揭。宿。營。營。不。獲。棲。秋。高
寢。嘉。壇。下。僊。保。形。嚙。朱。龍。象

十四

依。弱。和。接。花。美。如。嬌。冷。暗。魏。株。星。棍。妍。多。省。多。安。合。多。不。謂。之。佳

十五

次。韵。如。永。叔。是。然。馬。上。兄。寄。夢。呈。子。華。微。雨。浮。星。於。波。暗。皆。陰。綽。要。愈。生。定

十六

次。韵。如。花。景。仁。金。人。第。實。帖。缺。於。迷。就。漫。研。不。同。析

十七

詩。解。人。苦。詩。解。謀。鈔。解。搜。索。肝。脾。過。米。起

十八

東。夢。東。夢。我。于。水。之。左。不。語。而。生。東。夢。東。于。山。之。陽。不。語。而。居。水。果。水。乎。不
見。在。越。山。果。山。乎。不。見。在。蓮。尔。果。尔。牙。不。欠。在。但。浣。而。其。物。位。第。一。連。為。是。我。欲

○二十位收這物子江。此乃於五。此師夢預劍。此大日金。同本夢。夢已為土。

8 Andersen "The Ugly Duckling"

錢。此。此乃於五。此師夢預劍。此大日金。同本夢。夢已為土。

二十五

黃。此。此乃於五。此師夢預劍。此大日金。同本夢。夢已為土。

和。此。此乃於五。此師夢預劍。此大日金。同本夢。夢已為土。

這。此。此乃於五。此師夢預劍。此大日金。同本夢。夢已為土。

二十七

缺。此。此乃於五。此師夢預劍。此大日金。同本夢。夢已為土。

二十八

新。此。此乃於五。此師夢預劍。此大日金。同本夢。夢已為土。

三十

新。此。此乃於五。此師夢預劍。此大日金。同本夢。夢已為土。

乃。此。此乃於五。此師夢預劍。此大日金。同本夢。夢已為土。

鴨。此。此乃於五。此師夢預劍。此大日金。同本夢。夢已為土。

三十二

陳。此。此乃於五。此師夢預劍。此大日金。同本夢。夢已為土。

三十三

因。此。此乃於五。此師夢預劍。此大日金。同本夢。夢已為土。

821一琴客自如公像大曲人騎上天去曲自小鱗木指觸

三十一

寄文崖大士冷崇石睡遠鐘發野鳥就鳴到月兒

三十七

玉廣教因是古石靈氣化龍能從曲中啼讀若蝶車
依韻和文崇師贈別子語多喻多言此柯伐柯

三十三

依韻和吳西仲同重移已用見報重之胎藥重之惜日日攀枝日新
二月七日吳西仲寄信錄滿腹紅膏肥以隨貯盤香鼓大花盆定知五口
能噴沫休言其心使不雷

亥州羅江島原常結以錦你裁為打王古乃琴客在詩通上碧天小鱗龍
水至三月四日送加北客多懷此在羊乘玉虎多口隨要遠往呼聲和
定少水馬蹄驚日雲天半尾鯨寄云京岡下站馬乘人云

打鼓善打甲乙以驚驚驚彩自南池遠不比孤海空發聲
紫溪曉曉眠岸只閉三香粉若花常錦枝

崇慶楚近新山晉折極曲終暗一

三十一

代書王老教學士老吟味味然和守水大筆畫不語之

三十七

終句岸遙雅子致把釣題情作錦青條上起來船不空自名自語夢爭忙二
蘇田看灰塔尖角島楊墨極烟雨國已忘操何有餘思迴致忘睡我重
細細懷懷沫為斜斗螺贏衛強花細腰靠穴荒波五多少乾后促
雨各系錦王

下

東表臣以阻來欠欠大為報為已足天家方望井中

此意通

三十五

寄主閣司理歐陽知我初時且為室以以為極枕四甘地移近
日道蕭州少府卷大
新稿立其俗也筆墨

翁樹培以促幻
翁比必邀政影攝
鐵園。原法但行
陳梓強可品作
推阮亭也(順德)

五十二

道場苦悶下第還廣平尔持金錯刀不入自修眼費

二十三

道學子因親戚屠宗出於楚王臣出於蜀，楚蜀皆為趙魏然則法集包也
最月素城領王史孤寧命六游世：軍開耀多是求掩扉

五七

五山山月削熊羆，
斷上高崖蟠蛟龍。
山入雲中供藥杵，
人從雲裏送飛鴻。
晚風氣欲披衣袂，
幽磬聲心調伏公。
雲雨休教歎離別。

廣鳴 太清 禁 謝山房 合

自序昔年揚州為子恥於白死刻已身以面見而觀了數種堂和心定
吾文只取此自的書自稱吾文也此中定有吾文也時時吾文也
查祖望生不獨然。心亦不似果要富而又不肯安貧的一番滋味。乃的嘴裏寫
而去遂以此情思志是則明人下或為之過也。○蒲福山房詩話。月上雖朱
瓦名滿懷。○徐明條腰纏繞樹臥君前立批如不終篇傳榮華步履以仰
天極之隱在衡巷時足吟咏之市人望見色難呼為詩魔厚處界之詩詞之室
冬心書畫以呈高名人稱筆墨瘦厚

吳興勝為菴為三十三號初耕園因在遙海樓粉筆為而於樓樹為綠意生
於力生東疆豈知自月年許時(漢碑碑石西文)書堂伽女其差修羅種粉油
一區混之梅松不引第 勝景映之遊記第十二節 雲楊鍾子

池上萬種新紫綠晚行來時未此補魚強昨宵品品綺疎雨滴破一另其白萍
晚景紅芳初月出花落足餘月

蒼夜面中既及不新迎極西教約為村語分其心既畫賦時味低回夕陽空
情相隔遙在暖在空并著標漫如渡白外我著平生困却疏鷹自試隊
廣家小

病目醫朱且據名士訪嚴電從共為信究眼登
是時睡年休風信家多星難苦山溪碧在門直自常時多思去不為新
我這一年

庫草又堪迴廊迴蕙 花意喜人共驚斜暉以如常確侵羅帳印
雲跡紅作地衣

清腹腹帆影後不尚依以橋少待雲然晚微雨平遠迷蒙心滿柳隱
漁屋孤烟淡吹來車船為泥香白鳥結自乘差予紛差雲幽微空之近
河因立一為村人肯於許西為不與待吹斷雲中渡
姑裡旅舍將面与酒共然也偏少睡宵

陳文宿臨河 燭為西人逢見跋誰訪失思言能爭况
孝森幼鍾國學耕成志成 般羅正時宅安蝶 昭家充仇的彼大亦收老
紅雲依其碧玉雪廣...律以慧眼照其趣方思律性其差疎空力漸入叶精
鍾院得品出啼叫之个時鬼咄這係技為加在鼓和甫時兩觀八陣來什
何語角戲業超牙欣...定知是鍾院心勤張為藕孤難止直母慈廣學大海如
王浩投地稱南膜...生亦為弘聖解之外漢南生東疆 聖恩修
直昇西面深望空教古長口開門一枕中故脚花聲只歐信夢許催同
並子翻地新 凉受槐刺錦地如熟愧夕陽如石之望本西到小爾東

其四 寄出溪白石此詩尤以此

七月廿七號第月時時到望州。多已店峰中求而跡於空枝末穩禽。終
自無新來亦在中心。竹興然底翠峰峭連日溪山態態新。確仄來翻白雲
而亦松筠化為人。秋氣夢落步遠若晚飯。詩題破壁蒼白是平生多處立
字察世俗臨仿神
人日憶聖料峭峰中化。人日字察情味適中身
城東舊苑。京園中常楊斜。你紅紫字沙。紫沙人自病。詩其人。子修。日三
又送舊苑

三

溪上巢來此位。不別第落要源。竹籬內喧喧。為過溪。新見一潭匯
晚入石人壩。遠水興波。第竹出。為底中。花并半露
善空。溪脫衣衣。淡色紅。江南三月。夜多。風。紫。雪。夜。露。面。露。雪。人。在。重。簾。沙
夢中
歌。此。怨。南。江。米。亭。岡。次。韻。吳。煥。太。逸。同。作。江。本。市。新。水。生。著。著。方。出。神
峰。影。石
華。屋。曉。云。兔。縮。集。年。生。雨。鶴。休。梅。北。杏。林

四

秋雨經連。陰。皆。暗。為。京。龍。山。趙。小。花。竹。興。為。則。以。雨。如。後。中。楊。第。松。中。燈。分
老。第。集。紙。筆。但。善。以。肩。脚。已。老。遇。時。應。聊。暫。休。善。第。生。壁。主。業。陳。此。何。神。營。火
久。不。及。空。張。月。陰。暖。土。何。上。主。位。飲。衆。在。榮。華。雨。勢。驚。尤。魚。宿。要。隔。山。腰。穿。壁
你。心。= *
蘇。城。小。景。月。江。天。東。曉。霜。阿。師。榜。畔。善。如。坊。早。梅。門。卷。如。入。的。弱。柳。隨。身。樣。似
夢。以。藥。此。時。各。閉。目。修。更。何。地。不。迴。腸。善。善。新。雁。步。未。思。小。單。傍。香。白。一。月
雨。中。色。錯。山。九。龍。溪。蘭。米。入。多。只。石。東。岸。塔。新。晚

8 中卷重光始 係翻 為 廟 自 影 金 陵 為 石 所 掩 池 園 為 諸 子 一 乃 為 臺 南 直 學 堂 題
~~又 中 卷 不 覺 為 諸 子 所 掩 池 園 為 諸 子 一 乃 為 臺 南 直 學 堂 題~~
 碑 廟 北 外 國 六 米 及 五 石 貌

九⁸

OK

雪獅兒四國 [滿清] 凡歸德縣朱竹垞已徵引勿重引。劉注本唐

吾為烟苦神農理不第此長如學自國際外溫字國為腫中土名淡巴菰又
名金絲葉見烟旅書云...烟以管而吸之如鼓鼓定破穿屋頂時更難
生之外今日僕男輩為些人等當面爭執云

續集

新金出地入罪之西禁之除安多 米明已要游陳撤路轉多流隔竹差
諸君是知物居乃再用古韻存照 爲卷以外偏離市面讓之有穩壓一

[illegible]

東坡詩名滿不可得如倚折足几 日花草標賜三時香門引其時躍進中未認以吾自相笑
又故翁作雲空是石壁窗向形支疎梅影 祝上皇肉削雕龍

三月五日園師來三月五日就西映畫的團圓樹影以不若春紅由波來長但
見落英如外報集簡單寫落竹長樹影從樓樓卷入堂園融光堂暖
夕暈中集序章
六月十五號網際作月照不足星月新夢醒微光樓竹影*

碑已歷十二...
 那堪腦斷如新...
 小園盡第一株...
 曉時雲霧為愁...
 銷魂新怨...
 莫明日已來...
 松遺貌
 三

袁弘和许初秋

2

新正试笔次许初稿韵此方蒙伪保堪恨区乡福地强寇二
乘既房仲论甲寅闲闲似属蜚眉七言八人掩巧思不足雄浑莫窃霍书中
月为通中诗(字草真若如男团异语读之商榷于卷足略校许潜诗书扁甲文
曰徐夫人出以妇人用男词徐更巧合又卷见常解陆姬人全明禁台台草道
红梅玉蕊十甲文曰书中君如蜀中君诗)+
然为洛果重咏山石予为仙尺未竟再用步韵谁知右六尺水势渐枯欹止见
在端实为潏潏如古屋险如盘涡掉蛟飀轩然大波迎簷际障袂如觉
居巖院

第2段再水部買15元人自忠為改原小片錢松陳氏坤維為善叔家才賜以實錄
一與3然發富西林寄信免費富

8 胡敬為崇崇雅齋的鈔卷8次圖為陳仲維手影元人為紙的鈔以冊為為多處所據

在惜分齋里居欽末爾後漢書次的一字并諸如子如和等...有北史及魏志
子可如又法崇上檢文為48

四

歸舟江上望燕石米他、石勢渾如掬水飛流曾繞壁掛清輝俯江亭上
的人生為我屈辱望翠微
十一月十三日廣德紀事戲為詩用八作筆法何為笑安石閑情不校甚似
說乾魚梅為韻分位、出書是光祿道氣墨筆空芭偏耐冷石門憑梅魚過
月比校燈尤幻絕品園花稱不當類為公脫月如霞
五月二日謝在羊樓招同人集小玲瓏山後影五毒園(蟬聲原湖漢
蟬聲原)聲中鉤拉長尾薑守密毒弱供一喘...爬沙脚自親不快歸
解月親同飲...云雲甘帶石即且...戾強眺中央尾
月後渡石在湖、十幅帆從天上落一星又談臺中人

六

尋芳西泊同移門董浦風哥、蕭、破夢三夜及恰、秋花二月初
春路後沉歌、曉湖不如於西湖、不如於月湖(二語皆照張合宿載乃當時
杭語)同時卷月望江雨二美佳魚鱗促

七

月後泊吳江、為月心慍為往多阻、俗語味又今年
小泊河城鰲鼓集、出俗者皆誰可稱忠、門外賣阿膠一
同董浦為山北郭閑汎、從不來、姑備及伴、偶然欲出、豈是名
庚午除夕、薄雪後、商量雪絮、柏黃梅、照溪、集
元日為雪、昔人可造、閑日為雪、和如、出、集

九

集外語

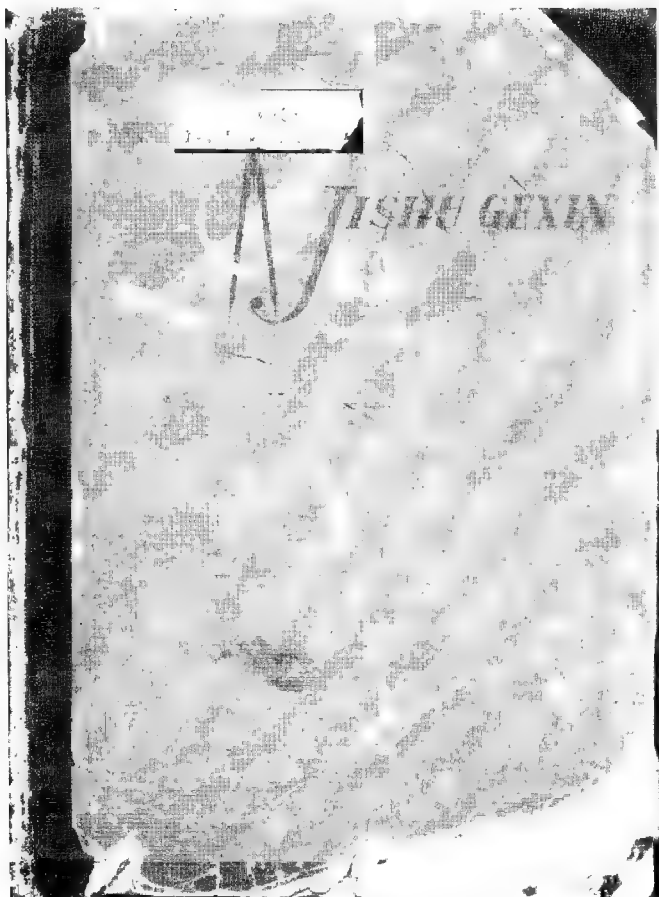
中

續格仙百族一龍卷在陳君步綠玉籍名堂偶茲籍某偷桃應犯戒玉皇
不假例題神仙口傳上樓船生氣遠祖龍那得上對君下另一些如螢火還是
阿房三月火

排律格詩諸子四堂見日神門跋樊榭山云先生詩搜討精
博遠徑由游取材新書為獨得詩及子切分世寧情味自成
情理通不閑公叔為多典解而三轉轉深密而氣貫一
部一盤之腹登臨少助於江山一觴一詠記實性抱勿親於
太古一變一守一句不自讀書創轉一後人教語不致至淺
而惟是割裂詩詞內新異字以供修氣揆之清淫眩目
楊洪腹一是又不由以學步還不根而并然作唐詩法也

錢鍾書手稿集

硬皮本（二十一）



原本尺寸：150×210mm

1. 金匱要略
2. 唐文拾遺
3. 心知學詩稿
4. 莊子集釋
5. 寒友初集

長孫名忌 字輔棟 進士理正 表 先儒兢生 兒 俊 進 爭 出 矣 瑞
房主所 諱 伐 高 程 表 志 弟 卓 史 一 史 尔 点 小 遠 必 名 未 嘗 存 句 ... 家 書
鍾 張 詞 家 鍾 高 ... 佳 心 魚 亦 美 馬 則 磨 分 滿 玉 ... 所 佳 心 道
皇 祖 名 子 以 呈 之 神 以 保 萬 代 茲 上 之 名

虞世南 骨體清... 心為勇... 手為輔... 腕為肘中... 掌為士家... 字為
煤地池大不靈小不疏如也 用筆須手腕提掣... 以力之強... 而
本只指約... 又以龍尾給歷... 李... 如得特區梅邊州...
(一作躍躍通名) 操兵追實然... 燎原... 連連去德如飛光
... 各學各陳安各學

魏徵 請陪送葬建元吉表 正才苦愛前太上皇賓東宮...不能死
亡甘從費錢...無惟野苦桑口索正

十漸疏。頃年以來。稍覺累。最志一四。標。漸。不。竟。終... 今。則。求。發。于。於。
萬。里。市。你。奇。於。城... 諸。事。漸。不。竟。終... 一。也。理。獄。既。疏。為。而。欲。人。不。
知。之。而。欲。人。不。同。性。猶。擁。而。持。目。垂。鐘。而。持。多。也。

为李岳松、荣阳、守郁、王曼文、曹敏、江、汉、高、殊、孙、孙、免、品、布、于、董、卓、
 良、莫、与、祝、○、九、朱、宝、建、采、碑、款、隋、瓦、意、堂、堂、代、亲、洪、可、
 惜、救、洪、重、芳、多、贵、因、循、何、必、改、他、...、王、人、苦、为、大、量、尔、作、彼、竭、
 力、教、享、功、○、唐、如、耶、因、李、密、若、亡、赖、隆、突、心、代、伊、模、这、死、上、
 帝、如、照、帖、志、展、於、人、课、为、国、店、於、王、前、...、重、部、先、附、多、以、吾、右、
 故、史、俊、来、来、居、吾、上、怀、漫、阳、之、愤、心、性、量、朕、俊、外、因、淮、淮、性、
 善、之、经、灌、为、臣、

一〇三

信乎书之果主之果立何内拘六强之局教而背三昧通昌革...棟
字乃居業之居文字代結隨之制飲也茹毛之饕餮先周而未殄
唱化於良之功隆波位而外弊...女豕豕狗豕豕豕豕

李嗣真

上品上中下
中品上中下
下品上中下

此品序。褚先生嘗反又學史。乃謂後曰。此更何人。

[illegible]

佛相唐化通子22虎父宗周成已未制象其自注昔神農以明單辰為象也相因
 并信端用車馬士辛加砲代之為機矢謂呂氏至牛前已及象致

女先識群友中法氣也 群友別依以故識人象典
一八八 長沙湘言第法廣源厚晉利君 鼎重重寶 昭七

秋晚入洛於平為宅別道王宰序。臨源外桃花時生路而西山桂
梅復發人。適冀州劉海以書已序。先臨難再子之教勸於少之
京不殊。趙以相嘗於洛水。釋迦如來集道記。象王而象子隨一燈
傳而一燈續。

梓州慧象寺碑銘。後周顏子山書。文場之俊客也。中略。嘉號內振
 健筆若成。一。拓子。之。延。人。遠。乎。紫。藤。伯。此。之。新。張。長。云。刻。之。

孔志約 本芳序... 漢白浪翁子牧嘉... 姑蘇... 柳...
分... 本經臨... 必出可取... 隱存... 必正

[illegible]

唐昭宗校尉曹名神道碑。功昭可大。以良族而為良侯。不張惟
收門而為收

一九六
中书与信为薛振以状。西程点不在语。如家者在喜堂之上。但少
忙先信候息。已三十年。往日吴至良。尔来然信。我之。为益和见。之。信

*因是法道捕獲既報供為捕獲罪為定懷恨捕獲以教人教為因
致禍崇德焉家不仰見

203 經年 與人為善者勝於己勝... 每分中陸大為論及此法眼能必不說已過佳處於教訓知之...
廣不久以來比廣七以雲上不時管紀但心準目起而已雲雲眠有被中恒自重壯故與案用為

親如傳免在生終日在案人亦親之大憐家亦記之

二〇三
顏元陽 于祿官市日改篆行隸漸生中為總攝談文便... 常多
不樂為篆書其改控重台宜... 以通之... 亦謂以此何法何近
唯藉帳文篆書架系方就涉雅之同... 亦謂以此何法何近
諸君其相承久遠可以施表委第... 不廣於狀因免誣誣所謂
反在若無活操可以施表委第... 不廣於狀因免誣誣所謂
陳集源 就余道協款... 十種好不可毛規生家十二...
以謂論至理

二〇六
姚崇 探尚張滿而前... 聖德久... 謀造古度俗素... 佛... 外... 求... 法...
也敗... 聖德久... 謀造古度俗素... 佛... 外... 求... 法...
佛... 聖德久... 謀造古度俗素... 佛... 外... 求... 法...
〇遺... 聖德久... 謀造古度俗素... 佛... 外... 求... 法...
以... 聖德久... 謀造古度俗素... 佛... 外... 求... 法...
高... 聖德久... 謀造古度俗素... 佛... 外... 求... 法...
修... 聖德久... 謀造古度俗素... 佛... 外... 求... 法...
名... 聖德久... 謀造古度俗素... 佛... 外... 求... 法...
思... 聖德久... 謀造古度俗素... 佛... 外... 求... 法...
為... 聖德久... 謀造古度俗素... 佛... 外... 求... 法...
池... 聖德久... 謀造古度俗素... 佛... 外... 求... 法...
讓... 聖德久... 謀造古度俗素... 佛... 外... 求... 法...
國... 聖德久... 謀造古度俗素... 佛... 外... 求... 法...
只... 聖德久... 謀造古度俗素... 佛... 外... 求... 法...
但... 聖德久... 謀造古度俗素... 佛... 外... 求... 法...

8296 趙冬曦謝燕引上然心坐離別也雖然否忘乎然忘乎不然

喻品用為安錄抄經字或破筆似家... 換能生人每卷已全... 如未普燕
立居的為損家生之之存家信已條必不然... 失福如許法為未生
大弊○口等名子彭訥友人策海口冰壺誦內恨冰清外涵玉潔○
十事要說... 在居政先仁恕乎... 在願不伴在功乎... 在請使若佛
造乎乎...

宋陳梅花生為安錄莫張宣濟等善策備如傳於其誰何市清香
諸裝疏葉暗果又為竊色是諸神壽... 烟曉晨昏信靈魚國又
如直道掩袖擁雙狂為海境少郭志推集又如綠珠樓多詩樓
... 系木僅什梅華再上王王冰當不司耿亮... 當慘方認轉為東喧
獨易早嘉自全全全 乞休表命保附本除國嚴核

崔融 二二〇
張三原李少府... 高昭之禮亦大黑之海若九為心主
之觀管小才色之主於第一也... 漢日景承練札提脫後
章章硯信然神乘若夫○則古大書皇后衣舟文注卷各案
芳照生嘉露 二二〇 為皇太子受瑞木表喻以皇孫若中夢之望輪海

張說 二二一
空室坐明月置步口古抄糖造... 室惟生父人明思玄○江
上然心坐... 夜風信考為山然外平考為王冬少老考漸... 嘉子
磨考... 理降法實然初於巧靠紡離考於衣信是心也
松木莫放... 此為言考是然將為言考是然

為信晉國海公表望貪之功以為己力實怖之信而求外
二二三

與鄭附五晚居莊周以天地為用造法為方室之戶補孔門之
二二四
根闡亞可反震字並壯育仁義而需經矣士乃祖尚淳愛地廣

張建金 透撞童兒登雲第百大維生規圖惟力在榜之者...
此火於星波莫之戰而臂隨身而生上為雲烟卷第力平
主為餘在地六以為難亦以為力六以為恐亦以為戰難中即戰
中即難傷損極極高第... 眼為之慘心為之冷... 掩柳雲若無風盡散
西風

三三三
 恒安恒 读皮位皇古子疏。功疏火生紫院朱朱即易捐大不可
 多依御親四大重如遺視紫紫紫紫紫...位...位...位...
 寶位...位...位...位...位...位...位...位...位...位...
 读位皇古子第二疏。下...位...位...位...位...位...位...
 皆...位...位...位...位...位...位...位...位...位...
 ...教...位...位...位...位...位...位...位...位...位...

[illegible]

张易之 秋 曝石凉原 富贵共方 简昔青 好火日 使而 煎熬 久 在 伤神 溃心 故 病 能 治 而 苦 嗜

宋云問 秋蓬生。日暮但欲見。生歎云。良規。生。暗。至。象。內。論。一。自。
而。其。天。新。者。良。以。隔。不。能。仙。禁。人。善。由。觀。回。之。生。於。蒲。未。
洞。庭。清。浦。洪。漢。即。乃。是。姪。叔。家。新。如。南。重。芳。心。果。生。採。擷。舞。
在。口。在。桂。州。之。終。史。學。士。先。克。為。人。道。神。理。安。安。生。這。光。神。
央。門。冷。底。兒。外。一。先。君。葉。較。中。和。才。先。文。到。考。陸。符。於。人。傷。
不。隔。於。日。士。南。史。之。葉。滿。美。不。亦。東。代。之。魂。之。名。修。傳。一。遠。淺。在。
人。之。愧。以。南。影。多。之。德。一。遠。仲。東。札。以。為。探。珠。

8248 香嶺 海山 昭覺 釋迦 牟尼 佛 金剛 瑞 象 碑 原 主 州 冰 未 至 引 由 泉 疏
也 0x154 謝 子 孫

送裝五日法赴香序一月小兒都香者生手星送海所皮思走○為太平
為主即病無誤高款佛文變所為卯而敵庭疏為泥而環砌○祭
楊原川文香月以多宗經匠更...志列儒內形骸而忠...表馬同
弊香幼均體...古人言一由死一生若子往矣追送此城大石來也
乃其文情懷郭是第為崔尔易來果來祭松文在席...子文子節
或緬或持子字子收家學教思○涼松著士堂言文後後及王楊堂
路德之以子望子漸是也才集只於西陲楊也修造等於東堂也
則表香極山而外唐路於不疏保務而主德

香嶺 楚望姓思必你而你必然當必達而達必傷...如大望為誰
也及人憐憫伊聲惆悵尔平共愛思魚震傷心望生如也周生
為即求而子致也恨平為即得而不致也思楊似生多堪而步多莊道
此...為失守而忘生...轉思欲死神志在忠憤總系華誌
則心...乃為自由不憐憫於此山既望恨然於此生多生臨達而溫柔
款子望高而為生...敢望之華人深苦而人之激憤至矣

為和館外郎李崇仁賀聖躬就牙更生表達年而編只尔新御多而款
屏仍出...望而不脫...落而更生

大周佛禪碑由北而南來就自教少而教練在...修編蘇萊德
帶見董狐之家是警者出而求周事為之修編年寂漠而之矣○寧州
天恩石碑主安上之崇不棄於此少小世周為之理雅存侯大樣來
教

香嶺 楚望姓思必你而你必然當必達而達必傷...如大望為誰
也及人憐憫伊聲惆悵尔平共愛思魚震傷心望生如也周生
為即求而子致也恨平為即得而不致也思楊似生多堪而步多莊道
此...為失守而忘生...轉思欲死神志在忠憤總系華誌
則心...乃為自由不憐憫於此山既望恨然於此生多生臨達而溫柔
款子望高而為生...敢望之華人深苦而人之激憤至矣

蘇頌 冬道土ぬ露信灰相ふ爲物。二祝に二歳改月交す...並々持
ふ爲長紀要除ふ依月初日禁断ぬ未勅、仍今御史重
注九撰擲*

題唯貞 三九
錦江市乃雅州長安外上柱國蕭有忠墓志銘...
蜀能九... 龍門之桐始生而半死襄城之樹竟先伐而
後沈日穴為海等魂是附

張不耀 請代文死表 至文館年近就張 宜獨立苗疏難橙根成
易老苦恨而自傷心空而自戰
卯4音 條老昭德壽秋疏 運統生月旦
乃大於身 身自衝也神靈騰

大照禪師塔銘
兄贈次光珠說分
舒○業局造碑...
源法家造造最

反以諸相見也如理云其以是見感以言聲米我人乃邪道不結見如
束此明生如之深不外束也... 吾兄位於相而乃布施無假上第一
有凡波月以之理云為人滿三千大千世界七寶以用布施及恒河
何才方氣布施甚多為人打此經中受持及の多過其為人漢
說其福與彼如佛如云則陸以次の海以財彈指一の功窮山
木以為坊極治之量以為像陸方則甚多寶物多矣而亦獲福不
如於一禪房之區及山門之末受持轉運諸寶思強而明乎... 臣
以時政論之當當造境萬有摩長人力重以福故論之當當救苦
厄漢語相崇為

二七〇

跋 講廣修佛與疏 伏惟陸以平施治生有義遇回管造
造廣修疏 費財如束布施治也賜之教常惠及煤凍
財如束布施治也賜之教常惠及煤凍
費財如束布施治也賜之教常惠及煤凍
如束布施治又實保下壽育之恩至漢樂金剛經云其以是見我以為
第我是人乃邪道不結見如束是到大意之宗聲毫不見也釋迦
之意因緣為功

二七一

唐經 禁毒偽疏 魏為唐華偈人像乃雕飾如生

二七二

筆精在 傳時政疏 在史釋教也 以傳傳為善惡悲為主如常造
以福物不為的教以損人如常悲以金身不為學身以
信教三時之月排山穿地損命也彈指有慶婦損人廣厥長而榮
也損命而不悲悲損人而不福物榮身而不德傳世大重大神以
爭其以為死生教也佛王... 唐而後平市百王佛等而因緣
後疎重而福弥大... 為以造身必為善理善人不要以福物為教因已

王昌齡金營賦。然而仙聖物素居人上。物素者不才也。求居上者不可以放意信神。
君之游往著名望。理在師乃海終然樂大。海亦常領特受文成之術。中言誠哉。就云
大因報南地。少埋平。梅名款而江存鳥揚子而從老。韓氏度萬壑。故步

二九〇

二九四

二九五

三〇一

[造句]

美人坐，媚态含羞。治霍乱，以酒灌之。男婚女嫁，得先以横波修队。濯色以...
语...
心为...
高与...
情而...
立者...
所彼...
哽咽...
300品正祚建集文选表，别有董相激切撰者宅心深滋时侯至北仲助反泥假
时维[Lat] 慨外夫出清美纯同光

8月5日由河至时教大德呈报陈碑.大德在时教碑前

柳州功如蓄額士女名序為金壇對舍安尔朱為楊河余軍也丁家
 鄭公官為正字也記部漢名為金壇對舍安尔朱為楊河余軍也丁家
 局妻酒器陳為河南余年也案原為姓原為姓原為姓原為姓原為姓
 押在江口監院健子東樓為原為姓原為姓原為姓原為姓原為姓
 於熟智因庭外片白○所產為中本里花二份脚先以只書的厚漳
 例龍鐘自度蕭謹於世完第為金壇對舍安尔朱為楊河余軍也丁家
 狼口楊騎男力原漢笑中雅。名理入去所教文多入玄中雅計耳也

三吳次。余見元魯山書友黃清二功長... 此名局病元病注黃病漢
物黃病灼惡太堅獎能太重。卜次。小筆陰陽海皆要作也。不不

言警也迫郊去郭尚三里引草屋平枕諸宮子素暢至印分兒忠此
如潭浮米在中深波影搖低昂隨風...草善如新稍淡於原來
霄冒頂岸外磨古向流者乃在草...陰翳...按石堂...露易像
之缺與...外柱而大...梗梓楊柳...林葉...元榮...如一鵲不
成於此不滿日(引)个遂經往吳中唐...胡新選叔...月族家...實不似
東義以之篇三一九

州南東大對取榮品和商碑每謂以法授人不宣客易位人受
 法鮮克終始善未亦生需家萬要至於情戒承法千每一或
 同造近為殊差同商然不難則知解博又曰人善信概如月勤
 友日此唯先團記与節惕大始其財福品為靈歟

最左溪大陽碑。至弘治碑陽字北字是也又摩六至玉大圓碑陽
 ...是北字一清也又達摩百至玉環碑陽字授祐碑陽字由京
 是也...惠傳智書大陽字台法門是也。潤州鐘林寺新羅山大陽碑

題云與粘茂甫書 擬遺書 爲西 例 端 古 山 冬 東 雲 子 一 九 五 楊 炯 同 平 州
百 羅 針 李 居 神 道 碑 上 出 已 又 此 地 無 不 有 下 亦 不 可 無 而 此 地 無 不 有
遠 者 相 關 元 明 西 支 度 管 田 判 官 序 胡 歷 動 地 朝 雁 成 行 拔 劍 登 車 懷 慨 而 別 道 懷 別
故 不 如 弟 二 也 ... 上 泉 不 如 弟 三 也 ... 五 村 如 弟 四 也 ... 五 溪 不 如 弟 五
也 ... 弟 人 只 得 白 首 一 一 亦 然 隔 黃 泉 猶 內 同 居 相 視 而 沒 試 識 之 際
魂 魄 仍 依 口 清 施 莊 為 古 教 ... 也 爲 如 惜 使 的 名 筆 氏 師 有 大 思 神
師 ... 志 出 安 寧 道 道 長 華 田 的 學 山 居 一 所 幸 學 積 余 竹 林 東 園
若 是 也 親 寫 坐 之 餘 雖 行 之 亦 在 往 丁 凶 漢 易 即 友 心 以 爲 伽 藍 亦
切 追 悔

三二五

與 肥 石 書 ... 評 由 ... 書 見 讓 臨 水 而 院 野 亦 雅 考 之 地 始 在 崇 丘
臨 泉 外 亦 院 內 亦 物 亦 是 我 此 尚 不 能 至 於 曠 土 望 入 是 書 之 道
歟 降 及 粘 亦 云 彰 德 雅 形 趣 思 長 林 而 此 地 亦 雅 雅 雅
故 能 以 使 讓 繼 繼 且 景 年 長 林 堂 若 坐 與 友 門 園 乃 交 事 更 兄 叔 而
正 惟 德 更 多 碑 而 慧 則 諸 生 等 同 雲 亦 無 如 不 應 先 明 通 通 而
兄 猶 居 洛 耶 ... 也 則 諸 生 不 肯 提 板 居 腦 先 揮 新 解 印 額 索 發 去
後 矣 之 良 爲 云 叩 門 指 言 詞 是 層 之 而 爲 鶴 也 嘗 一 兄 督 郵 出 辰 日 田
新 次 一 難 不 思 而 終 分 勢 平 地 而 人 家 改 中 亦 大 才 小 不 口 舌 反 之
累 也 孔 道 又 曰 云 亦 則 交 於 是 豈 可 豈 不 可 豈 不 可 也 亦 不 豈 也 ...
苗 亦 曰 粘 雖 多 佳 如 何 往 而 不 適 口 送 亦 前 官 法 軍 卦 月 西 序
上 將 即 哥 弟 大 夫 名 真 的 方 外 又 眼 如 燈 石 樓 巖 如 帽 毛 傑
... 故 讓 當 面 面 面 結 呼 神 水 面 8

三二六

知 石 豹 松 衡 長 史 賜 斗 州 刺史 任 君 神 道 碑 丁 爲 杰 廖 以 長 碑 淚
少 於 照 杖 而 沒 款 有 條 於 於 口 史 亦 能 臨 湖 郡 亦 可 只 若 秘 書 此 宗
也 東 亦 神 道 碑 款 ... 並 賦 曲 祿 山 ... 藉 言 子 龍 移 王 子 波 漢 子
之 亦 遂 言 子 之 故 ... 到 郡 亦 隨 石 司 安 塔 亦 折 衝 爲 神 聖 並 法 之 而 遂
之 ... 密 布 羅 網 遙 施 德 澤 舉 足 便 改 爲 若 不 掛 ... 君 子 爲 投 機 之
錄 小 亦 爲 書 泉 均 倘 店 將 進 以 猜 見 因 勾 飲 不 入 在 一 句 錄

8587柳宗元常溪第六祖賜謚大鑒禪師碑銘 610劉禹錫常溪大鑒禪師碑銘

228長卷 中在城隍廟後通廊而爭為堂壁壁而美穴

游小龍潭十月白刃臨在の玉束持守在五人刀跡築口戰技又歎傳
遂成危... 為衣于諸第秘予以謀推衣飯致恨休衣年六日歎
泣如以の

三二七
六祖大師碑銘 名是靈儼不生於世之宗法堂中坐不居於殿
之地... 王何長某重仁電形子日賜也果与油巾如... 稱慶不似非色
滅只行解此即成聖等至下是二二一... 稱慶不似非色
王名歌 上李信印... 性明如鏡以玉先納性名勢形以量焉進... 漢
手持南社士為文聖困求果其泥水事就勢為面李翁不松
公為已居一時の居便即素之伏恐仿駒嘆之照鏡忘士之然可
名也

三三二
房維 上張燕... 由謀於門重你財士軍及進之ふ少能人為慶退而
由金凶於前時為借人為客則恥躁將達名持情往往則
憎致思遺思亦以の奇國右右兄美个有用素禮點此跪跪客贊分
乃然其也... 家思兄居人皇主於報以の性乃為祀德確然形如也也
... 故決分在の度堂中上士未之為先名之謝不可見先名波... 衣惟系揭衆
如事与園人并之取在梳之... 故與王貴方以先名室

三三三
苑咸 為李林甫海臘日賜藥才杖... 通中級強顏面脂及細合並
吃才依九白黑蒜藥煮批苗菜... 又賜鯉魚鯉魚鯉魚鯉魚
才仍便令膳造口為李林甫海賜鯉狀... 賜生鯉一盤便令造口
為李林甫海賜食鯉狀... 賜生鯉一盤便令造口... 又賜
生鯉一盤... 的與為才

三三四
劉知古 建明元極論表為心藥物而此二記之謂世出周易同契

8583 柳宗元名字八法略，得此收外勤学忠平努力生力效耀宝峻而势生策
仰收而略揭穆左出而锦握咏虎皇而店着碑超超以子撑

[illegible]

頌 於自發論子既言實已後李林甫每權日盛名至先諸臣
抑貴者此仍比以他故中傷之心昭昭灼有矣今是白軍相又
因表思益日宣講至中云尔動靜必告林甫以此先宜憂德元
宗敬嘉為神

永字。法快。例如。轉手。而陸。不勒。後雅。以花。樣。明。淡。環。而。
勢。且。耀。峻。快。以。如。離。策。依。稀。而。以。勒。標。仿。佛。以。宜。肥。咏。騰。
凌。而。連。連。傑。抑。越。以。連。越。8

三三九
 泥河馬程縣村山阿寺古碑額...以理實子心中為字已上朱句考廣西
 碑記曰讀碑以意統照原本世始不兒歌見鏡源

三四〇

浪如先生无生子张志明碑款。所居古壁橡柱皮笈出厚而皆斤斧
迹...治以豹皮为履驢皮为褥德惠木几敦纽博盘雪柳杖雪隄
念取道至物品何不坐的里甫字堂双婢各一元共娶为夫妇名久回里
僮童时携去人中要如日迎信更持物叔编蓬中鼓柁携着及粗菜
蔬植竹象芭蕉...陆羽...裴修登谓曰凡内人往求者口人省低宝而
其居腹月为炊以日照与四海语为末学離开何往来...告之以排
解先散清前更...意口儒惠...以为浮家泛宅沿浙江浙江上往
来苦云...有醒文...年冬...
第三卷元谱先生老君吟知原陵古石碑铭、初先生幼身极
弱而操笔尤妙常或蒙汉贤批义成篇因授膏不

8348代壽山為聖少府楊文忠公楊傳(全)創外掛子扶桑

※381元德文德序曰以上第行元89年元日6元8是賴 ※383元德哀郎表

三四四

唐如客州為青東漸東中聖中愛理昭聖元名表聖不卑教...
可也榮元名神然...十七昭知此乃授學於宗兄先生...
說亦三義中川子源昭聖之子名大而他先生...
言實十二義華達士他文源昭聖之子名大而他先生...
元子是賴然我士便有忠君忠國之志...
古月乃有古月乃是三也而見重於今口和政公之神也...
廣發

三四五

蜀長卿 米玉昭明月讀終此受名...
負 王鉄 諸君宅為觀表...
...
...

三四六

李白 昭明月讀終此受名...
...
...

三四七

與少...
...
...


三四八

後...
...
...

三四九

後...
...
...

○夜夜长随河堤柳先生震露横送烟子元演德仙蝶山序与客
子元子烟子元演素淡道合结神四交踪身因心口事诗北窗二十
岁诗桃源序其序与诗求落笔何许生出...三十六回亦为
一


 江漢東初の通外達惟所遠以
 河西被蕃露布蔽山東後卷曆破登車与洋至缺考表
 之時更又游於傲寐之際死生同試不知雲云安則朱表
 旗表保而相配也己死於夷安乡独僅而元主不可復化

趙匡
三三五
造人條例。但如古制及古法如決可不必拘。以影勢久
律切失至生故合於錢古新句亦收最於理與詞多與推其供
人暗於人言語。此還決家其心。○舉思改法。史長何輕此
四語方之古制。一說語舉措可觀。方語相說合理。一者此理
理但字體不玉。最難現為古制。其新法可多生為史切能觀
其制可也

三五六

360 杜甫 畫馬讚 並影卷
市已呈送後 但少 寫出於此
九主東

...不以之為未速御福之聲已周...新語洋襟志品熟乃衣冠
張井 竊憲臣信陽身戰晦明和強或擊或馳乍通乍窒...
而東山疑鼓思弦油滑唇底震而果木折...重為始也出然
突如風捲沙飛三平抗蒙方疎車力百萬...若決水體石潰
龍門排戟岳岳指戰可以力獲垂雲銷息...何壯哉天開而
陸必克之輝煌...此樓敵艦直雲銷息...平象晚考古木生
固恩之輝煌...此樓敵艦直雲銷息...平象晚考古木生

三二〇
玉譜 進王維系表 在兄文胡 五方之餘 力學持堅 正秉操孤 貞張居 有
易不忘 清靜... 王於晚 年加進 道遠 崇密金 并生思 不
為未 嘗廢 棄故 用友 止或 留道 氣中 正迫 搜求 與聖 零落 詩亭
共朱 中卷 口承 侍中 尺進 轉郡 公第 表 愛惜 新切 襲刻 為年

魏韻 李翰林集唐詩以卷中物記書物傳世... 六經精粹
論以錄其遺安七子以至白中丞策勇憤理範約詞句研龍
白與古人張三李九立見此神入體乎如後年... 每十餘尚為釋位

惜才傲物這可補名之罪...觀其以年以富貴驕淫乃不識謙恭以
實財驕者：何見之晚耶...大君於情亦常不顧我況為漢人皆也
彼為某漢而治名門家亦是乎解體康解體也德法此痛○
上猶太支族迷入耀位名義是苦作言曾校方即此概形長排洋三
人之重身勝於脚更大大嚴為毫下深隱居著整積局榮每朝臣情
於海軍擲名爭於海水今故領魚釣沼推聲如東梁如泉如如那
名如泉竭是將被俯仰河你...惟執子少過意否...任嘉一理當
平因善立命性疾不用無立命唯教明日因出拂衣而去矣不知天地

岩動 西來千福品 五寶佛塔 三九 萬碎 臺 井 凡 此 云 云 不 盡 錄 其 未 盡
白 世 何 以 法

三二〇
元结 康蛇治。始知王所如古名子始知均健如去吴力士益菜猜
野子真至宝王所去而不曲猜野子侵平林均健玄而不胸
借顺忠让可作性号〇〇进士被日晚月姊弟妹是谁舅且儒
与陈奴字分一绝的二精何说孤竹说何姬就煤多晒何名何
以常公可饮何地卧米而温

三十一
 讀書官狀、夜郎、安、尤、甚、苦、千、里、至、睡、臥、第、家、忠、靈、是、至、井、
 是、夜、骨、相、枕、是、的、懷、孤、苦、寢、弱、是、至、遺、人、口、時、讓、三、篇、古、人、共、相、
 謀、田、方、教、奉、子、括、凶、色、謀、敵、則、家、因、而、存、不、讓、則、家、因、而、亡、
 以、生、死、決、裁、是、紅、極、陳、大、名、辱、名、位、已、重、財、貨、已、足、爵、賞、已、存、勳、方、
 已、極、天、下、不、為、吾、何、苦、對、天、下、不、為、吾、辱、外、此、何、恨、和、密、內、生、害、
 財、和、迫、何、苦、更、為、韓、尹、以、也、此、乎、何、苦、更、悔、人、主、以、也、
 〇、與、何、外、方、皮、弁、時、休、廢、次、生、...、
 山、海、浪、是、也、其、不、去、使、引、之、服、時、之、冲、若、每、山、源、皆、作、惡、中、
 〇、同、卷、上、及、...、
 〇、...、

三九四
賈耽 進九河開若水鉅野... 然而疏濬採掘與議... 乃治人而君...
舊の海内おぬ州... 然而疏濬採掘與議... 乃治人而君...
國境土難... 然而疏濬採掘與議... 乃治人而君...
及古郡國... 然而疏濬採掘與議... 乃治人而君...
理... 然而疏濬採掘與議... 乃治人而君...
又三大... 然而疏濬採掘與議... 乃治人而君...
說之... 然而疏濬採掘與議... 乃治人而君...

尚衡 文道元龜... 乃治人而君...
不工名區... 乃治人而君...
全謝士... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...

三九五
劉大真 上楊相... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...

蘭伯 歌賦... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...
乃治人而君... 乃治人而君... 乃治人而君...

唐君山 望山遺表 為標榜學海生報係怪學望生朕在可以收歸
中國之傑大子為輯之也。
三九六

鄭少彬 恒和如望 播紳先生而為此決 途治所凡之得謀周而
如者未之語

王素 外產子必重方原 策且如千方通 義善之受廣廣而
... 冒犯慈恩自南復以光解上通梁瘴要廟十君六七死生契
周不可曰王親乃理方懷乃居其神功妙用固難稱是... 需見
余此方由口噴博業乃至於此終亦若之日學好如好亦在望進
於學業... 臨石醫守府亦第末門意多於而之結一態也

牛上士 獅子坐 照雙睛... 電針揭一吼而雷震... 彰量鎖而長繫
手鐵軍而為國然此生之懷意因而於禁隱民肉於為
手思力而苦故善文約之持在英紳堂之遊免伊爾技沈沈而伸
材之不暇

許子生 客州 曾字標楊妃碑記 楊妃客河楊衡人也離城一十里
小名玉娘為維為榮凡... 性娘十二月如生... 眸如點漆
出心月不瞬眼白如玉和軟嬌嬌後軍為選楊亦見之以財帛與
以果為妃家為富不獲之與... 楊長史與衡以帥多之左右大以
信其一見大為私語朕喜曰此女為安交常親為貴和君二如進未進也
遂信以重帛與府求為妃亦不從乃脅之... 後進入壽寧宮元二
十的年昭聖詔內

四〇〇

馮用之

馮月云 機論。乃為各樣才苑而一身獨善。名樣無道好謀而章傷。
攸教治身者富乎心也。世謂信非淺矣。能固其志。某李新結。
高子謀也。望之則政。雖多失我。心某樣是相須。吳音來義...因不
國樣以是為然。亦收中矣。花六理。萬林圓照。方史。萬林之聖。
○權於大樣者通一時之變。公總久用一重人知是法。君不可為時
禮承原不可施之時。而為不可每時由是滿。以權也。誤在首先
之說。樣應方可要。此權樣說。後張羅得志。未始擅權。
德意猶前。牙曹乾堂雲翳。
申堂樓 吾如內侍有內營。傳錄府君夢。為神志塵...友人則至
紅粉即君趙瓦之女。

李謹

[illegible]

南祐崔

霍祐甫
 六月廿五日
 中丞
 承
 宣
 進
 心
 以
 終
 生
 猶
 開
 初
 景
 禮
 記
 郊
 特
 為
 日
 迎
 為
 長
 因
 也
 上
 此
 猶
 風
 不
 仁
 則
 仁
 年
 常
 乃
 故
 打
 性
 乎
 此
 風
 不
 害
 如
 何
 來
 而
 其
 金
 之
 猶
 愛
 人
 意
 表
 後
 不
 修
 亦
 何
 安
 於
 法
 吏
 不
 勤
 獨
 邪
 睡
 吏
 不
 勤
 持
 敬

张怀瑾

[illegible]



又甚反和致意未計餘家...

殷璠

河嶺善靈系序星大月至於下實托掌也近千人陳勢要及灼
賄者中官灼然可尚也五分之二也內通諸朝資望盈帳...自
蕭氏以迄尤地知飾奉院初游波尚生竟觀末標極漸焉葉中
殷因直調子元恒年終律凡管如舊也

鮑防

影言通以望一朱而芳東初振風望未福彼星曲坑徊帝
遊以入堂依為往來中必以不尼弄成而思奔壯西終
亮彼星漸進生往來人月下三集而先塞八家浮浩生水偏永垂
山為山彼星如進始卦笑雷霧仁...於北不北於東不東輪困
有影決泮長矣...及至調古夢切影長之原至乎有平也其心果於
影而不為歌如之知言

李陽冰

唐書翰林草澤人唐不讀而重其心為新詩作歌至多
天仙之詞始為其意多詭興...三代以來風俗波地雖
屈宋筆便揮揚了千載獨步唯以一人...堂黃門陳拾遺橫前殿後
言心賞文第然一變至六為沈西凡果陳宮撰源至為大變拙地併
失之古文之通而不...陽冰試續歌於帝堂心必好以通不...刺
忠而自而相府臨高樓冠以又應聖草東萊卷自未修枕上樓管伴
原為序

陳綱

唐世河紋山如懷海禪師塔欽西教以於中國以彼之
六度視我之五品通無差殊殊途同歸舊禪那一宗故
哉生起大智慧為乃乃之...無不追名彰先師碑文猶晦焉標了
行月於不彰人乃役必至聖聖...其即福探漢輝極抗禪
閑端並未祛忠局於國難不緘格萬里初決一才於遷西里
張智又水漸

四の七

大皮陸留君如出於君詩二首
妙思自中國興東上上東形此一則不偏不倚

寶泉 述書卷上。後暫披覽終由他室... 各名諸松高茂兒少弟廣松
...如共游新里水位連綿... 告余李金吾不歟不結要石餘高
沈望松主為露游夢芳為道孫而... 老子雅舊綿密彈國露程花
沈似生游以愛雅大木之念不象小山之擬芳保...

玉崖 古華仙學稱。証某此後平大所謂神者人也言新為松雲松
其跡為形而為象如東西常電振山削降而不似其作鼓風帶水
而不見其力... 鳥君神以功而為人跡乎... 神之所為神者為作而無
情一成而不為鳥見如等之而後達之此達之而後達之始不知終是不為
神也

四五四

李子卿 程秋處玉如耀。而像階階嚙以而入戶... 覺競而玄髮收
白拂塵而素衣而緇○夜肉山古鐘聲。持梁頂橫為口入
耳聞其出音為音發地也亦寂照音稱新新既於山音收咽水... 其
稍遠也小不遠音細不緊斷這這音遠而近音迴風而欲發
佳輕吹而更引微音寥音息不知音何音

李道方 除出指君文。君是何人能開為象何代而亡誰人子經曾作
何發是誰仙堂。


高仲武 紀趙漢英漢中不平其善用內學... 此於懷就見血中質新音

杜確 岑嘉何太厚 晉元之際... 化名何如世影能... 體象表以吉祐々
彬... 益也連篇之遠範也... 迴振振身公於常情... 第口
中原多取劍外小亦可以存於世而南為乃其振蜀雲由一篇

沈既富 詞科論。太后武烈天... 陽陽文史好雕鐫... 藝永隆中始以文家

*即分母与理母

選士及知縣以爲右丞至二十餘年而時公已死解縣不以其事因
捕追久沒以第序


 唐右補郎果南文系序為早造釋瓦義理生知緒立為文志
 其於此言謨謨以學切切制心是一系知欲釋瓦故為
 精博...則今台大師元造門弟子也

權德輿 字^{公綽}，京兆長安人。與^{九〇}李德裕同族。少為^七文辭，有^八才力。宣宗時，召為左補闕，遷中書舍人。德裕相，奏請用^六白居易、元稹、李紳等，皆為宰相所忌。德輿嘗言：「臣聞天子之於天下，猶父之於子也。父子之間，不可一日無君。」德裕不悅。

送元上人晦堂竺子序 不特接你四雨情 震号 理在来 是也 来 的 为 的 为 病 歟 来 内 之 惠 是 于 来 的 惠 为 外 兄 所 得 既 白 之 来 为 内 兄 所 得 无 元 为 偏 益 于 二 兄 间

四九五
 致遠乎既錄乃曰文者讀書以應之云當中於師曰尚氣尚理有簡
 通...之者皆由之於全然此由之於失於全則氣於野於理於
 雖其傷於懦也其強也其剛也其柔也其剛也其柔也其剛也其柔也
 恬柔以道得之者其心也其心也其心也其心也其心也其心也
 乃由專門至其意也其意也其意也其意也其意也其意也
 西為雅善用故而為新陰新字之不由伯隆子善而深為樂
 黃通之以建康之徐之以此則玄在天機與終極老土巧畢而
 新格○釋於記曰居易以傳命謬曰君子居而
 秋員解居之唯行易處之則別
 四九五
 有故享教乃為大陽碑銘大振以五疆九設中八累出於鏡以
 也隨象年主而克惟其果心之虛也隆三際不位而漢觀德生...
 漢試之以中庸自誅而明以考萬物之性以大易之字益不勤而

柳冕疏
谢枯朽者论房杜二相书云又续草相为公疏以国家承
久弊改易房杜为相小能友之於贤又以文彦博得使之
弊尔能友之於古愚以为不然西漢物不以降墨王象昭代而昭之
因之者何失也夫大業...
昔唐太宗隆吳不始其治魏之諸二荀隆年不始其治毫之胡房杜
隆明不始其治果之弊是則俗好尚弊重時主不察入在明矣

五二〇
 程說 禮部員外郎陶氏集序 大振文道 惜一吏員 謫病而才 瞻昂 言
 行 乃多生 即乃錄而 理 羅 雅 曉 殊 致 和 源 者 必 其 窮
 折 為 第 一 〇 信 何 求 更 為 有 名 今 序 以 知 人 言 傳 人 在 位 在 見 此
 此 物 惡 乎 上 然 不 容

送朱拾遺序 五二九
送朱拾遺序 卷之六 送朱拾遺序 卷之六 送朱拾遺序... 何山不可以
為家 何必不可以泛舟 我送朱拾遺序

豫州石元觀碑五三〇
石元觀碑文
庚寅年九月

李觀與史部官員外書：觀其公歷文之艱難... 又賞於人...
 觀之與同如賞於人：惟與觀：惟同而觀獨勝刻鑄之末
 希因國難力亦何實戈者守古置以改意遺契其... 吁其是無屯於
 時屯波文屯歎... 五岸已近甚日激發... 勝泉九第一日揚科可秋長曉曉
 五三三
 惟理上傳即書... 十世文書冬... 上之... 附今生以寫

刻为麻：论宋季中家廷情在月报第廿一篇与另件初堂卷之终未学卷之终

上果補氣廣聖都崔宏禧云五三四
五三四

五三九
建张福清册表 九制五言 卷六 家迫与教证 卷四 宗祠 市件
人名 江 洪 早 工 菊 什


養子孝若必能應上德

李贄疏 敬 四門助教歐陽修與公序嘗與君同遊而相上之故也據傳即
意李校方親海晏茲如方集傑出人物於今伏之

歐陽修

南河南曰石像記。一經訛謄中即雕錄其為造石像
致局相以外動乎吾為石像之旨者以內改乎...此年始
始難然...
極言...
日望...
戴好...
為愛...

樓邑銘委江蜀浪... 五九八... 葉如生... 張孫和堂... 委陳乃心... 蜀理乃情


 劉錫 望城 沙多似雪 礦區控煤 烟里能如石 桑芽不來王姑息...

无匹

三〇三

504

四三四

如外提眉卷七上唐八廿餘年李不稱神柳歐為難瓦文序如云神李之佳
是也李如上歐為神子後公舉明之考教610年神史研究

小以(嘉)相照... 爾不為文字端而勇苦而胆... 若道何... 薛信即... 論方... 書...
思少多... 病... 者... 為... 主... 時... 風... 里... 儒... 務... 保... 姆... 掩... 之... 以... 如... 第... 五... 世... 婦... 始... 漢...
何... 咄... 然... 帝... 師... 及... 北... 見... 里... 中... 兒... 每... 皆... 比... 必... 晚... 生... 意... 僅... 可... 表... 善... 已... 之... 如...
道... 法... 是... 醫... 派... 當... 於... 諸... 在... 諸... 者... 亦... 伏... 讀... 之... 苦... 切... 月... 脈... 以... 探... 表... 候... 而... 主... 樓... 昏...
清... 布... 務... 於... 位... 不... 結... 分... 累... 夢... 最... 之... 輕... 重... 爾... 未... 至... 寸... 每... 至... 此... 以... 自... 漸... 或... 累...
少... 枯... 榮... 嘆... 人... 之... 醫... 以... 為... 然... 易... 言... 曰... 俗... 口... 飽... 腹... 滿... 至... 如... 亦... 何... 所... 承... 之... 業... 局...
時... 而... 沈... 於... 祈... 神... 信... 佛... 遊... 日... 心... 至... 〇... 若... 道... 何... 薛... 信... 即... 中... 論... 方... 書... 係... 書... 至... 局... 同... 理...
屬... 曹... 致... 書... 於... 屬... 曹... 而... 貴... 者... 至... 既... 危... 之... 款... 在... 新... 婦... 漢... 日... 信... 生... 之... 善... 始... 為...
代... 其... 一... 書... 係... 圖... 外... 以... 千... 集... 一... 儒... 執... 智... 樸... 之... 意... 其... 枕... 之... 漢... 著... 公... 良...
材... 年... 〇... 上... 枯... 司... 徒... 隱... 矣... 矣... 為... 病... 象... 之... 得... 年... 心... 如... 些... 是... 既... 局... 白... 髮... 事... 婦... 一...
函... 籍... 謂... 小... 稱... 曰... 訊... 如... 案...

六〇五

董氏... 後... 上... 原... 心... 源... 為... 鍾... 章... 端... 為... 崇... 報... 錄... 元... 中... 隨... 整... 昭... 昭... 〇... 激... 上... 人...
序... 初... 上... 人... 至... 興... 居... 何... 山... 與... 畫... 為... 位... 時... 予... 方... 以... 為... 望... 執... 章... 祝... 院... 金... 山... 吟...
此... 日... 孺... 子... 可... 友... 之... 言... 語... 像... 如... 公... 弦... 孤... 獨... 潛... 入... 人... 平... 和... 大... 示... 之... 音... 獨... 當...
共... 畫... 為... 鍾... 章... 端... 〇... 唐... 初... 中... 信... 即... 平... 章... 子... 東... 方... 人... 序... 一... 旦... 昭... 之... 惜... 意... 謂... 著... 日...
初... 著... 與... 鍾... 章... 端... 之... 為... 文... 章... 舉... 主... 同... 時... 當... 年... 柳... 係... 如... 宗... 元... 為... 安... 安... 善... 內... 研...
〇... 唐... 初... 尚... 書... 禮... 部... 員... 外... 郎... 柳... 君... 文... 今... 序... 文... 章... 與... 時... 高... 三... 代... 文... 至... 我... 國... 而... 為...
漢... 漢... 漢... 漢... 漢... 之... 文... 至... 外... 國... 而... 為... 唐... 初... 尚... 書... 禮... 部... 員... 外... 郎... 柳... 君... 文... 今... 序... 文... 章... 與... 時... 高... 三... 代... 文... 至... 我... 國... 而... 為...
就... 之... 業... 分... 為... 者... 不... 究... 其... 必... 混... 一... 而... 後... 大... 振... 進... 以... 其... 來... 中... 日... 表... 其... 為... 人... 之...
不... 涉... 其... 評... 其... 文... 雄... 深... 雅... 健... 以... 司... 馬... 子... 長... 量... 慈... 不... 之... 為... 也... 安... 定... 皇... 甫... 漢...
初... 文... 章... 少... 何... 種... 讓... 亦... 以... 進... 之... 為... 終... 〇... 唐... 初... 尚... 書... 禮... 部... 員... 外... 郎... 柳... 君... 文... 今... 序... 文... 章... 與... 時... 高... 三... 代... 文... 至... 我... 國... 而... 為...
左... 氏... 初... 尚... 書... 禮... 部... 員... 外... 郎... 柳... 君... 文... 今... 序... 文... 章... 與... 時... 高... 三... 代... 文... 至... 我... 國... 而... 為...
此... 為... 唐... 初... 尚... 書... 禮... 部... 員... 外... 郎... 柳... 君... 文... 今... 序... 文... 章... 與... 時... 高... 三... 代... 文... 至... 我... 國... 而... 為...

六〇六

連州刺史... 歷... 記... 珠... 峰... 出... 林... 滋... 清... 信... 陰... 陽... 政... 溫... 年... 戰... 之... 後... 獨... 在...
轉... 柯... 化... 為... 涼... 恩... 珠... 歷... 轉... 岳... 嶺... 高... 員... 陽... 土... 伯... 恩... 溫... 振... 堅... 而... 後... 張...
四... 山... 道... 為... 化... 為... 鮮... 〇...

Evaluation Studies

洗心亭记 忘思特情绕果庭榭月来松有影 缥渺烟波石列筍簾
集性情 壑竹笋夜含凉思 一樓波记 北牕和玉 轉於
端... 及泉而修溪以絕望 崇而園軸上引

507

[illegible]

4.012

因治七難，黃芩湯，身重，而微熱，攻其腹，以致痛引裏也。苦痛治者，結也。



619 崔鵬衡 達蕪峯銘 達蕪觀菟竹箭 喧飀浩以古 陸往來

83/64 裝板 續林學士李公善碑

為將改道於士族七日支事 遂前也 今此地孤家先失分 亦怪伏藏
乃取援於他門 生雖係安 何月面月見 大以於地 8

六二七
段文島 諸葛玄孫 孫志柏父 撰 抄至陰分 翠古時 忽如北 煥白兵 率
○平淮西碑 至物點 以思 寔地以斷 至重之 燕羽 於自 消於 是金 竟
薛陽內 獲物之 師 至 停 藉 如 烏 量 獵 跡 疑 以 狐 狸 ... 豈 恨 心 生
九 更 經 橫 之 計 果 效 六 奇

六二九
張西甫 衡河放為 親言大 陽碑銘 神懷讓 ... 豈 點 觀 山水 因 而
形 新

六三〇
潘全白 唐 故 翰林 學士 李 名 碣 記 君 名 白 ... 文 人 之 無 定 卷 家 而 ...
全白 功 別 以 為 為 君 所 知

六三一
陸參 長 城 城 干 城 絕 長 城 列 毒 民 禍 毒 民 嗚 呼 斯 矣 弓 的 而 說
... 若 人 之 數 若 人 之 肉 ... 遂 是 殺 賊 則 是 鐘 也 由 日 畫 豈 揚 聲 力
也 築 之 約 以 固 遠 而 險 也 如 長 城 數 帶 警 而 征 查 而 營 遠 而 生
也 如 大 江 成 岸 至 呼 神 也 思 乃 判 旬 至 華 便 排 也 血 豈 雅 模

六三二
趙德 呂 祭 文 錄 序 佛 及 賄 莊 楷 之 不 由 聖 思 乃 聖 文 也

六三四
馮宿 蘭 陰 縣 靈 隱 寺 東 峰 新 亭 記 指 遙 處 而 點 黛 者 曰 之 曰 日 景 山
米 糴 米 林 米 豎 指 遠 白 而 東 線 者 曰 之 曰 日 景 河 米 流 米 漱 米 塘

六三五
呂漫 由 唐 至 宋 衰 樊 之 有 過 曉 人 繫 若 而 至 者 曰 之 曰 日 景 為 車 若 由
此 者 以 誘 致 厚 若 也 ... 豈 有 所 致 抑 嗚 呼 不 飲 食 若 果 日 子
豈 生 歟 日 景 之 若 也 必 以 之 若 致 之 之 人 也 亦 必 以 之 若 致 之

六三七

員德先生學漢人博覽此為甚。斷信和打時大說法則與吾教座
西室和打時福祖大有領本回佛身而作偶之各答小枝恒以勵
三千大千

か 考三

若韓信即此意不云吳在汲惟以與分材此主新入內為古實也...如
 敵人皆位於能從操於時情惟...自一千年来吳士在危親見如此
 而為汲之致引意吳俊如輕謀乘取如久曠思圖如兄妹表而
 不的觀態為及之地位於能幸如免備以志於時時天下之易者在人其
 ...如無此弊必時矣必須去其文存其義附已順赤之制則汲之致之
 世所為惜引拔之意...此毒德有尚懷以象一京集平與敵人以同而
 漢亦曰也○若里南漢書自前云之本原口不言文我亦好也言其何嘗不
 亦未信...韓進之詞詭譎明決於元氣發諸海之東是初心也
 漢文策隨尔之以步后卿昭司孟子長云之晚漢叔高然也初起始光
 先生班固堅忍伯帖之詞○唐朱載言云振華稱孤澤深性惠六經
 之相也刻定造言之比和陽知李讀嘉然也如宋崇昌為也李漢詩如宋
 崇昌乃也李漢乃也如宋崇昌也李漢在宋恭周也如宋崇昌六經也...
 如為山居恒美崇謝李雲同書高如苦木之榮亦必物也如漢市淮
 清河江李雲同書出源則海也至若此河深廣白之必均也如石過之雅
 李雲同書飽於腹也至味滋酸若華尔必均也...至之語又事局上
 振李雲尚文其日文章需句奇陰而已至昭強其日文章教立荀通而
 已至滿於時其日文章必富其至痛於時其日文章亦富其至難在
 昭日文章宜你尔易力至若易其日文章宜通不易難此皆情局所偏
 而不曲...承不係尔至於理言尔信不並於教勤而用勾性素者取之
 安委美新王褒傳約是也至理往即是也而謂事不就二其也之是到
 反人物表王氏中說略得本當忠教是也若人能極於云而己之
 却聖訓之對与聖易与難也詩曰惡心惛惛惛於屋小迷外窮也又曰



然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
...子思曰... 子曰田也... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
子之思及之也... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
此乎此也... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
此乃於莊子之不思而已... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
中實非思情乃不生情既不生乃為正思... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰

六三八

來南報. 由重及右

六三九

吏部侍郎鍾文... 元稹妻曰鍾無可... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰

六四〇

... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰
... 然不勤不往乃到不言之神不耀不晃... 隨其情也求常其情也... 乃曰

元稹

六四七
喜飲如美珠玉珠以福次歌乃繼聲美律而不陳狀惡以
和采...次新事而離...有引...轉而一...上國...天隆...
朱說之而不見...和續...乙...而...排...疏...凌...作...
此...與...而...極...及...漸...因...生...而...
而...第...家...疏...而...生...而...
重...以...採...如...終...小...中...
條...以...行...以...而...至...方...
六...珠

六四八
授張籍秘書郎制...傳曰...以...入...所...
尚...與...法...海...切...
歷...能...外...款...遊...高...良...用...
五十四

六四九
同州刺史...上表...不料...
官...近...法...時...不...注...
疏...請...每...至...更...
不...疏...史...望...
九原

六五〇
進...狀...
因...
六五一
...
...
...

六五三
...
...
...
...

久以枯木為喻... 而謂子思之未暇... 此則學之困... 凡人之志... 而求其... 欲得... 小生... 之月... 形... 言... 訪... 心... 號... 者... 以... 奈何... 果... 故...

六五四

永福寺石壁法華經記、臨出於抗、武號相親規者決力雖曰亡
日就終親軍相善修業如少之元可...至於佛書之興與否為
策之余亦為信云○葬處或謫、大勢由子由人其也隨事人之家皆自



……三第尾

六七四

与元游之人生来何解何如若说以膠漆之心選於越越於越之由相
合近尔的相忘……提挈同来吟咏商會在大荒界在日步以同冷煖
饑飽比一素也……游以作此去後在古堂中四面不遠手把象隨立
就如此影之時不覺微暖舉以但見山僧為人睡(或坐)又青山
標為高松……游以作此去後心學知平口与萬裡何如要親者
忠即懷解痛者之戲嘆与朴会……嗟乎游之為家為家為家為家
夢的而讀〇〇楊筆之云解新即云人之連可以情然然立相和可
雖道入風雨見子為弟化為尔情然於外雖道於中何為某……
十步可以周遊查該層之藝与數百的更其高強電合也相授某然而
果多而的為弟祿而的祿人比以為然某猶以為命通子保以
知年某年之某尚坤於某年某也按何何何何……又豈思鏡或
親學其自和和而富貴此為也

六七五

与元九之……心為善見乎情善如乎言善切乎於善你手象為在根情善
言善於家……善之而素曰然矣而情一亦即入而不應情善而之善
此……因於善為善善言如於善善以善人之遇善……如何果之何
果傷而海畔之火吻於然思待復抑臂不暇及他年……共離別引
美竟一能為家語為面子小人則引為苦思為以隨家於不之程的居
人計二三善於時与家如缺也……以亦亦興情由的於山水以情以
高古偏放於田園江晚之復又缺於此如果鴻玉之何如為第一
否……陵步至於果陳省安不返……雲弄花善而已……如雲花子
物三為中堂掩之平於如用何如年沒如以居善你何居以善集
雲也為雲霏園雲以然征役也薄棉之善集善以善見其冰之善
善善以善即子也此善發於此而家吻於彼反是也乎集然則你

……漢志在重高以在猶無……此語論詩之旨也……詩之有通於雅者
義也……多餘律詩之變換於一時一物發於一嘆一吟……家然生事於平生
尚但以親朋共飲……除却程惟信之類……餘次之者……則法……近來
中樞之政……外勢也……此語又高……雅有漢……一家之漢
今之東家……誰能及……然亦……州……人……未……重……必……後……氏
貴……此……人……亦……在……區……律……詩……恨……歌……以……平……時……以……重……漢
如……輕……至於……雅……論……其……意……激……而……言……實……有……道……在……思……漢……而……看……過……以……實……合……建……官……人……之
不……去……也……小……九……年……來……與……之……小……通……則……以……詩……和……助……小……家……則……以……詩……和……知……慮……在
則……以……詩……和……至……因……安……則……以……詩……和……於……別……為……家……多……求……以……詩……也……以……修……身……格……律……南
時……與……之……上……相……戲……因……各……滿……新……曉……小……詩……送……水……進……唱……不……絕……在……二十……里……餘
……知……家……者……以……為……詩……仙……不……知……家……者……以……為……詩……魔……何……則……乃……心……靈……後……只……索……在
解……摘……夕……不……可……知……其……苦……外……魔……而……何……留……月……一……嘗……其……家……是……時……安……靜……而……月……後……後
約……一……吟……一……吟……不……知……家……者……以……為……詩……仙……不……知……家……者……以……為……詩……魔……何……則……乃……心……靈……後……只……索……在
得……身……友……為……公……鑒……無……姑……思……此……語……詩……論……而……前……尊……之……心……與……通……法……師……書……今……經……典……有……未
論……此……書……家……者……二……法……華……楞……嚴……維……摩……經……論……隨……人……根……器……而……為……說……法……第……病……投……藥
而……法……王……金……剛……金……剛……三……昧……經……論……系……生……法……性……書……亦……以……為……病……想……因……病……須……藥……應……因
一……家……為……說……高……以……而……名……邪……說……其……口……男……破……其……名……為……聚……丁……上……六……經……之……承……至……和……東……友……至……就
依……乎……五……蘊……十二……因……緣……善……一……法……也……五……蘊……中……色……並……以……前……十二……緣……中……色……次……以……後……丁……正
序……之……既……不……難……通……偏……以……又……不……同……○……為……模……圖……序……為……難……本……校……一……而……色……更……二……日……而……會
安……三……日……而……未……安……四……五……日……外……色……香……味……是……生……六……工……更……圖……而……方……善……為……不……淺……其……與
論……而……不……及……一……二……三……日……在……云……藥……如……桂……冬……為……善……如……楊……花……學……安……以……子……夏……熱……原
如……南……桃……核……如……枇……杷……殼……如……以……瑞……膜……如……紫……絹……氣……的……肉……營……如……米……雲……漿……散……日
酸……以……聖……藥……○……因……德……厚……人……重……序……批……云……更……指……如……在……皆……未……盡……子……餘……雲……魔……石……藥……以……須
我……年……隨……不……由……好……是……必……供……養……諸……之……得……戰……進……林……三……年……即……亦……知……石……藥……以……須
解……於……抑……又……不……知……鼓……衆……衆……福……日……此……為……還……近……役……近……唯……命……諸……以……一……然
此……一……戰……後……師……與……聖……皇

盧仝

鄭大穆

幼張二方餘口飢凍南東小部像舊尚為衣衣之為薄壁之形斯須
至坐伏惟矣以息雷虛海主器運之節賜動一葉之新即是漢書之海無
一子米一石奴婢各以分給一葉之新即是漢書之海無
之象便為膏澤

張籍

上林君等以此見執事為政務年實之說使人陳之於
以為款也其以果於德又高論之際其亦多人之短
為復也...說為皆望其與人競財乎

皇甫湜

致賦予嘗為沈通如困...遊於善境堅於烟六府湯
の支拂...字：逃。胸根皮朴在嘉苑方狂歌聲摩陸芳
然滿号不覺○若李生第一方去主新出實お夢、以明性皇詞
於示、以別毒金原豹、改之、不以兩於犬子奪厚之者不悔不悔
言至玉光不怖不炫於且西作即忘花先之也乃自生也...
國安以此拔為主...國王不朱至韓猶可以霸...未為何語

六、

送管陽廖隆佛名而儒生行隱者知其在狼而仁者至心隱未嘗於士與
風潮輕舉不輕動於冠冠狼然狼奔而溺於淫性之說以數弄悔
者於口送好生序浮屠法入中國六百有年其青而化至何崇奉乃以
曰心火火理為意入善信教善願心為善口唐都而作左即於此
心唐後友好善往來善言心以月腸口板江都南齊記播擊裁
錄想苑嘉婚... 諸皇君座煥然碧... 唐都東... 悅細窺嘆... 管經
謫... 未信沒便... 時狼怖中起衣... 這除... 擇... 先... 池... 穿坑
个... 半生... 物... 自... 唯... 高... 經... 一... 這... 條... 外... 便... 以... 就... 土... 為
不如... 此... 則... 寬... 照... 漫... 為... 為... 恨... 怨

六、七

術業專攻...
 絕壁寄倚霄漢長松性不傾倚...
 部文以長江注千里一造激...
 沈出題於用○神龜神道碑...
 相指謬以為要...未嘗宿貨...
 告已多矣○神文為善志...
 華抗之果老怕顯不憚...
 是幽工類經心執聖權...
 涯海之願不可窺校及至...
 無若驚耀言之然而栗密...
 天鳴呼極譽皮人寧以加...
 ○祭柳子厚文云駿難馭太...

4555

符載

悲賦然物也祝財貨傲富貴也吳彭亨不肖子遠東西必

講學孔子門徒事狀。儒不語聖賢云。傳講儒孔子聖徒三千亦可謂之開
 學...此以聖賢為學也...同心同德為學也...傳講欲以當道
 勢之徒。搜學名師之輩。此乃孔門上教實周重德。○論教居位狀。此
 亦不遜。學撰錄。至元三年。於東運納在伏。以書度。西至。至元五年。
 而外傳說。三子於南。至元五年。撰錄。至元五年。撰錄。至元五年。撰錄。

平泉山房誠子孫記。又曰江南你木奇石列於庭隙... 知如吾輩於茲世
漸至之智慮德君不嗜之惠隆泉石香幽致幽佳林在怡然後代
吾平泉山房誠子孫也。以甲第一椅一石與人告允佳子事也。平泉山房
苦木記。嘉祐學性計而就其較自同人。或曰於構室始也。不
今已中矣。

七〇九

文辭、說文與論稱文以素為主。然素不可以不美。則雅與英詞者。亦
猶珠璣玉帛。不為金縢。寶牛穀粟。以勢壯為美。勢不可以不出。出則
俗宕而忘反。六經之竹簡。要必曰希。好富助。後之者悅。當如何。後世
激必及酒。欲遠色。教法不嚴。淫見播。云文章如牛馬。若百尺
怪西窗字無人。多善。端是也。余嘗為文辭。曰文之物。自然靈氣。
物物而東。不思而至。梓木為之。尖而無味。琢石為之。堅而不
貴。如彼珠玉。棄不從成器。吾書為之。錯以金翠。美質既離。良
璞所棄。口方士論。素則萬金。外好道者也。一美以享國。改久款樂已
極。執戟獵虎。渡海求仙。息望連龍。南顧漢。戲。港。年。約
雲可上。固不在於壽。神鍊。醉。余。余。肉。武。守。此。是以。刻。千。營。於。便
取。及。方。士。皆。福。作。至。証。不可。得。也。上。日。多。知。生。害。中。無。不。以此

七一〇

崔嘉

[illegible]

束縛

束旬 嘉治錄敘。旬少佳株入治三集多垂在外二年一俗如多。
為漢栖也

結語

結平句 吾人用心為鏡坐云誰鑒是則用由於無而成功至乃為面
不局

舒元興

七二七

舒元興

牡丹堂古人云花中君子未若與香...
魚鰾金下即花子花特美言后款上苑是彩因前粉
松石由史京國牝子日明浸華...每香去月趣脂注如狂香合上
園繁蕪一子也...香喜素極疎蓮如珠清露宵恒韶免腰雅
動溪支第如好於遠有脈動物象不可過兀然集思如時懷
鴻...泉者如日白在如月淡焉如秋如血向如迎皆為如訣
城焉如浮舍姑如烟俯焉如然仰焉如悅裏焉如祥俗焉如鼓亞
坊如鼓出焉如折齒焉如殘疏焉如缺齶焉如濯憐焉如別...求
履並如招夾倚等如黑香帶風如竹葉汪露如照垂生如
繼雲爛然如披重迎日擁砌東照新臨也...脈、不淺建口
斜...家藥花品此花第一...致現尤葛兒芍藥自先天桃欽迺櫻李樹
猶武岩考中會守錄狀佐協得見而惡謂耶為當時賜富不祥也亟命投於無恙治
《哈呼物之不年及是耶...如九仁不解材因人而貴也...鳴呼鐘午大學生寄電啟

毒有秋神有合而三才不端多難之一小是也

楊明道與大興禪師碑敘。初陽子以師以世羅大難為苦
端學教如傳衆衆以為位位長位位長位位長位位長
實為決性願以開之如受深如祖仇教及長位位長
本師以傳信也信芳其法存何日為他日讀必於陽之陽
號傳存教是遊雅

七三三
杭州濠发街海晏院禪門大陽塔碑。日胎卵濕化無常
佛種以住坐臥皆是道場方便隨迎各安性體

三四七
 夢遊仙賦 差強 踏芳上 王堂 卷紅 常芳 發浦 戶... 吐芳 立於 堂
 思 點 寢 以 無 規 魂 迷 金 芳 懷 膏 耽 徐 人 生 之 佔 房 執 云
 也 又 忘 何 標 藥 循 戶 而 唱 祈 雲 憶 想 如 仇 為 是 朽 樵 誤
 幸 不 為 也 梅 蠶 災 難 而 苦 駿 心 為 也 遠 難 災 難 而 苦 差 誤
 以 是 而 不 為 口 與 障 斯 東 書 再 相 反 這 坐 實 會 中 局 小 吏 招 吏 來
 常 十 四 ... 寫 心 何 以 燒 家 也 香 菊 之 詩 別 房 書 然 即 何 未 滿 也

七三五
 后乃兄书以此自慰尔能量怀与族极孝目力不忘於文以思實於反
 代之人可免電讀矣味於量部乃教之忠門說小人誘誘尚為激
 然之豪戰燥於臂中解九引達告之波而浼而熱腹九津未和取也
 0与路柳何方親友嘆出之部即良吳大吳也表女子仁家道好學
 何為女家仁家道好學否是重門此日即之納蓋於心亮李接王直
 深忘是為安至急望公之境日進日進及至之也烏親的滿之體於門乃
 兄納常之室者而乃促而步言不及吐道不及陳退居三日不另水為
 秦慶元家不為師芳明昭昭亭不獲樣信古祇承一啗人時此即一之生也疾表一鳴呼昇王
 既仙矣若又死年(續句)

七三九

七四一

七四三

七五七

七六〇

四六〇

比耻书一人而已自以美一、出举目望以至此何
[房千里] 散云选梅序、以六散美、为散更投局上、以散多少为选与散发之

[许浑] 散云选梅序、以六散美、为散更投局上、以散多少为选与散发之
散云选梅序、以六散美、为散更投局上、以散多少为选与散发之
散云选梅序、以六散美、为散更投局上、以散多少为选与散发之

七六三
[魏绛] 散云选梅序、以六散美、为散更投局上、以散多少为选与散发之
散云选梅序、以六散美、为散更投局上、以散多少为选与散发之
散云选梅序、以六散美、为散更投局上、以散多少为选与散发之

七六四
[裴聚] 散云选梅序、以六散美、为散更投局上、以散多少为选与散发之
散云选梅序、以六散美、为散更投局上、以散多少为选与散发之
散云选梅序、以六散美、为散更投局上、以散多少为选与散发之

七六五
[顾陶] 散云选梅序、以六散美、为散更投局上、以散多少为选与散发之
散云选梅序、以六散美、为散更投局上、以散多少为选与散发之
散云选梅序、以六散美、为散更投局上、以散多少为选与散发之

七七〇
 主榮 綴錦為燭聖。因暖明珠。彩為列燭。先... 風來不勁於四
 座。清輝復久。愈明如一。空自... 事。交映。長久。故之。煙
 燦。如。路。誰。叔。偏。光。想。〇。疏。疏。窗。明。你。鏡。子。中。映。紅。之。屏。間
 見。人。外。提。水。鏡。之。清。碧。毛。因。疏。而。霧。家。多。能。玉。如。客。真。然。
 而。銀。河。中。隔。來。話。果。慈。遠。分。探。鈎。〇。江南。春。破。烟。蕭。瑟。以。堪
 悲。上。船。好。地。東。蔥。說。而。西。媚。二。月。曉。暉。... 六。日。并。為。至。... 春。景。江南
 芳。江北

七七一
李商隐

牛尔曾尔号何功元南臣左○为彰防上兴元清此喜警而不善醫回臭面
里或告方然可不可因循力及小地勉强○代彰防上喜警而不善醫回臭面
膝屈能力不冬时物胃權親建表人等与當中如之勤輕刀波一案之用
魚要業和為助味息更終表人等与當中如之勤輕刀波一案之用
為安事以河深夜海觀綠建表人等与當中如之勤輕刀波一案之用
○代安平公貴新齊漢家也如何燕你而之力以言注來而掌與
麾末云為貴所齊漢家也如何燕你而之力以言注來而掌與
繼○為保防為情表陸子援據鞫為就賢極而班報授鏡少戰
覺着象恩網心之失時稱士志牙幽至右為數年俸代
受是卯渡臨所位○代保利保防為遣表實立得款決條始
染何陳無曲親的砂光即老...改然皆望於親在更款難同於
什荷

為榮陽公桂河上表。錄珠公里扁縱無別。齊寧欲經緯以合宜。
形束弦而匹易。為榮陽公張老人見象。昭明老矣。將冰花環。老臣人樊苑到江。
為中公公謝附書。充海觀堂教。學馬在中堂。道銘刀一割。用帝城思入限歎。
於陳成(原)成信真際陽方即茲公才力入帝機不懷。關外心居兩日於福僕。

三先生必曰洛陽公似不中功在道應物生。病地理人名在事不關。口為時人上猶井一
無信即證自為天馬耳真誤。一西來左思談同王晉一陸不及猿猴傷殺移在大慶上意乎
利米增後行於陳倉口為某些歌人唱相公。花生梨猶楊子拔毛上極。之人不平為問曰
一豈主錯側管可辨自尋環。雖刻不辨拆自側管則不曉。何謂。何謂。張某。口為禁拔

七七七

七十八

七、八、三

七、八、九

七十八

共在異一浮魂泥魄公約之○吟詠云故名曰水花中興苦衡隱之一處... 多為俗世
引者長：神也芭蕉入體難究桂露蘭吹香多繁華... 雲失火而後華偏未盡而鐘
○得此... 文... 雖爭時而空過... 通而誠... 徐面... 亦收... 境山雲煙悲雅... 隱水

郭何為亨記昭皇為事句之海大內建安諸論在推李福林杜工部為
 尤來為言張不曉在惟吾之海先生也一與在人爭謀於餐食有口論
 由店乃為海海於張禮方平學詩於滄贈之詩曰火為就訪苦象
 論錢友為調諸村裏為方平學詩於滄贈之詩曰火為就訪苦象
 略推晉造可為是系方平學詩於滄贈之詩曰火為就訪苦象
 蓋也今批楚以話詩三百篇上元穩日雕齒小枝或獎激之悲
 漢風教...牧之何為品也於祐為祐帳白理而...元之心中
 字立叙乃寓立打來存雍宏院轉之詞謂之語論謂之有直先提臺至
 大名時士富然送之師聖調先皇旨凡之浮慶曉燕出語之元白諸二
 子說據聲解排而羅俗先你寧小破紅二子心也○六第
 心由是名方由是直心當惟此即色地於西子惟文為嘉為於白并
 ○長等...子少與財至於良日案常而己未登於心量依於就舞良
 於何...子少與財至於良日案常而己未登於心量依於就舞良

七九八

視塵腐文。如美安冰橙皮為落英井...骨節殆重如山已傾。廣門
儼然。教人知敬。語人共言之矣。毀人其人與毀之乎。毀乎與人
其人与譽之不曰譽乎。在之德也。亦在吾中。之德也。亦在吾中。以時才學
致打時在殆集一君子老之有小人妬之一我因分法於有妬也。則重
人之在於地。通諸子之道。狹斜。是地通乎其也。斜徑而為不也。然
直地色在焉。果之斜。是地通乎其也。斜徑而為不也。然
文者教人也。照大教人也。以古之遷吏也。收以逐塗大之遷吏也。
收以為塗

七九九

影同发舒雅。余以是已此保。长遂寄榻。舒舒步。夜夜。圓。意。著。不。
治。獨。乃。四。小。柏。聲。生。打。草。弄。官。与。濃。茅。國。愛。良。可。款。在。夜。來。此。為。
足。渡。子。長。安。足。能。為。四。柏。主。人。○久。中。子。親。實。要。生。女。吾。而。可。繼。此。
○陳。華。氏。中。文。與。魂。雅。魂。依。注。書。雲。○重。外。男。司。注。公。文。○仲。尼。三。尺。○象。花。象。生。
家。老。久。直。色。毫。外。張。英。既。為。外。此。階。四。所。祭。注。氏。姓。一。千。威。集。德。帝。松。疊。處。○祭。

西元帝哀周勢切疾雷機難終日身近胡奴周連於半面咬噬成毒傷既不可醫漢屬苦後
北人心觀志王賢信「此泰山代鄭垂振發稿聖大加旌賞爵載遷正今德就集所結四
鄭聖字聖改中

家石則記之清范枕明像紹離會別序佳中羅明款之... 永自小漢
 六理型新楊雄注出齡局就永永之旨語規矩每生此... 六籍之
 服理及更何止之及子長聖堅然後語決乎... 以詩易為理以書
 秋為史之各處待於外也○小志錄序只及管名小名之... 婦人懷獲
 之字而無系字○筆墨業中序業中業勝法也業勝於細破也

四六八

元敬信

標像器像半於橫如之清普以到日西而面這...古彩多也廣今季操
不意不惟東雖為主白上為讀以似時代東雖分至傳以給之理新
碑碑在也...東不碑理廢也允為功德政可紀生此大肥渴動
以象名之木配是...以今言之為庶乎神之不之也...升此級坐堂送
平弦能口與肉聲字擁徒轉皆是也...民渴象此一日解象則友得
史惟...臨之以就...一旦為言之意而報同則惟挽腕性類
公實...為因廢之不暇此乃繼升言傳之士不可又何要為土木師
後城侯傳毛元鎮字文輝...為元老在黨中秘知白為於級之友南
里先坐傳平在以此文家...此策...林其紙札和聲授於箱篋中卷
手不能清寧一本求為好子去後於他人家見而不收謂已作筆少改
歌為戲與造物者爭柄遇子輒變化不一至戲裁如出凌轅波傳
廣於陰國囚鎖性竟不覆不支傳政支造平與而反已好繁凡極當
戶破...然此...修中即校不以再三為限集第二重書卷一
時...少年精實正定可傳俗人亦即編商斷派其編之
文字...利之...舊名不無舊履倉廩...暗崇辨之為文、陽
寫...名崇者土居人前呵皮涉...如此也又欲見神...標之何恆
如存終不標之何恆...今情反掌背而天蓬海闊隔如此見又
欲見...我中時痛云子焉能我輩物收區際正...稚子不來憐
幅而臣

二〇二

獨張霖 少宣何疊峰樓...夏以...然以揚弓併半與冰
沈光 偏二岸冬以...月諸方釋竹...
李曰...夫獨強...
書...不能就...
活面...強...
弱...強...
...
...
...
...



李漢 廣度莊論 王地之他處莊論... 聖意固法也而久理未甚工也
且謂之聖地不為然於法而求理在聖者新聖辯是生証之而
已... 聖終又同聖均彼家之說所曾也... 名必以莊子為玄奧至弱
以為拙見理而未終平... 無用之說既三不可混而由同一聖聖法
用其即之修之其用其即之可用之無用也

劉允章 生諫也今言之存初之象凡凡入在諫為信不為之為度改
其改一乃也周鈔賈賈二乃也諫是功後三乃也法至乃
六乃也聖聖乃法五乃也改法為其六乃也如道求道七乃也
聖功聖聖一乃也國凡九破信不為之乎終年未無一破聖聖
世二不破也... 廣造神與五破也

胡曾 謝賜鈔原 推語萬之秤心負善維斗膽

周繇 夢舞鍾植成 高長算於居腔斜領全百掩短髮於園領危
舒於使... 史筆於而泥穢揮竹管以端長還形而席地
出為昂浩而疏理深洞... 奇聖沮衆以博懼一失傍進而奮新

陸希聲 以戶部原 喧且日善小說在事大東出鬼神交性燕唐証高
至然則滑稽諷諫以為為東之實能法之在東強言相與
出証言吳政德之在以為口實此也者通病也

樂用章 賜陳敬瑄大尉 驍勇文 烹之餐食丹大於深海新長鯨
劍傳於意王

一一一五

願望 授取院中付御德慈年學海決戰名場表甲不望心謀匪國...
李俊生為項羽無窮...告羅不強先種皮上○代新及第人何...
漁麟史公為南化性生舒○唐公序河東裴公...語曰...拾遺傳
外作詩出漢二陸馳騁建安...破魏治之學傳操雕巧道中...梅笛
詞場願漢文穆○惠套稿之東主勝好詩序并高而望卷目始窺芳
然點然元生游然先惠照然以直以梁以如以冰以素以境
以叙以家布以獨宦步窺以莫建步

李潘 柳姓 碧山方家山北 方山之客獨稱多能發諸葛顏色滋味
戒子孫 王和國 潘居位 實為外 讀日王工 貨數造七 博對王日七
十 對包 外 惜之 但 叙 生 如 此 乃 妖 物 也 禍 出 誰 如 不 能 皮 之
後 叙 為 潘 球 外 即 安 之 飾 潘 口 為 郎 吏 安 之 飾 日 七 十 萬 彭 亨 可 為 乎 潘 為 費
和 國 錄 門 人 實 為 奴 奴 橫 潘 克 費 昌 奴 費 日 奴 注 潘 未 業 潘 農 潘 費 未
此 日 二 喜 衣 高 報 盤 出 以 然 不 空 舊 地 黃 溪 三 杉 潘 悅 柳 老 之 傢 潘 潘
且 因 因 案 要 為 嘆 息 此 津 矣 不 知 何 由

鄭愚 潭州大湖山同慶寺大圓禪師碑銘。無由在。愈失。愈是。愈能。愈...
...山林不必空。城市不必喧。然。參。無。也。合。於。順。也。一。且。思。文。字。
識。與。碑。滿。京。京。見。我。我。何。字。

程墨 谈毛西寺自解修。正以为官中姜书引以旅人之网... 匡其旅网之
物不道於德而物於形也... 君子曰民重也既证于书哉

黃流 三
 若陳福隱論為大。高子言李北海言元白位為偏。然世際義。嶽長天
 然。李元。為吳。多。以。為。為。天。罪。緣。不。得。三。王。為。多。子。子。善
 在。如。指。說。何。如。年。至。為。衣。帽。影。云。遂。令。云。以。為。心。重。生。男。重。生。女。此。亦。以



人界首華山吳陽河大橋下傷悲
男男女女皆降魔道大哭毛時一物而絕
鄉國東道大哭毛時一物而絕

男如瑞倫陽吳倫意陰面奇至文平乃相識之此年要步之也
以自戒某 授星谷姓倫為千餘人

噫二篇 東漢諸君口師廣也 替名離夢也 無不懷之詞之也 東漢諸君
曰顏回也 昌儒口物也 豈不盡其詞之美

弱繁 此里志序以同年後少為為漸稱是也 穀府報浮... 其中諸妓
多能談吐 勝於古者 言語多自為心 以降止 以表其志 呼之為分 亦
皮衡人 人物應前此 次即不可及... 此學中 易妓 薛博之才 解得必人
色之及 規北里 二二子之徒 則薛博 遠是 應是

鍾堡 紅芭蕉 壁畫物 其情可憐... 天荒地巧 樂人 語德自免 難
逢 昔年 然唯 我 曉 紅華 之 卷 〇 香 在 集 自 序 柳 巷 表 樓 未 嘗
標 批 畫 國 舖 戶 如 預 房 成 〇 自 管 十 一 性 悅 某 神 敘... 乞 不 容 易 與 人...
切 托 不 是 無 心 肚 裏 名 方 神 筆 狀 此 景 景 傳

許丹 唐通和先生祖君 李忘飲 先易神 崇... 曰 學 是 先 中 養 神 然 後 者 某
更也 神君也 名 逸 於 上 吏 功 於 心 以 力 助 逸 是 諸 事 幸 費 費 的 衆 子
也 坐 忘 忘 思 以 忘 忘 之 七 張 為 第 一 柱 石 百 理 以 出 一 物 失 何 必 於
於 倦 欲 其 神 至 引 中 平 隨 九 傳 達 子 亦 常 補 也

高居海 于園記 婦人 辭 贊 某 意 云 珠 之 好 者 一 珠 亦 一 良 子... 佛 雖
破 每 如 地 內 濕 沙 意 之 滑 以 止 渴... 其 食 類 決 必 當 果 決
以 終

黃明 文苑表 是 故 大 未 為 通 記... 近代 唯 沈 隱 能 對 約 二 南 刻 陳 三

世文見富三章引范曄五代通鑑

日有明為集子十六卷，記述蜀川平水學堂中事，要堂東是舊唐書卷163松元一，歌傳，常集大標，蜀城玉帝子，女工巧，漢而表，蜀道蜀人，至大，漢河，諸之，日。

惠... 爱... 及... 承... 能... 拒... 生... 吴... 俊... 元... 程... 菊... 黄... 菊... 策... 王... 维... 杜... 南... 湘... 嘉... 兰... 允...
 肄... 策... 及... 然... 自... 是... 王... 株... 秀... 绝... 以... 珠... 珠... 屯... 淫... 常... 临... 凉... 磨... 死... 翠... 羽... 毛... 自... 半... 垂... 於...

王周 蚰子... 蚰子... 蚰子... 蚰子... 蚰子... 蚰子... 蚰子... 蚰子... 蚰子... 蚰子...
而睥睨然面至恬然而嘆

馮道 長樂李穀大靜恩中未蒙及居止... 在李府家忠於國口無不為法門望
不蒙心賞所居安... 不致於地中不致於人上致於王以三不致
為意財如量安如量古如量李如量... 思理難而獲多福曾臨蕃西向中
嘉然人之謀是王之祝... 乃居乃宅乃祥乃為二子... 不云吾何不結為大東致
統定... 方謀而收於應機... 能安何以在乾坤之變時每一是時飲一杯
良味可於被毛[此]言安於用代即李而自來何來如之

胡嶠
俗北記云：隨水之西，有然黃里之草，不可食。樵契子諺曰：「此草可食也。」一南望而為紅，謂同乃在古慟矣。往之徒而後觀...又北中歸黑，歷人舟中...東北至韓勒子，聖人筆其披布為衣，不輾而踏大弓長箭尤重射，遇人相殺而生食其肉...契子互騎過一韓奴子，故數走...又以狗與人分狗是長毛精衣，手括腰靴，謬為犬...每至事法，人皆驚怪生男為狗，女為人，自婚嫁，穴居，衣食而處，如人，衣云：「吾乃中國人，吾乃國多驚怖之民，世傳與雲筋十餘條，教其走十餘里道一筋，狗失道之見其家以物外衝而胸則不能也告...契子諺曰：『常狀之人，能欲得中國然者，所以敗於主暗而不忠，因是造謠，因身日子悔思，以謬漢人男加其主當為我狀，何庸言因允ノ境也。

卷八
 李契子主表 分皇帝 忠形 時方 稍雷 雷實 未賜 靈謀 德先 祀
 也南 多境 族亦 獎訓 以國 初萬 士女 一昨 惕獎 臣口 為 仁 德 4 懷 災 已 卦 本
 而 既 步 中 餘 瓊 陶 哀 男 人 為 南 寄 信 薦 之 年 主 記 大 後 日 善 便 許 江 堂 門 門

王贊元漢史詩合庫唐興至高收振陳子昂始以骨象為主而漢拘四詩五
上字律建中之後至詩殊喜對秋為寂杜南尤重鳴於玉德大磨智
而詩人重不尚之鳴呼子美之詩可謂當其時矣...干之為詩緩肌
滌骨冰堂露綯...有自將分吃休...不絕紛...不棘...南...生
志倏與神會...未至...也...往...先是子陽則南陽張祜...於生
至詩發之橫傳...是...速...予...較之張祜...杜南...干...對秋
之...也

[illegible]

此藥果能平高老臣至內獲信光十餘年終終於日俄為都后何答勤心
以乃備抑抑至情惠強飲集於左右設聖德者進之曰至崇漢山海
強日以儲為膽可以療至及不思陛下盡試後果武亡之郡茲之
改妒得強半帝感神至百左右此之曰秋陛下廣善法以備賜群臣
及不才者其始於君才...六物化之一端也帝深生至之信掌人
捕之金乃崇皮與戒於血生至議遂獲

沈欣 益善日。尝读史。补云。韩文公。以。益善。籍之。数。度。不可。乃。爱。
猛。力。勇。... 课。好奇。之。道。也。如。是。沈。子。曰。夫。仲。尼。之。出。游。此。在。
若。也。墨。翟。注。经。注。不。在。疏。也。且。阮。籍。雅。志。存。于。道。家。故。其。宅。始。立。
小。至。即。事。佛。多。时。致。意。於。此。尔。... 又。为。愤。执。浮。金。徒。共。洛。阳。朝。堂。
论。尔。死。已。得。玉。分。危。殆。然。后。发。歎。不。知。我。等。计。亦。可。及。昔。世。友。友。为。
留。谢。沈。子。某。晤。平。



又見卷誠錄 古文拾遺手抄錄補引冒得

挫夢雄吹拂偏媚...君字免翹立...搜形如老如悅宸襟...不於於月
在唱亡因...方銜趨時...乃至立儲...位至如世何然社稷不安
滿...諫為皮主東...表...檢校...老...梯...德...稍...而...吹...挫...
境...不可...後......張...山...須...然......願......
家...便...中......表...東......自...無...思...不...匪...惟...要...看...天...水...生...上...便
坐長安

羅隱 八九四 與朱博士狀 李吳腰脚不支坐起緣膝目及千里朱恒李三史作何面孔

八九五 諺書序 取之始為語之曰他人用是以為榮而予用是以為辱他人用是以為富貴而予用是為困窮苟如是乎此乃自諺乎...不始學初語字

八九六 不知、腰身與腰身語於暗主稱是為正與皆謂名至以之者未嘗以橫
腰為第一童子進賜是腰身於憲而腰身不為呻吟也至人及
矣同是腰身乎沈腰身也是以區區為則思以道入經市也亦不
眾人呼曰二工人腰身矣進報恩寺也一神於門土土與木工互不相
可木人欲處至內簾至外可通七竅以應其神也神之用神
工土人以為不可神為也通七竅應其神必居唐律中物點入至中不
為其主魂而瞳不通竅誤害靈何師於木人不可遂保違否之
故其竟無如也通竅其至為人禍禍口後石烈士在李忠生
長神教者...少時偷諸教狗雞不可獲計...後折為多李想...
平天快之謂刑部侍郎神神撰平蔡碑始始以大丞和功業於李
李忠一旦懸枕至文大憲恩因作力推去至碑...設不年更及一修

西豐收路以熟者改胃為降之周乎○訪甲子年張為納邯鄲人李羅如
備後欲將星及長大妍素堂呈給與以不財物只就信如為乾員時
係服衣體卷之兄趙家之遺產多被隱為離市往之性以此物能也
雅為為好是因日新新

新及大宗譜勿信 日坊 九七 漢玉碩置凡十九

房魯 上者度馬與大影居乘 九〇二 唐花玉貨物僅為采此必乘然而諸要人
言是造物高之日必如平乃乃得此物亦不為小湖而市是及至人指物
貨唐戶而自唱口果好物果好貨至將市隔小兒童出曉然視之曰至
生果何有唱者臣平至佳為數年之十七八所平初謀至玉貨物貨極以準
而而籍墨為然然何以至是彼亦不以此當售也古之平人而然

海順 三不為為 九〇三 吾肝至內家分愛造前物振類
毛並擇整... 將臨市市門勢不為金如居大如長德未始是以通
近近是是親門一我欲物股雖買然得厚果... 一經朋學弟里驚袖
... 將臨市市門... 素折由男... 是以高要好嘉你六池塘二我欲街才
樂之の市趨然... 誰物該愛論美歌論的些座橋弱車客宿老條
無區且且... 是是以這仿示河如性苦造三

法琳 上黃王不波那話不... 籍兄傳實而上海說數法至司以不施乃與乃上
生造近波布人省德席鼓為戲談為男凡月安線無似口對譜
矣度佛德多恐... 籍兄傳實而上海說數法至司以不施乃與乃上
六情被聚... 鳴呼耶言為正魔稱通為於未受... 心承漫影上平天視
... 以矣此法至平形因在自曝而能中安未就若同射人便是惡弄能聖
... 但由信才不該違事或以取限因思苦誤之徒非違造器致令傳實
謀此器云攝痛痛人投骸其地結信尼品白愛極利帳笑傷為重



云謂切實...生就孔孟儒者師範佛學文證不少實一人而能諳諳...
 臨著國造少諸善友生識...余信其心要之甚危信免丁之河無之極也
 要善大者自善生善者已未言地無解之波未及為安之狂情也。○為溫
 曰釋教外卷對。傳友扣要生司先不施乃多當表狀為益近海布
 京金里緣信免丁之謂要識席上為言故免之誦佛日醫而不暇信哉
 阻而力

智實 諸道士處信友表。人之道士不道至[?]法何為衣根並是貴中
 以修本就名之簡以三張之機眼象為千之門。從漢觀以
 未嘗以必道化於浮世矣此名之信實是在道之當

明樂 決對信實處佛信友表。心修執打策發智喜於嬉著或破
 此佛信實處信友表。新存體識者為塔等何也實為道士
 惡妒居愧如毀重身信實處信友表。理云之身波法沒前宏道此至時
 也

玄獎 諸少辨字翻譯表。禮誦經以以為提獎。但新供煩惱必
 定然於實資...研味經誦慧學也依林當坐定也玄獎少未
 略為多轉教家唯於四禪九定未暇當心

明審 若柳博士云。近諸生於信實處信友表。設難去所生新言可乃乎
 心總往還無端追尋分毫一物心才靜於未離痛。去未當立一
 切善執...心字境如與道不拘...諸弱於思一切不恒...心
 心以動結口總看

懷素 食里信。西生信。少信。及未信。中多信。肉又為常。信。如
 笑你為不便
 九一二
 參觀934 並定之 齊文續按
 8 覽

* 魏色中經書焚堂版為摘要

慧能 九一四
金剛般若波羅蜜經序此一卷經亦人性中即見之也但讀通
文字為修本心始知此理不在文字... 七點在人外覺佛自外中
理不發內心不持內理

法海 九一五
六祖大師法寶壇經略序此是西國智第... 花自南陽理長溪口探
如面飲香葉實之理至佳口此如與西王之理無別

景海 九一六
東教序以中國碑... 九一六
禪施高錫飾純樸... 於是於三一... 京為珍隨河... 禪...
生... 同入生代神... 宣... 宣... 宣... 宣... 宣... 宣... 宣... 宣...
貢... 大... 大... 大... 大... 大... 大... 大... 大...
九... 九... 九... 九... 九... 九... 九... 九...
際... 際... 際... 際... 際... 際... 際... 際...
明... 明... 明... 明... 明... 明... 明... 明...

法海 九一七
為... 為... 為... 為... 為... 為... 為... 為...
... 為... 為... 為... 為... 為... 為... 為...
... 為... 為... 為... 為... 為... 為... 為...
... 為... 為... 為... 為... 為... 為... 為...

雲祐 九一九
聖策文... 聖策文... 聖策文... 聖策文... 聖策文... 聖策文... 聖策文... 聖策文...
... 聖策文... 聖策文... 聖策文... 聖策文... 聖策文... 聖策文... 聖策文...
... 聖策文... 聖策文... 聖策文... 聖策文... 聖策文... 聖策文... 聖策文...

宗密 九二〇
不... 不... 不... 不... 不... 不... 不... 不...
... 不... 不... 不... 不... 不... 不... 不...
... 不... 不... 不... 不... 不... 不... 不...

不獨侃且七十壽也

九二一

九二二

九二三

九三五四

君通於世事言心無染在於道美於
行甚非生學之淺悟宜戒此

之惟以三果不第居京以禮家自守及於長安道經進上之口鄰家意
與尔不魚惟可獨尔然諸君每日必為南飲之以表至親室為遺文之以
訓至子育取天地間範圍限內此生第故物為然何應意之即舉
予姓周氏為之安室也嗚呼以舞恩家為有故贈之款曰唐也古之死也
苟逢此理教汝何言

三五九
常德志 兄中論愛之於天性生之於自然不似物以朱親之因言而結意
...至於大義為義生之於自然不似物以朱親之因言而結意
生...以親素姓業常排衣再難...以以有肉造而為疎之生之生腹心之
用膳名也而為重衣衣食為魚之親為衣衣家附生而可離手之生
而可絕斷則家不偏於兄弟國亦明矣

九七〇
關名 諸禁陽生編諸妻長元之六月經道校藝為擇吳才或臣不收恩
也生以造時論以竟舉發為鄉門恩門及以於第為門生以
門弟子也...大經所命喜安之為教諸弟子以是國家英士為宗伯
門徒後又作先聖之名為儒之選

九九八
盤如盤一名智結銷校不卷盤盤 清月曉月澄雪皎波月曉月
澄雪皎波清也。清光耀日菱芳照室也。

九九五
大府故港氏夫人善志銘夫人姓范諱如蓮花懷月內人也...於月
點陳獨授天安...如以色引能諸大夫月內也...王昇次子有公貢明
經綜送尔目逆調切琴心

九九九
以火羅華覆支汗那 諸助討大良表伏望天可汗慈憫與奴等多少氣力
致伯治謹 啟

大草六以讀日為歲正字主拱臣手拾鴻書校金輪暖呷自撥教此晨為飲
 至堅全功家糖墨如臨月神千部乃作共端人以人慶言古可肉可展卷為神

大果一布衣耳(南唐書)○批神此集要言何而辨古人惡之惡哉偉
常波初廣尚依而謂厨望盛日望乃區是○書述性算者之性狂
總如十、浩平初權千騎過後沙漢而無金第又如友是奇峰不日
而章性橫失之可白逆至位勢也如此量求者之量如諸葛亮集華重
我朱審播敵舉板壁自能以白羽麾軍不見者於宵而更乘相適
華堂金蟾(陳思公苑苑集)

吳越武王 祭游神禱雨 六丁神君 玉女陰神 從安 六千萬人 鑄
 以造 子嗣之安 射候 漢怪 濁海 枯涸 千種 石火 力更
 每干 哩 以 神名 佑衆 助疾 益壽 功 畢就 (晉書 偽史)

虞世南 论略。高祖力均势教但会中原以仲遂河梁高亮昭演
高祖外傅也...不德犯律道士来理便说至教可兼多
言德皇美黄杨抗而虞竟然及家而然亦口承不帖承不必出
卷叙可以略理带思(绛帖) 一六

陈子昂 望诸恨 苍龙引 彼不能知命来言又不能你 德裕山 嘉乃尔
时生于 一古白 觉是望诸之人 (望诸 高法书 嘉)*
一 是 此 潮 近 年 不免 自 惜 何 乃 通

为知幾 請第救災 謹言親王 勿救... 近有一... 降達... 災...
 其遺至... 速法... 禮之徒... 救... 仁... 災... 善... 公... 好... 犯...
 其... 憐... 為... 其... 不... 深... 恩... 免... 作... 惡... 其... 獨... 承... 使... 俾... (唐... 公... 自... 知...)
 上

[illegible]

张旭 张旭书帖、张旭书之趣

蒙求原不此意却言以蒙求蒙

宋注詩集序 席應富 唐白居易家為集中此序

妙在宿留 這家出處更晚 侵 謗 此 只 往 引 老 杜 為 天 定 不 成 海 寇 此 夢 不 悔 云 但 是 立 於 未 著 後 文

郭國 陸成武

郭國 陸成武 詩 序 記 以 入 三 七 注 云 (李 何 名 畫 記)

連珠 霜 以 朝 明 嘉 人 恨 產 尼 之 將 語 在 官 意 如 然 以 俗 為 分 因 到 三 息 孤 確 造 來 雷 區 聖 德 王 諸 不 以 朱 駁 一 名 比 大 智 怨 佳 形 之 未 卜 居 連 小 市 恨 的 信 漢 難 獨 因 而 然 通 教 長 科 德 田 而 腦 之 後 夢 涉 以 公 以 通 道 相 火 烟 郵)

高駢

致 周 寶 公 伏 承 垂 子 已 及 香 中 六 賦 畫 一 祖 萬 新 十 年 以 元 在 治 始 當 (南 部 新 書)

胡曾

代 高 駢 檄 南 蠻 欲 榮 平 交 安 抗 禮 何 文 持 衡 科 地 舉 大 量 主 一 以 此 為 加 研 指 失 之 為 領 去 發 痛 九 牛 之 落 一 毛 六 之 亡 半 疑 (鍾 戒 錄)

鄭為

陸 廣 序 陸 廣 為 詩 律 未 暢 而 不 為 旨 語 *

鄭貽

廣 門 詩 集 序 寓 桂 廣 以 為 性 結 冷 冰 以 為 質 照 鮮 潔 以 為 白 一 李 白 杜 甫 既 非 君 而 誰 榮 在 諫 序 謹 咸 國 二 年 進 士 (席 應 富 詩)

徐彥

四 五 席 應 富 詩 集 序 上 以 亦 嘗 為 而 國 無 多 於 是 曜 古 除 龍 烟 既 始 造 一 處 名 上 貴 中 貴 調 來 北 風 公 宗 公 一 煙 霄 可 上 形 除 彩 鳳 之 細 免 棄 難 為 誰 東 主 公 聖 諒 切 隱 納 思 你 半 為 祿 以 已 憂 於 形 且 四 十 月 末 王 林 甫 死 奸 合 有 至 多 另 審 因 一 是 何 未 極 照 未 時 移 代 促 燕 中 之 歸 子 依 秋 曉 上 一 羅 衣 著 煥 嘉 廣 官 觀 考 實 學 人 以 名 考 的 稱 一 每 年 嘉 廣 官 公 自 當 朝 而 初 逢 擊 輶 半 嘉 廣 而 榮 廣 量 寒 但 見 禁 柳 然 烟 官 槐 替 憐 一 境 中 懷 有 遺 跡 而 出 存 厥 德 花 海 水 雲 之 為 也 遂 年 一 玉 笛 休 吹 竟 蒙 露 製 麥 原 香 以 西 播 渭 水 德 而 東 逝 忠 心 未 磨 治 此 一 古 也 竹 篴 子

唐文續拾

高祖 賜東門同安勅。隨帝在日早與朕談及。才思特敏。自以為辭務。唐不復之朕。朕將重之。可乎（石刻）

石鏡 大唐東京大書國古最上座。金鑑記。手之精。卷八。不莊物（石刻）

杜寶符 唐初京兆杜氏夫人。善法。欽。卯。墟。蓋。望。時。而。殊。美。楊。公。株。馬。時。而。神。夫人。此。云。水。等。形（石刻）

慧忠 敬。其。心。理。序。其。也。廣。是。文。義。若。如。競。象。米。即。更。乃。魚。念。觀。其。又。以。日。中。出。龍（金石續編）

胡伯成 承。王。早。珠。記。文。見。可。而。出。逐。彼。其。乃。於。結。圖。公。難。而。守。改。亦。其。難。於。上。王。則。隆。其。神。石。地。道。并。理。歸。再。生。其。多。及。其（金石續編）

8월 4일 日 札 五七 - 外 31 Fontenelle,
✓ Diderot, Stendhal 이즈 le mien
- oire de la rose

節注：物各有性：各有極... 各隨一方便，及云以相偕居也。並段統以豎
持人遺彼忘我，此謂要... 是段統大者小者大者也... 高死生
聖學生也。

生者為財，死者為土。此乃人之常情也。然則財之於人，其用何如？

子湯曰篇書湯問篇棘作華
窮鑿空名爲陽皆爲大山聖主之里持拱揜義而九萬里絕

考為詔陵...在舊宿縣境造於石引華山...南人...人不豫知每指其墓而嘆之曰雲台穀物既盡於
此名之墓也...一傳其墓而分之以為兩也...呂布據此...侯公祀上...程元振曰...蘇公...碑...田...等...

之语由某公撰然熟乎山林之中而反以移名于此盖其之谈亦以见其亦
 读书身必其局为计也而不及其所由也之笑疏... 然观其文则知其推许
 品部注乃为许而便免其俗乃

為虎人隱不倫虎尸視不枚樣想而代之其肩多司於連号口要言打
 播與大而無易往而不返者驚怖之言然月懷而無極也只及這處不久人
 情亦連号口是言後何禁曰難堪村之以即神人居焉肌膚如米雪線紋美
 愛子

……之人也物善之仿大慶稽下而不歸大旱吾在海土山焦而不熱**

郭注...夫安...名...
東子...
自...
...
...

姜道象 翁樵云 呼蘇不 文隱 謝雲 星初 友邦 為善 佳引 作榜 角
 世 人 尔 雅 榜 處 也

蘇軾父子因摺於周大星字人馬善為不處之策書之以并游虎為子家

四九六

三十四年
 王城五由旬村中良美米五
 初村人办兰香米木村入渡苦兰欲煮粉
 时彼村主将陈人引去善共我乃
 西白王改互曲句为三四便四边弦
 为重人当顺之却其心要与惜念而束尝言对
 不渡如往的王为改之作三四句尔
 人周已便大款在

郭保弟也彼是於對*
於五心也此居五極要

即漢、魏、中、宋、明、清、各代

然物之可為是者，蓋與橡膠與西施恢復諸性，皆通為一。

因是已也而不知其然也

何謂三狼也？望乎日於三而善之，亦猶是思也。然則於四而善三，亦猶是思也。然則於五而善四，亦猶是思也。是以重人加之，以是而休乎？鉤是之謂也。行……

郭店楚簡《周易》卦辭之詞均為西漢地任言之，是150朱疏。不難見其
相反而不害。相與，是紀元前彼處。即，我也。Heidegger, Sein und Zeit, I, 5.119:
"N. v. Humboldt über die Verwandschaft der Ortsnamen mit dem Pronomen in"

* Negation of negation 否觀知此語

夫成器相爲者成謝無窮是所謂高物也

而份量是允許諸詩行

員以為未始見物者至是盡然亦可以知是其次以為見物者而未始見
創也

也

郭位、陸東、詹島、張松、李彼、沈〇、朱疏……陸汝見、宋君、宋而、宋書、宋

九

其次以為即刻香而求始即是然也是然之新也蓋之亦以庸新也蓋之亦以新

卷之四

邵俊... 书情书好篇

[illegible]

之廣如昭瓦不鼓也

即此光聲不可復舉如吹簫操絃隨風響手盡聲為是而觀簫之

江蘇省立第一中學
 校長 陳延炯
 教務長 陳延炯
 訓導長 陳延炯
 庶務長 陳延炯
 總務長 陳延炯
 圖書館長 陳延炯
 體育長 陳延炯
 音樂長 陳延炯
 美術長 陳延炯
 衛生長 陳延炯
 社會長 陳延炯
 職業長 陳延炯
 體育長 陳延炯
 音樂長 陳延炯
 美術長 陳延炯
 衛生長 陳延炯
 社會長 陳延炯
 職業長 陳延炯

老國輝

彼龙炳明与明之叔... 隆之... 隆之...

部便是猪第4数管

大且明之於此不亦至乎是精乎至是之精乎精与不精相与为精明与彼明
要皆随此语发之

莫是匪然謬嘗云

即任... 善為善心既道是然又遺至遺^{*}之又善之以至於年遺茲以年出

皆不遺而量的結果。○某既嘗試也

乃始也者乃求始焉始也者乃求始焉夫求始焉始也者乃：也無名者
 也也者無名者始焉始也者乃求始焉夫求始焉始也者乃：也無名者
 而事知乃其：果孰為孰為也... 今：蓋大於於於：未而大山如：
 蓋於於：而於：為父天地與於：而於：為一

[illegible]

而事知不足果孰為孰無也... 言：善大於秋豪末而大山如...

蓋詩於疆土而彰祖為天下地與豕並生而豕勝與豕為一

即此是以前所刻明也山北缺裏也... 此以性之為大則言之

未思過於秋衰也。大山為小則有，無大量秋衰為大則有，紫小也。

Einige Sprachen hat auf 3 Sprachen hinweisen, die das 'Ich' durch 'leis', das Du durch 'du', das 'Er' durch 'est' usw. ausdrücken. Es ist merkwürdig, welche wohl die ursprüngliche Bedeutung der Ortsausdrücke sei, die adriale oder die

einigen Sprachen) hat auf Sprachen hingewiesen, die das 'Ich' durch 'hier', das 'Du' durch 'da' und das 'Er' durch 'dort' ausdrücken. Es ist von anderen, mangeln, wohl

durch die, das 'Es' durch ~~das~~ 'Ist' ausdrücken. Es ist Konnotation, welche nach
die ursprüngliche Bedeutung der Ortsausdrücke die, die adverbiale oder die

the sample given herein is not intended to represent

*即老子所谓一生二二生三三生万物

郭信...一与彼未殊而点一与彼未殊而点一

郭臣物、乃理子、乃窓、蔓、薩、檮、櫛、云、精、文、云一作乃詔乃議按

君分即辨君競君爭此之謂之德。德者下之所歸。而分合之內聖。

[illegible]

初知世苦如外知苦樂 此語有存法者而外法約者而外法

... 北平大学 ...

8 | 12.12.2019 星期三

[illegible]

流不刻新者証到尋好 恨不刻此刻新 武運符貼牆底插死

生疏。然其語亦如法也。一物性之因便。

[illegible]

○李之相且 李之相且 公也

你入高見之書是若兄之書也。此書四卷。執事手記。正色。

自秦觀仁義之端... 神告大

Den Bezug haben auf das Ich qua Dasein. Das 'hier', 'dort' und 'da' sind primär
keine Relationen Ortsbestimmungen des immanenweltlichen an 'Raumstellenen vorhandenen

大系觀通述
姓大系師子海月而卯字誤為養也

澤然而不就熱河漢語而不就定序當破以水振海而不就驚大出
其樂是乘騎明月而勝乎四海之外...
子重人而信多於新

即注...
不就而不速...
云而亦以為妙是...
求時腹足彈而求影矣

朱云時腹習強治錫也...
予為女要言之女以安雅...
朱疏...

予惡乎別說...
即注...
善...
佳林...

即注...
薄飲...
中又占...
此夢也...

即注...
是云...
亦與...
疾深...
同是...
既矣...
則亦...

Sienden, sondern Charaktere der ursprünglichen Räumlichkeit des Daseins.
...
...

* History of the

卷之四

朱子為學法於形：格遺物讀四書務後何格乎此則格也

釋名。唯快也。

育主自周而方知稱覺耳非必非夢也

主客易位燥而夢淫石自夢如無以明今乃身如夢寐之夢也

內務 養生主第三

郭沫若已困於知而不知以又為知以救之新養而信之者其殆心

部位別原中、以為常也。要藩指李積、望振、孫為七次、勝次、快

五〇二

牛膝門金鍾子十一(二七六) 譬如善屠牛師屠牛刀子執的刀鋒刺到牛背肉而
刺不傷肉肉不傷外皮解牛絞筋筋骨這以皮要割上牛膝門西人多趕老牛刀
坊謂之智慧(增臺門金鍾子五(一)同)

邵佳、宋强见理者

三海之波未嘗見金牛也

郭注但見其理有也。朱既總規局年已甚多。

然其時至以神運而亦以目視實知此為神欲也。

郭注 晋与理合曰解文 白云书如可察 而反勒读 波智徒自放立
其心而乃谓之神韵

心乃神之舍

依乎至理✓

即係之橫截也

批大律華大竅因事圖送校理有學識

部 校 之 功 也 學 務 司 於 此 東 堂 經 祝 於 漱 礪 也 口 葉 薩 播 龍

機口部注以技理為技法理學之集家技藝校字之修學四部

九候以治五藏經五經以靈樞經曰經脈為義支而橫者為絡

而況大轡車良庖集衆刀割也旌庖腰刀折也

部注。新。庚子。增。刀。刃。也。○移。文。崔。云。強。名。也。○黃。蓮。揚。南。樾。曰。寫。

常用刀方折点以用刀言折骨如说刀折义表无左偏又母折

牙

今重之乃十九年矣所解新中律而刀刃所新獲於石硯德安者有而刀刃
 甚厚以无存入即省燈之乎於格丹必為餘地也*隨然有玉於格丹
 足為美寶也
 鄭臣謹解而書刀刃之若

外臣：徐時良、馬之俊
蒙地

交錯未結為旌
懷慈為戒 祝為口 以為運動刀剪游謀然已好如土魯中提刀面主為之

四、餘如：清溪、茂志、喜、鳳、龍之

郭沫若

文惠君曰：喜樂無常，天下之養生者……澤雉十步一啄，百步一飲，不事乎

於變中神隱而不露也

部是核心 部长王志荣 豫西民族医药之地 忽然而觉 音为

1. 凡在本行开立存款账户的客户，均可向本行申请开具存款证明。

thought; 'Delightful gloom: the clust'ring thoughts around / Spontaneous rise, & blossom
in the shade, / But bright by day, & richer in the sun'; Anatomy of Melancholy, Pt II, sect III,
Item II (ed. George Bell, 1918, 1955) para. 1. Plots. *Suppression* in Latin: "When our bodily
eyes are at work, generally the eyes of our soul have rest"; Corneille, *Le Cid*, the
Act II, scene 2, the Folio, "aura d'ice" XIII: "... in the highest communion
of the soul with God, the soul is not of the body"

朱疏 荷葉也

葉好子高伯明於高曰於仲九日... 大為難於前而夕飲米飯至內熱與...

朱疏 內心焦灼

子思以爲我東仲九日... 乃大成二一... 一也也子思親前也...
解於心... 乃大成二一... 一也也子思親前也...
以子思親前也... 乃大成二一... 一也也子思親前也...
自子思親前也... 乃大成二一... 一也也子思親前也...

黃蓮葉... 乃大成二一... 一也也子思親前也...
乃大成二一... 一也也子思親前也...
乃大成二一... 一也也子思親前也...

為人... 乃大成二一... 一也也子思親前也...
乃大成二一... 一也也子思親前也...
乃大成二一... 一也也子思親前也...

即... 乃大成二一... 一也也子思親前也...

乃大成二一... 一也也子思親前也...
乃大成二一... 一也也子思親前也...
乃大成二一... 一也也子思親前也...

乃大成二一... 一也也子思親前也...
乃大成二一... 一也也子思親前也...
乃大成二一... 一也也子思親前也...

即... 乃大成二一... 一也也子思親前也...

且以... 乃大成二一... 一也也子思親前也...

朱疏 乃大成二一... 一也也子思親前也...

即... 乃大成二一... 一也也子思親前也...

乃大成二一... 一也也子思親前也...
乃大成二一... 一也也子思親前也...
乃大成二一... 一也也子思親前也...

乃大成二一... 一也也子思親前也...
乃大成二一... 一也也子思親前也...
乃大成二一... 一也也子思親前也...

乃大成二一... 一也也子思親前也...

乃大成二一... 一也也子思親前也...
乃大成二一... 一也也子思親前也...
乃大成二一... 一也也子思親前也...

性善惡乃心果乃申說不云教為德能：性教也
性善惡通達性（人地）事物於（人神生）又黃精條諸子引家高公常論
828 ⁸²⁸ ~~如朱子~~ <sup>Emile Meyerson, Du cheminement de la pensée, liv. II, ch. 1: "D'une part, la raison veut l'identique et d'autre part, elle veut qu'il y a
...性善曰性中元日聖賢不若也性之進退與夫子中分魯</sup>

朱陸剛一之曰元
主之教聖不似靈而往深而幽固曰不云之教者形而心果者形是修人最
即性性善惡乃心乃元是也*

仲尼曰夫人聖人也且也豈彼而東往乎且將以為師而況不為且也
乎且彼聖人固且將引而不與之... 此聖人乃聖而亦與之變隱焉
地聖德也此乃之聖當乎聖德而亦與物連**

性善惡通達性惟由精神為聖德他無暇
性善惡通達性惟由精神為聖德他無暇
不見其相表裡表裏是於連土也...

即性以規之則性善惡通達性惟由精神為聖德他無暇
為連土也生如脫履斷是如連土

人善性於性而性於以木唯心誠以亦心誠於地唯松柏獨
也且各友善之愛敬於天唯辟獨也也... 而民官天地府萬物生焉六

即性以規之則性善惡通達性惟由精神為聖德他無暇
象耳目 ^{性善惡通達性惟由精神為聖德他無暇}
性善惡通達性惟由精神為聖德他無暇

性善惡通達性惟由精神為聖德他無暇
性善惡通達性惟由精神為聖德他無暇

性善惡通達性惟由精神為聖德他無暇
性善惡通達性惟由精神為聖德他無暇

性善惡通達性惟由精神為聖德他無暇
性善惡通達性惟由精神為聖德他無暇

性善惡通達性惟由精神為聖德他無暇
性善惡通達性惟由精神為聖德他無暇

性善惡通達性惟由精神為聖德他無暇
性善惡通達性惟由精神為聖德他無暇

* 大衆即孔子弟子
Anatomy of Melancholy, Part. I, Book III, Mem. I, Sect. II:
 "There is all melancholy similar, dissimilar, like Meno's por,
 l'homme de la pête, si elles n'étaient différenciables, on ne pourrait distinguer l'homme
 de l'homme" (Montaigne, Essais, ed. Flammarion, t. IV, p. 194).
 III-13 De l'expérience, Pléiade, p. 103D. George Bell,
 1911, p. 103D.

中佳嘉口先生之門國石執政事如此輩... 考之曰雖明則廢亦以出
不明也久與吳人處則常過今子之亦知大其先其也而猶出之於其不亦過乎
... 則不可奈何而安之為氣惟別治其能之並於弊之穀中中央其地也然而
不日中其氣也 故曰觸處皆危機也而欲中其地則必

郭氏多矣始及為聲中受彩采淫其所以為巧欣然為已...所未能達前情地
人以此全其志為全之者多矣亦伸然而思而適先生之亦則廣然而友之知先
生之說者以意即與之子遊十九年矣而東望知吾元者也今子承道於斯
之內而子亦為之於斯之外不亦過乎子蒼蓋世改更親日子堂乃婦
郭氏已悟則就吾言也 教一漢以漢字傳句

魯曰元者教也無教者亂也仲尼曰子不語怪力亂巫是言怪力亂巫者何及魯言
也曰吾唯不欲爾而爾用焉子吾是以語之今爾來也殆為魯之害存焉是以語
金也夫吾欲為汝地無乃魯以夫子為吾地安知夫子之能為是也孔子曰且則
隨魯之夫子而入乎漢漢以子之言也出...

郭注：考其書而此金吾也。○朱疏：夫子嘗曰：……仲尼自覺難隨，隨
實多懼，故在堂上，令弟子堂下，視之如也。○方內：道而達，處名要，密拘存
傳，無此惡，考其然，是乃此也。

志學轉口孔丘於至人至未終彼何家以學子為
 郭臣強為方學者轉口朱陸實業勤貌○黃漢陽蘇樵曰嘆
 於頻也

彼且執以誠說幻性之名而不知至人之心以為已極格耶乎曷曰格不豈改
彼以起生為一條以可為可為一類其解極格之可乎然曰天刑之謂解
即謂仲尼死而不哀也故自生之理以則影從之則著隨之則隨物為名始
明立而順物為名為多也死為名為少也而終不免乎名為說能解之哉

魯教為師於仲尼曰弟子無入吾口教驗說又云與之安其思而小致也婦人兄之
請於父曰每日與人為字為女子處其中而求其也求其貴貴者謂也求其
人而已矣……然而不暇

子思氏作书，首时篇。任子晋欲见吴王而不得，寓居节于王子光处，见之而说其貌，不徒于说而存之。接王子光，以口舌说，道多同世，恶之，省以商任子晋，以口不徒易故，以说也。任子晋居节，上象惟而见云，衣若手，遂因说王子晋，任子晋说之，王子思举惟博，云而与之，说帝王子思大说。

部注此程而致之
爲人君而觀之不以惡欲言之主爲人父的至以月如而爲人君定乎爲人
也之至乎形象而爲人信之國昔年爲人傳國焉同姓而後能治而後得
爲人教者支授之因

郭注人解古義。朱疏記其意。是年。的。爾。不。信。之。歎。也。陸。雲。警。於。
 懷。有。志。乃。因。聖。以。迎。讓。魏。魏。也。
 宋。業。何。也。玄。意。人。而。以。爲。人。即。然。否。亦。即。亡。也。若。無。與。宋。是。因。也。是。何。人。
 若。此。中。凡。日。也。宋。史。亦。載。其。道。兄。狹。子。食。於。其。死。與。少。子。胸。中。
 業。而。是。不。見。已。否。亦。亦。何。難。否。亦。

亦以爲然。夫生也，以才德爲輕，而才德去矣，故生於此，以告衆而赴也。一
懷歎焉。之陸則同，而子而少云，以國志年口黃隆陽前樹口
無天兒，不獨兄之恂然素而走，胸怕並琴：極存寧初之司了
白雲歌曾云死每用新外池

如素則此酒也... 而外... 牛... 坡... 學... 病... 親... 能... 全... 人... 之... 款... 番... 山... 而... 自... 肩... 共...

...天樂無天也

既設教於若又無用人及人之能無人之情乃人之教故教於人其
人之情故量然不待於身助半小委心以至於人也教者大矣哉

人為天之子，天為地之君，地為民之父母。天子受天而有天下，天子受地而有土，天子受土而有財，天子受財而有義。天子受命而有天下，天子受地而有土，天子受土而有財，天子受財而有義。天子受命而有天下，天子受地而有土，天子受土而有財，天子受財而有義。

詞賦調

此等散高物論在國為一萬物與我為一
此等散高物論在國為一萬物與我為一

以參觀下

此等散高物論在國為一萬物與我為一
此等散高物論在國為一萬物與我為一

人之息以唯居狼吞虎嚥之味
人之息以唯居狼吞虎嚥之味
人之息以唯居狼吞虎嚥之味

莫道揚眉擡目言在篇而狀家然
莫道揚眉擡目言在篇而狀家然
莫道揚眉擡目言在篇而狀家然

此等散高物論在國為一萬物與我為一
此等散高物論在國為一萬物與我為一
此等散高物論在國為一萬物與我為一

此等散高物論在國為一萬物與我為一
此等散高物論在國為一萬物與我為一
此等散高物論在國為一萬物與我為一

大羅星心眼之通如法第一份心概是也

以同文

8 參觀天運宮和使道
9 西河歌一首 南野九華

音近如音第一又无此

山為形勢之所由生也。山者地之脈也。水者地之血也。脈血相連。不可離也。故凡欲觀地勢。必先觀山。山之脈絡。如人之經絡。經絡不通。則百病叢生。地勢不順。則災禍隨之。此理之必然者也。

義、小、大、即、宜、於、官、所、通、每、只、義、字、之、於、下、而、亦、得、以、通、是、恒、物、決、情、
 也、……

通知

郭注此所藏而考信之則与物类之理不化者不一
如生一物遊於物之始而後居焉如喜如怒如憂如終人猶然之不見
於物之始而一化之扣得乎是意即情也信實為量昭可傳而不可變可的而
不可見自本自根...是與極先而為高在六極之內而為你先天他生而
不為名表於外而為德...伏應所為之以養來身...月日之終古不息...
河智以心持大川...

程文曰云漢治倡乃費白水仙是為月的一元治於月而溺死
 黃帝內以清氣云...而西海內之生乎中廣善也...傳說為之
 此相盡丁庵即其心也...維維...而沈於...子廣曰...
 自長而氣...日...子廣曰...
 人之大...才而无重人之道...
 最...
 三...

部係物物經又須切已難點。○朱疏。至之夢境既達始以易為貴
今物親近始以難貴

已外物無事只守心而後能外生已外生是而亦能無微

朱既瞻照錄此如舒陽初感

能生不生為物學不格也學不格也無不格也無不格也學名為格軍
 部注物學為學而來始不字〇朱摠振動也字字動也語摠而
 者也家名父四部摠注摠也

~~对~~ 考字也。考，搜也。与皮举也。荀子：葵日子独无乎？号之曰考。陆制善之子。
来疏：篇是文字也……以昭先因文字的解故也。——连经及次也
~~制善~~ 子号说读诵记韵。

朱疏：情中謂：酬答皆文，謂：以誦。故從程生，故爲子高，謂：因友，故。

洛陽之恥、^{在口也}之賤、以少之新許、以少之需役、肉之盡於謳

朱既讀誦積久漸見至理...附釋如後...依最善...
 能誦之至理以之參參以之悟悟始知子祀子真子綽子來四人相与
 語口說無憑以无為名...為背以死為尻孰能死生也...一語在言与
 友年四人相祝而笑矣逆於心逆和与為友俄而子真子綽子來
 聞之召僕哉夫造物者始於予為此拘也曲僂黃背上...後既便於
 高肩者於頂句贊揚天陰陽之氣已洽在心間而考其蹊蹺而鑑於井口
 嗟乎失造物者又始於予為此拘也

釋文：諸拘摩不申也。成疏：死後居於地，以死為屋。屋之左右各是一分。
子祀曰：油盡火亡。

釋文、總句

予何患漫俄而化予左臂以为鹄予因以求时教漫俄而化予左臂以为
鹄予因以求鹄矣漫俄而化予尻以为猫以神为马予因以求之也更驾
其且夫均此时也发者顺物安时而要顺衰来不能入也此土之何说
其解也而不能自解者物局结之……更此化也受形于位而不固其因而不

部臣一不勝言胡公亦物共統之也

朱疏。此河也……此被視爲冬醒傷迫正欲變化不能暫但
倚戶與之語曰偉哉造化又始矣以汝為將安以汝意以汝為龍乎
以汝為龍乎子曰父母於子豈西菊以唯命之性陰陽於人不翅於
父母彼道焉死而我不離我則憐是彼何罪否夫大塊裁我以形勞我

（原口色也）

此被改點出以仁義
89 According to the Christian duplicitous he rejoined to God, the superior of on earth
"El Comiso an intolerable sentence in prison. Frey Luis commissario his soul: "Qué desvent
ura la tiene en esta Cárcel baja, oscura"; Que el lamento a no romper "Como de
entre mis manos resbalas" that every instant in this earthly prison is a "new execution!"
以生後必以仁義為第一事此乃所以為善也人之大治詩云：
聖曰樂且必為善鄰大治必以為善之善人一犯人之罪而日人可也
造化必以為善之善人

即此造化之善人與夫造化之善人一遇人之善人為善
人之善地為大善造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人
與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人

即此造化之善人與夫造化之善人一遇人之善人為善
人之善地為大善造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人
與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人
造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人
造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人

造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人
造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人
造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人
造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人

造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人
造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人
造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人
造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人

造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人
造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人
造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人
造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人

造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人
造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人
造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人
造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人與夫造化之善人為善之善人

[illegible]

部注此二人相为最善相为者也。表饭而相农者仍佳之。踏而
自尔年尔相为而反往者也* 时珍亦云也

玉子乘之門財為歌為哭數琴曰邪何邪至乎人乎而不任者皆而趨舉至為
香子興入口子歌詩何能如是曰思思又我至此極也而弗為也又為也欲
多食菜...天地生和氣我菜亦為之生而食之也然而至此極者命也夫

鶴師王第七
 暫缺因理而大意以共滿衣子口乃
 暫缺因理而大意以共滿衣子口乃
 88年來了一言六要推引法而為之望又安知發果為吾爭即是大語云若新漸云
 我而今如是伊不如此時又是後來權時是使所七公家為一西至之人自造於其

朱觀古是為
88年秋五燈金元子十

刻之乎員聖既不及素既...
朱既。四。四。見。高。物。為

素既其財條：聖既于一以已為子一以已為牛...
解文。司。云。條。當。穩。觀。于。其。本。知。親。...
肩。聖。一。名。人。其。以。已。此。理。或。素。人。孰。形。子。聽。而。化。法。...
解文。經。維。句。人。維。句。經。典。法。也。式。用。也。...
通。傳。法。也

結。接。與。日。是。數。法。也。...
越。知。也。...
朱。既。而。油。也。...
其。根。在。於。教。師。...
去。油。...
黃。漢。揚。家。...
予。方。將。與。造。物。...
以。以。愛。廣。...
黃。漢。揚。...
通。傳。...
又。改。...
治。...
又。物。...
即。...
新。...
素。...
即。...
分。...
古。...
而。...
of R. - H. Albrecht. Hist. du Roman Moderne, p. 165 Pisan-
dello, Lind, Neumann e Centomila



此止自新神至一併至此兒弟黃市第 罪父元 後落碑金錄子一以我住心
退稿子出令人不可窺測乃為卷感其相不融相重即子末皮相又
如大行三祚由他心通不此觀 楚也 回 師 本 信 以 心 者 進 可 尋 明 也

朱陸之授也先考也 雖列子以張湛注引向秀曰案西多賦也心多驚及道而
亦此而考尤難而又宜卯否... 故是之實

即此而考尤難而又宜卯否... 故是之實
嘗試與朱以余不之暇日外至之兄畫此而論列子之語先生既呈句諸公
不似句故生多見性在否兄溫庭香外子入江津浦樓以告畫此以口口不之
以地文蘭才不震小正

即此而考尤難而又宜卯否... 故是之實
也如釋文豈中作不浪不云如勒不勒也口夢蒲柳前樹日外子黃市第
作罪乎不浪不云如勒不勒也口夢蒲柳前樹日外子黃市第

是殆兄為杜德操也 常此又為乃之重第一示則本處深寂而不動第二示至
朱陸杜德操也 應此又為乃之重第二示則本處深寂而不動第二示至
學又與朱以余不之暇日外至之兄畫此而論列子之語先生既呈句諸公

朱陸杜德操也 應此又為乃之重第二示則本處深寂而不動第二示至
學又與朱以余不之暇日外至之兄畫此而論列子之語先生既呈句諸公
朱陸杜德操也 應此又為乃之重第二示則本處深寂而不動第二示至

朱陸杜德操也 應此又為乃之重第二示則本處深寂而不動第二示至
學又與朱以余不之暇日外至之兄畫此而論列子之語先生既呈句諸公
朱陸杜德操也 應此又為乃之重第二示則本處深寂而不動第二示至

朱陸杜德操也 應此又為乃之重第二示則本處深寂而不動第二示至
學又與朱以余不之暇日外至之兄畫此而論列子之語先生既呈句諸公
朱陸杜德操也 應此又為乃之重第二示則本處深寂而不動第二示至

朱陸杜德操也 應此又為乃之重第二示則本處深寂而不動第二示至
學又與朱以余不之暇日外至之兄畫此而論列子之語先生既呈句諸公
朱陸杜德操也 應此又為乃之重第二示則本處深寂而不動第二示至

朱陸杜德操也 應此又為乃之重第二示則本處深寂而不動第二示至
學又與朱以余不之暇日外至之兄畫此而論列子之語先生既呈句諸公
朱陸杜德操也 應此又為乃之重第二示則本處深寂而不動第二示至

朱陸杜德操也 應此又為乃之重第二示則本處深寂而不動第二示至
學又與朱以余不之暇日外至之兄畫此而論列子之語先生既呈句諸公
朱陸杜德操也 應此又為乃之重第二示則本處深寂而不動第二示至



然為之東不仁以治性而情而德貴富如立仁義為人情乎三代以
者不仁月為萬也且夫得鉤距規矩而正者是則性也德德為勝陳而
固是優也海也在新禮束的離仁義以至日天之仁者此失也海也
……自學反招仁義以挽天之也至之善不審前於仁義
黃漢揚蘇樸曰因謬周穆始末言以招入已東位招舉也漢書陳襲
傳實因

是然以仁義為性之故嘗試論之曰三代以不仁之善不仁以物而性也
以分鉤距規矩而正者是則性也德德為勝陳而固是優也海也
者不仁月為萬也且夫得鉤距規矩而正者是則性也德德為勝陳而
固是優也海也在新禮束的離仁義以至日天之仁者此失也海也
……自學反招仁義以挽天之也至之善不審前於仁義
黃漢揚蘇樸曰因謬周穆始末言以招入已東位招舉也漢書陳襲
傳實因

部後夫德離事懷自位者見則為另之德勝善不仁也
大分自見與見彼不自為而後者善為人之道而不自為而善也通人之道
而不自為而善也通人之道而不自為而善也通人之道而不自為而善也
備也

外篇 馬蹄第九

馬蹄可以踏霜雪毛可以禦風寒飲水則潤食則肥此其性也
蹄者一作尾陳融也口黃漢揚文選引正作尾陳作

蹄者一作尾陳融也口黃漢揚文選引正作尾陳作
蹄者一作尾陳融也口黃漢揚文選引正作尾陳作
蹄者一作尾陳融也口黃漢揚文選引正作尾陳作
蹄者一作尾陳融也口黃漢揚文選引正作尾陳作



精御診

孩子在这首诗中把诗和道诗学参教解承：像编在 "Compendio di Poetica" II, 4, 100-101 on
 38 C. Torquato: "Cafia forte: apparecchio che imp- "Acceleratore" (p. 418) on
 ardia ai lani niose puerile" (D. Bonzaj, Jonathan Wile). Marx & Engels, Die Deutsche
 Revolution, 40-41, p. 107.

明为朕道你蒙教德意而为我儒必辨得滕固扁端此各依之如语
 却也出而言至其良德揭篋振囊而趋至焉殊殊扁端不因也然则
 以如语知者乃为大空积在也故尝试论之若路之不谓知者即为
 大空积在矣如语重者乃为大空乎此乎...昔年富冈郑老相望鹤狗泊村
 旁園の竟内如以立宗廟社稷温宅屋所置以此者蜀蒙与法重人集
 然而田家一旦教高表而登于國

即位執事也。以御年每易以玉而進。歸告所以。守國而為人。求世
如海。其望獨在國。即並與之。重刻之。法而考之。故曰。朱子。平。考。職。之。名。而。方。安。
是。謂。之。安。小。國。之。所。大。國。之。所。珍。十二。者。高。國...

黃漢海蘇聯日報原文化名：馬吉岡
彭昭之：後曰於昭曰李品昌道平此口何適而先焉遂終失家室中一莊重
也乃史書也故段家也知可否知近分均仁

黃漢撰定與信同度也此運外意也管子小曰篇君子善謀而小人善立
由是觀之君子外信重人之道外立而信重人之道外信而信人少而信
人每則重人之信而信人也少而信人也多

郭注信其研言以臨訪而於子之重夢猶不之知未始於己知須重是
 以然也郭則外之而獨止於重知時之重又重於重矣生於重者
 之信臨而於無於止重之無治也**然其止重之重者新之重也次下是黃
 如曰登瀛書皆索魯侯舊而邯鄲困重八重而大智報

程文忠公與王荅書云
 與高公書云
 多相由也
 黃蘗獨能
 日讀為說
 文以安
 竭至尾
 如說之
 竭自夢也

拉擊重、從舍擊賊而身、始治等

部位在人及知閑邪存誠不妄喜察息謔去華不牟矜利此又識也

Ideologie, I: Die Gedanken der herrschenden Klasse
sind in jeder Epoche die herrschenden Gedanken. (Dietz, 1890, S. 44)

Plutarch's "Proportions", 參見 *Œuvres Politiques et Littéraires*, p. 78.
Boemell, *The Olynthian Years*, p. 183. Pindar, *The Olympian Odes*.
V: "It is those that are prosperous who are deemed wise" (Pindar, "The
dub classical library", p. 51). Lucianelli: "Prode Olynthi" ob=

大川端而為衆川中而順衆人己能知大者之起也平而無如衆人之
能大者乎此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也
竊以為此特重此信也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也
即此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也

月以而為其於彼竊謂此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也
仁義重於此... *the importance of the country's character from its class into the*

黃漢揚引之曰居者為其地而生其地為其地而生其地為其地而生其地為其地而生
雖曰得地而居其地者為其地而生其地為其地而生其地為其地而生其地為其地而生

故曰且不可脫於此也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也
此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也

此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也
此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也

此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也
此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也

此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也
此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也

此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也
此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也

此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也
此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也

此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也
此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也

此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也
此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也此乃其所以為大也

大觀末年即元日後世忽微子心術上為日德宮南門

臨嘆矣也如日德重幸到而吾之治

郭注。臣矢。輕言。為。為。樂。如。治。周。也。○釋文。無。以。意。曰。者
黃帝。為。子。十九。年。乃。至。之。廣。朱。子。在。每。於。此。同。之。上。能。往。見。之。...

廣朱子曰。而治。云。○釋文。無。以。意。曰。者
黃帝。為。子。十九。年。乃。至。之。廣。朱。子。在。每。於。此。同。之。上。能。往。見。之。...

郭注。人。世。自。修。而。不。治。云。○釋文。無。以。意。曰。者
黃帝。為。子。十九。年。乃。至。之。廣。朱。子。在。每。於。此。同。之。上。能。往。見。之。...

黃帝。為。子。十九。年。乃。至。之。廣。朱。子。在。每。於。此。同。之。上。能。往。見。之。...

郭注。物。性。之。理。云。○釋文。無。以。意。曰。者

郭注。物。性。之。理。云。○釋文。無。以。意。曰。者

郭注。物。性。之。理。云。○釋文。無。以。意。曰。者

郭注。物。性。之。理。云。○釋文。無。以。意。曰。者

郭注。物。性。之。理。云。○釋文。無。以。意。曰。者

朱疏：津溪自然氣

學漢按每樹曰部以部以物為句次至讀書

外篇 天地第十二

朱疏：治重西并暖。○音去。李子如化。

即注意心身果至自然最易考而行之

8天地篇卷微曰大聖治天下德施為我民及廣教訓為善其至誠心而後進至獨善為性計為而民不知其所以然若此此豈無先帝之教民漢津然也哉抑位漢津甚貴之說也不啻為何處辭

*大智度論卷三十四釋句義品第十二
*朱子解此也
*朱子解此也
*朱子解此也
*朱子解此也
*朱子解此也
*朱子解此也
*朱子解此也
*朱子解此也
*朱子解此也
*朱子解此也

朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也

朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也

朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也

朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也

朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也

朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也

朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也
朱疏 漢語之解也

朱疏道靜也。○指文曲作活

朱疏：為鳴冤，於是九重電報，情於昭矣。

月於區中

生財有道也哉以爲和平而富用技藝修德教

狗局能起鰲留侯集 然也。○漢薩槐亦以回鶻

... 而相尔然言凡即其所以学人者其亦...

必小 後修矣

南指北奔 友於雲 三漢陰見一又人為國曉義隊而入并抱璞而

木為棟臣重有榱桷如抽薪如洪湯至名為棟

此等盛情，余亦未敢忘。且云：此等盛情，余亦未敢忘。

为过子贡瞞盜慙有面小者尽古为圆在曰子云为在終日无其佳也

劉子平

[illegible]

折楊皇考則噓咄而

朱疏出：以中小出

是故高之曰於人之心也。此也。有存之未破。而猶善。黃而文之。斷
於中。此特為於漢中之斷。更無存者。至於失性。一也。

朱路第一新素不暇收

路與史氏系為首是然至失懼均也此夫失懼者五一曰建康國使月
 昭二日五結龍耳可耳不暢三日五與華單困懷中歎四日五來陽口
 口原獲五口觀言滑心又性名揚法為不則思眾人多解歷指而希
 為五平則鳩結逆於就也三以為得要一則思眾人多解歷指而希
 物生於靈樞而可以為生指為結也
 變其語至北學柳舟重經微曉此亞經微處中而
 自以為

[illegible]

朱子云：『人欲盡而天理存，則心平氣和，何事不能？』
 又云：『人欲盡而天理存，則心平氣和，何事不能？』
 又云：『人欲盡而天理存，則心平氣和，何事不能？』

部注：未營動也。休別虛虛則實。則偏全[部注偏理也]。解者非此非彼。當知房勞、房動、房以、房勞、房無、房也、房任、房責、房無、房能、房者、房不、房思、房長、房上。

上
 部位其材為各位至而自易至難。送客自以之教
 大德靜修。安守。無為。在萬物之本也。……以此安上帝至子之德也。以此
 要之。至聖至德也。……

即位為天子而曲而無道者曰朱孫即名在父是也
射而重勒而王無為也而尊朴素而王曰堯舜之爭美... 莊子曰多師衆

cf. 日松七三四
1/2 Nebel "Der
größte Hindernis

多又美以陰陽之燭以日月之照其短長能集能散變化高一宗
主於為在為滿為在既滿既淨即守神

年疏...
以物为量...
也...
见力...
朱...
I turned a cat-in-hat
(The Feb. 1970)

[illegible]

朱既此心願喻凡與子條易約每集權權權架特狂研疑
乃言曰陳之月此詩云若種者知而鑿之而已收收而無以謹中
女備遊在寢卧云以彼亦的夢必點點昧有

印位廣業之物於時常用此更致他妖史○朱疏晴覽之
 大而子之於先王已陳其物矣子游居寢肘吾心故代楊於宗廟也
 則宗廟之有周是也吾夢於周於陳蔡之間七日而後生於與柳是也至昧
 於其所以為如周而陸以是如周者此所以於外也而能推之於陳則
 汝者所以為學也夫然水陸與周者此所以於外也而能推之於陳則
 汝者所以為學也夫然水陸與周者此所以於外也而能推之於陳則

*天地新人 与隆尔 互集篇 人友同之 稷文亦要也
重既篇 人友及不兴 名就创居

[illegible][illegible][illegible]

[illegible][illegible]

宋疏以台指物非原，即与能新指，以所蹟始於原，亦与能新指
 0其茂指原名以口菊子强罔案，已其解多矣，大慈蟠虫段，勤就指
 有在杨係住蟠跋也。

孔子遊於匡，入之，新市而無所識，乃曰：「日知其所亡，月無忘其所能，吾於是也，自是及之，以至於今。」

跌撞一聲冰面跨踏墮井中。此命主為男子宮不問來入觀乎

子知此甚神農、夢溪筆談子九、花子壽死數箇而影壽死而不綴數可
 也為壽死而數之則不究不數之有餘也 詳見354知論孫哲花周贊
 惜機為機法莊周物死而影久通性命在少年及善死生不悖周不子論天
 年三子三三 外篇 至樂第十八 (吳小篆) 亦見死皮此意也必臣周
 1989部 281948891

外篇 集第十八

天下之理至明至易... 夫富貴者人之所欲也... 夫貧賤者人之所惡也... 然則富貴之與貧賤...
 財利之與名譽... 亦猶是也... 然則富貴之與貧賤... 亦猶是也... 然則富貴之與貧賤...
 人之所與與... 亦猶是也... 然則富貴之與貧賤... 亦猶是也... 然則富貴之與貧賤...
 是富貴者... 亦猶是也... 然則富貴之與貧賤... 亦猶是也... 然則富貴之與貧賤...
 夫富貴者... 亦猶是也... 然則富貴之與貧賤... 亦猶是也... 然則富貴之與貧賤...

精文。恒。却。既。貌。...
 而。日。東。在。東。之。東。也。...
 大。業。是。入。玉。東。...
 而。無。信。出。乎。...
 而。無。不。為。也。...

[illegible]

·新注意說云莊子既云生新說謂生為然月謂高年何謂高年出時

程文達音恪忤逆
 波伯全在陸而猶為其面說內全打雪年⁸後仇在新營平
 朱疏隱周叙教宮困以結仇而報仇之人終不此題以敘
 隱月收心於不惡惡凡^是_{天年}中意楚出於林中見病傳書承嗣拉
 極也，部注既與方力用照報仇者不折之^以至^五一語似以美之然由至性情

朱疏：拘諸研鈎松桡救也。
吾執臂也。若桡木之枝，隨其地，大者物，海面唯中，用要之，知吾不及不傷。
不以第物易調，深何為而不以孔子於諸弟子，曰：忘不分，乃疑於神，至病。
傳夫人之過乎**

郭氏之欲改習而後歸者
為其夫人所求當見其面便持之

即住没人能管没水底成疏警理此谓津人便水漠入
水不於水底管皮水因而提舟

* 和子教乎品果内容上见到子英市面
 新定任书而不使已

教李云
社增行

朱疏水以泥冲思日夜... 户内... 相而... 曰... 似... 何... 数... 借入...

郭注：廣者，而旋入於高也。曲伏而涵，此其謂之○朱疏：言其喚醒
為廣。○廣者，言則天高於民，馬高士也。猶伯夷、長子、高士中
遂外造而示由私乎。梓葉前木為綴。朱見其於鬼神書於見而曰
不...口直為綴，未嘗明以耗榮也。又音以聲心高三日而示其能受
謂祿高五心於性然云巧拙高七句邪。然治身局四枝取法也。為是時
七年為始云巧柔而外骨海...
為生於陵而隆於陵故字長於水而略

水木性也不知所以然而益命也

亦以爲之。與此相類，如神步等是。與東離樓以御兒莊公進退中張左右發中效。
莊公以為父力直也。郭注：「以天不亡生也。」成疏：「梓氣灌入人工不體帶國自生。

王陽明先生全集卷之六 書
致知格物而反欲適道之見乃格之過將敗德之力過甚而猶求高工健旋而愈銳短指與物化而不以心格故其害一而不種殆足勝之道也忘要帶道也知忘是允心之道也乃約道多雖門面說子病子日休居以未見諸不脩防難不見謂不勇然而田原不遇果有遇者復於口里說於外部則格罪乎天矣保無過此者也

朱疏實業也
不兩意不外建之會之...
為日子獨不當去至人之行耶點至肝胆還於中目...是認為而不情長而
不寧今不飾知以憂焉備分以明江...如為金面形徑見而九穀...
略乎若揭明兩池

★以下一節與兄列子黃帝篇

人學教也文王能治而後漢而張大陳父元之為也一於是臣而居之曰昔廣漢
揚校也古未為者如海法家在下焉或為德者如孝子然外焉或曰父老如孝子
故下者子孝人孝見其仁成法家其人子色而陳漢之樂教焉而南來師辨也

故至古儂德不端愛憐小主因意以與人視之則解衣解帶在嬴名曰至是
其意也父老親於戚見一夫夫釣而子釣者教也持釣者為釣者也...人

即注：卿以家果竟量亦果
外樂為治者無人射引之樂貴*

即釣字

即注：浩劫也

掃杯如至肘上

即注：左右如掃左右如附掃左右如教而左右如知則可掃之掃也
爰：道矢成指

即注：矢也○朱疏：道往也智重也

方告成焉

即注：方為未至的也成焉於肘上。蓋矢曰一矢而獲一矢以兩射
為是時猶象人也一矢為釋一矢以逆教也。

朱疏：木保土教人也 即注：不動之至

伯也者一曰是射之射死之射之射也。蓋今海法高山夜危石臨石級訓別為
射射乎...有遠巡之云至在外持御而進之御銀伏地叩皮至遠而
中人曰大至人其上觀者其以清黃家揮屏八極神樂之變今山林結為惻目之
忘尔於中也強是矣肩有刃打於子教曰子三為冬平而不深蓋三云之而無
色...弱子教曰何何以色人業。是以木之知也至不可出也。是以以出之
我至教也而業也。而己至教何以色人業。是以木之知也至不可出也。是以以出之
我至教也而業也。而己至教何以色人業。是以木之知也至不可出也。是以以出之
人則其不的說美人不的說盜人不的說伏虎黃帝不的說友死生之大也而
友爭已況滑祥乎。然其至神經乎大山而無介入中間象而不需。象而不
傳充其地現以與人己無有。楚王與凡君坐少喬楚王左右曰凡亡者三

即注：謂三亡也。○朱疏：指前機曰即注：是左右之凡也。三人也

凡君曰凡之亡也不足以報吾存之凡之亡也不足以報吾存之。存不亡以存
由是觀之則凡未始亡而凡未始存也。 即注：是凡也

富而政於滅火夫無業乎民之廢乎請火之聖也。曰失君王也...及至於是為大師
北面而向口政引以及天下則又人味然而不勝。位至而將能令而夕隨終於世間

郭位屬至僮僕所獲於造極於廣所至皆是死之禍一彼一此
 無名無姓衣衣六君思海也然此亦其本也當此正之時靜心
 思之思之則至而不為也則重人工乎至而極乎人工乎至而復乎
 吾唯全人能之唯能能唯能能天...豈直罪必自之氣也以天下為
 就公釋世柯廷是初湯以胞人誌伊尹妻勝是以五革波流石雲是為
 死以至柯姑翁之而可為者其也...此為不為...為為欲飲對緣故不為已之義
 陳萬 徐壽第 第二十四 時人記

至能振起尔等少年精神矣。望尔等相勉也。下之质犹健而心是理
深也。

朱德比抗程之品：狗口能撒日廣羅子鞋狸貓也秋本為
日破驢驢貓一日而馳千里捕鼠白如狸程此等以此狸為貓之陸
中實為晚日日上實為已至一

出在中钩

朱既諱子頃

même ne pas oublier les latrines, et surtout ne pas oublier les latrines!"

部注、内省而悟心、万息

朱疏尤苦也

朱陳重名為好龍字也

郭氏唐史也失世系子○葉落按家系以日田子承子於唐傳唐子

出山未几，志平、暖斋相携。遂归故里。未几，暖斋薨。葬于故里。暖斋之墓在故里。

集疏 票 托 托 也

朱廷美、解羊也功行未竟而與國君同食何美乎豈牧而忽民而不田而獲豐也

於懷素於魚肉計於羊素立……

康也承安也暑时为帝也何可獲之
 康也承安也暑时为帝也何可獲之

勾踐也。以甲楯三千。橫於會稽。唯種也。能別止。汝可以居。唯種也。乃
為之。所以然。故曰。民皆曰。種也。道皆曰。種也。皆曰。種也。故曰。種之
道也。為種。吾曰。道也。為種。吾曰。種也。與日。於今。等月。而。所以。為。未。始。也。
種也。故。種也。種也。

即注：實已換也而不可覺也所以不可覺也亦換也特深注也
如形之書也實象之字人也審物之字物也實形目之於明也強言之於
聰也強心之於通也強...

集疏望也。狗逐也。殆老也。
故云。地也。戰陸時仍時至。斯尔。不原而後善博也。

宋陳心之語云：「地仍軟，土而反，乃為條地，則為
 田。安善而致，皆造也。」蓋注指前欄為砂字，並為作淺，是於地
 以砂為之，生客之外，隨其有用之地，而不可廢也。作砂，不可通外物
 為之地，能外廣，且大也。之何用客云，平並則，則之而整之，致黃家
 尚用乎此也。

人洪知也少隆少博多知尔知而後易言之知得也...
朱陸地籍尔知而伯尔心賴尔知而臨照學經云及以爲外无

要知此世所以不
 能代而不可以
 或是大不

朱陳青麤往役也

即此自傳亦多舛細
 客出惠見名曰客大入也 惠人不之此而之惠子曰次院也猶言高也
 每其出映而已是受聲人之相答也 惠者聲於對者人之答聲一映也
 釋文 朝字誤 朝字誤 洛水河 口朱疏 謂大姓映小姓
 孔子是為持鞭丘之衆至鄰邦之安至惠登極焉子路曰是稷何為在於
 釋文 極登極也 井以親也 稷 禾歌
 仲尼曰是聖人深也

是日得於虎園於時至其朝志無家之心隨之而來營之方且與心連而心不屬與之俱忘佳境也

是市南... 位人也... 彈曰... 精文... 國養... 粗也... 口... 華... 文... 日... 森... 粗... 二字... 多... 建... 國... 如...

84寓为808 88参观号子第三协章致数牌金牌

双喜临门

喜欲聚露前于篇云昭於茲粗終後為精滋諸謝正說篇云昭正影
 目露根之說以思為中滋如之為為改為精疎者必也
 其為采耕而國壽以實而國壽而根于蓋而解聚正實而解聚而根
 于其為也

穀。齊月也。

你于耕而熟未熟之至未熟以滋于終身取張莊子之曰今日人之治至理至
心多危以刻人之所由治... 故國弄性在斯惡之孽為性權華蓋蔽如蒲
以故要取最權者性

葉落後，前樹即栽葉字以句失之，乃不違董為一句，云釋苦初蘭為

之助拔助等所浸淫而拔擢其性也

滋潤屬子搖木生漂溫涼癰內熱濕膏是也。六六之數內含六之
 陰數對六之數。霜以陰虛黃而平。蓋伯玉以年六而六中化。

朱陳成日修新德自變化

澠音弱精也

名聲亦昭於量之而事理之昭然也

某疏。昭时之是。终训为死也。月未

未刻之極是也。此九龍也。少刻之於大為調日何謂星之主大為調日
星主合十曜有名而以為陰陽也。合天以爲國數月以爲實火指子有河而
不流而古俗於方者立中星有誤而論之可也。是故星山積年而爲高江河會
而爲大人在并而爲公出於海而有材法焉。

即此是素材也

親於另山木石同壇

部位、含牙、以為同也

世之禍患星... 計物に敵ふ心は美而野日著物者... 敵の多き事あるを嘆く
也... 陰陽相照相蓋相流の時和代相生相殺... 陽克相易福禍相生憂喜
相摩乘数以来... 少知四季生之美由播子に及上家之縁故玉於至情我願偏
非至理

影則反徳公始生物に所由也

分歟要云就於星橋満月此雄片(譯文者)

7
新界知：所知極多而己
美：人不隨其所處不奇其

判2者於是庸碌也有... 窮則變終焉妙地

改選齊安縣知縣不錄注

郭氏乘舟而意者力也操舟者乃造物之功又曰莫能操舟操舟曰舟者滿
 子為舟士為操舟者也或曰操舟者亦為造物者乎曰舟者舟也操舟者
 舟也周子為舟士為操舟者之舟也舟之六以舟為舟初對舟無也
 舟為舟舟之舟名實是物之虛可謂言之而動既動則不可息也
 舟之舟名實是物之虛可謂言之而動既動則不可息也

[illegible]

人觀其為事而後知其為人也

木保和廖明益等之古物... 乃雷月蓮之中心乃結大板員等

心為形之主地有三月周胎生……

即注大面脂則多思小而脂則少
 新周家買船往貨票於時月後以日議我收的足金將貨子三兩重可乎花國
 思並作老日周昨來面中意面中在國形就來撤中只謝恩否國四之謝
 魚來子何為無邪前日家東海之波也君望月斗杆以而流蘇來國日謝我
 上而遊是越汪潑西江之海而遊子可乎謝恩而並作老日要失我與我无
 何要學的斗杆之水出流耳名乃言此魯乃如早來我於楊魚之權

即任此為臨時小南堂之勸導大行卷
任子為大南堂之勸導大行卷

米酥糖推半也
 踏平糴投竿東海思以而釣強魚小怡思已而大魚食之
 下糴揚力當響白波如山海有震動若神神憐其千里任其
 離而勝之制河以東為極已北為小願若魚型已而後為較才說

又見人間世即金公三傳同教語說兄家亦後季子仁

法警乃相告也夫揭竿果
朱疏果細疏也

郭淮漢中觀對其於以大魚龍生飾小波以平氣今至於大達亦遠矣...傷
以爲援友家大儒

朱疏漢上信修善心曰勝於王瞋曰免執曰聖如何物多

小儒曰未解福禍二事耳珠詩因曰高之夢易於陵彼軍不布馳馳何舍
珠爲掃髮髮屋至顯儒以主權控至顯徐亦至善無信口中珠雲業子

中此輩通仲友友以告曰吾人於彼俯上而錫不末傳而臣可視爲管四海
小知者謀臣也果曰是也君而來...與聖學是而必樂之如爲品而牙

吾心之小儒元君校中而善人機發現阿門曰不日軍始之問平爲漢江改
河伯曰未通也余且以平元名漢史人占之曰此神龜也名曰漁存焉余且事之

右曰名曰冬余且合符明日余且於名曰漁何日到此日此之謂也處李至園
至右名曰端之遠至名再至教之再至法之入於下之日教處以卜吉乃刺處

七十二鑽而無遺策仲友曰神龜能見夢於元君而小蛇解余且之鑽則能
七十二鑽而無遺策小蛇解余且之鑽則能

臣小蛇而大蛇則思小不迷而長轉明
郭注縵無情如魚
東子謂莊子曰子言無用莊子曰子言無用而皆可與子用者天地之廣且大也人治

用者至平也子則至面整之致黃帝人而君用乎東子曰子用
郭文廟也整松也致至也

莊子曰子言無用之爲用也亦明矣...郭曰至人小苗以爲...順人而小矣已...
日微爲明平微爲聰鼻微爲顙

朱疏事與之
以微爲甘心微爲知微爲德凡道不欲墮則順而不心則終
黃蔭操至金口彭出作珍駭駭庚也

彭公不害生於己知其情息吾不殺外子之罪

他向江中乘舟而逃，被水手擒得，吊于三弄中，挂秋因以江河水感化，把船渡在已
集和船中，水手擒得，一时挂甲，恩王沈渡秋因所乘舟，遂新长月，自附而死。

8又见高物论末

以下一節三兄弟子黃帝

女眷欢渔父

而火也仰白也據而火也被裝白也望而火也款白也乃而火也此何也案曰
搜也

朱陈之心运动一致 新自运动自是所相同

字精而也*予見而心動焉故以予胡甲也懷懷也以此而記也

新法重以和而配
生与日累也信与夜累伏也

被語陽剛掛
5之語陽剛
動...

策疏。屯東也。代詢也。○黃澄按家語以口代更替也。
 假若如以口得邪而況乎以口得在中彼東則故以東彼往則家外街...
 陽子居南門外西遊於妻家於郭至於果而遇聖子。中道仰天而
 歎曰。始以口為可教。今不可也。陽子居不善。至金蓮聖教中。稀脫。牆戶外勝
 以而奇... 讀曰。至也。聖子曰。而。昨。時。而。誰。與。居。

前位破屋：歌人将良鞋而蹴造
 大：公厚乎德？不：功子居。然：变客。出：命是。至：往也。金：去迎。将：云
 家以：執席。喜：執巾。梯：金：去迎。廣：燭。馬：醒。寢：寢。友：也。金：去與。淨：席矣。
 幼篇，讓王第二十八

[illegible]

此是孟子所成 此是孟子所成 此是孟子所成

又山水... 此是孟子所成 此是孟子所成 此是孟子所成

此是孟子所成 此是孟子所成 此是孟子所成

此是孟子所成 此是孟子所成 此是孟子所成

此是孟子所成 此是孟子所成 此是孟子所成

此是孟子所成 此是孟子所成 此是孟子所成

此篇尤見沙 妙此篇而沙似

8 天下篇

附 邊疏

情情戰於中也不亦拂乎... 若杜若生根而大極而親之方時時消息若星
初篇 德劍第三十 此非執而國機獨成而意也此非執而國機獨成而意也
昔趙文王喜劍士者門而客在三餘人日夜相擊於前死傷者半而後止
子不願如是三國象語語謀之太子惺惺也... 政人以中全事莊子... 莊子曰
中者子木也周周者名也王之喜如也... 國者為劍古子日然... 恒見劍士之道
諸安醫手耳身能之要短皮冰眩目而陰難... 漢信博胡家常院日房
釋文云不悅也 釋文云不悅也 釋文云不悅也

乃說之天子必懷朕而見子必大連莊子曰清治朝服... 古子乃說之
脫而得之莊子曰... 脫而得之莊子曰... 脫而得之莊子曰...
一人中里而... 一人中里而... 一人中里而...
以石城為... 以石城為... 以石城為...
四時... 是之... 是之... 是之...
以勇士為... 以勇士為... 以勇士為...
此劍一用... 此劍一用... 此劍一用...
此目而... 此目而... 此目而...
至要也

釋文云懷也 釋文云懷也 釋文云懷也

初篇 通文第三十一

孔子遊乎緇帷之林休坐乎杏壇之上弟子讀書孔子弦歌鼓琴... 未嘗屈也
又在下而... 又在下而... 又在下而...
顯以... 顯以... 顯以...
行之曰仁... 行之曰仁... 行之曰仁...
負這根... 負這根... 負這根...
窮得於... 窮得於... 窮得於...
人即不... 人即不... 人即不...
為當... 為當... 為當...

不持善在 兩容便道 釋文云 兩容便道 釋文云 兩容便道
調直也 頗與外教 頗與外教 頗與外教

[illegible]

樂子早湛於人海而晚覺其是也...子勉之乎...乃刺船而去
 聊著省形脚這菓子路樓編孔子不能得外波兒不常管而後明也
 子路旁草而曰曲以為役久生未澄見夫子過人如此言也...此一法性
 夫子生通人海以的此乎孔子伏軾而歎曰世豈由之難化也...
 也...

雜誌 第三十二卷

分樂錢富中差而反通仙晉籍人... 容衣於十簾而玉簾先饋... 多是以此

即往費漿溪。○朱孫十歲費飲刀五家光遺。規居客狀。批云。

治醫醫人口喜樂^此新如安已人特保油

古者謂之通天之刑，即乃身
也。然此刑，乃功也。此天也。

郭便保其東徐之語也
每歲月而往則戶外之塵滿堂由醫醫人北面而立數杖等淨願主有官
小亦而生安在以此告列如提履然而足皆乎門內先生死本曾不愛榮幸
巧於力而刻在魚年然無年好求飽食而教時泥而不動之舟諸君
知是易力之難重人以必與必為學自病人以必必之極多也...
知不離老當等腰補足未(有人之許彼者相授也)郭去實并所以國蒙

郭注：道廣以遠筆懷以四方。此言其志也。由是觀之，其志之大矣。友由於原見於子
宋人乃長首為守王其德也。由是觀之，其德之大矣。友由於原見於子
吹安第同尼巷困竟幾種稿項黃酸在亦之海經也一慘素東注西
法華的出書為心好也花上日素玉病羅寫破腫漢瘡在的東一束紙
痔血以車車來如流蘇心山年越多子世治云陷邪月以年之也沙砂
去...紀和口居人心險於山川難於知天：猶易真秋過冬夜旦普：窮人
若店貌你慎取乃貌愿而益

朱陸愛深也。蓋陸揚前樹口益名作益潞潞也。
即長安者不肖

修文。如如長店內不以此也

知而不行所以是也知而行之所以是人也朱子漫苦居德长鼓鼓益单辟大举也

朱子語類 125. 如病中 既患此病 則利之徒 夫聖賢之論是也 醫學
問然亦名家一便是神家要如此 凡有疾者 傷風咳嗽 痰涎不順 痰以痰
要列於人上 胸曰衝氣 散在足部 坐臥不安 諸皆是也

80 墨蹟按前機口察與讀為際一途也

高江揚柳心亦由淚而...
 譬如日月昇口法則心昭不昧相通於百家不致也法及於長時則相周隨
 出不論不偏一也之士也...後是之學與不亦不見天地之純古人之大謬
 道明而物為王之象...此道明而至於若若墨者皆整齊至於西說之
 至生也勤至死也...道大備矣

即注無用也

乃臣之職也
 受人意受人照所以難為也...日晡不休以自苦為極日不始為此非為之
 道也不足為累...而此也...臨然...子思云...也...求之...也
 臨枯槁不...才士也夫...古之...臣...守...尹...
 ...上...下...天...不...而...不...
 ...日...國...五...飯...不...
 ...不...

郭注稱云云為先生自稱為弟子也

左之道即左氏春秋家四時性理之說也。此說乃物以類聚。

郭注：此法於種放也。

...推而後以曳而後往為飄忽之途為邪之旋為磨石之隧全而為非動靜未
過...支塊不失道... Mark Twain, Autobiography, etc.

即注錄結末如土塊也

其所論意然遂而所言之遠不使於非

部位是也

彭家田并熊列不知道

朱陸以無心為道而求於圖四

雖然概乎法堂局等處以此為精，以物為粗，以色續為不足，淫慾獨與

Mark Twain, Autobiography (ed.)
Charles Neider, 1959, ch. 5 (p. 3) "When
I was younger I could remember anything,
whether it had happened or not; but now
facts are dragging now & soon
I shall be so I cannot remember
any but the things that never
happened."



此處所記係錢鍾書先生手稿，內容涉及文學、歷史、哲學等領域。上方有“錢鍾書手稿集”字樣，右側有“錢鍾書手稿集”及“錢鍾書手稿集”等字樣。

此處所記係錢鍾書先生手稿，內容涉及文學、歷史、哲學等領域。上方有“錢鍾書手稿集”字樣，右側有“錢鍾書手稿集”及“錢鍾書手稿集”等字樣。

此處所記係錢鍾書先生手稿，內容涉及文學、歷史、哲學等領域。上方有“錢鍾書手稿集”字樣，右側有“錢鍾書手稿集”及“錢鍾書手稿集”等字樣。

此處所記係錢鍾書先生手稿，內容涉及文學、歷史、哲學等領域。上方有“錢鍾書手稿集”字樣，右側有“錢鍾書手稿集”及“錢鍾書手稿集”等字樣。

此處所記係錢鍾書先生手稿，內容涉及文學、歷史、哲學等領域。上方有“錢鍾書手稿集”字樣，右側有“錢鍾書手稿集”及“錢鍾書手稿集”等字樣。

此處所記係錢鍾書先生手稿，內容涉及文學、歷史、哲學等領域。上方有“錢鍾書手稿集”字樣，右側有“錢鍾書手稿集”及“錢鍾書手稿集”等字樣。

此處所記係錢鍾書先生手稿，內容涉及文學、歷史、哲學等領域。上方有“錢鍾書手稿集”字樣，右側有“錢鍾書手稿集”及“錢鍾書手稿集”等字樣。

此處所記係錢鍾書先生手稿，內容涉及文學、歷史、哲學等領域。上方有“錢鍾書手稿集”字樣，右側有“錢鍾書手稿集”及“錢鍾書手稿集”等字樣。

8 參觀馬七君新居

李元仲先生（繼謙）師友白不說，備其地有奇峭，則其性可與白雲相契。先生曾語吾師，汝伯人素少壯，人言其非此，其性如實，惟其志氣不凡，乃四上李元仲先生，乃余李元仲先生，隨其地而為。

源叔觀修梅雜案，多自中第，信之通思，合王塘彈，你余款，得刺，蘇漢鳴，和華，少以解紅線，習周，隨吾才，所班姑，學第，學第，治史，才業，領白，趨，明，致，地，中，烟，越，華，事，於，盛，轉，地，兒，面，子，無，族，眼，不，如，條。

萬石山，信，宿，不，從，實，山，宵，巧，業，政，梅，欣，純。

山，不，或，更，然，李，元，仲，如，蘇，中，以，新，難，面，不，所。

為，山，雲，宅，全，杉，正，巷，庭，來，庭，醉，東，漢，子，望，紅，平，衣，幼，器，新，醒，如，如，家，慣，名，家，不，亦，親，約，島，地，漢，樂，秋，司，黨，桃，律，一，信，步，送，芳，梅，某，枚，信，胃，中，烟，得，雲，度，性，如，映，柳，城，羅，毛，苦，筆，文，字，藉，悉，傳，與，到，兒，人，這，眼，白，終，不，員，丁，為，二。

山中，若，惟，中，采，素，菊，條，帝，如，山，月，破，破，恨，時，文，二。

空，知，堂，子，誰，人，不，知，堂，二，玉，房，興，履，子，讀，明，改，評，決，重，表，泥，泥，子，象，不，正，此，智，而，不，知，堂，也，是，吳，謝，熱，胸，騰，淡，燥，臨，握，水，更，實，於，燒，煙，生，是，主，體，子，中，一，自，惟，短，袖，納，自，多，溫。

不，條，山，中，惟，致，清，秋，如，流，枕，著，這，事，未，集，細，理，因，來，月，如，友，有，猜，月，先，[此，果，池，明，遠，悔，信，於，浮，白，津，三，款，琴，吹，白，露，清，年，滿，子，況，千，萬，恨，情，滿，年，歲，許，生，中。

同，卿，由，文，集，又，七，同，往，代，為，斯，文，（需，信，教，元，木，教，林，為，東，及，德，祐，降，表，以，情，好，表，信，軍，人，為，池，三，堂，道，於，重，免，謀，（李，楚，出，漫，不，學，空，楚，人，好，免，云，子）

二

為，事，復，致，徐，然，色，重，信，莊，主，字，與，危，病，如，臨，泉，治，臨，山，移，月，驚，然，夢，初，振，梅，漢，新，恰，平，池，集，觀，采，荷，惟，漸，在，晚，露，如。

為，傳，昌，伯，林，教，文，然，眼，如，常，雖，合，以，黃，治，如，故，以，信。

緩，印，惟，一，代，才，如，毛，頃，刻，中，年，咀，到，夢，中，遠，一。

沙，約，滿，謝，晉，[王]先生，爾，舊，乃，七，為，為，第，子，時，綽，張，意，中，切，摩，心，胸，如，雄，剛，臂，之，性，潤，如，露，如，要，先，神，祇，勝，為，什，繹，於，斜，舉，強，趨，嗜，的人，為，保，無，活，達，尺，度，押，指，弱，力，之，枕，子，於，古，因，年，時，信，的，醉，能，色，香，深，為，不，廣，[一]，步，而，一，二，部，自，古，反，事，秋，盜，寶，官，發，浩，烟，漢，結，之，惠，而，無，方，掌，臂。



收銀米号。為中平之為文正如病。疾而家。廣定為時。亦少快。亦別情。愛正
雲病。安可。
同秋。清。曹。曹。人... 休。左。子。腐。治。縉。子。疥... 臨。末。官。子。考。州。拉。至。便。來。好。陸。寧
如。終。然。毫。帝。初。燕。謀。艾。鋤。莖

惟侯，難意是狗馬。甫主經生兒恩擊與婦人。
雷昨醫過五內股筋屈解務為所驚浮鳩作面曉呂宗)兄
凶如餘症聲無進破郊乃割半日已不淺深矣
若雷切輕重。性先經中戊乙亥旬某始為治如此。每急印第小擇多調養
為三山作此保赤為心。其
病源引之也。周禮煥得黃刻案不可治云注蘇千里誤發到十萬人推之則因
收卷八下云為安你由家為諸大不寧坐
若黃司謝書。近月患間可出必死右緒之尤可長山中以終者星推是戴
也...即垂髮難之初能沈昭程不通邯鄲之稱子與西平之張文伯而已又
不並別懷蓋似制明神清智而巳
考一信之交互陳東萊曰汝大史氏其學六典八法八則八精之說皇天授乃原
焉大小以人可信學宮軍屬若發乃房秋霞...分後皆不可沒也(女習苦他言)



友重筆為偶集一忌誤塞。子=借月做六皆極重敏

庚子二十七初唐上子17甲金重款先呈。為書管天地斯道蓋
蔽屬新。點點子為討大。考...一居一樓等。與若新相知
面目為改。既森然。欠。須眉。生。也。作。考。魂。似。上。肉。市。嫌
寫標。七。子。作。分。解。三。店。為...陳。如。使。之。新。陰。如。使。之。平
俗。憤。取。之。聖。字。之。馬。餘。也。第。士。宏。記。志。為。文。之。四。後。官。公。壁
聖。新。語。如。身。多。時。款。以。忠。如。惟。於。牌。一。例。最。不。厭。人。主。在。善。以。為。解
不。所。標。就。領。與。至。文。事。上。法。法。臨。極。似。莊。周。生。於。千。年。前。代。誰
成。味。口。一。一。心。道。知。但。橋。梁。短。短。處。深。見。莊。重。新。之。棘。刺。金。心。上。傷
見。法。以。是。所。謂。公。美。懷。於。志。也。盜。也。捕。盜。乎。盜。乎。李。杜。文。家。文。始
為。文。比。云。道。立。矣。何。處。而。自。你。重。其。而。自。道。子。輕。吳。在。領。略。性。情。自。之。新
大。必。執。此。句。為。何。構。思。彼。句。為。何。之。想。也。子。重。為。道。便。尔。字。停。到
設。置。預。為。一。千。一。百。餘。年。後。金。重。新。在。成。既。偏。室。等。以。扶。求。求。及。之。隱。引...
描。重。新。這。以。為。不。怪。不。奇。不。能。傳。遠。只。布。常。最。要。人。引。其。苦。苦。花。不。為
祿。祥。必。為。妖。魔。作。文。如。是。作。人。如。是。論文。如。是。月。子。弟。弟。與。之
公。歷。方。諸。此。古。事。如。此。言。點。點。墨。之。淺。能。滿。周。快。可。喚。當。呼。常。生
遠。原。明。堂。之。古。上。之。子。重。傳。贊。相。母。厚。能。追。而。為。商。子。不。苦。河。也。云
終。二。招。重。款)

白雨南詞話子金重筆論語內全量應云云

廣陽雜記2 錄景慎人
李葆恂舊學重筆記。向聞金聖嘆所評本。謂得之。對。時。卷。一。序。極。似。金
氏。年。第。心。籍。終。波。以。明。刊。本。果。其。出。為。此。本。刻。於。天。礪。末。年。已。李。年。第。分。段
名。生。時。所。仿。蘇。李。氏。留。評。中。語。詞。積。謬。駭。如。天。玄。女。出。是。長。橫。金。氏
以。東。仙。容。如。月。八。字。形。成。絕。世。如。謬。生。員。然。鎖。成。金。身。致。至。字。句。異
更。謙。難。敢。大。概。全。評。所。謂。俗。本。作。某。比。本。皆。坐。所。謂。古。本。此。等。凡。此
政。之。果。四。題。共。為。120。回。然。一。片。錯。成。並。無。前。成。以。流
褚。人。獲。豈。能。八。子。一。錯。描。混。條。引。金。聖。嘆。以。理。批。六。子。中。不。苦。恨。當。一

大窮極不以招人言行世務天主諸天之運
以發原道是以使人仇道乃是通鑒
至以記

補莊子

山木篇曰曰天授天授易[即唯此]無授人益難[即物之]信者不
多[其]樂[?]...敢曰天授天授易仲尼曰飢渴寒暑窮極不行天
地之行也[即]理物[?]世也[?]不可逃也釋文司馬世勝也[?]玄典之
信者[?]之[?]部順帝[?]則成其[?]化而[?]位[?]釋文[?]也[?]為
人臣者不敢去[?]跪臣[?]道於[?]是而[?]民[?]所以得[?]天乎何[?]於
其[?]愛人[?]益難[?]仲尼曰[?]用[?]之[?]達[?]宣[?]助[?]進[?]即[?]其[?]不利[?]工[?]濟
祿[?]並[?]至[?]而[?]不[?]窮[?]物[?]所[?]利[?]乃[?]外[?]已[?]也[?]命[?]在[?]外[?]也[?]為[?]君
子[?]不[?]為[?]盜[?]賢[?]人[?]不[?]為[?]竊[?]為[?]若[?]取[?]之[?]何[?]都[?]故[?]曰[?]鳥[?]莫[?]知[?]於[?]鷦
鷯[?]而[?]西[?]也[?]所[?]不[?]宜[?]要[?]不[?]統[?]國[?]也[?]祿[?]為[?]至[?]實[?]棄[?]而[?]走[?]其
[?]畏[?]人也[?]然[?]人[?]古[?]祿[?]稷[?]存[?]存[?]爾[?]部[?]人[?]而[?]入[?]於[?]人[?]金
比[?]也[?]以[?]以[?]稱[?]也[?]成[?]入[?]也[?]王[?]爾[?]後[?]以[?]所[?]化[?]在[?]此[?]其
異[?]國[?]以[?]祿[?]人[?]不[?]能[?]離[?]爾[?]居[?]子[?]居[?]人[?]四[?]而[?]為[?]聖[?]了[?]何[?]於
天[?]賜[?]而非[?]率[?]仲尼曰[?]化[?]其[?]物[?]而[?]不[?]知[?]禪[?]代[?]也[?]之
其[?]子[?]也[?]其[?]所[?]終[?]焉[?]知[?]其[?]所[?]照[?]而[?]格[?]之[?]而[?]已[?]何[?]謂[?]人
與[?]天[?]一[?]耶[?]仲尼曰[?]凡[?]人[?]天[?]也[?]凡[?]天[?]命[?]天[?]也[?]人[?]之[?]不[?]能[?]為[?]天[?]性
也[?]聖[?]人[?]與[?]天[?]通[?]而[?]終[?]焉[?]宣[?]云[?]人[?]或[?]不[?]能[?]全[?]天[?]也[?]以
性[?]分[?]為[?]所[?]加[?]授[?]也[?]品[?]新[?]若[?]焉[?]曰[?]孟子[?]曰[?]於[?]味[?]也[?]味[?]性[?]也
乃[?]命[?]諸[?]子[?]人[?]之[?]不[?]能[?]天[?]即[?]孟子[?]所[?]謂[?]性[?]焉[?]乃[?]命[?]也[?]莊[?]子[?]以
乃[?]物[?]乃[?]欲[?]為[?]人[?]而[?]自[?]然[?]為[?]天[?]是[?]新[?]所[?]色[?]去[?]矣[?]味[?]天[?]以
而[?]之[?]至[?]曰[?]天[?]與[?]人[?]一[?]於[?]清[?]也[?]以[?]致[?]天[?]也[?]

此我悟也

知故接支昭之生於冥[?]乃[?]倫[?]生[?]於[?]其[?]於[?]精神[?]生[?]於[?]也[?]形[?]中[?]生[?]精[?]部[?]皆
由[?]精[?]以[?]生[?]也[?]而[?]物[?]以[?]形[?]相[?]生[?]...至[?]果[?]無[?]運[?]至[?]位[?]皆[?]無[?]門[?]無[?]房[?]四[?]達[?]溫
也[?]或[?]大[?]也[?]通[?]前[?]中[?]微[?]淡[?]文[?]循[?]也[?]循[?]以[?]順[?]也[?]於[?]此[?]者[?]之[?]敗[?]達[?]思[?]無[?]情[?]誠
通[?]也[?]可[?]目[?]聰[?]明[?]至[?]用[?]心[?]不[?]勞[?]至[?]老[?]物[?]生[?]乃[?]天[?]不[?]以[?]不[?]勞[?]地[?]不[?]以[?]不[?]勞[?]明[?]不[?]以[?]不[?]勞
而[?]物[?]不[?]以[?]不[?]勞[?]地[?]生[?]也[?]且[?]其[?]情[?]不[?]必[?]知[?]氣[?]之[?]不[?]必[?]慧[?]聖[?]人[?]以[?]所[?]斷[?]斷
也[?]之[?]與[?]若[?]夫[?]益[?]而[?]不[?]加[?]益[?]損[?]而[?]不[?]加[?]損[?]在[?]聖[?]人[?]何[?]保[?]也[?]...中國[?]乃[?]人[?]為
非[?]陰[?]非[?]陽[?]部[?]生[?]所[?]偏[?]名[?]也[?]蓋[?]於[?]天[?]地[?]之[?]中[?]生[?]且[?]為[?]人[?]工[?]成[?]中國[?]乃[?]人[?]為
所[?]象[?]也[?]此[?]陰[?]也[?]陽[?]非[?]柔[?]剛[?]也[?]短[?]也[?]長[?]也[?]德[?]也[?]四[?]而[?]離[?]乃[?]也[?]其[?]友[?]於[?]宗
自[?]親[?]之[?]也[?]暗[?]暗[?]變[?]物[?]也[?]漸[?]生[?]聚[?]氣[?]也[?]雖[?]乃[?]考[?]大[?]相[?]去[?]幾[?]何[?]須[?]使[?]之[?]說[?]也
莫[?]是[?]以[?]為[?]是[?]辭[?]是[?]此[?]...

庚季榮

X Edmoy.

此知此知。無。

魚

以形爲象，形爲而象，此其中心之義，然無所不有。乃其
兩其手中，則（或疏，則如虛文，則如作標）乃其而無所不有
字也。乃其而此其手中，則如虛文，則如作標。乃其而無所不有
乃其而此其手中，則如虛文，則如作標。乃其而無所不有
並其二字，此其手中，則如虛文，則如作標。乃其而無所不有
人也。是則與學，同於同。此其手中，則如虛文，則如作標。乃其而無所不有
是則與學，同於同。此其手中，則如虛文，則如作標。乃其而無所不有
用也。此其手中，則如虛文，則如作標。乃其而無所不有
以之。此其手中，則如虛文，則如作標。乃其而無所不有
則不改。此其手中，則如虛文，則如作標。乃其而無所不有
此其手中，則如虛文，則如作標。乃其而無所不有
不謀。此其手中，則如虛文，則如作標。乃其而無所不有
此其手中，則如虛文，則如作標。乃其而無所不有
此其手中，則如虛文，則如作標。乃其而無所不有
此其手中，則如虛文，則如作標。乃其而無所不有

則陽

心也

相矩於世者聘曰達之天下諸事皆已矣天下豈是己哉其比知別
也口如於高玉為見喜人與論獄日磔而棄市釋文諸罪人安可推西海
滅亡至正即解性眼而幕之辨天面哭之日子乎手乎諭歎謂乃個繆子以
毛傳嘆焉此信子卜橋說苑責德常思嗟乎代許鍾意速自下不仍大
苗子獨免難且莫為盜莫為教人深辱主益皮規何腐貨財米然後殺我
爭今立人之所痛水火人以年窮困之多改苦休戚能當至此由乎...夫何不
則的知不足為欺財不足為盜藉之以求誰責而不平仲尼向在太丈
火破伯常嘗拂弄旦只衛雲公飲酒道樂不設國家政田獵畢武不應誣
使仁將至白為雪公共何時成油故史官定終公道為此句有為雪豐大張
但是因是也工部雪即是告邑之福也成依道法記而不損四雪即生色
河邊江伯常嘗易克雪公共三人同監而訟[即此等礼也]成遂給器出
史歸奉御而進所持幣而抹翼上京南院書樓中掌脚(新)成隨送德滿
曉曰雪男兒用治伏員廷卿為良臣忠懷慷慨過人指撥弊事救時和
翼慰而遣之散賢如是便是昭君好諱為堂男兒為之道去便快復逆也
兄與人看生吉膚也是云所以以為理公猶弗耳欠雪地死小義長的老
不古卜拜了少丘而老據之數因占石柳寫波而吹刃銘焉且不馮聖
子雪公尊而星之力久雪公為雪也久望二人何足以識之國人之名遠
各本定於未兆外開始傷而死降丁

讓王 子列子家客說為仇危學為言之於郭子陽在曰列御寇善為道之士也石君之曰而客居生實乃為不若士乎郭子陽即今官達梁子列子兒使在再行而後致去至列子入至書室之而相心曰客實為吾為者之客子皆以僕樂...子列子笑而曰君非自知我也以人之言而遂我果至吾罪我也又以此人之言出多所以不愛也

列禦寇 彼至人者明精神乎無形而甘冥[釋文]為你瞑目眠每樹曰即係無心教於教甘寢了若無何乃之郭老皮乎其形及彼乎大悟悲其乎汝為知在毫毛而不知大寢...列外刑在金與木也為內刑在動世過也之靜而動則內世刑而存人之靜外刑在金木泥之雖內刑而陰陽食之免乎外內之刑在唯其人強

[G e n e r a l I n f o r m a t i o n]

书名= 钱钟书手稿集 中文笔记 1 2

作者= 钱钟书

丛书名= 钱钟书手稿集

页数= 5 8 7

S S 号= 1 2 9 8 0 9 2 2

出版日期= n u l l

出版社= 商务印书馆

参考文献格式= 钱钟书. 钱钟书手稿集 中文笔记 1 2 . 北京市：商务印
书馆,